

平成26，27年の犯罪情勢

平成28年7月

警 察 庁

は じ め に

本書は、刑法犯の認知・検挙状況について分析した第1章、特記すべき事項をトピックスとしてまとめた第2章、都道府県別の刑法犯認知件数等の統計資料を記載した第3章から成る。

第1章は、刑法犯の認知・検挙の概況を分析した後、3つの切り口、すなわち罪種・手口、検挙人員、被害者の各観点から、詳細に分析している。

第2章は、「戦後最少を記録した刑法犯認知件数」と題して2点記載している。

まず、我が国の刑法犯認知件数が、平成14年をピークに、以後13年連続して減少し、27年には、42年ぶりに戦後最少を更新したことから、その理由として考えられる内容を「平成14年以降の刑法犯認知件数の減少理由に関する分析」としてとりまとめている。

次に、「昭和48年との刑法犯認知・検挙状況の比較」として、平成26年まで長きにわたり刑法犯認知件数が戦後最少であった昭和48年と、平成27年との犯罪情勢の異同についてとりまとめている。

第3章は、第1章及び第2章において言及していない都道府県別刑法犯認知件数や人口当たりの刑法犯認知件数等を資料として掲載している。

なお、本書は、各年の犯罪情勢を詳述するため毎年作成しているものであるが、本年は、平成26年と27年を合わせ、「平成26、27年の犯罪情勢」としている。これは、平成26年7月、一部の都道府県警察において刑法犯認知件数の未計上が確認されたことを受け、同年版の作成を保留していたところ、本年1月、統計数値の精査が完了し統計数値が確定したことを受けてのものである。

また、当該統計数値の訂正に伴い、既刊の「平成20年の犯罪情勢」、「平成21年の犯罪情勢」、「平成22年の犯罪情勢」、「平成23年の犯罪情勢」、「平成24年の犯罪情勢」及び「平成25年の犯罪情勢」に掲載の一部数値については修正が生じているので、引用する場合は留意されたい。

凡 例

1 本資料における用語等の意義は次のとおりである。

(1) 刑法犯

道路上の交通事故に係る危険運転致死傷（自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律（平成 25 年法律第 86 号。以下「自動車運転死傷行為処罰法」という。）による改正前の刑法（明治 40 年法律第 45 号）第 208 条の 2 の危険運転致死傷をいう。）、業務上（重）過失致死傷及び自動車運転過失致死傷（自動車運転死傷行為処罰法による改正前の刑法第 211 条第 2 項の自動車運転過失致死傷をいう。）を除いた刑法に規定する罪並びに爆発物取締罰則（明治 17 年太政官布告第 32 号）、決闘罪ニ関スル件（明治 22 年法律第 34 号）、暴力行為等処罰ニ関スル法律（大正 15 年法律第 60 号）、盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律（昭和 5 年法律第 9 号）、航空機の強取等の処罰に関する法律（昭和 45 年法律第 68 号）、火炎びんの使用等の処罰に関する法律（昭和 47 年法律第 17 号）、航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律（昭和 49 年法律第 87 号）、人質による強要行為等の処罰に関する法律（昭和 53 年法律第 48 号）、流通食品への毒物の混入等の防止等に関する特別措置法（昭和 62 年法律第 103 号）、サリン等による人身被害の防止に関する法律（平成 7 年法律第 78 号）、組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律（平成 11 年法律第 136 号）、公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律（平成 12 年法律第 130 号）及び公衆等脅迫目的の犯罪行為のための資金等の提供等の処罰に関する法律（平成 14 年法律第 67 号）に規定する罪をいう。

(2) 包括罪種

刑法犯を「凶悪犯」、「粗暴犯」、「窃盗犯」、「知能犯」、「風俗犯」、「その他の刑法犯」の 6 種に分類したものをいう。

凶悪犯……………殺人、強盗、放火、強姦^{かん}

粗暴犯……………暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合

窃盗犯……………窃盗

知能犯……………詐欺、横領（占有離脱物横領を除く。）、偽造、汚職、背任、あつせん利得処罰法（公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律に規定する罪）

風俗犯……………賭博、わいせつ

その他の刑法犯……公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、器物損壊等、占有離脱物横領等上記に掲げるものの以外の刑法犯

(3) 認知件数

警察において発生を認知した事件の数をいう。

(4) 検挙件数

刑法犯において警察で検挙した事件の数をいい、特に断りのない限り、解決事件の件数を含む。

(5) 検挙人員

警察において検挙した事件の被疑者の数をいい、解決事件に係る者を含まない。

検挙人員の年齢は、犯行時の年齢とした。

(6) 解決事件（件数）

刑法犯として認知され、既に統計に計上されている事件であって、これを捜査した結果、刑事責任無能力者の行為であること、基本事実がないことその他の理由により犯罪が成立しないこと又は訴訟条件・処罰条件を欠くことが確認された事件（件数）をいう。

(7) 検挙率

認知件数に対する検挙件数の割合を百分比で表したものをいい、その算式は次による。

$$\text{検挙率} = \frac{\text{検挙件数（当該年の前年以前の認知事件の検挙を含む。）}}{\text{当該年の認知件数}} \times 100$$

なお、検挙件数には、当該年の前年以前の認知事件の検挙が含まれることから、検挙率が 100%を超える場合がある。

(8) 未遂罪及び予備罪

それぞれの既遂の罪に含めている。

(9) 犯罪手口の名称変更

平成 16 年から、「部品盗」を「部品ねらい」に、「自動販売機荒し」を「自動販売機ねらい」に、「空き巣ねらい」を「空き巣」に改めた。

(10) 発生場所

ア 「4 階建以上共同住宅」とは中高層（4 階建以上）住宅とし、「3 階建以下共同住宅」とはその他の住宅（住宅のうち、一戸建住宅及び中高層（4 階建以上）住宅を除く。）とした。

イ 「都市公園」とは、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第 2 条に規定する公園及び緑地で、同法第 2 条の 2 の規定に基づき設置されたものをいう。

ウ 「公共交通機関等」とは、地下鉄内、新幹線内、その他の列車内、駅、その他の鉄道施設、航空機内、空港、船舶内、海港及びバス内とした。

エ 「その他の交通機関」とは、タクシー内及びその他の自動車内とした。

オ 「その他の街頭」とは、地下街・地下通路及び高速道路とした。

カ 「街頭」とは、道路上、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場、駐輪場、都市公園、空き地、公共交通機関等、その他の交通機関及びその他の街頭（平成 20 年以前は、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場、駐輪場の区分はない）とした。

キ 「駐車（輪）場」とは、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場及び駐輪場（平成 20 年以前は「駐車（輪）場」で、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場、駐輪場の区分はない）とした。

ク 「学校・幼稚園」には、学校教育法の一部を改正する法律（平成 27 年法律第 46 号）による改正前

の学校教育法第1条に掲げる学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校）、同法第124条の専修学校及び同法第134条の各種学校のほか、その実態が幼稚園と同視されるような保育所を含む。

(11) オートバイ

オートバイとは、自動二輪（50cc 超）及び原動機付自転車（50cc 以下）とした。

(12) 少年

少年とは、犯行時又は被害時の年齢が19歳以下の者とした。したがって、検挙人員に言及する場合、少年の年齢は14-19歳となる。

(13) 高齢者

高齢者とは、犯行時又は被害時の年齢が65歳以上の者とした。

(14) 外国人

外国人とは、他国籍、無国籍及び国籍不明の者をいう。外国人のうち、いわゆる定着居住者（永住権を有する者等）、在日米軍関係者及び在留資格不明の者以外の者を来日外国人とした。

(15) 3年移動平均

平成 $n-2$ 年、平成 $n-1$ 年及び平成 n 年を和して3で除したものを平成 n 年と表示した。

2 本資料の分析は、犯罪統計及び実務統計による（実務統計とは、警察庁において特別調査により集計する数値である。）。

3 本資料中の構成比等については、四捨五入の関係で、合計の数値と内訳の数値の計等が一致しない場合がある。

目 次

第1章 刑法犯の認知・検挙状況についての分析	1
第1 総括	1
1 刑法犯の認知・検挙の概況.....	1
2 包括罪種ごとの認知・検挙の概況.....	5
3 刑法犯による死傷者の概況.....	6
4 財産犯による被害額の概況.....	8
第2 罪種・手口ごとの分析	9
1 重要犯罪	9
(1) 殺人	10
(2) 強盗	13
(3) 放火	21
(4) 強姦	22
(5) 強制わいせつ	23
(6) 略取誘拐・人身売買	25
2 重要窃盗犯	27
(1) 侵入窃盗	27
(2) 自動車盗	32
(3) ひったくり	35
(4) すり	37
3 その他の罪種・手口	39
(1) 粗暴犯	39
(2) 窃盗犯（重要窃盗犯に該当する手口を除く。）	43
(3) 知能犯	53
(4) 風俗犯（重要犯罪に該当する手口を除く。）	65
(5) その他の刑法犯	67
(6) その他	68
第3 検挙人員の属性についての分析.....	73
1 少年による犯罪	73
2 高齢者による犯罪	75
3 外国人による犯罪	78
4 暴力団による犯罪	80
(1) 暴力団構成員等の状況.....	80
(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況.....	81
5 薬物常用者による犯罪	83
第4 被害者の属性についての分析.....	84
1 女性被害の状況	84
2 少年被害の状況	89
3 高齢者被害の状況	94
4 外国人被害の状況	98

第2章 トピックス～戦後最少を記録した刑法犯認知件数～	100
第1 平成14年以降の刑法犯認知件数の減少理由に関する分析	100
1 罪種・手口についての分析	101
(1) 自転車盗	102
(2) 車上ねらい	105
(3) オートバイ盗	107
(4) 自動販売機ねらい	109
(5) 空き巣	110
(6) 部品ねらい	113
(7) 自動車盗	114
(8) ひったくり	118
2 検挙人員の年齢についての分析	120
第2 昭和48年との刑法犯認知・検挙状況の比較	121
1 総括	121
2 包括罪種ごとの認知の状況	121
3 罪種・手口ごとの認知の状況	122
4 検挙人員の構成の変化	123
(1) 年齢層の変化	123
(2) 再犯者率の変化	125
5 被害者の年齢層の変化	125
第3章 資料編	127
※ 図表索引	i

第1章 刑法犯の認知・検挙状況についての分析

第1 総括

1 刑法犯の認知・検挙の概況

平成27年の刑法犯認知件数は、前年比11万3,194件減の109万8,969件で、戦後最少となった。

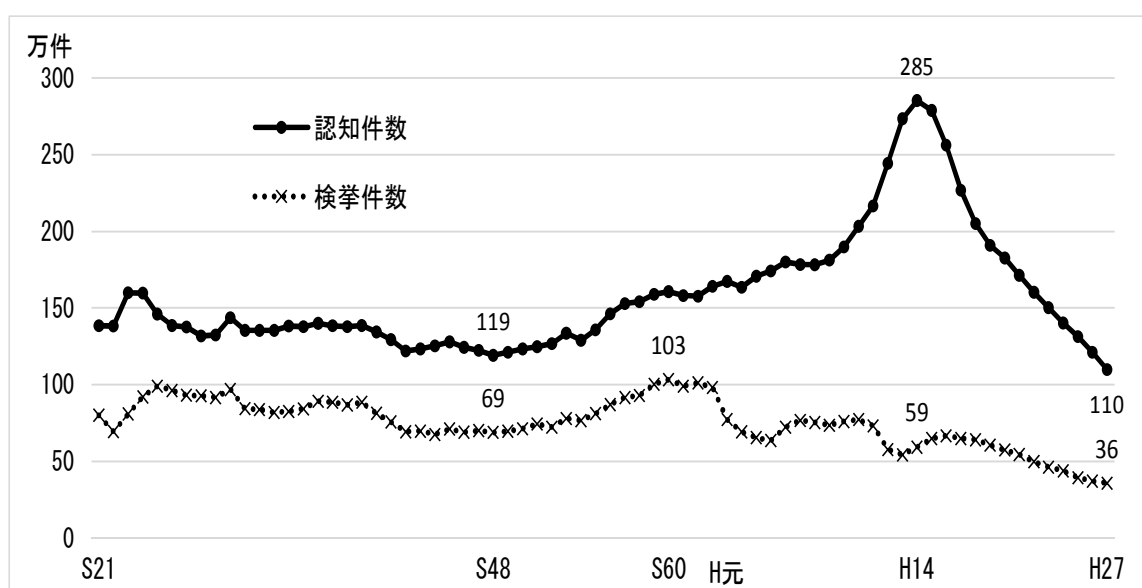
刑法犯認知件数の推移をみると、昭和48年を底に、以降平成14年まで増加傾向にあった。特に平成8年以降は毎年戦後最多を更新し続け、14年には285万件を超えた。しかしその後は、13年連続して減少した。

刑法犯認知件数を人口¹千人当たりでみると、昭和23年の20.0件をピークに48年の11.0件まで減少傾向にあったが、同年を底に増加に転じ、平成14年には戦後最多の22.4件となった。しかしその後は減少に転じ、平成25年には昭和48年の11.0件を下回り、戦後最少の10.3件となった。さらに平成26年には9.5件、27年には8.6件と減少が続いた。

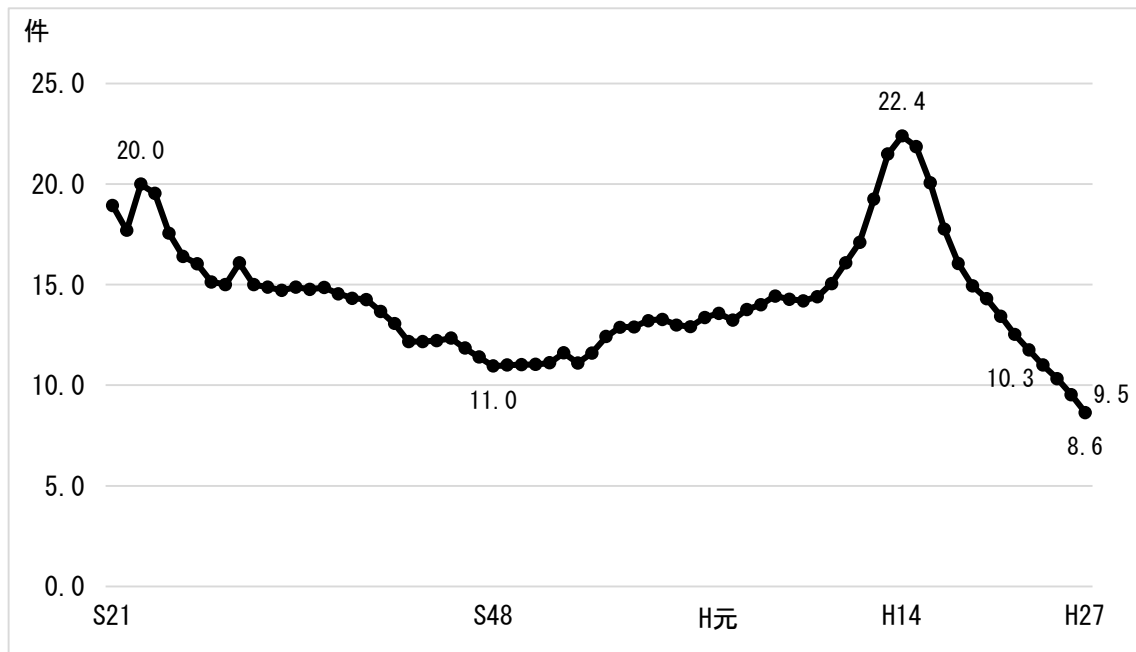
刑法犯検挙件数は、昭和60年をピークに以後おおむね減少傾向にあり、とりわけ平成17年以降は一貫して減少し、27年には前年比1万3,084件減の35万7,484件となった。検挙率は、平成18年以降30%を若干上回る水準で推移しており、27年は前年比1.9ポイント増の32.5%となった。

刑法犯検挙人員は、平成に入って増加傾向にあったが、平成17年以降は毎年減少し、27年には前年比1万1,760人減の23万9,355人となった。検挙時の年齢層（20歳以上90歳未満は5歳刻み、14-19歳及び90歳以上は1区分。）別に当該年齢層別人口10万人当たりの検挙人員をみると、14-19歳が平成15年をピークに大きく減少し、27年には元年の0.4倍である549.8人となったのに対し、65歳以上の高齢者は元年の3.1倍である144.3人となった。高齢者のうち増加率が最も高かったのは85-89歳で、平成元年の7.2倍である77.0人となった。

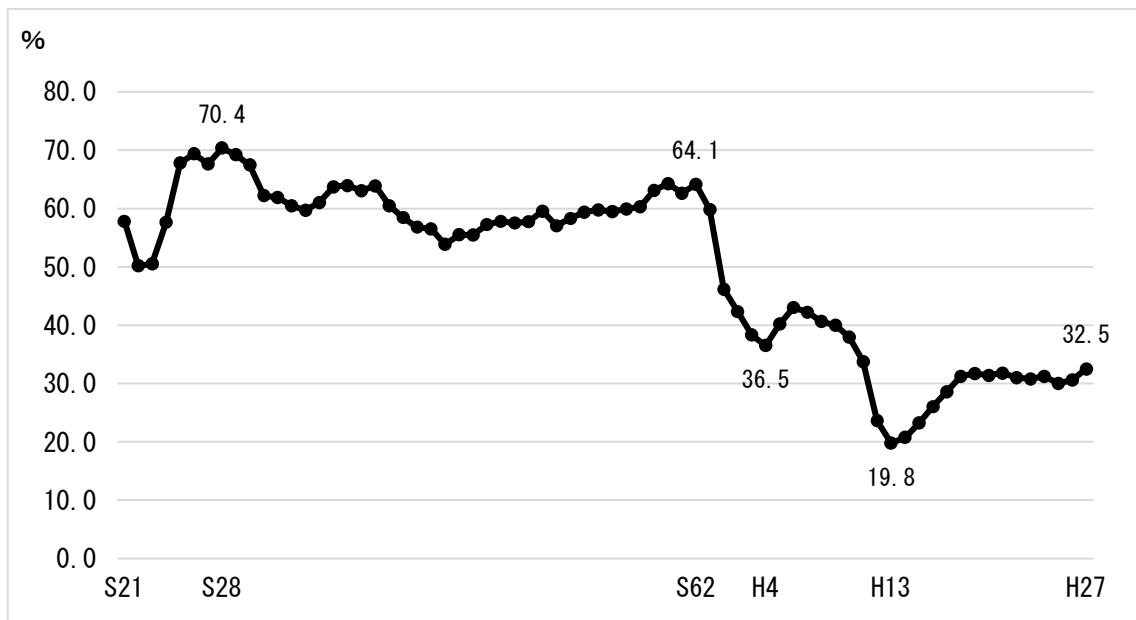
図表：1-1-1-1（刑法犯認知・検挙件数 S21-H27 の推移）



図表：１－１－１－２（人口千人当たりの刑法犯認知件数 S21-H27 の推移）

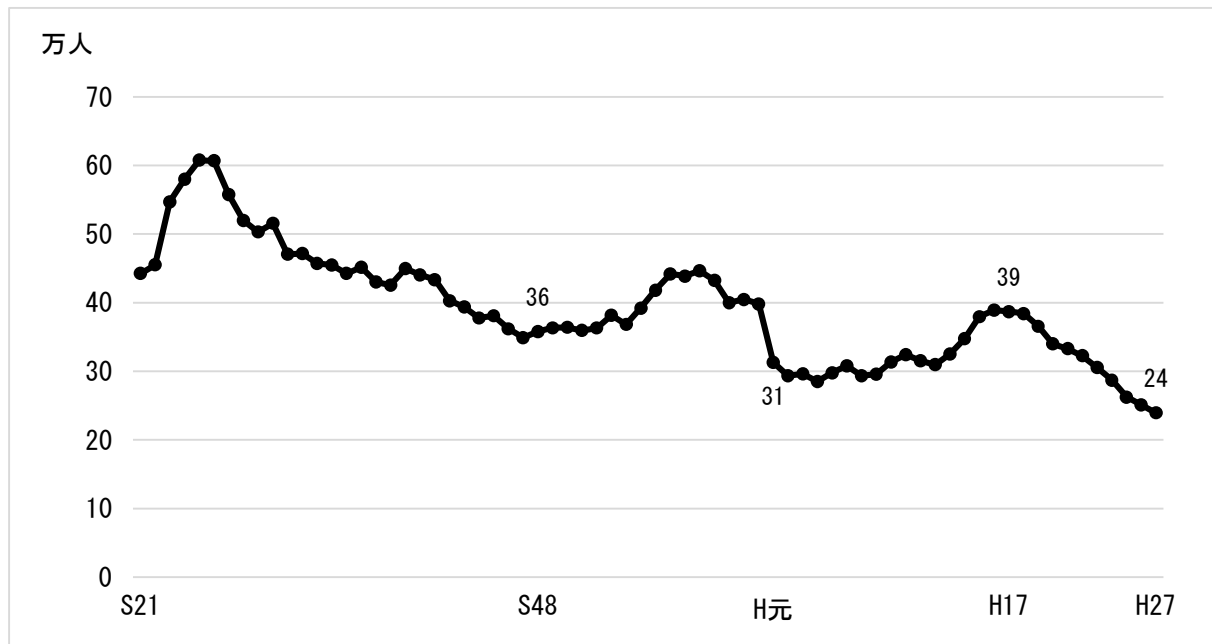


図表：１－１－１－３（検挙率 S21-H27 の推移）



¹ 人口は、総務省人口推計による総人口（各年 10 月 1 日現在）。平成 27 年は 26 年の人口。以下同じ。

図表：１－１－１－４（刑法犯検挙人員 S21-H27 の推移）



図表：１－１－１－５（刑法犯認知・検挙状況 S21-H27 の推移）

	S21	S22	S23	S24	S25	S26	S27	S28	S29	S30
認知件数 (件)	1,384,222	1,382,210	1,599,968	1,597,891	1,461,044	1,387,289	1,377,273	1,317,141	1,324,333	1,435,652
人口千人当たり認知件数	18.9	17.7	20.0	19.5	17.6	16.4	16.0	15.1	15.0	16.1
検挙件数 (件)	800,431	693,845	808,619	920,855	991,107	962,455	931,863	927,012	916,804	968,626
検挙人員 (人)	442,579	455,097	546,991	579,897	607,769	606,686	557,521	519,707	503,063	515,480
検挙率 (%)	57.8	50.2	50.5	57.6	67.8	69.4	67.7	70.4	69.2	67.5

	S31	S32	S33	S34	S35	S36	S37	S38	S39	S40
認知件数	1,354,102	1,354,429	1,353,930	1,382,792	1,378,817	1,400,915	1,384,784	1,377,476	1,385,358	1,343,625
人口千人当たり認知件数	15.0	14.9	14.7	14.9	14.8	14.9	14.5	14.3	14.3	13.7
検挙件数	842,660	838,210	818,715	825,511	841,718	892,547	885,465	868,207	885,168	812,996
検挙人員	470,522	471,600	457,212	454,898	442,527	451,586	430,153	425,473	449,842	440,563
検挙率	62.2	61.9	60.5	59.7	61.0	63.7	63.9	63.0	63.9	60.5

	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50
認知件数	1,293,877	1,219,840	1,234,198	1,253,950	1,279,787	1,244,168	1,223,546	1,190,549	1,211,005	1,234,307
人口千人当たり認知件数	13.1	12.2	12.2	12.2	12.3	11.8	11.4	11.0	11.0	11.0
検挙件数	756,230	692,913	697,407	675,183	710,078	690,027	700,378	688,328	696,535	713,031
検挙人員	433,545	402,738	393,831	377,826	380,850	361,972	348,788	357,738	363,309	364,117
検挙率	58.4	56.8	56.5	53.8	55.5	55.5	57.2	57.8	57.5	57.8

	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60
認知件数	1,247,631	1,268,430	1,336,922	1,289,405	1,357,461	1,463,228	1,528,779	1,540,717	1,588,693	1,607,697
人口千人当たり認知件数	11.0	11.1	11.6	11.1	11.6	12.4	12.9	12.9	13.2	13.3
検挙件数	743,048	723,509	779,697	765,945	811,189	870,513	916,058	929,321	1,002,923	1,032,879
検挙人員	359,360	363,144	381,742	368,126	392,113	418,162	441,963	438,705	446,617	432,250
検挙率	59.6	57.0	58.3	59.4	59.8	59.5	59.9	60.3	63.1	64.2

	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7
認知件数	1,581,411	1,577,954	1,641,310	1,673,268	1,636,628	1,707,877	1,742,366	1,801,150	1,784,432	1,782,944
人口千人当たり認知件数	13.0	12.9	13.4	13.6	13.2	13.8	14.0	14.4	14.3	14.2
検挙件数	990,650	1,012,076	982,165	772,320	692,593	654,538	636,290	723,610	767,844	753,174
検挙人員	399,886	404,762	398,208	312,992	293,264	296,158	284,908	297,725	307,965	293,252
検挙率	62.6	64.1	59.8	46.2	42.3	38.3	36.5	40.2	43.0	42.2

	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
認知件数	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293
人口千人当たり 認知件数	14.4	15.1	16.1	17.1	19.3	21.5	22.4	21.9	20.1	17.8
検挙件数	735,881	759,609	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359	648,319	667,620	649,503
検挙人員	295,584	313,573	324,263	315,355	309,649	325,292	347,558	379,602	389,027	386,955
検挙率	40.6	40.0	38.0	33.8	23.6	19.8	20.8	23.2	26.1	28.6

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数	2,050,850	1,908,836	1,826,500	1,713,832	1,604,019	1,502,951	1,403,167	1,314,140	1,212,163	1,098,969
人口千人当たり 認知件数	16.1	14.9	14.3	13.4	12.5	11.8	11.0	10.3	9.5	8.6
検挙件数	640,657	605,358	573,392	544,699	497,356	462,535	437,610	394,121	370,568	357,484
検挙人員	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	305,631	287,021	262,486	251,115	239,355
検挙率	31.2	31.7	31.4	31.8	31.0	30.8	31.2	30.0	30.6	32.5

図表：１－１－１－６（年齢層別人口10万人当たりの検挙人員H元、H17-H27の推移）

年次 区分	H元	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
14-19歳（人）	165,686	124,522	113,551	103,884	91,462	90,844	86,394	78,186	65,983	56,901	48,843	39,489
人口10万人当たり	1,386.1	1,595.6	1,486.9	1,390.3	1,242.2	1,247.0	1,187.1	1,075.8	910.5	787.4	680.0	549.8
20-24歳	30,925	40,491	39,708	36,335	31,859	31,112	29,607	27,182	25,758	23,787	23,022	22,775
人口10万人当たり	350.9	548.5	543.1	502.0	448.4	450.0	453.8	426.7	410.7	383.4	371.1	367.2
25-29歳	17,444	26,441	26,891	25,162	23,496	23,239	22,415	20,734	20,007	18,353	18,059	17,664
人口10万人当たり	219.6	318.0	335.6	322.8	307.9	309.7	303.3	287.2	283.8	267.1	270.4	264.5
30-34歳	14,311	25,491	26,352	24,416	22,789	21,524	20,533	19,146	18,835	17,888	17,394	17,287
人口10万人当たり	180.7	260.2	273.2	260.7	253.3	250.5	243.9	236.5	240.5	234.7	233.0	231.5
35-39歳	17,870	21,673	23,444	23,439	22,557	22,625	22,401	21,166	20,538	18,743	18,131	17,442
人口10万人当たり	187.3	247.1	252.8	248.7	234.7	232.9	227.1	217.9	218.0	206.9	209.1	201.2
40-44歳	18,363	18,942	19,670	19,536	19,469	19,747	20,144	19,872	20,579	19,543	19,691	19,302
人口10万人当たり	182.4	233.5	246.4	237.6	231.6	230.1	228.7	213.3	217.3	202.2	201.1	197.1
45-49歳	15,683	18,126	18,561	17,880	17,404	17,431	17,237	16,895	16,840	16,508	16,852	17,175
人口10万人当たり	170.1	233.8	241.2	231.2	223.7	222.7	213.0	212.1	205.3	196.4	195.7	199.5
50-54歳	11,600	22,557	21,062	19,362	17,462	16,865	16,052	15,507	14,916	14,176	13,911	14,189
人口10万人当たり	144.0	255.5	250.2	240.5	223.3	217.9	208.5	203.0	194.3	183.3	178.6	182.1
55-59歳	8,990	25,462	27,558	26,365	23,872	20,997	19,112	16,889	15,300	13,461	12,874	12,592
人口10万人当たり	118.5	247.3	254.6	252.7	242.6	229.9	219.0	203.0	192.4	174.1	168.2	164.5
60-64歳	5,495	21,142	20,816	20,601	20,596	20,402	20,580	21,433	19,721	16,900	15,124	13,808
人口10万人当たり	83.6	246.5	255.6	243.2	229.9	216.7	203.5	201.6	192.5	174.8	168.4	153.8
65-69歳	3,197	16,961	17,745	18,034	17,622	17,750	17,161	16,368	15,672	14,622	15,000	15,373
人口10万人当たり	65.3	227.3	232.8	230.1	219.2	211.7	207.4	208.2	191.0	168.1	163.9	167.9
70-74歳	1,907	12,959	14,487	14,855	14,525	13,814	13,689	13,832	13,748	13,033	13,261	12,942
人口10万人当たり	52.0	194.6	212.6	214.6	208.8	199.9	195.1	192.6	185.9	171.5	167.3	163.2
75-79歳	1,056	7,438	8,867	9,529	10,097	9,873	10,174	10,724	10,913	10,407	10,067	10,163
人口10万人当たり	35.8	140.9	163.8	171.3	177.0	169.9	169.7	174.6	174.5	165.1	160.6	162.1
80-84歳	366	3,437	4,029	4,518	4,739	4,808	5,165	5,505	5,948	5,843	6,336	6,364
人口10万人当たり	21.2	100.4	110.1	116.9	116.8	113.5	118.0	122.5	128.4	122.7	130.1	130.7
85-89歳	86	1,075	1,255	1,389	1,510	1,527	1,651	1,825	1,916	1,981	2,158	2,360
人口10万人当たり	10.8	58.0	64.7	67.7	69.5	65.5	67.3	69.5	68.9	67.7	70.5	77.0
90歳以上	13	238	254	272	293	330	305	367	347	340	392	430
人口10万人当たり	4.8	22.0	22.0	22.2	22.9	24.8	22.3	25.4	22.7	21.1	22.8	25.1

2 包括罪種ごとの認知・検挙の概況

包括罪種別に刑法犯認知件数をみると、窃盗犯が平成 14 年に、凶悪犯、粗暴犯及び風俗犯が 15 年に、知能犯及びその他の刑法犯が 16 年に、それぞれピークを迎えた。凶悪犯、窃盗犯及びその他の刑法犯は、ピーク以降減少傾向にあり、平成 27 年にはそれぞれピーク時から 8,040 件・58.9%、156 万 9,928 件・66.0%、21 万 2,821 件・56.0%減少した。一方で、粗暴犯、知能犯及び風俗犯は、増減を繰り返しつつ、平成 27 年にはそれぞれピーク時から 1 万 4,710 件・18.7%、5 万 5,636 件・56.1%、2,002 件・15.4%減少した。平成 27 年は前年に比べて全ての包括罪種で認知件数が減少したが、これは 21 年以来 6 年ぶりであった。

包括罪種別に刑法犯検挙件数をみると、凶悪犯は平成 16 年以降、窃盗犯及びその他の刑法犯は 17 年以降、知能犯は 18 年以降減少傾向に、粗暴犯及び風俗犯は増減あるも総じて増加傾向にあったところ、26 年は粗暴犯及び風俗犯を除き、27 年は知能犯を除き減少した。平成 26 年の粗暴犯の検挙件数は昭和 55 年以降最多であった。

同様に刑法犯検挙人員をみると、凶悪犯は平成 16 年以降、窃盗犯及びその他の刑法犯は 17 年以降減少傾向に、粗暴犯、知能犯及び風俗犯はおおむね横ばい傾向にあったところ、26 年は粗暴犯を除き、27 年は風俗犯を除き減少した。

図表：１－１－２－１（包括罪種別認知・検挙状況 H14-H27 の推移）

年次		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分	認知件数(件)	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,826,500	1,713,832	1,604,019	1,502,951	1,403,167	1,314,140	1,212,163	1,098,969
	検挙件数(件)	592,359	648,319	667,620	649,503	640,657	605,358	573,392	544,699	497,356	462,535	437,610	394,121	370,568	357,484
刑法犯総数	検挙人員(人)	347,558	379,602	389,027	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	305,631	287,021	262,486	251,115	239,355
	認知件数	12,567	13,658	13,064	11,360	10,124	9,051	8,630	8,392	7,624	7,062	7,070	6,757	6,453	5,618
凶悪犯	検挙件数	7,604	8,238	7,924	7,418	7,125	6,461	6,229	6,073	5,503	5,287	5,368	5,128	5,101	4,777
	検挙人員	7,726	8,362	7,519	7,047	6,459	5,923	5,634	5,654	5,021	4,786	4,779	4,647	4,580	4,409
	認知件数	76,573	78,759	76,616	73,772	76,303	72,908	69,113	64,140	63,813	61,897	67,356	66,494	65,814	64,049
粗暴犯	検挙件数	40,425	42,296	41,128	44,037	49,409	49,656	47,772	45,719	45,932	45,095	49,220	48,487	49,990	49,968
	検挙人員	49,615	49,530	46,801	49,156	54,505	54,163	51,924	49,225	49,525	48,582	52,577	51,274	52,618	52,541
	認知件数	2,377,488	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,379,752	1,308,378	1,229,059	1,152,492	1,059,131	981,233	897,259	807,560
窃盗犯	検挙件数	403,872	433,918	447,950	429,038	416,281	395,243	379,839	361,969	327,786	305,922	286,636	254,822	235,519	226,001
	検挙人員	180,725	191,403	195,151	194,119	187,654	180,446	174,738	175,823	175,214	168,514	153,864	138,947	131,490	123,847
	認知件数	62,751	74,754	99,258	97,500	84,271	75,999	73,451	53,222	44,544	40,894	40,235	43,141	46,027	43,622
知能犯	検挙件数	39,884	40,574	36,299	38,151	37,296	33,878	36,979	34,147	29,688	26,433	24,105	22,060	20,355	20,742
	検挙人員	13,173	13,653	14,850	15,053	15,760	15,264	15,145	15,433	14,138	13,262	13,665	13,523	13,125	13,016
	認知件数	12,220	13,034	12,346	12,085	11,932	11,184	10,590	10,219	10,938	10,966	11,986	12,041	11,915	11,032
風俗犯	検挙件数	5,633	6,165	6,070	6,422	6,752	6,462	6,376	6,478	6,742	6,842	7,635	7,023	7,412	7,125
	検挙人員	5,912	5,886	5,688	6,373	6,261	6,279	6,048	5,951	6,033	5,881	6,204	5,770	5,678	5,815
	認知件数	312,140	374,087	379,909	349,504	333,692	309,738	284,964	269,481	248,041	229,640	217,389	204,474	184,695	167,088
その他の刑法犯	検挙件数	94,941	117,128	128,249	124,437	123,794	113,658	96,197	90,313	81,705	72,956	64,646	56,601	52,191	48,871
	検挙人員	90,407	110,768	119,018	115,207	113,611	103,502	86,263	80,802	72,689	64,606	55,932	48,325	43,624	39,727
	認知件数	312,140	374,087	379,909	349,504	333,692	309,738	284,964	269,481	248,041	229,640	217,389	204,474	184,695	167,088

3 刑法犯による死傷者の概況

平成 17 年以降の刑法犯による死傷者数は、実数、人口 10 万人当たりの死傷者数ともにおおむね減少傾向にある。

図表：1－1－3－1（死傷者数、人口 10 万人当たり死傷者数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
死傷者合計(人)	44,465	43,160	39,022	36,281	33,175	32,723	31,712	34,096	33,399	31,979	30,103
死者	1,354	1,284	1,134	1,230	1,059	1,001	969	908	819	841	802
人口10万人当たり	1.1	1.0	0.9	1.0	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.7	0.6
負傷者	43,111	41,876	37,888	35,051	32,116	31,722	30,743	33,188	32,580	31,138	29,301
人口10万人当たり	33.7	32.8	29.7	27.4	25.2	24.8	24.1	26.0	25.6	24.5	23.1

平成 17 年以降の死傷者を男女別にみると、毎年、女性に比べて男性が多く、27 年には男性が全体の 64.0 %を占めた。

図表：1－1－3－2（男女別死傷者数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
男性死傷者(人)	31,159	30,031	27,029	25,046	22,928	22,348	21,935	22,614	22,112	20,555	19,280
死者	819	761	717	727	654	615	578	528	504	491	475
重傷者	2,294	2,206	2,078	2,048	2,021	2,022	2,071	2,076	2,116	2,025	1,870
軽傷者	28,046	27,064	24,234	22,271	20,253	19,711	19,286	20,010	19,492	18,039	16,935
女性死傷者(人)	13,306	13,129	11,993	11,235	10,247	10,375	9,777	11,482	11,287	11,424	10,823
死者	535	523	417	503	405	386	391	380	315	350	327
重傷者	880	840	849	746	816	815	783	903	905	874	854
軽傷者	11,891	11,766	10,727	9,986	9,026	9,174	8,603	10,199	10,067	10,200	9,642

平成 26、27 年の死亡理由罪種をみると、男性は業務上等過失致死傷、女性は殺人による被害が多かった。
同様に負傷理由罪種をみると、男女共に傷害によるものが多く、両年ともに 90%を超えた。

図表：１－１－３－３（性・死傷理由罪種別死傷者数（H26、H27））

年次等 区分	H26											
	殺人	業務上等過失致死傷	傷害	過失致死傷	放火	強盗	失火	遺棄	逮捕監禁	強姦	強制わいせつ	その他
男性死傷者(人)	608	390	18,668	119	33	680	14	11	28	0	2	2
死者	189	194	61	12	12	8	4	9	2	0	0	0
重傷者	166	104	1,646	14	7	75	4	1	7	0	1	0
軽傷者	253	92	16,961	93	14	597	6	1	19	0	1	2
女性死傷者(人)	416	168	9,480	149	30	479	9	15	31	188	459	0
死者	206	48	31	14	20	6	6	14	0	0	5	0
重傷者	75	33	666	34	1	47	0	0	1	7	10	0
軽傷者	135	87	8,783	101	9	426	3	1	30	181	444	0

年次等 区分	H27											
	殺人	業務上等過失致死傷	傷害	過失致死傷	放火	強盗	失火	遺棄	逮捕監禁	強姦	強制わいせつ	その他
男性死傷者(人)	488	424	17,524	153	45	571	27	6	26	0	5	11
死者	145	213	56	17	18	10	7	6	2	0	1	0
重傷者	144	120	1,521	18	4	54	3	0	5	0	0	1
軽傷者	199	91	15,947	118	23	507	17	0	19	0	4	10
女性死傷者(人)	389	128	9,077	151	33	378	18	14	27	182	419	7
死者	218	37	24	7	10	5	10	12	1	0	2	1
重傷者	62	35	644	40	4	48	2	2	3	4	7	3
軽傷者	109	56	8,409	104	19	325	6	0	23	178	410	3

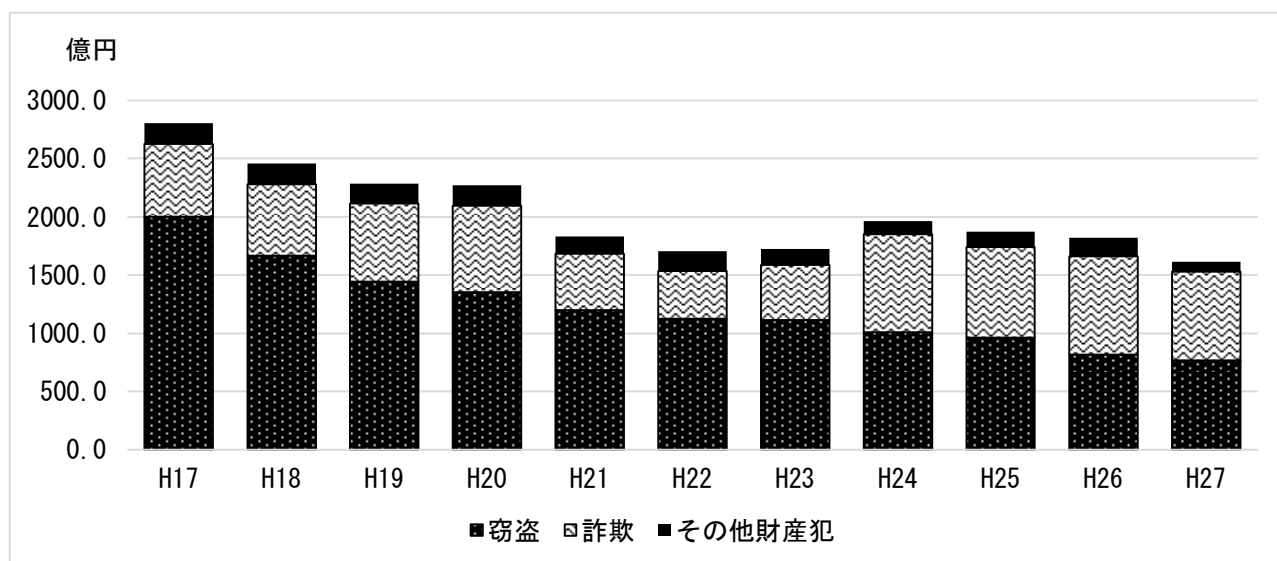
4 財産犯による被害額の概況

平成 17 年から 27 年までの間、毎年、財産犯の被害額のうち 90%以上が窃盗又は詐欺によるものであった。平成 17 年以降の窃盗の被害額は一貫して減少しており、27 年は 17 年から約 1235.7 億円・61.7%減少した。一方、詐欺の被害額は、増減を繰り返しつつも総じてみればほぼ横ばいで推移した。

窃盗の被害額と詐欺の被害額を比べると、平成 25 年まで一貫して窃盗が詐欺を上回っていたものの、26 年に初めて詐欺が窃盗を上回った。

なお、平成 27 年は、前年に比べ、窃盗が 48.0 億円・5.9%、詐欺が 85.4 億円・10.1%減少し、再び窃盗の被害額が詐欺の被害額を上回った。

図表：1－1－4－1（主な罪種別財産犯被害額 H17-H27 の推移）



区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
窃盗被害額(億円)	2002.3	1666.7	1442.5	1354.2	1200.6	1125.7	1115.6	1009.2	965.2	814.6	766.6
うち現金被害額	459.3	380.0	318.7	280.2	248.5	228.7	226.6	206.5	201.0	176.2	184.7
詐欺被害額(億円)	625.6	611.7	671.3	740.3	480.7	406.9	469.2	841.8	775.4	846.3	760.9
うち現金被害額	538.0	555.8	601.8	689.8	446.5	366.7	433.8	809.8	745.2	810.4	687.4
その他財産犯被害額(億円)	177.4	180.0	172.1	176.3	151.0	170.8	139.0	114.2	132.7	159.6	85.4
うち現金被害額	136.5	144.3	102.0	131.2	102.5	135.4	119.4	94.3	118.0	145.2	67.7

第2 罪種・手口ごとの分析

平成17年以降の刑法犯の傾向について、罪種・手口ごとにみる。

1 重要犯罪

平成17年以降、重要犯罪は減少傾向で推移しており、27年の認知件数は17年に比べ、7,823件・38.4%減の1万2,565件となった。重要犯罪を構成する全ての罪種が減少したが、中でも強盗の減少率が59.5%と高く、強盗の減少数(3,562件)が重要犯罪の減少数(7,823件)の45.5%を占めた。

重要犯罪の検挙件数は平成17年から23年まで減少傾向にあったが、以降は9,000件強で横ばいである。検挙率は平成17年以降上昇傾向にあり、27年は16年ぶりに70%を超えた。

図表：1-2-1-0-1（重要犯罪認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分		年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
重要犯罪	認知件数(件)		20,388	18,649	16,922	15,922	15,271	14,878	14,144	14,581	14,596	14,051	12,565
	検挙件数(件)		11,419	11,084	10,181	9,925	9,776	9,291	8,969	9,487	9,255	9,579	9,082
	検挙人員(人)		9,509	8,880	8,315	7,982	7,884	7,317	7,121	7,367	7,288	7,326	7,213
	検挙率(%)		56.0	59.4	60.2	62.3	64.0	62.4	63.4	65.1	63.4	68.2	72.3
	殺人	認知件数	1,392	1,309	1,199	1,301	1,095	1,068	1,052	1,032	938	1,054	933
		検挙件数	1,345	1,267	1,157	1,237	1,074	1,029	1,029	963	950	1,010	938
		検挙人員	1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	971	899	906	967	913
		検挙率	96.6	96.8	96.5	95.1	98.1	96.3	97.8	93.3	101.3	95.8	100.5
	強盗	認知件数	5,988	5,108	4,567	4,298	4,535	4,051	3,695	3,691	3,324	3,056	2,426
		検挙件数	3,269	3,061	2,790	2,612	2,923	2,516	2,385	2,486	2,236	2,154	1,915
		検挙人員	3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	2,431	2,430	2,255	2,096	1,972
		検挙率	54.6	59.9	61.1	60.8	64.5	62.1	64.5	67.4	67.3	70.5	78.9
	放火	認知件数	1,904	1,759	1,519	1,441	1,347	1,212	1,122	1,081	1,086	1,093	1,092
		検挙件数	1,361	1,337	1,120	1,054	913	895	880	822	779	837	810
		検挙人員	791	825	764	659	631	651	616	592	549	598	591
		検挙率	71.5	76.0	73.7	73.1	67.8	73.8	78.4	76.0	71.7	76.6	74.2
	強姦	認知件数	2,076	1,948	1,766	1,590	1,415	1,293	1,193	1,266	1,409	1,250	1,167
		検挙件数	1,443	1,460	1,394	1,326	1,163	1,063	993	1,097	1,163	1,100	1,114
		検挙人員	1,074	1,058	1,013	951	918	803	768	858	937	919	933
		検挙率	69.5	74.9	78.9	83.4	82.2	82.2	83.2	86.7	82.5	88.0	95.5
	略取誘拐・ 人身売買	認知件数	277	199	207	155	156	186	153	190	185	198	192
		検挙件数	204	180	178	141	140	151	132	173	160	178	176
		検挙人員	176	167	152	129	101	107	118	137	154	144	160
		検挙率	73.6	90.5	86.0	91.0	89.7	81.2	86.3	91.1	86.5	89.9	91.7
	強制 わいせつ	認知件数	8,751	8,326	7,664	7,137	6,723	7,068	6,929	7,321	7,654	7,400	6,755
		検挙件数	3,797	3,779	3,542	3,555	3,563	3,637	3,550	3,946	3,967	4,300	4,129
		検挙人員	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129	2,189	2,217	2,451	2,487	2,602	2,644
		検挙率	43.4	45.4	46.2	49.8	53.0	51.5	51.2	53.9	51.8	58.1	61.1

(1) 殺人

平成 17 年以降の殺人の認知・検挙件数はともに減少傾向にあり、27 年の認知件数は戦後最少の 933 件、検挙率は 100.5%となった。検挙率は、平成 24 年を除き 95%以上の高水準で推移した。

図表：１－２－１－１－１（殺人認知・検挙状況、被害者数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）	1,392	1,309	1,199	1,301	1,095	1,068	1,052	1,032	938	1,054	933
検挙件数（件）	1,345	1,267	1,157	1,237	1,074	1,029	1,029	963	950	1,010	938
検挙人員（人）	1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	971	899	906	967	913
検挙率（%）	96.6	96.8	96.5	95.1	98.1	96.3	97.8	93.3	101.3	95.8	100.5
被害(死亡)者数(人)	643	619	574	654	506	465	442	429	370	395	363
男性	324	295	292	315	253	228	208	189	179	189	145
女性	319	324	282	339	253	237	234	240	191	206	218

殺人の検挙人員を年齢層別にみると、最多層は 30 歳代又は 40 歳代であったが、人口 10 万人当たりでみると、最多層は 20 歳代又は 30 歳代であった。

図表：１－２－１－１－２（年齢層別殺人検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり殺人検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	971	899	906	967	913
14-19歳	71	73	64	51	53	46	57	47	53	55	62
人口10万人当たり	0.9	1.0	0.9	0.7	0.7	0.6	0.8	0.6	0.7	0.8	0.9
20-29歳	253	215	197	200	187	170	163	142	163	161	136
人口10万人当たり	1.6	1.4	1.3	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.2	1.3	1.1
30-39歳	303	268	294	279	219	192	184	174	178	194	203
人口10万人当たり	1.6	1.4	1.6	1.5	1.2	1.1	1.0	1.0	1.1	1.2	1.3
40-49歳	219	209	185	224	189	181	181	182	182	189	193
人口10万人当たり	1.4	1.3	1.2	1.4	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
50-59歳	247	226	199	199	165	144	141	125	105	109	101
人口10万人当たり	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7
60-69歳	171	167	154	147	136	173	157	129	123	143	106
人口10万人当たり	1.1	1.1	0.9	0.9	0.8	0.9	0.8	0.7	0.7	0.8	0.6
70歳以上	74	83	68	111	87	93	88	100	102	116	112
人口10万人当たり	0.4	0.4	0.3	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5

平成 17 年以降の殺人の検挙件数を被疑者と被害者の関係別にみると、一貫して、面識のある場合が全体の 80%以上を占めた。とりわけ被疑者の年齢が 65 歳以上の場合は面識のある割合が高く、毎年 92%以上を占めた。また、平成 17 年から 27 年までの減少率が最も高いのは職場関係者で、56.8%減少した。

図表：１－２－１－１－３（被疑者の年齢層・被害者との関係別殺人検挙件数 H17-H27 の推移）

被疑者年齢 年次		区分	総計 (件)	面識あり(件)									面識 なし (件)	被害 者なし (件)
				合計	親族間					知人 友人	職場 関係者	その他		
					合計	親	子	配偶者	兄弟 姉妹					
総数	H17	1,224	1,032	541	133	111	218	50	29	273	74	144	189	3
	H18	1,155	1,017	542	154	143	179	38	28	290	71	114	132	6
	H19	1,052	910	506	133	102	192	42	37	251	61	92	137	5
	H20	1,120	990	558	143	130	200	36	49	283	63	86	123	7
	H21	971	857	467	121	116	152	48	30	254	61	75	111	3
	H22	944	834	494	121	101	184	43	45	227	55	58	108	2
	H23	941	822	489	153	104	158	46	28	206	44	83	114	5
	H24	884	773	473	137	114	153	42	27	178	51	71	103	8
	H25	858	764	459	144	98	155	36	26	206	39	60	88	6
	H26	934	794	451	115	110	157	39	30	225	39	79	133	7
	H27	864	754	453	126	112	147	44	24	207	32	62	99	11
14-19歳	H17	52	42	30	17	5	1	4	3	7	1	4	10	0
	H18	56	44	25	15	7	0	3	0	16	0	3	11	1
	H19	45	36	21	8	4	0	3	6	10	0	5	8	1
	H20	40	31	16	9	1	2	1	3	10	1	4	8	1
	H21	45	40	23	13	3	1	5	1	16	0	1	5	0
	H22	39	36	23	9	3	0	7	4	11	1	1	3	0
	H23	46	39	21	11	5	1	3	1	13	1	4	7	0
	H24	38	28	23	13	3	1	5	1	4	0	1	10	0
	H25	40	32	15	7	1	0	2	5	15	0	2	7	1
	H26	41	30	16	8	4	0	2	2	10	1	3	10	1
	H27	58	49	30	14	2	0	6	8	14	2	3	7	2
20-64歳	H17	1,031	859	437	111	91	172	39	24	234	66	122	169	3
	H18	949	830	432	138	112	130	31	21	239	65	94	114	5
	H19	879	754	411	122	85	148	32	24	215	58	70	123	2
	H20	900	792	423	126	104	126	32	35	243	58	68	104	4
	H21	783	681	347	104	84	100	36	23	215	55	64	99	3
	H22	730	631	351	110	66	113	30	32	185	49	46	98	1
	H23	744	644	373	136	68	110	37	22	170	41	60	95	5
	H24	695	601	350	123	82	94	31	20	150	50	51	86	8
	H25	661	584	338	131	73	91	28	15	163	38	45	72	5
	H26	699	581	319	104	66	98	31	20	174	32	56	112	6
	H27	643	552	318	107	80	87	31	13	158	29	47	85	6
65歳以上	H17	141	131	74	5	15	45	7	2	32	7	18	10	0
	H18	150	143	85	1	24	49	4	7	35	6	17	7	0
	H19	128	120	74	3	13	44	7	7	26	3	17	6	2
	H20	180	167	119	8	25	72	3	11	30	4	14	11	2
	H21	143	136	97	4	29	51	7	6	23	6	10	7	0
	H22	175	167	120	2	32	71	6	9	31	5	11	7	1
	H23	151	139	95	6	31	47	6	5	23	2	19	12	0
	H24	151	144	100	1	29	58	6	6	24	1	19	7	0
	H25	157	148	106	6	24	64	6	6	28	1	13	9	0
	H26	194	183	116	3	40	59	6	8	41	6	20	11	0
	H27	163	153	105	5	30	60	7	3	35	1	12	7	3

※ 配偶者には内縁を含む。

※ 解決事件を除く。

※ 犯罪統計上、「被害者なし」には、殺人予備罪のうち被害者が特定されないものが計上されている。

ア 捜査本部設置事件の状況

捜査本部設置事件¹数は減少傾向にあるが、平成 27 年は前年から 10 件・22.2%増加した。

図表：１－２－１－１－ア－１（捜査本部設置・解決状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
設置事件数（件）	123	104	128	122	96	86	59	64	58	45	55
捜査第一課・国際捜査担当課設置	116	98	103	102	88	79	54	59	55	42	51
暴力団犯罪捜査担当課設置	7	6	25	20	8	7	5	5	3	3	4
解決事件数（件）	105	83	106	105	83	75	56	52	48	43	49
捜査第一課・国際捜査担当課設置	97	79	91	85	75	68	53	47	46	41	47
暴力団犯罪捜査担当課設置	8	4	15	20	8	7	3	5	2	2	2

※ 実務統計による。

※ 解決事件数については、解決した年次に計上した。

イ 通り魔殺人事件の状況

通り魔殺人事件²の認知事件数は、平成 17 年以降、20 年の 14 件を除き 8 件以下で推移している。また、認知した事件については全て年内に検挙した。

図表：１－２－１－１－イ－１（通り魔殺人事件の認知・検挙事件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知事件数（件）	6	4	8	14	4	5	6	7	8	8	8
検挙事件数（件）	6	4	8	14	4	5	6	7	8	8	8

※ 実務統計による。

ウ 保険金目的殺人事件の状況

平成 27 年中の保険金目的殺人事件の検挙事件数は 2 件であった。平成 17 年以降、大きな変動はみられない。

図表：１－２－１－１－ウ－１（保険金目的殺人事件の検挙事件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙事件数（件）	2	4	3	2	0	2	2	1	2	3	2

※ 実務統計による。

¹ 捜査本部設置事件とは、殺人、強盗殺人等殺人の絡む事件のうち刑事部長（組織犯罪対策担当部長を含む。）を長とする捜査本部（警視庁については特別捜査本部）を設置した事件をいう。

² 通り魔殺人事件とは、人の自由に入出入りできる場所において、確たる動機がなく通りすがりに不特定の者に対し、凶器を使用するなどして、殺傷等の危害を加える事件をいう。

(2) 強盗

強盗の認知件数、検挙件数・人員はいずれも平成 17 年以降 27 年まで減少傾向にある。検挙率は上昇傾向にあり、平成 27 年は、路上強盗を除き 75%を上回った。

図表：１－２－１－２－１（強盗認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）		5,988	5,108	4,567	4,298	4,535	4,051	3,695	3,691	3,324	3,056	2,426
侵入強盗	侵入強盗	2,205	1,896	1,700	1,649	1,896	1,685	1,494	1,372	1,254	1,195	790
	金融機関強盗	131	149	142	85	85	71	66	35	39	31	33
	住宅強盗	675	498	408	384	348	337	276	265	255	232	190
	コンビニ強盗	664	610	544	611	898	724	631	627	590	607	341
	その他の店舗強盗	587	519	492	479	479	481	444	349	298	273	159
	侵入強盗その他	148	120	114	90	86	72	77	96	72	52	67
	非侵入強盗	3,783	3,212	2,867	2,649	2,639	2,366	2,201	2,319	2,070	1,861	1,636
非侵入強盗	途中強盗	61	53	27	35	35	24	17	20	20	12	7
	タクシー強盗	187	184	187	196	159	117	123	116	81	98	97
	自動車強盗	128	92	65	62	68	49	45	59	44	36	35
	路上強盗	2,192	1,759	1,537	1,449	1,380	1,231	1,122	1,150	1,022	872	708
	非侵入強盗その他	1,215	1,124	1,051	907	997	945	894	974	903	843	789
検挙件数（件）		3,269	3,061	2,790	2,612	2,923	2,516	2,385	2,486	2,236	2,154	1,915
侵入強盗	侵入強盗	1,328	1,201	1,140	1,045	1,220	1,094	995	933	839	867	684
	金融機関強盗	100	106	121	71	73	56	56	30	30	28	26
	住宅強盗	346	285	271	270	212	236	197	199	182	151	155
	コンビニ強盗	399	386	321	350	543	474	414	418	385	430	316
	その他の店舗強盗	288	310	314	282	317	268	275	223	176	215	134
	侵入強盗その他	195	114	113	72	75	60	53	63	66	43	53
	非侵入強盗	1,941	1,860	1,650	1,567	1,703	1,422	1,390	1,553	1,397	1,287	1,231
非侵入強盗	途中強盗	34	29	19	17	21	23	12	12	12	4	9
	タクシー強盗	104	118	119	127	129	87	98	100	72	83	88
	自動車強盗	66	69	51	50	27	38	30	46	35	28	36
	路上強盗	836	788	621	625	665	501	509	559	505	428	400
	非侵入強盗その他	901	856	840	748	861	773	741	836	773	744	698
検挙人員（人）		3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	2,431	2,430	2,255	2,096	1,972
侵入強盗	侵入強盗	1,255	1,107	968	970	1,072	957	886	803	723	729	632
	金融機関強盗	97	108	95	77	74	44	47	31	26	27	24
	住宅強盗	418	331	252	273	213	253	172	198	174	177	173
	コンビニ強盗	266	248	241	253	418	330	315	306	285	281	249
	その他の店舗強盗	296	303	289	289	272	258	269	191	161	206	130
	侵入強盗その他	178	117	91	78	95	72	83	77	77	38	56
	非侵入強盗	2,589	2,228	2,017	1,843	1,997	1,611	1,545	1,627	1,532	1,367	1,340
非侵入強盗	途中強盗	54	54	42	24	31	32	12	10	14	5	11
	タクシー強盗	99	101	121	115	117	98	92	98	73	84	95
	自動車強盗	74	88	67	55	27	41	26	44	45	27	46
	路上強盗	1,285	1,053	855	869	886	593	672	626	636	502	468
	非侵入強盗その他	1,077	932	932	780	936	847	743	849	764	749	720

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙率(%)	54.6	59.9	61.1	60.8	64.5	62.1	64.5	67.4	67.3	70.5	78.9
侵入強盗	60.2	63.3	67.1	63.4	64.3	64.9	66.6	68.0	66.9	72.6	86.6
金融機関強盗	76.3	71.1	85.2	83.5	85.9	78.9	84.8	85.7	76.9	90.3	78.8
住宅強盗	51.3	57.2	66.4	70.3	60.9	70.0	71.4	75.1	71.4	65.1	81.6
コンビニ強盗	60.1	63.3	59.0	57.3	60.5	65.5	65.6	66.7	65.3	70.8	92.7
その他の店舗強盗	49.1	59.7	63.8	58.9	66.2	55.7	61.9	63.9	59.1	78.8	84.3
侵入強盗その他	131.8	95.0	99.1	80.0	87.2	83.3	68.8	65.6	91.7	82.7	79.1
非侵入強盗	51.3	57.9	57.6	59.2	64.5	60.1	63.2	67.0	67.5	69.2	75.2
途中強盗	55.7	54.7	70.4	48.6	60.0	95.8	70.6	60.0	60.0	33.3	128.6
タクシー強盗	55.6	64.1	63.6	64.8	81.1	74.4	79.7	86.2	88.9	84.7	90.7
自動車強盗	51.6	75.0	78.5	80.6	39.7	77.6	66.7	78.0	79.5	77.8	102.9
路上強盗	38.1	44.8	40.4	43.1	48.2	40.7	45.4	48.6	49.4	49.1	56.5
非侵入強盗その他	74.2	76.2	79.9	82.5	86.4	81.8	82.9	85.8	85.6	88.3	88.5

強盗に伴う身体犯¹の認知件数は、平成 17 年以降一貫して減少している。うち強盗殺人・致死については、減少傾向にはあるものの、平成 27 年は前年から 9 件・52.9%増加した。

図表：１－２－１－２－２（強盗に伴う身体犯の認知件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	5,988	5,108	4,567	4,298	4,535	4,051	3,695	3,691	3,324	3,056	2,426
うち強盗に伴う身体犯の認知件数	2,576	2,207	1,932	1,803	1,734	1,558	1,404	1,400	1,199	1,146	933
強盗殺人・致死	66	52	44	44	56	37	34	36	31	17	26
強盗傷人	2,351	2,018	1,752	1,654	1,569	1,424	1,314	1,303	1,098	1,085	875
強盗強姦	159	137	136	105	109	97	56	61	70	44	32

年齢層別に強盗の検挙人員をみると、減少傾向にあった 50 歳代が平成 26 年に増加に転じたが、同年齢層の人口 10 万人当たりでみればほぼ横ばいであった。また、若年層が減少傾向にある中、50 歳以上の人口当たり検挙人員は横ばいであった。

¹ 強盗に伴う身体犯とは、強盗殺人・致死、強盗傷人、強盗強姦とした。

図表：１－２－１－２－３（年齢層別強盗検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり強盗検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	2,431	2,430	2,255	2,096	1,972
14-19歳	1,159	913	786	730	722	576	607	622	556	472	426
人口10万人当たり	14.9	12.0	10.5	9.9	9.9	7.9	8.4	8.6	7.7	6.6	5.9
20-29歳	1,146	1,010	848	758	859	746	693	698	592	580	532
人口10万人当たり	7.3	6.6	5.6	5.1	6.0	5.4	5.1	5.2	4.5	4.5	4.1
30-39歳	625	616	541	490	531	504	414	420	427	369	374
人口10万人当たり	3.4	3.3	2.9	2.6	2.9	2.8	2.3	2.4	2.6	2.3	2.3
40-49歳	413	340	341	391	443	310	336	292	316	313	267
人口10万人当たり	2.6	2.2	2.1	2.4	2.7	1.8	1.9	1.7	1.7	1.7	1.5
50-59歳	309	283	271	244	292	234	184	186	152	156	175
人口10万人当たり	1.6	1.5	1.5	1.4	1.7	1.4	1.2	1.2	1.0	1.0	1.1
60-69歳	155	129	152	158	172	145	153	150	150	145	137
人口10万人当たり	1.0	0.8	0.9	0.9	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
70歳以上	37	44	46	42	50	53	44	62	62	61	61
人口10万人当たり	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3

ア 金融機関等対象強盗事件

金融機関等（銀行、信用金庫・組合、農（漁）業協同組合、郵便局等）対象強盗事件の認知事件数は平成 19 年以降減少傾向にあったが、平成 27 年は、前年から 2 件・6.5%増加した。

発生場所別に 3 年移動平均をみると、郵便局が減少傾向にあるのに対し、銀行は平成 23 年以降ほぼ横ばいであった。

発生時間帯の傾向は年により異なった。

図表：１－２－１－２－ア－１（金融機関等対象強盗事件認知・検挙事件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知事件数(件)	128	146	144	83	80	70	63	35	39	31	33
検挙事件数(件)	97	106	117	62	73	57	51	30	28	27	27

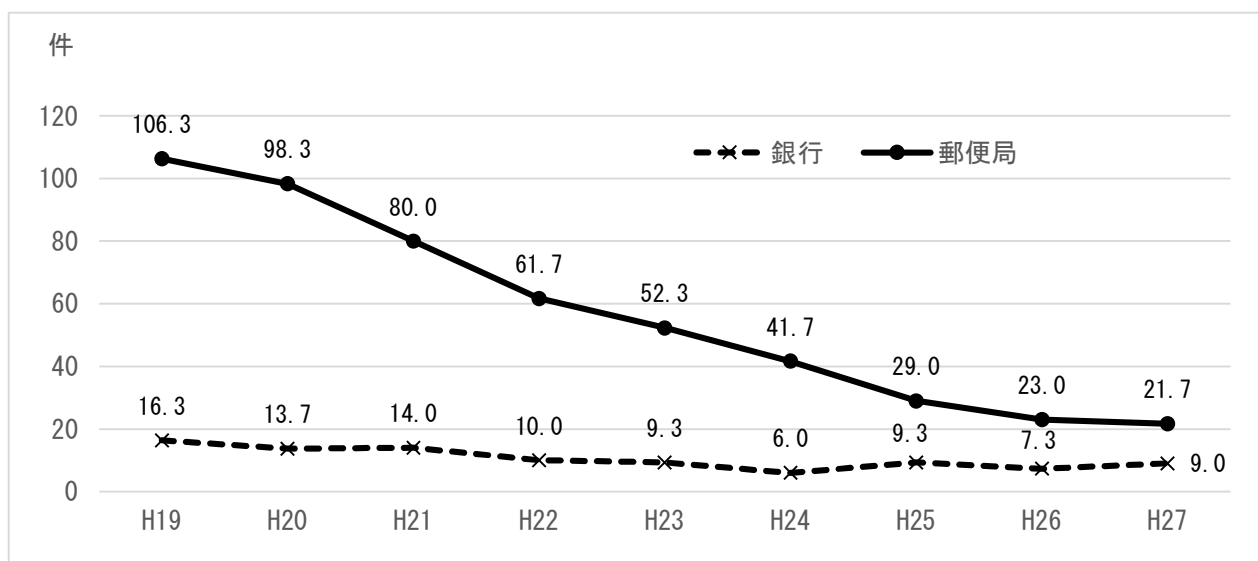
※ 実務統計による。

図表：１－２－１－２－ア－２（発生場所別金融機関等対象強盗事件認知事件数 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知事件数(件)		128	146	144	83	80	70	63	35	39	31	33
銀行		19	14	16	11	15	4	9	5	14	3	10
信用金庫		8	15	9	1	5	6	9	4	5	3	0
信用組合		2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
農(漁)業協同組合		6	2	2	1	2	2	4	0	0	2	1
郵便局		93	113	113	69	58	58	41	26	20	23	22
その他		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 実務統計による。

図表：１－２－１－２－ア－３（銀行・郵便局における金融機関等対象強盗事件
認知事件数３年移動平均 H19-H27 の推移）



図表：１－２－１－２－ア－４（発生時間帯別金融機関等対象強盗事件認知事件数 H26、H27）

時間 年次	0時～	9時～	10時～	11時～	12時～	13時～	14時～	15時～	16時～	17時～	19～0時	計
H26	0	3	6	1	7	3	4	3	3	0	1	31
H27	0	4	3	3	3	7	8	3	1	0	1	33

※ 実務統計による。

イ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件

深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件¹の認知事件数は、平成 22 年以降減少傾向にあったが、26 年は前年から 29 件・5.8%増加した。

図表：１－２－１－２－イ－１（深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件認知・検挙事件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知事件数(件)	561	527	457	514	767	614	540	536	504	533	266
検挙事件数(件)	337	261	218	277	411	359	328	259	247	278	195

※ 実務統計による。

平成 26、27 年における時間帯別発生状況をみると、両年ともに、午前 1 時から 5 時までの間にける発生が 70%以上を占めた。

図表：１－２－１－２－イ－２（発生時間帯別深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件認知事件数 H26、H27）

時間 \ 年次	22時～	23時～	0時～	1時～	2時～	3時～	4時～	5時～	6時～	合計
H26	13	17	30	62	94	163	103	39	12	533
H27	15	18	18	38	50	65	45	11	6	266

※ 実務統計による。

¹ 午後 10 時から翌午前 7 時までの間に、営業中のコンビニエンスストア又はスーパーマーケットの売上金等を目的として敢行される強盗事件をいう。

ウ パちんこ屋・まあじゃん屋等¹を発生場所とする強盗事件

ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件は減少傾向にあり、平成 27 年の認知件数は 17 年から 35 件・68.6%減少した。検挙件数はおおむね減少傾向にあるものの、年により変動があり、検挙率も一定しない。

図表：１－２－１－２－ウ－１（ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	51	36	48	33	33	26	20	12	19	18	16
検挙件数(件)	26	22	35	19	28	23	14	14	11	16	11
検挙人員(人)	28	20	55	29	47	22	27	18	19	22	20
検挙率(%)	51.0	61.1	72.9	57.6	84.8	88.5	70.0	116.7	57.9	88.9	68.8

平成 26、27 年における時間帯別発生状況をそれ以前と比較すると、ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件は、昼間の発生を中心に減少した。

図表：１－２－１－２－ウ－２（発生時間帯別ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件認知件数 H17-H27 の推移）

時間 \ 年次	0-2時	2-4時	4-6時	6-8時	8-10時	10-12時	12-14時	14-16時	16-18時	18-20時	20-22時	22-24時	不明	総数
H17	4	0	0	1	5	1	7	3	5	6	3	7	9	51
H18	3	3	1	0	0	6	2	1	0	6	4	8	2	36
H19	4	2	0	1	1	2	6	4	5	3	9	8	3	48
H20	7	1	1	0	5	1	2	4	0	4	0	6	2	33
H21	9	0	0	0	1	3	2	1	4	2	4	2	5	33
H22	5	2	2	0	2	3	0	4	0	3	3	2	0	26
H23	1	1	0	1	0	1	1	2	2	0	3	8	0	20
H24	1	0	0	0	1	2	0	1	2	1	2	1	1	12
H25	2	0	0	0	1	1	1	1	1	1	5	3	3	19
H26	3	0	0	1	2	0	2	0	2	0	3	4	1	18
H27	0	2	0	0	1	2	0	2	0	2	2	4	1	16

※ 発生時間に幅がある場合は、その始期を計上。

¹ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等とは、ぱちんこ店やまあじゃん店のほか、パチスロ店やスマートボール店等のように設備を設けて客に射幸心をそそるおそれのある遊技をさせる場所をいう。

エ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件

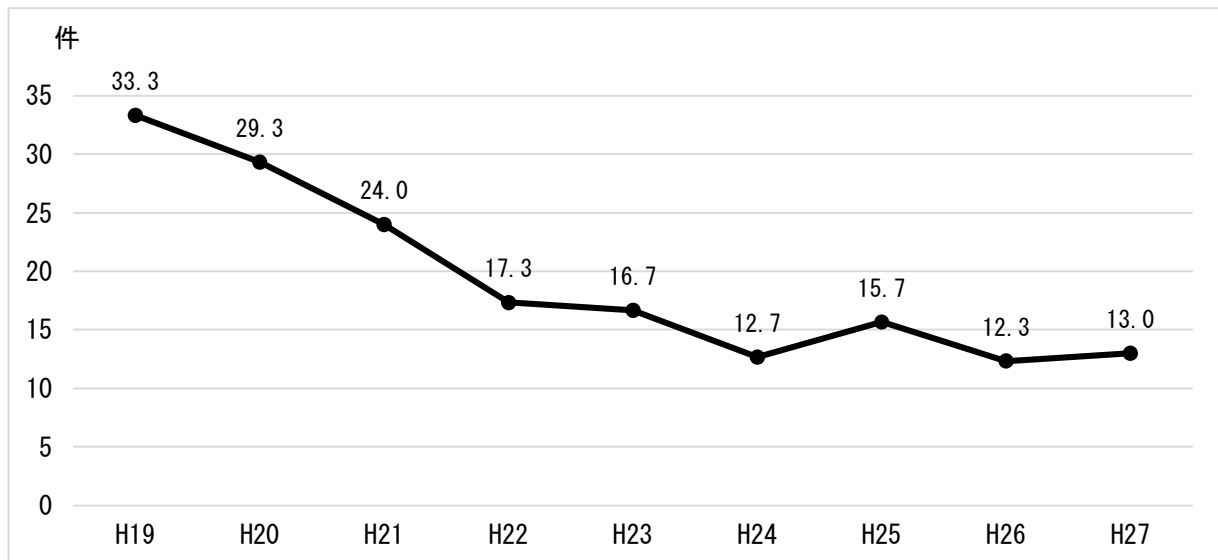
ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知事件数の3年移動平均をみると、平成24年までは減少傾向にあったものの、以後はほぼ横ばいで推移している。発生時間帯の分布は年により異なった。

図表：1-2-1-2-エ-1（ぱちんこ景品買取所対象強盗事件認知・検挙事件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知事件数（件）	32	37	31	20	21	11	18	9	20	8	11
検挙事件数（件）	8	11	11	12	9	5	6	2	4	4	8

※ 実務統計による。

図表：1-2-1-2-エ-2（ぱちんこ景品買取所対象強盗事件認知事件数3年移動平均 H19-H27 の推移）



図表：1-2-1-2-エ-3（発生時間帯別ぱちんこ景品買取所対象強盗事件認知事件数 H26、H27）

時間 \ 年次	8時～	10時～	12時～	14時～	16時～	18時～	20時～	22時～	24時～	合計
H26	0	2	0	1	1	2	0	2	0	8
H27	3	3	0	2	0	0	1	2	0	11

※ 実務統計による。

オ タクシー対象強盗事件

タクシー対象強盗事件の認知事件数は、平成 17 年から減少傾向にあったが、26 年は前年から 19 件・23.5%増加した。

図表：１－２－１－２－オ－１（タクシー対象強盗事件認知・検挙事件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知事件数(件)	196	178	184	196	155	105	119	113	81	100	97
検挙事件数(件)	104	116	117	126	129	76	98	100	72	83	88

※ 実務統計による。

タクシー対象強盗の認知事件数を発生時間帯別にみると、午後 6 時以降の夜間帯に集中していた。

図表：１－２－１－２－オ－２（発生時間帯別タクシー対象強盗事件認知事件数 H26, H27）

時間 \ 年次	0時～	3時～	6時～	9時～	12時～	15時～	18時～	21時～	合計
H26	32	22	4	7	2	3	10	20	100
H27	25	26	16	2	3	3	8	14	97

※ 実務統計による。

(3) 放火

放火の認知件数は平成 17 年から 24 年まで減少傾向にあったが、その後横ばいで推移している。検挙件数は平成 26 年を除いて前年比で減少したが、検挙率は年により高低はあるもののほぼ横ばいであった。

図表：１－２－１－３－１（放火認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）	1,904	1,759	1,519	1,441	1,347	1,212	1,122	1,081	1,086	1,093	1,092
検挙件数（件）	1,361	1,337	1,120	1,054	913	895	880	822	779	837	810
検挙人員（人）	791	825	764	659	631	651	616	592	549	598	591
検挙率（％）	71.5	76.0	73.7	73.1	67.8	73.8	78.4	76.0	71.7	76.6	74.2

検挙人員を年齢層別にみると、14-19 歳及び 50 歳代がほぼ半減したのに対し、70 歳以上は 51.7%増加した。しかし、人口 10 万人当たりでみると、70 歳以上は横ばいであった。

図表：１－２－１－３－２（年齢層別放火検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり放火検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	791	825	764	659	631	651	616	592	549	598	591
14-19歳	86	103	103	66	83	67	68	77	63	83	47
人口10万人当たり	1.1	1.3	1.4	0.9	1.1	0.9	0.9	1.1	0.9	1.2	0.7
20-29歳	141	136	117	125	118	117	102	80	86	88	112
人口10万人当たり	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.6	0.7	0.7	0.9
30-39歳	157	171	149	151	116	135	115	93	110	107	95
人口10万人当たり	0.8	0.9	0.8	0.8	0.6	0.7	0.6	0.5	0.7	0.7	0.6
40-49歳	122	154	156	111	114	132	117	113	107	129	128
人口10万人当たり	0.8	1.0	1.0	0.7	0.7	0.8	0.7	0.6	0.6	0.7	0.7
50-59歳	161	152	137	92	105	96	86	101	75	96	85
人口10万人当たり	0.8	0.8	0.7	0.5	0.6	0.6	0.5	0.6	0.5	0.6	0.6
60-69歳	95	71	67	84	70	63	79	79	76	65	80
人口10万人当たり	0.6	0.5	0.4	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
70歳以上	29	38	35	30	25	41	49	49	32	30	44
人口10万人当たり	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2

(4) 強姦

強姦の認知・検挙件数はともに平成 17 年以降 23 年まで減少傾向にあったが、その後は増減を繰り返した。検挙率は期間を通じて上昇傾向にあり、特に平成 26、27 年はそれぞれ前年比 5.5%、7.5% 上昇し、27 年には 95.5% となった。

図表：１－２－１－４－１（強姦認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	2,076	1,948	1,766	1,590	1,415	1,293	1,193	1,266	1,409	1,250	1,167
検挙件数(件)	1,443	1,460	1,394	1,326	1,163	1,063	993	1,097	1,163	1,100	1,114
検挙人員(人)	1,074	1,058	1,013	951	918	803	768	858	937	919	933
検挙率(%)	69.5	74.9	78.9	83.4	82.2	82.2	83.2	86.7	82.5	88.0	95.5

強姦の検挙件数を被疑者と被害者の面識の有無別にみると、平成 17 年から 25 年までは面識のない場合が過半数を占めていたが、26、27 年は面識のある場合が過半数を占めた。各年、面識のある場合のうちおよそ半数が知人、友人関係にあった。

図表：１－２－１－４－２（被疑者と被害者の関係別強姦検挙件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙件数(件)	1,373	1,379	1,281	1,216	1,068	995	929	1,023	1,084	1,029	1,059
面識なし	854	849	762	686	621	584	542	528	543	505	479
面識あり	519	530	519	530	447	411	387	495	541	524	580
被疑者の知人、友人	245	261	268	267	236	215	189	285	283	272	305
被疑者の職場関係者	62	68	55	72	55	57	53	61	79	73	94
被疑者の親族	45	45	51	54	49	32	43	57	50	60	56
その他	167	156	145	137	107	107	102	92	129	119	125

※ 解決事件を除く。

平成 17 年から 27 年までの強姦の検挙人員を年齢層別にみると、毎年、39 歳以下が全体の 70-80%、29 歳以下が全体の 40-50%程度で推移し、人口 10 万人当たりでみると、20 歳代が最多層であった。

図表：１－２－１－４－３（年齢層別強姦検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり強姦検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	1,074	1,058	1,013	951	918	803	768	858	937	919	933
14-19歳	152	120	129	132	128	123	72	136	135	135	94
人口10万人当たり	1.9	1.6	1.7	1.8	1.8	1.7	1.0	1.9	1.9	1.9	1.3
20-29歳	392	384	367	324	317	275	241	264	305	315	333
人口10万人当たり	2.4	2.5	2.4	2.2	2.2	2.0	1.8	2.0	2.3	2.4	2.6
30-39歳	308	310	278	275	232	231	230	251	244	229	243
人口10万人当たり	1.7	1.6	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.5	1.5	1.4	1.5
40-49歳	118	123	133	120	141	81	123	118	150	145	143
人口10万人当たり	0.7	0.8	0.8	0.7	0.9	0.5	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8
50-59歳	75	81	69	56	57	55	58	50	58	52	71
人口10万人当たり	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	0.5
60歳以上	29	40	37	44	43	38	44	39	45	43	49
人口10万人当たり	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

(5) 強制わいせつ

強制わいせつの認知件数は平成 22 年から 25 年まで微増傾向にあったが、26、27 年は減少した。一方、検挙件数は平成 24 年から 26 年まで増加傾向にあったものの、27 年には減少した。検挙率は、おおむね上昇傾向にあった。

図表：１－２－１－５－１（強制わいせつ認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）	8,751	8,326	7,664	7,137	6,723	7,068	6,929	7,321	7,654	7,400	6,755
検挙件数（件）	3,797	3,779	3,542	3,555	3,563	3,637	3,550	3,946	3,967	4,300	4,129
検挙人員（人）	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129	2,189	2,217	2,451	2,487	2,602	2,644
検挙率（％）	43.4	45.4	46.2	49.8	53.0	51.5	51.2	53.9	51.8	58.1	61.1

強制わいせつの検挙件数を被疑者と被害者の面識の有無別にみると、平成 17 年には面識のない場合が検挙件数の 80%以上を占めた。その後、面識のない場合がほぼ横ばいであるのに対し、面識のある場合が微増傾向にあることから、検挙件数に占める面識のない場合の割合は低下傾向にあり、平成 27 年には 71.7%となった。

図表：１－２－１－５－２（被疑者と被害者の関係別強制わいせつ検挙件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙件数（件）	3,683	3,646	3,387	3,376	3,396	3,470	3,442	3,781	3,809	4,149	3,983
面識なし	3,003	2,846	2,646	2,581	2,632	2,678	2,653	2,869	2,817	3,035	2,857
面識あり	680	800	741	795	764	792	789	912	992	1,114	1,126
被疑者の知人、友人	234	276	272	281	279	314	268	309	388	436	456
被疑者の職場関係者	126	144	147	164	166	151	172	192	199	266	281
被疑者の親族	30	39	49	47	49	37	55	72	68	81	61
その他	290	341	273	303	270	290	294	339	337	331	328

※ 解決事件を除く。

平成 17 年から 27 年までの強制わいせつの検挙人員を年齢層別にみると、毎年、39 歳以下が全体の 60 %強、29 歳以下が全体の 40%弱で推移している。人口 10 万人当たりの検挙人員でみると、平成 27 年は、14-19 歳が 5 年ぶりに最多層となった。

図表：１－２－１－５－３（年齢層別強制わいせつ検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり強制わいせつ検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129	2,189	2,217	2,451	2,487	2,602	2,644
14-19歳	288	246	265	279	284	322	283	342	339	319	385
人口10万人当たり	3.7	3.2	3.5	3.8	3.9	4.4	3.9	4.7	4.7	4.4	5.4
20-24歳	258	274	284	301	256	263	248	264	283	309	308
人口10万人当たり	3.5	3.7	3.9	4.2	3.7	4.0	3.9	4.2	4.6	5.0	5.0
25-29歳	323	319	270	269	276	282	312	337	329	345	337
人口10万人当たり	3.9	4.0	3.5	3.5	3.7	3.8	4.3	4.8	4.8	5.2	5.0
30-39歳	626	581	588	564	519	548	519	600	603	624	615
人口10万人当たり	3.4	3.1	3.1	3.0	2.8	3.0	2.9	3.5	3.6	3.9	3.8
40-49歳	344	342	347	327	330	331	371	372	427	467	433
人口10万人当たり	2.2	2.2	2.2	2.0	2.0	2.0	2.1	2.1	2.4	2.5	2.4
50-59歳	252	272	257	251	226	196	225	242	205	228	252
人口10万人当たり	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3	1.2	1.4	1.5	1.3	1.5	1.6
60-69歳	143	148	153	146	169	173	185	196	206	200	198
人口10万人当たり	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1
70歳以上	52	72	76	82	69	74	74	98	95	110	116
人口10万人当たり	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.5

(6) 略取誘拐・人身売買

略取誘拐・人身売買の認知・検挙件数は、増減を繰り返しているものの、3年移動平均でみると平成24年以降増加傾向にあった。検挙率はおおむね横ばいで推移していたが、平成26、27年はともに前年に比べて上昇し、27年には91.7%となった。

身の代金目的略取誘拐事件の認知・検挙事件数は平成19年以降3件以下で推移しており、認知した事件は全て検挙した。

図表：1-2-1-6-1（略取誘拐・人身売買認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

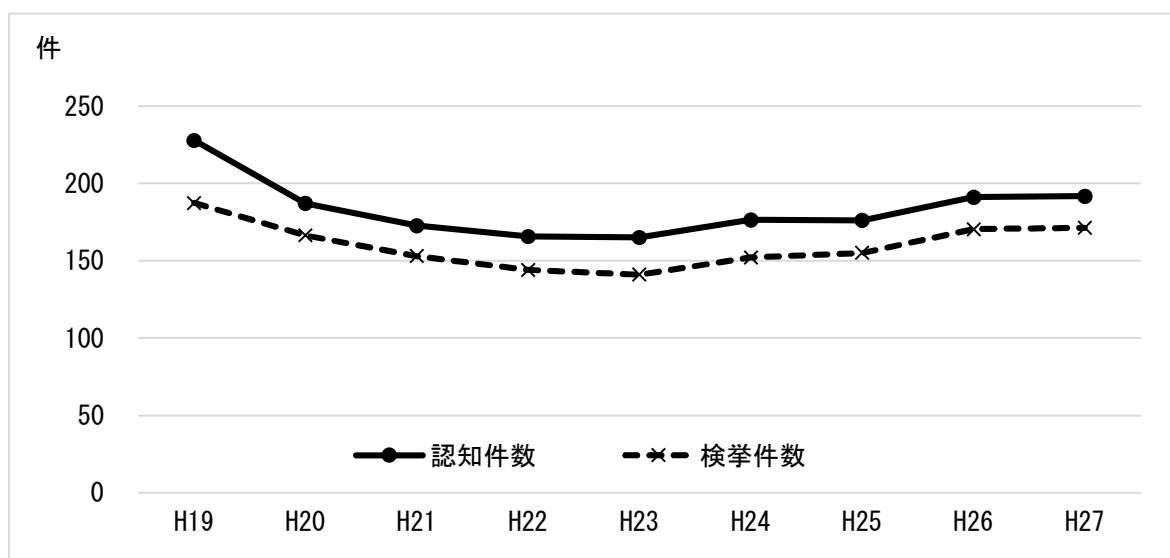
区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	277	199	207	155	156	186	153	190	185	198	192
検挙件数(件)	204	180	178	141	140	151	132	173	160	178	176
検挙人員(人)	176	167	152	129	101	107	118	137	154	144	160
検挙率(%)	73.6	90.5	86.0	91.0	89.7	81.2	86.3	91.1	86.5	89.9	91.7

図表 1-2-1-6-2（身の代金目的略取誘拐認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知事件数(件)	6	6	2	3	2	2	0	1	2	1	2
検挙事件数(件)	6	6	2	3	2	2	0	1	2	1	2
検挙人数(人)	21	21	7	13	7	5	0	1	4	1	12

※ 実務統計による。

図表：1-2-1-6-3（略取誘拐・人身売買認知・検挙件数3年移動平均 H19-H27 の推移）



略取誘拐・人身売買の認知件数を被害者の年齢層別にみると、平成 21 年以降毎年 19 歳以下が 80% 以上を占めていたが、27 年には 7 年ぶりに下回り、77.5% となった。同様に、12 歳以下は平成 23 年以降半数以上を占めていたが、27 年には 5 年ぶりに下回り、44.0% となった。

図表：１－２－１－６－４（被害者の年齢層別略取誘拐・人身売買認知件数 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）	277	199	207	155	156	186	153	190	185	198	191
19歳以下	215	145	144	111	126	149	123	156	157	159	148
うち12歳以下	104	86	82	63	77	91	86	95	94	109	84
20-29歳	37	46	37	23	23	26	21	25	19	25	22
30-39歳	15	6	16	14	5	9	5	4	3	7	13
40-49歳	4	1	6	4	1	1	2	4	3	3	6
50-59歳	4	1	2	0	0	0	2	1	1	2	1
60歳以上	2	0	2	3	1	1	0	0	2	2	1

※ 認知件数は、被害者の年齢が判明しているものに限る。

2 重要窃盗犯

平成 17 年以降、重要窃盗犯の認知・検挙件数は一貫して減少しており、27 年の認知件数は 17 年から 23 万 409 件・68.0%減の 10 万 8,558 件、検挙件数は 7 万 6,282 件・57.2%減の 5 万 7,108 件となった。検挙率は、平成 19 年以降 50±4 %程度で推移しており、26、27 年はそれぞれ 51.5%、52.6%と 2 年連続で 50%を超えた。

図表：1－2－2－0－1（重要窃盗犯認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分		年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
重要窃盗	重要窃盗	認知件数(件)	338,967	282,047	241,425	210,530	201,037	181,567	169,653	152,219	142,259	120,488	108,558
		検挙件数(件)	133,390	127,901	124,158	112,607	102,130	86,596	81,364	75,879	67,521	61,999	57,108
		検挙人員(人)	18,719	18,098	16,857	15,455	15,159	14,717	14,386	13,126	12,052	10,958	10,328
		検挙率(%)	39.4	45.3	51.4	53.5	50.8	47.7	48.0	49.8	47.5	51.5	52.6
	侵入窃盗	認知件数	244,776	205,463	175,728	155,270	148,771	136,749	126,382	115,328	107,313	93,566	86,373
		検挙件数	104,454	100,824	96,266	87,047	81,545	70,307	65,270	62,298	53,914	50,500	46,786
		検挙人員	12,564	12,434	12,037	11,079	10,852	10,766	10,586	9,719	9,063	8,231	7,820
		検挙率	42.7	49.1	54.8	56.1	54.8	51.4	51.6	54.0	50.2	54.0	54.2
	うち 空き巣	認知件数	111,700	91,461	76,894	67,526	59,350	54,536	46,899	43,661	40,716	34,171	31,430
		検挙件数	45,611	43,106	40,893	37,432	34,466	28,364	25,282	22,459	19,504	17,271	16,638
		検挙人員	3,477	3,403	3,120	2,900	2,973	2,927	2,740	2,552	2,383	2,246	2,089
		検挙率	40.8	47.1	53.2	55.4	58.1	52.0	53.9	51.4	47.9	50.5	52.9
	うち 忍込み	認知件数	24,159	22,442	21,154	18,827	17,465	16,184	16,409	13,649	13,790	11,188	12,251
		検挙件数	12,362	13,143	11,344	10,098	11,617	9,732	8,773	8,320	7,083	6,340	7,538
		検挙人員	741	810	784	726	642	615	678	673	600	554	499
		検挙率	51.2	58.6	53.6	53.6	66.5	60.1	53.5	61.0	51.4	56.7	61.5
	うち 居空き	認知件数	7,086	6,120	5,442	4,842	4,788	3,932	3,700	3,702	3,315	2,761	2,410
		検挙件数	2,513	2,468	2,254	2,070	2,074	1,784	1,491	1,712	1,293	1,246	1,170
		検挙人員	657	617	558	556	555	530	512	446	398	318	368
		検挙率	35.5	40.3	41.4	42.8	43.3	45.4	40.3	46.2	39.0	45.1	48.5
	自動車盗	認知件数	46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821
		検挙件数	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557	8,433	8,377	7,556	7,857	6,689	6,755
		検挙人員	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	1,856	1,708	1,484	1,375	1,224
		検挙率	31.9	36.9	42.5	45.4	36.8	35.2	33.2	35.4	36.5	41.5	48.9
	ひったくり	認知件数	32,017	26,828	23,687	19,165	19,053	14,587	12,493	10,097	7,909	6,201	4,142
		検挙件数	10,406	10,090	11,321	11,229	9,051	6,323	6,327	4,647	4,186	3,684	2,405
		検挙人員	1,851	1,652	1,524	1,251	1,438	1,191	1,098	861	740	680	559
		検挙率	32.5	37.6	47.8	58.6	47.5	43.3	50.6	46.0	52.9	59.4	58.1
	すり	認知件数	15,446	13,698	10,220	8,427	7,253	6,261	5,540	5,475	5,508	4,617	4,222
		検挙件数	3,632	3,699	3,064	1,762	1,977	1,533	1,390	1,378	1,564	1,126	1,162
		検挙人員	938	956	916	897	824	923	846	838	765	672	725
		検挙率	23.5	27.0	30.0	20.9	27.3	24.5	25.1	25.2	28.4	24.4	27.5

(1) 侵入窃盗

平成 17 年以降、侵入窃盗の認知・検挙件数は一貫して減少しており、27 年は、17 年に比べ、認知件数が 15 万 8,403 件・64.7%、検挙件数が 5 万 7,668 件・55.2%減少した。平成 27 年の検挙率 54.2%は、17 年以降では、20 年の 56.1%、19 及び 21 年の 54.8%に次いで高い水準であった。

侵入窃盗を発生場所別にみると、毎年、侵入窃盗の約 6 割が住宅で発生していた。住宅において発生した侵入窃盗の認知件数は、平成 17 年から 27 年までの間、一貫して減少した。検挙件数は、平成 17 年以降 26 年まで一貫して減少したが、27 年は前年から 466 件・1.7%増加した。

図表：１－２－２－１－１（住宅で発生した侵入窃盗認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分											
認知件数(件)	244,776	205,463	175,728	155,270	148,771	136,749	126,382	115,328	107,313	93,566	86,373
うち住宅発生	146,243	123,403	106,700	94,675	85,409	78,692	71,444	65,688	62,984	52,511	50,995
検挙件数(件)	104,454	100,824	96,266	87,047	81,545	70,307	65,270	62,298	53,914	50,500	46,786
うち住宅発生	61,414	59,778	55,677	50,973	49,600	41,690	37,687	34,906	30,683	27,410	27,876
検挙人員(人)	12,564	12,434	12,037	11,079	10,852	10,766	10,586	9,719	9,063	8,231	7,820
検挙率(%)	42.7	49.1	54.8	56.1	54.8	51.4	51.6	54.0	50.2	54.0	54.2
うち住宅発生	42.0	48.4	52.2	53.8	58.1	53.0	52.8	53.1	48.7	52.2	54.7

住宅で発生した侵入窃盗について、手口別に認知件数の推移をみると、空き巣が一貫して減少し、平成 17 年から 27 年までの間に 8 万 84 件・71.9%減となったのに対し、忍込みは 1 万 1,570 件・48.7%減にとどまった。

さらに、住宅形態別にみると、空き巣や忍込みについては 4 階建以上の共同住宅における発生が大きく減少したのに対し、居空きについては住宅形態による差はほとんどみられなかった。また、空き巣は一戸建住宅が占める割合が上昇し、4 階建以上の共同住宅の割合が低下したが、忍込みや居空きにおいては空き巣ほど顕著な傾向はみられなかった。

なお、総務省の住宅・土地統計調査（平成 25 年）によれば、住宅数約 5,210 万のうち、一戸建住宅は 2,860 万、4 階建以上住宅の共同住宅は 1,300 万、その他は 1,050 万であるから、一戸建住宅の被害率は総じて高いといえる。

図表：１－２－２－１－２（住宅で発生した侵入窃盗の手口・住宅形態別認知件数 H17-H27 の推移）

年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分											
住宅発生認知件数(件)	146,243	123,403	106,700	94,675	85,409	78,692	71,444	65,688	62,984	52,511	50,995
空き巣	111,458	91,329	76,755	67,417	59,247	54,463	46,801	43,585	40,619	34,116	31,374
一戸建住宅	58,489	47,692	41,394	37,857	35,097	31,997	28,934	26,736	26,305	21,398	19,875
4 階建以上共同住宅	20,145	14,869	12,664	9,163	6,689	6,385	4,765	4,327	3,866	3,306	3,048
3 階建以下共同住宅	32,824	28,768	22,697	20,397	17,461	16,081	13,102	12,522	10,448	9,412	8,451
忍込み	23,739	22,121	20,860	18,566	17,287	16,059	16,259	13,516	13,683	11,098	12,169
一戸建住宅	19,154	18,091	17,181	15,057	14,522	13,554	13,787	11,159	11,212	9,226	10,515
4 階建以上共同住宅	1,854	1,343	974	925	798	712	688	677	792	499	443
3 階建以下共同住宅	2,731	2,687	2,705	2,584	1,967	1,793	1,784	1,680	1,679	1,373	1,211
居空き	6,968	6,029	5,356	4,787	4,721	3,893	3,661	3,655	3,272	2,730	2,381
一戸建住宅	5,292	4,631	4,024	3,676	3,711	2,947	2,757	2,668	2,512	2,079	1,770
4 階建以上共同住宅	547	442	419	287	336	294	295	289	254	228	199
3 階建以下共同住宅	1,129	956	913	824	674	652	609	698	506	423	412
その他	4,078	3,924	3,729	3,905	4,154	4,277	4,723	4,932	5,410	4,567	5,071
一戸建住宅	2,602	2,741	2,537	2,644	2,740	2,843	3,175	3,316	3,859	3,332	3,742
4 階建以上共同住宅	318	222	323	308	308	321	297	335	375	308	289
3 階建以下共同住宅	1,158	961	869	953	1,106	1,113	1,251	1,281	1,176	927	1,040

平成 26、27 年の認知件数を侵入口・発生場所別にみると、一戸建住宅及び 3 階建以下の共同住宅では窓からの侵入が半数以上を占め、その 6 割近くがガラスを破って侵入していた。一方、4 階建以上の共同住宅では、窓からの侵入は約 4 割にとどまっており、表出入口からの侵入がおよそ半数を占めた。

住宅以外に対する侵入窃盗については、表出入口からの侵入が 4 割以上を占め、うち半数前後をガラス破りと無締りが占めた。

図表：１－２－２－１－３（発生場所・侵入口・侵入方法別侵入窃盗認知件数 H26）

		総数	無締り	ガラス破り	施錠開け					ドア錠破り	戸外し	その他	不明
					小計	ピッキング	サムターン回し	合かぎ	その他				
一戸建住宅	認知件数(件)	36,035	16,662	13,130	1,150	8	90	545	507	1,130	270	1,755	1,938
	表出入口	6,636	4,698	369	636	2	22	471	141	617	19	168	129
	非常口	48	20	15	3	0	1	0	2	4	0	6	0
	その他の出入口	5,852	3,073	1,468	280	5	36	70	169	388	25	499	119
	窓	20,414	7,696	11,117	218	1	30	1	186	114	216	907	146
	その他	670	296	159	10	0	1	1	8	7	10	158	30
	不明	2,415	879	2	3	0	0	2	1	0	0	17	1,514
4階建以上 共同住宅	認知件数	4,341	1,867	1,010	681	4	21	551	105	58	1	183	541
	表出入口	2,015	1,092	13	645	4	15	547	79	47	0	75	143
	非常口	8	4	2	1	0	0	1	0	0	0	1	0
	その他の出入口	63	25	13	4	0	0	3	1	3	0	14	4
	窓	1,783	694	968	30	0	6	0	24	7	0	61	23
	その他	62	13	14	1	0	0	0	1	1	1	29	3
	不明	410	39	0	0	0	0	0	0	0	0	3	368
3階建以下 共同住宅	認知件数	12,135	5,296	4,319	960	7	89	674	190	236	45	411	868
	表出入口	3,846	2,456	69	854	5	78	657	114	180	4	118	165
	非常口	15	12	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0
	その他の出入口	417	191	107	31	1	3	14	13	18	4	43	23
	窓	6,853	2,428	4,080	67	1	8	0	58	38	33	146	61
	その他	239	71	60	4	0	0	1	3	0	4	95	5
	不明	765	138	2	2	0	0	1	1	0	0	9	614
一般事務所 ※1	認知件数	12,582	3,228	5,038	1,210	5	48	827	330	1,204	137	1,185	580
	表出入口	5,256	1,464	1,376	948	4	28	706	210	820	43	474	131
	非常口	134	30	34	24	0	5	12	7	29	1	12	4
	その他の出入口	2,389	829	734	173	1	9	100	63	314	13	271	55
	窓	3,913	742	2,791	45	0	4	0	41	29	73	198	35
	その他	462	91	102	16	0	2	7	7	11	7	223	12
	不明	428	72	1	4	0	0	2	2	1	0	7	343
商店 ※2	認知件数	7,742	1,699	2,898	548	4	32	360	152	934	150	1,204	309
	表出入口	3,303	687	1,118	359	2	21	264	72	470	31	571	67
	非常口	143	34	34	13	0	1	9	3	32	0	26	4
	その他の出入口	2,112	546	586	150	2	7	83	58	419	62	294	55
	窓	1,700	367	1,085	19	0	3	0	16	10	54	153	12
	その他	282	44	74	7	0	0	4	3	3	3	147	4
	不明	202	21	1	0	0	0	0	0	0	0	13	167
生活環境営業 ※3	認知件数	8,728	2,069	2,530	1,033	7	44	727	255	1,488	115	1,039	454
	表出入口	4,034	940	876	702	4	29	522	147	871	43	477	125
	非常口	187	64	30	18	0	2	14	2	49	1	20	5
	その他の出入口	2,502	546	665	291	3	13	186	89	553	21	368	58
	窓	1,561	438	922	14	0	0	0	14	11	49	111	16
	その他	151	40	36	4	0	0	1	3	4	1	57	9
	不明	293	41	1	4	0	0	4	0	0	0	6	241

※1 一般事務所とは、その他の会社・事務所とした。

※2 商店とは、デパート、総合スーパー、ホームセンター、家電量販店、コンビニエンスストア、ドラッグストア、その他のスーパーマーケット、レンタルビデオ店、貴金属店、古物店、給油所及びその他の商店（平成20年以前は、総合スーパー、ホームセンター、家電量販店の区分はない。）とした。

※3 生活環境営業とは、一般ホテル・旅館、サウナ等公衆浴場、コインランドリー、映画館劇場等、ぱちんこ屋・まあじゃん屋等、景品交換所、ゲームセンター、その他の風俗営業店、個室付浴場、モーター・ラブホテル等、その他の店舗型風俗特殊営業店、カラオケボックス、マンガ喫茶・インターネットカフェ、深夜飲食店、その他の飲食店（平成20年以前は、コインランドリー、カラオケボックス、マンガ喫茶・インターネットカフェの区分はない。）

図表：１－２－２－１－４（発生場所・侵入口・侵入方法別侵入窃盗認知件数 H27）

		総数	無締り	ガラス破り	施錠開け					ドア錠破り	戸外し	その他	不明
					小計	ピッキング	サムターン回し	合かぎ	その他				
一戸建住宅	認知件数(件)	35,902	16,699	13,255	1,241	8	74	593	566	1,005	250	1,692	1,760
	表出入口	6,132	4,296	351	669	2	18	514	135	478	20	187	131
	非常口	46	10	19	2	0	0	0	2	3	0	9	3
	その他の出入口	6,596	3,618	1,536	331	2	37	74	218	378	32	615	86
	窓	19,828	7,260	11,130	217	3	19	1	194	136	192	720	173
	その他	812	396	218	19	1	0	3	15	10	6	142	21
	不明	2,488	1,119	1	3	0	0	1	2	0	0	19	1,346
4階建以上 共同住宅	認知件数	3,979	1,643	765	792	15	62	614	101	72	4	179	524
	表出入口	2,024	973	8	760	15	58	612	75	63	1	95	124
	非常口	7	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の出入口	57	32	9	1	0	0	0	1	4	0	8	3
	窓	1,413	571	724	26	0	4	1	21	5	3	55	29
	その他	63	23	21	4	0	0	1	3	0	0	13	2
	不明	415	40	0	1	0	0	0	1	0	0	8	366
3階建以下 共同住宅	認知件数	11,114	4,964	3,865	1,021	19	47	709	246	183	34	315	732
	表出入口	3,641	2,250	76	917	19	38	698	162	115	5	126	152
	非常口	26	12	7	1	0	0	0	1	6	0	0	0
	その他の出入口	353	185	90	16	0	0	7	9	23	1	22	16
	窓	6,319	2,338	3,648	79	0	9	0	70	37	27	123	67
	その他	169	70	44	7	0	0	3	4	2	1	38	7
	不明	606	109	0	1	0	0	1	0	0	0	6	490
一般事務所 ※ 1	認知件数	11,103	2,755	4,388	1,176	7	33	755	381	1,060	161	1,009	554
	表出入口	4,720	1,292	1,154	876	2	23	650	201	763	60	439	136
	非常口	108	22	33	10	0	1	7	2	32	1	9	1
	その他の出入口	1,959	629	577	231	3	5	94	129	232	22	221	47
	窓	3,496	635	2,530	47	1	4	0	42	23	72	161	28
	その他	396	99	93	7	1	0	0	6	9	6	169	13
	不明	424	78	1	5	0	0	4	1	1	0	10	329
商店 ※ 2	認知件数	6,439	1,465	2,433	464	0	24	312	128	832	94	897	254
	表出入口	2,599	566	885	272	0	16	194	62	374	22	417	63
	非常口	129	33	28	15	0	0	6	9	34	2	13	4
	その他の出入口	1,885	452	524	154	0	6	110	38	410	20	283	42
	窓	1,472	354	934	20	0	2	0	18	9	44	97	14
	その他	192	34	61	2	0	0	1	1	5	6	81	3
	不明	162	26	1	1	0	0	1	0	0	0	6	128
生活環境営業 ※ 3	認知件数	7,205	1,906	2,047	945	3	34	677	231	1,023	90	789	405
	表出入口	3,006	787	621	634	2	15	492	125	528	30	287	119
	非常口	229	72	43	27	0	2	17	8	57	2	24	4
	その他の出入口	2,050	460	554	258	0	16	161	81	423	13	286	56
	窓	1,520	512	798	15	1	0	0	14	10	42	131	12
	その他	148	41	30	6	0	0	4	2	5	3	59	4
	不明	252	34	1	5	0	1	3	1	0	0	2	210

※ 1～※ 3 は、図表：１－２－２－１－３の※ 1～※ 3 に同じ。

侵入窃盗の検挙人員について年齢層別にみると、平成 17 年には 29 歳以下が半数を占めていたが、27 年には 42.8%まで減少した。人口 10 万人当たりの検挙人員の推移をみると、14-19 歳が大きく減少したのに対し、20 歳代はあまり減少しなかった。

図表：１－２－２－１－５（年齢層別侵入窃盗検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり侵入窃盗検挙人員 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）		12,564	12,434	12,037	11,079	10,852	10,766	10,586	9,719	9,063	8,231	7,820
14-19歳		3,044	2,670	2,464	2,177	2,302	2,115	2,116	1,710	1,560	1,307	1,182
人口10万人当たり		39.0	35.0	33.0	29.6	31.6	29.1	29.1	23.6	21.6	18.2	16.5
20-29歳		3,209	3,292	3,148	2,778	2,751	2,911	2,782	2,604	2,445	2,294	2,168
人口10万人当たり		20.4	21.5	20.9	18.9	19.1	20.9	20.5	19.5	18.7	17.8	16.8
30-39歳		2,425	2,589	2,490	2,249	2,168	2,051	2,024	1,928	1,746	1,623	1,535
人口10万人当たり		13.1	13.7	13.3	12.1	11.8	11.2	11.4	11.2	10.5	10.1	9.5
40-49歳		1,686	1,654	1,612	1,582	1,524	1,553	1,504	1,530	1,424	1,323	1,294
人口10万人当たり		10.6	10.6	10.1	9.8	9.3	9.2	8.7	8.7	7.9	7.2	7.0
50-59歳		1,428	1,446	1,460	1,369	1,231	1,175	1,162	971	898	834	773
人口10万人当たり		7.5	7.5	7.9	7.8	7.3	7.2	7.3	6.2	5.8	5.4	5.0
60-69歳		595	619	645	699	679	747	757	735	726	630	605
人口10万人当たり		3.7	3.9	4.0	4.1	3.8	4.1	4.1	4.0	4.0	3.5	3.3
70歳以上		177	164	218	225	197	214	241	241	264	220	263
人口10万人当たり		1.0	0.9	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	0.9	1.1

(2) 自動車盗

自動車盗の認知・検挙件数は平成 17 年以降減少傾向にあり、27 年は、17 年に比べ、認知件数が 3 万 2,907 件・70.4%、検挙件数が 8,143 件・54.7%減少した。平成 27 年の検挙率 48.9%は、17 年以降最も高いものであった。

平成 27 年の認知件数を鍵の状態別¹にみると、「キーあり」の割合は全体の 25.5%で、この割合は 17 年以降微減傾向にある。同様に検挙状況をみると、平成 17 年以降は毎年、「キーなし」の検挙人員 1 人当たりの検挙件数は、「キーあり」の検挙人員 1 人当たりの検挙件数より多い。また、検挙率は、「キーあり」が「キーなし」に比べて高い傾向がみられた。

図表：1-2-2-2-1（鍵の状態別自動車盗認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821
キーあり	13,186	10,355	8,695	7,663	7,066	6,396	6,362	5,537	5,149	4,279	3,523
キーなし	33,542	25,703	23,095	20,005	18,894	17,574	18,876	15,782	16,380	11,825	10,298
検挙件数(件)	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557	8,433	8,377	7,556	7,857	6,689	6,755
キーあり	4,928	4,151	3,746	3,342	2,894	2,655	2,492	2,285	2,339	1,894	1,864
キーなし	9,970	9,137	9,761	9,227	6,663	5,778	5,885	5,271	5,518	4,795	4,891
検挙人員(人)	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	1,856	1,708	1,484	1,375	1,224
キーあり	2,097	1,906	1,491	1,320	1,304	1,177	1,206	1,119	1,002	854	775
キーなし	1,269	1,150	889	908	741	660	650	589	482	521	449
検挙率(%)	31.9	36.9	42.5	45.4	36.8	35.2	33.2	35.4	36.5	41.5	48.9
キーあり	37.4	40.1	43.1	43.6	41.0	41.5	39.2	41.3	45.4	44.3	52.9
キーなし	29.7	35.5	42.3	46.1	35.3	32.9	31.2	33.4	33.7	40.5	47.5

¹ 「キーあり」とは、当該自動車又はオートバイのエンジンキー（イグニッションキー）が、メインスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいい、「キーなし」とはそれ以外の場合をいう。

平成 27 年の認知件数を鍵の状態・発生場所別にみると、「キーあり」では 37.1%が、「キーなし」では 45.6%が駐車（輪）場での発生であった。道路上における被害は、「キーあり」が 11.6%であるのに対し、「キーなし」は 3.1%にとどまった。平成 17 年以降、駐車（輪）場及び道路上における被害割合が減少傾向にあるのに対し、住宅における被害割合は増加傾向にある。

図表：１－２－２－２－２（鍵の状態・発生場所別自動車盗認知件数 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
キーあり 認知件数（件）		13,186	10,355	8,695	7,663	7,066	6,396	6,362	5,537	5,149	4,279	3,523
	駐車（輪）場	5,979	4,746	4,212	3,460	3,324	2,887	2,965	2,221	1,960	1,562	1,307
	道路上	2,859	2,048	1,441	1,343	1,109	907	860	749	673	502	410
	住宅	1,366	1,097	967	837	871	871	830	936	917	836	713
	その他	2,982	2,464	2,075	2,023	1,762	1,731	1,707	1,631	1,599	1,379	1,093
キーなし 認知件数（件）		33,542	25,703	23,095	20,005	18,894	17,574	18,876	15,782	16,380	11,825	10,298
	駐車（輪）場	23,057	17,600	15,323	12,777	12,163	10,378	11,642	8,716	8,621	5,598	4,696
	道路上	2,660	1,780	1,416	1,325	1,021	821	762	589	542	415	316
	住宅	3,356	2,361	2,407	1,985	2,041	2,241	2,501	2,754	2,647	2,337	2,384
	その他	4,469	3,962	3,949	3,918	3,669	4,134	3,971	3,723	4,570	3,475	2,902

被害額別に認知件数をみると、平成 17 年から 23 年までは 200 万円未満の被害が全体の 7 割を超えていたが、24 年以降は下回った。

図表：１－２－２－２－３（被害額別自動車盗認知件数 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）		46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821
	200万円未満（件）	33,972	26,873	23,756	21,488	19,475	17,123	17,984	14,885	14,604	11,125	9,312
割合（%）		72.7	74.5	74.7	77.7	75.0	71.4	71.3	69.8	67.8	69.1	67.4
	200万円～300万円未満	5,982	3,957	3,631	2,531	2,667	2,801	3,118	2,708	2,572	1,777	1,468
割合		12.8	11.0	11.4	9.1	10.3	11.7	12.4	12.7	11.9	11.0	10.6
	300万円以上	4,696	3,551	3,011	2,365	2,544	2,686	2,710	2,443	2,596	1,936	1,701
割合		10.0	9.8	9.5	8.5	9.8	11.2	10.7	11.5	12.1	12.0	12.3
	被害なし 又は 被害額認定困難	2,078	1,677	1,392	1,284	1,274	1,360	1,426	1,283	1,757	1,266	1,340

鍵の状態別に被害自動車の還付率をみると、「キーあり」の還付率は平成 24 年以降微増傾向にあったのに対し、「キーなし」の還付率は年による変動があり、「キーあり」に比べて低い傾向がみられた。

図表：１－２－２－２－４（鍵の状態別自動車盗被害車両還付状況 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
キーあり	認知件数（件）	13,186	10,355	8,695	7,663	7,066	6,396	6,362	5,537	5,149	4,279	3,523
	還付件数（件）	5,992	5,104	4,019	3,520	3,152	2,691	2,510	2,300	2,107	1,813	1,610
	還付率（%）	45.4	49.3	46.2	45.9	44.6	42.1	39.5	41.5	40.9	42.4	45.7
キーなし	認知件数	33,542	25,703	23,095	20,005	18,894	17,574	18,876	15,782	16,380	11,825	10,298
	還付件数	8,089	6,690	5,774	4,894	4,277	3,417	3,324	3,094	2,716	2,636	1,998
	還付率	24.1	26.0	25.0	24.5	22.6	19.4	17.6	19.6	16.6	22.3	19.4

※ 還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

検挙人員を年齢層別にみると、平成 17 年から 27 年まで毎年 14-19 歳が最多層であり、年齢層別人口 10 万人当たりの検挙人員についても同様であった。

図表：１－２－２－２－５（年齢層別自動車盗検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり自動車盗検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	1,856	1,708	1,484	1,375	1,224
14-19歳	960	867	678	519	508	466	527	441	439	381	291
人口10万人当たり	12.3	11.4	9.1	7.0	7.0	6.4	7.3	6.1	6.1	5.3	4.1
20-29歳	771	642	496	446	422	371	367	342	284	251	251
人口10万人当たり	4.9	4.2	3.3	3.0	2.9	2.7	2.7	2.6	2.2	1.9	1.9
30-39歳	722	678	477	474	439	369	350	322	271	259	246
人口10万人当たり	3.9	3.6	2.5	2.5	2.4	2.0	2.0	1.9	1.6	1.6	1.5
40-49歳	452	439	348	367	352	316	304	286	239	240	213
人口10万人当たり	2.8	2.8	2.2	2.3	2.1	1.9	1.8	1.6	1.3	1.3	1.2
50-59歳	332	303	265	284	211	200	188	186	145	143	131
人口10万人当たり	1.7	1.6	1.4	1.6	1.3	1.2	1.2	1.2	0.9	0.9	0.8
60歳以上	129	127	116	138	113	115	120	131	106	101	92
人口10万人当たり	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2

各年齢層について「キーあり」の構成割合をみると、14-19 歳は「キーあり」を対象とする割合が高く、中年層ほど低い傾向がみられた。

図表：１－２－２－２－６（自動車盗検挙人員の年齢層別「キーあり」率 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	1,856	1,708	1,484	1,375	1,224
うちキーあり	2,097	1,906	1,491	1,320	1,304	1,177	1,206	1,119	1,002	854	775
構成率（％）	62.3	62.4	62.6	59.2	63.8	64.1	65.0	65.5	67.5	62.1	63.3
14-19歳	960	867	678	519	508	466	527	441	439	381	291
うちキーあり	674	590	483	382	404	361	419	353	375	293	241
構成率	70.2	68.1	71.2	73.6	79.5	77.5	79.5	80.0	85.4	76.9	82.8
20-29歳	771	642	496	446	422	371	367	342	284	251	251
うちキーあり	431	357	277	227	233	228	222	200	165	151	139
構成率	55.9	55.6	55.8	50.9	55.2	61.5	60.5	58.5	58.1	60.2	55.4
30-39歳	722	678	477	474	439	369	350	322	271	259	246
うちキーあり	391	391	276	227	234	198	192	189	149	148	128
構成率	54.2	57.7	57.9	47.9	53.3	53.7	54.9	58.7	55.0	57.1	52.0
40-49歳	452	439	348	367	352	316	304	286	239	240	213
うちキーあり	298	285	212	211	225	174	170	172	145	124	122
構成率	65.9	64.9	60.9	57.5	63.9	55.1	55.9	60.1	60.7	51.7	57.3
50-59歳	332	303	265	284	211	200	188	186	145	143	131
うちキーあり	204	206	179	185	144	139	130	120	101	79	81
構成率	61.4	68.0	67.5	65.1	68.2	69.5	69.1	64.5	69.7	55.2	61.8
60歳以上	129	127	116	138	113	115	120	131	106	101	92
うちキーあり	99	77	64	88	64	77	73	85	67	59	64
構成率	76.7	60.6	55.2	63.8	56.6	67.0	60.8	64.9	63.2	58.4	69.6

(3) ひったくり

ひったくりの認知件数は平成 17 年以降一貫して減少しており、同年から 27 年までの減少率は、重要窃盗犯の中で最も高い 87.1%となった。検挙件数は平成 20 年以降減少傾向にあり、27 年は 19 年から 8,916 件・78.8%減となった。平成 26 年の検挙率 59.4%は 17 年以降最も高かったが、27 年には低下した。

図表：１－２－２－３－１（ひったくり認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	32,017	26,828	23,687	19,165	19,053	14,587	12,493	10,097	7,909	6,201	4,142
うち未遂	1,903	1,665	1,416	1,277	1,264	913	754	729	676	499	343
検挙件数(件)	10,406	10,090	11,321	11,229	9,051	6,323	6,327	4,647	4,186	3,684	2,405
検挙人員(人)	1,851	1,652	1,524	1,251	1,438	1,191	1,098	861	740	680	559
検挙率(%)	32.5	37.6	47.8	58.6	47.5	43.3	50.6	46.0	52.9	59.4	58.1

被害者の性別に認知件数をみると、女性被害の割合は、平成 17 年には 93.2%であったものの、減少傾向にあり、27 年には 84.9%となった。

図表：１－２－２－３－２（被害者の性別ひったくり認知件数 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	32,008	26,822	23,681	19,154	19,045	14,582	12,486	10,093	7,901	6,197	4,138
うち男性被害	2,163	1,971	1,812	1,575	1,645	1,221	1,162	1,085	983	803	626
構成率(%)	6.8	7.3	7.7	8.2	8.6	8.4	9.3	10.8	12.4	13.0	15.1
うち女性被害	29,845	24,851	21,869	17,579	17,400	13,361	11,324	9,008	6,918	5,394	3,512
構成率	93.2	92.7	92.3	91.8	91.4	91.6	90.7	89.2	87.6	87.0	84.9

※ 認知件数は、被害者の性別が判明しているものに限る。

平成 17 年から 27 年におけるひったくりの認知件数について、被害者の年齢層別にみると、20 歳代又は 70 歳以上が最多層であった。また、年齢層別人口 10 万人当たりの当該年齢層の者を被害者とする認知件数をみると、毎年、20 歳代が最多層であった。また、平成 17 年には 20 歳代に次いで多いのは 60 歳代であったが、27 年には 70 歳以上であった。

図表：１－２－２－３－３（被害者の年齢層別ひったくり認知件数、
年齢層別人口 10 万人当たりひったくり認知件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）	32,008	26,822	23,681	19,154	19,045	14,582	12,486	10,093	7,901	6,197	4,138
19歳以下	2,082	1,745	1,583	1,228	1,174	808	683	616	528	441	281
人口10万人当たり	8.6	7.3	6.7	5.3	5.1	3.5	3.0	2.7	2.4	2.0	1.3
20-29歳	7,253	6,036	5,100	4,121	4,087	2,969	2,443	1,963	1,669	1,254	907
人口10万人当たり	46.2	39.4	33.9	28.0	28.3	21.3	18.0	14.7	12.8	9.7	7.0
30-39歳	4,141	3,645	3,174	2,593	2,498	1,949	1,581	1,233	901	702	533
人口10万人当たり	22.3	19.3	16.9	13.9	13.6	10.7	8.9	7.1	5.4	4.4	3.3
40-49歳	3,721	3,081	2,709	2,162	2,240	1,729	1,603	1,193	972	743	527
人口10万人当たり	23.5	19.7	17.0	13.4	13.7	10.2	9.3	6.8	5.4	4.0	2.9
50-59歳	5,450	4,674	3,891	2,880	2,732	2,037	1,589	1,237	957	717	434
人口10万人当たり	28.5	24.3	21.0	16.3	16.2	12.4	10.0	7.9	6.2	4.6	2.8
60-69歳	4,738	3,821	3,617	3,039	3,118	2,493	2,138	1,717	1,217	1,016	569
人口10万人当たり	29.5	24.2	22.2	17.9	17.5	13.6	11.6	9.3	6.6	5.6	3.1
70歳以上	4,623	3,820	3,607	3,131	3,196	2,597	2,449	2,134	1,657	1,324	887
人口10万人当たり	25.3	20.1	18.4	15.5	15.5	12.2	11.2	9.4	7.1	5.6	3.7

※ 認知件数は、被害者の年齢が判明しているものに限る。

平成 27 年の認知件数を被害者の年齢層・発生時間帯別にみると、59 歳以下では 20 時から 24 時まで
に被害の約 4 割が集中しているのに対し、60 歳代では 18 時から 22 時までに約 3 分の 1 が、70 歳以上
では 10 時から 20 時までに 4 分の 3 が集中していた。

図表：１－２－２－３－４（被害者の年齢層・発生時間帯別ひったくり認知件数 H26、H27）

発生時間 区分		H26												
		0-2時	2-4時	4-6時	6-8時	8-10時	10-12時	12-14時	14-16時	16-18時	18-20時	20-22時	22-24時	合計
認知件数(件)		654	285	205	137	224	418	371	447	507	803	1,091	1,018	6,160
19歳以下		51	18	19	11	7	10	11	14	23	40	106	125	435
20-29歳		264	105	65	30	22	21	14	28	34	114	236	318	1,251
30-39歳		123	44	25	12	21	16	29	26	32	85	135	147	695
40-49歳		79	45	22	22	24	26	27	34	44	115	164	136	738
50-59歳		62	38	17	17	33	32	32	48	54	115	157	111	716
60-69歳		46	27	33	24	47	85	91	112	113	152	171	112	1,013
70歳以上		29	8	24	21	70	228	167	185	207	182	122	69	1,312

発生時間 区分		H27												
		0-2時	2-4時	4-6時	6-8時	8-10時	10-12時	12-14時	14-16時	16-18時	18-20時	20-22時	22-24時	合計
認知件数		410	219	149	94	152	249	232	296	346	584	736	649	4,116
19歳以下		25	12	4	9	5	7	9	19	18	41	58	73	280
20-29歳		169	90	52	27	19	15	15	15	35	91	177	198	903
30-39歳		75	51	29	15	23	16	14	18	16	69	110	95	531
40-49歳		62	33	17	11	22	21	21	21	24	86	103	103	524
50-59歳		36	11	14	8	19	17	19	23	38	71	109	67	432
60-69歳		31	18	18	11	26	44	49	56	61	92	96	64	566
70歳以上		12	4	15	13	38	129	105	144	154	134	83	49	880

※ 認知件数は、被害者の年齢、発生時間帯が判明しているものに限る。

年齢層別に検挙人員をみると、平成 17 年には 14-19 歳が全体の 56.2%、14-29 歳が全体の 81.3%を占めていたが、27 年には 14-19 歳の割合は 37.6%、14-29 歳の割合は 66.2%まで低下した。

図表：1-2-2-3-5（年齢層別ひったくり検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たりひったくり検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	1,851	1,652	1,524	1,251	1,438	1,191	1,098	861	740	680	559
14-19歳	1,041	855	816	650	723	578	580	363	309	286	210
人口10万人当たり	13.3	11.2	10.9	8.8	9.9	7.9	8.0	5.0	4.3	4.0	2.9
20-24歳	327	270	245	194	249	211	144	163	120	110	98
人口10万人当たり	4.4	3.7	3.4	2.7	3.6	3.2	2.3	2.6	1.9	1.8	1.6
25-29歳	136	138	119	109	135	95	93	95	84	73	62
人口10万人当たり	1.6	1.7	1.5	1.4	1.8	1.3	1.3	1.3	1.2	1.1	0.9
30-39歳	154	193	162	148	161	151	134	127	116	109	78
人口10万人当たり	0.8	1.0	0.9	0.8	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.5
40-49歳	98	95	80	68	88	76	68	58	67	52	64
人口10万人当たり	0.6	0.6	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3
50歳以上	95	101	102	82	82	80	79	55	44	50	47
人口10万人当たり	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

(4) すり

すりの認知・検挙件数は平成 17 年以降減少傾向にあり、27 年は、17 年に比べ、認知件数が 1 万 1,224 件・72.7%、検挙件数が 2,470 件・68.0%減少した。検挙率は一貫して低く、平成 17 年以降で最も高いのは 19 年の 30.0%であった。

図表：1-2-2-4-1（すり認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）	15,446	13,698	10,220	8,427	7,253	6,261	5,540	5,475	5,508	4,617	4,222
検挙件数（件）	3,632	3,699	3,064	1,762	1,977	1,533	1,390	1,378	1,564	1,126	1,162
検挙人員（人）	938	956	916	897	824	923	846	838	765	672	725
検挙率（%）	23.5	27.0	30.0	20.9	27.3	24.5	25.1	25.2	28.4	24.4	27.5

被害者の性別にすりの認知件数¹の推移をみると、平成 17 年から 25 年までは女性が 60%台で推移していたが、26、27 年は 60%を下回った。被害者が女性であるものについて、更に年齢層別にみると、20 歳代の占める割合が高く、平成 27 年の認知件数のうち 20.9%は 20 歳代女性の被害であった。

性・年齢層別人口 10 万人当たりの当該性・年齢層の者を被害者とする認知件数の推移をみると、全性別・年齢層において大きく減少しているものの、20 歳代女性の被害が突出して多い状況に変化は見られない。

¹ 被害者の性別、年齢が判明しているものに限る。

図表：１－２－２－４－２（被害者の性・年齢層別すり認知件数 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分												
認知件数（件）		15,444	13,694	10,215	8,425	7,244	6,255	5,534	5,473	5,506	4,614	4,216
男性被害		5,421	4,797	3,539	3,187	2,741	2,378	2,112	2,141	2,142	1,901	1,765
19歳以下		333	275	286	262	220	226	197	195	197	159	144
人口10万人当たり		2.7	2.2	2.4	2.2	1.9	1.9	1.7	1.7	1.7	1.4	1.3
20-29歳		1,096	1,027	787	818	695	667	639	644	624	541	569
人口10万人当たり		13.7	13.1	10.2	10.8	9.4	9.4	9.2	9.5	9.3	8.2	8.6
30-39歳		957	895	606	558	493	426	344	385	381	379	311
人口10万人当たり		10.2	9.4	6.4	5.9	5.3	4.6	3.8	4.4	4.5	4.6	3.8
40-49歳		809	801	532	471	401	317	335	339	344	295	274
人口10万人当たり		10.2	10.2	6.6	5.8	4.9	3.7	3.8	3.8	3.8	3.2	3.0
50-59歳		1,030	824	590	464	395	263	224	230	229	201	191
人口10万人当たり		10.8	8.6	6.4	5.3	4.7	3.2	2.8	3.0	3.0	2.6	2.5
60-69歳		742	581	428	379	336	291	225	212	220	178	145
人口10万人当たり		9.6	7.6	5.4	4.6	3.9	3.3	2.5	2.4	2.5	2.0	1.6
70歳以上		454	394	310	235	201	188	148	136	147	148	131
人口10万人当たり		6.2	5.1	3.9	2.9	2.4	2.2	1.7	1.5	1.5	1.5	1.3
女性被害		10,023	8,897	6,676	5,238	4,503	3,877	3,422	3,332	3,364	2,713	2,451
19歳以下		824	768	682	511	503	494	428	397	451	338	326
人口10万人当たり		7.0	6.6	5.9	4.5	4.5	4.4	3.9	3.6	4.1	3.1	3.0
20-29歳		2,604	2,333	1,919	1,563	1,387	1,267	1,099	1,036	1,097	1,017	880
人口10万人当たり		33.8	31.1	26.1	21.7	19.7	18.5	16.5	15.9	17.2	16.2	14.0
30-39歳		1,394	1,347	1,082	847	747	598	519	518	505	436	399
人口10万人当たり		15.2	14.4	11.7	9.2	8.3	6.6	5.9	6.1	6.1	5.5	5.0
40-49歳		1,006	934	713	517	440	362	357	360	332	273	241
人口10万人当たり		12.7	12.0	9.0	6.4	5.4	4.3	4.2	4.1	3.7	3.0	2.6
50-59歳		1,597	1,326	807	568	429	328	301	286	270	188	165
人口10万人当たり		16.6	13.7	8.7	6.4	5.1	4.0	3.8	3.6	3.5	2.4	2.1
60-69歳		1,471	1,173	739	630	529	420	347	337	339	230	222
人口10万人当たり		17.7	14.4	8.8	7.2	5.8	4.4	3.6	3.6	3.6	2.5	2.4
70歳以上		1,127	1,016	734	602	468	408	371	398	370	231	218
人口10万人当たり		10.3	9.0	6.3	5.0	3.8	3.2	2.9	3.0	2.7	1.6	1.6

※ 認知件数は、被害者の性別、年齢が判明しているものに限る。

すりの検挙人員を年齢層別にみると、平成19年以降は毎年20歳代が最多層であったが、人口10万人当たりでみると、17年から24年までは14-19歳が、25年以降は20歳代が最多層であった。

図表：１－２－２－４－３（年齢層別すり検挙人員、
年齢層別人口10万人当たりすり検挙人員 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分												
検挙人員（人）		938	956	916	897	824	923	846	838	765	672	725
14-19歳		83	98	92	96	101	136	118	107	90	79	70
人口10万人当たり		1.1	1.3	1.2	1.3	1.4	1.9	1.6	1.5	1.2	1.1	1.0
20-29歳		154	177	173	187	163	195	175	188	192	169	207
人口10万人当たり		1.0	1.2	1.2	1.3	1.1	1.4	1.3	1.4	1.5	1.3	1.6
30-39歳		174	185	153	142	124	144	133	126	122	133	115
人口10万人当たり		0.9	1.0	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7
40-49歳		133	145	144	122	132	129	126	126	103	92	104
人口10万人当たり		0.8	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	0.6
50-59歳		200	154	170	160	113	115	99	91	93	72	101
人口10万人当たり		1.0	0.8	0.9	0.9	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.7
60-69歳		145	126	120	121	128	146	134	127	94	71	77
人口10万人当たり		0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.5	0.4	0.4
70歳以上		49	71	64	69	63	58	61	73	71	56	51
人口10万人当たり		0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2

3 その他の罪種・手口

(1) 粗暴犯

粗暴犯の認知件数は平成 19 年以降減少傾向にあり、27 年は 18 年から 1 万 2,254 件・16.1%減の 6 万 4,049 件となった。検挙率は平成 17 年以降上昇傾向にあり、27 年には 78.0%となった。

図表：1－2－3－1－1（粗暴犯認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分	認知件数(件)	73,772	76,303	72,908	69,113	64,140	63,813	61,897	67,356	66,494	65,814	64,049
	検挙件数(件)	44,037	49,409	49,656	47,772	45,719	45,932	45,095	49,220	48,487	49,990	49,968
粗暴犯	検挙人員(人)	49,156	54,505	54,163	51,924	49,225	49,525	48,582	52,577	51,274	52,618	52,541
	検挙率(%)	59.7	64.8	68.1	69.1	71.3	72.0	72.9	73.1	72.9	76.0	78.0
	凶器準備集合	認知件数	16	20	19	16	15	6	6	6	12	10
	検挙件数	16	20	20	13	15	8	5	7	10	11	6
暴行	検挙人員	95	155	159	83	73	45	24	20	65	30	54
	検挙率	100.0	100.0	105.3	81.3	100.0	133.3	83.3	116.7	83.3	110.0	66.7
	認知件数	25,815	31,002	31,966	31,670	29,670	29,636	29,319	31,863	31,545	32,372	32,543
	検挙件数	13,703	19,405	21,463	21,925	21,238	21,667	21,666	23,317	22,837	24,427	25,210
傷害	検挙人員	13,970	19,802	21,808	22,379	21,376	22,076	21,999	23,610	22,744	24,419	25,485
	検挙率	53.1	62.6	67.1	69.2	71.6	73.1	73.9	73.2	72.4	75.5	77.5
	認知件数	34,484	33,987	30,986	28,386	26,545	26,634	25,922	28,053	27,864	26,653	25,183
	検挙件数	23,304	23,331	22,062	20,180	19,388	19,350	18,870	20,833	20,667	20,389	19,717
脅迫	検挙人員	27,130	27,075	25,458	23,164	22,253	22,030	21,572	23,752	23,527	22,985	22,095
	検挙率	67.6	68.6	71.2	71.1	73.0	72.7	72.8	74.3	74.2	76.5	78.3
	認知件数	2,479	2,658	2,553	2,658	2,354	2,304	2,321	3,253	3,452	3,738	3,700
	検挙件数	1,638	1,812	1,869	1,953	1,781	1,734	1,823	2,452	2,627	3,059	3,127
恐喝	検挙人員	1,522	1,693	1,684	1,824	1,562	1,613	1,663	2,145	2,377	2,726	2,720
	検挙率	66.1	68.2	73.2	73.5	75.7	75.3	78.5	75.4	76.1	81.8	84.5
	認知件数	10,978	8,636	7,384	6,383	5,556	5,233	4,329	4,181	3,621	3,041	2,614
	検挙件数	5,376	4,841	4,242	3,701	3,297	3,173	2,731	2,611	2,346	2,104	1,908
検挙率	検挙人員	6,439	5,780	5,054	4,474	3,961	3,761	3,324	3,050	2,561	2,458	2,187
	検挙率	49.0	56.1	57.4	58.0	59.3	60.6	63.1	62.4	64.8	69.2	73.0

ア 暴行

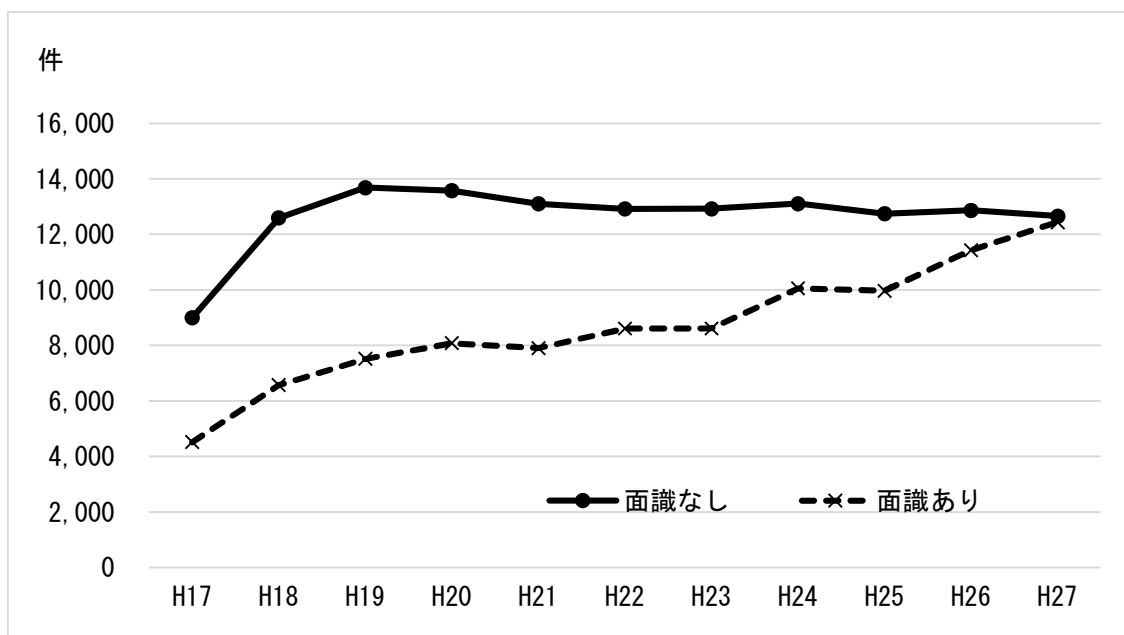
暴行の認知・検挙件数は平成 18 年以降ほぼ横ばいであったが、26、27 年はそれぞれ前年から増加した。検挙率は上昇傾向にあり、27 年は 17 年から 24.4 ポイント上昇した。

図表：1－2－3－1－ア－1（暴行認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分	認知件数(件)	25,815	31,002	31,966	31,670	29,670	29,636	29,319	31,863	31,545	32,372	32,543
	検挙件数(件)	13,703	19,405	21,463	21,925	21,238	21,667	21,666	23,317	22,837	24,427	25,210
検挙率	検挙人員(人)	13,970	19,802	21,808	22,379	21,376	22,076	21,999	23,610	22,744	24,419	25,485
	検挙率(%)	53.1	62.6	67.1	69.2	71.6	73.1	73.9	73.2	72.4	75.5	77.5

被疑者と被害者の関係別に検挙件数をみると、面識のない場合が平成 19 年をピークに、以後、微減から横ばい傾向にあるのに対し、面識のある場合は増加傾向が続き、27 年は両者がほぼ同数となった。とりわけ、配偶者（内縁を含む。以下同じ。）は増加傾向にあり、平成 27 年は 17 年に比べて 3,364 件・887.6%増加した。暴行の検挙件数に占める面識のない場合の割合は、平成 17 年の 66.6%から 27 年には 50.4%へ低下し、同期間中に被害者が被疑者の配偶者である場合の割合は 2.8%から 14.9%に上昇した。

図表：１－２－３－１－ア－２（被疑者と被害者の関係別暴行検挙件数 H17-H27 の推移）



区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙件数(件)		13,519	19,175	21,203	21,660	21,006	21,529	21,541	23,167	22,717	24,297	25,101
面識なし		9,003	12,598	13,686	13,577	13,104	12,922	12,926	13,111	12,745	12,866	12,660
面識あり		4,516	6,577	7,517	8,083	7,902	8,607	8,615	10,056	9,972	11,431	12,441
被疑者の知人、友人		1,814	2,602	3,029	3,196	3,140	3,347	3,163	3,609	3,504	3,812	3,753
被疑者の職場関係者		538	861	1,006	1,062	929	991	925	1,031	1,054	1,124	1,241
被疑者の親族		724	1,254	1,617	1,924	1,973	2,492	2,667	3,483	3,485	4,498	5,621
うち被疑者の配偶者 (内縁を含む)		379	707	933	1,045	1,082	1,452	1,518	2,121	2,135	2,953	3,743
うち被疑者の実父母		118	187	212	256	286	354	408	483	475	535	660
その他		1,440	1,860	1,865	1,901	1,860	1,777	1,860	1,933	1,929	1,997	1,826

※ 解決事件を除く。

年齢層別検挙人員の推移をみると、40 歳代、60 歳代及び 70 歳以上の検挙人員が増加傾向にある一方、14-19 歳は微減傾向にあった。また、年齢層別人口 10 万人当たりの当該年齢層の検挙人員の推移をみると、20 歳以上の各層では増加傾向にあるのに対し、14-19 歳は微減傾向にあった。

図表：１－２－３－１－ア－３（年齢層別暴行検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり暴行検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	13,970	19,802	21,808	22,379	21,376	22,076	21,999	23,610	22,744	24,419	25,485
14-19歳	1,545	1,513	1,593	1,548	1,333	1,288	1,213	1,496	1,492	1,367	1,247
人口10万人当たり	19.8	19.8	21.3	21.0	18.3	17.7	16.7	20.6	20.6	19.0	17.4
20-29歳	2,648	3,727	4,018	3,880	3,688	3,693	3,487	3,546	3,494	3,748	3,961
人口10万人当たり	16.9	24.3	26.7	26.3	25.6	26.5	25.7	26.6	26.7	29.1	30.8
30-39歳	3,336	4,843	5,281	5,289	4,846	5,084	4,897	5,115	4,637	4,988	5,061
人口10万人当たり	18.0	25.6	28.1	28.4	26.5	27.8	27.5	29.6	27.8	30.9	31.4
40-49歳	2,273	3,455	3,881	4,212	4,244	4,516	4,595	5,140	5,057	5,625	6,014
人口10万人当たり	14.3	22.0	24.3	26.0	25.9	26.7	26.6	29.1	28.0	30.6	32.7
50-59歳	2,487	3,620	3,885	3,822	3,318	3,313	3,208	3,324	3,243	3,460	3,727
人口10万人当たり	13.0	18.8	21.0	21.6	19.7	20.2	20.1	21.3	21.0	22.4	24.1
60-69歳	1,290	1,977	2,294	2,597	2,831	2,968	3,207	3,321	3,107	3,285	3,416
人口10万人当たり	8.0	12.5	14.1	15.3	15.9	16.1	17.3	18.0	16.9	18.1	18.8
70歳以上	391	667	856	1,031	1,116	1,214	1,392	1,668	1,714	1,946	2,059
人口10万人当たり	2.1	3.5	4.4	5.1	5.4	5.7	6.4	7.4	7.4	8.2	8.6

イ 傷害

傷害の認知件数は減少傾向にあり、27 年は、17 年から 9,301 件・27.0%減少した。これに対し、検挙件数が横ばいから微減傾向にあることから、検挙率は上昇傾向にあり、平成 27 年には 78.3%となった。

図表：１－２－３－１－イ－１（傷害認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）	34,484	33,987	30,986	28,386	26,545	26,634	25,922	28,053	27,864	26,653	25,183
検挙件数（件）	23,304	23,331	22,062	20,180	19,388	19,350	18,870	20,833	20,667	20,389	19,717
検挙人員（人）	27,130	27,075	25,458	23,164	22,253	22,030	21,572	23,752	23,527	22,985	22,095
検挙率（％）	67.6	68.6	71.2	71.1	73.0	72.7	72.8	74.3	74.2	76.5	78.3

被疑者と被害者の関係別に検挙件数をみると、平成 17 年から 27 年までの間に、面識のない場合が 3,727 件・36.1%減少したのに対し、被害者が被疑者の配偶者である場合は 1,310 件・97.6%増加した。その結果、全体に占める面識のない場合の割合は 44.9%から 33.7%に低下し、配偶者である割合は 5.8%から 13.6%に上昇した。

図表：１－２－３－１－イ－２（被疑者と被害者の関係別傷害検挙件数 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙件数(件)		22,962	22,921	21,589	19,724	18,991	19,093	18,591	20,590	20,444	20,180	19,558
面識なし		10,313	10,249	9,307	8,426	7,888	7,502	7,320	7,502	7,425	6,866	6,586
面識あり		12,649	12,672	12,282	11,298	11,103	11,591	11,271	13,088	13,019	13,314	12,972
被疑者の知人、友人		5,477	5,694	5,762	5,055	5,084	5,335	5,264	5,711	5,726	5,347	5,091
被疑者の職場関係者		1,636	1,656	1,676	1,572	1,486	1,447	1,423	1,599	1,749	1,692	1,759
被疑者の親族		2,532	2,544	2,533	2,484	2,447	2,789	2,694	3,704	3,636	4,377	4,411
うち被疑者の配偶者 (内縁を含む)		1,342	1,353	1,346	1,339	1,282	1,523	1,415	2,183	2,154	2,697	2,652
うち被疑者の実父母		408	385	344	398	368	419	468	518	585	620	653
その他		3,004	2,778	2,311	2,187	2,086	2,020	1,890	2,074	1,908	1,898	1,711

※ 解決事件を除く。

検挙人員を年齢層別にみると、平成 17 年には 14-19 歳が最多層であったが、27 年までに 3,055 人・49.6%減少し、同年の最多層は 30 歳代となった。年齢層別人口 10 万人当たりの当該年齢層の検挙人員の推移をみると、14-19 歳は減少傾向にはあるものの、平成 17 年以降 27 年までの間、常に最多層であった。

図表：１－２－３－１－イ－３（年齢層別傷害検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり傷害検挙人員 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）		27,130	27,075	25,458	23,164	22,253	22,030	21,572	23,752	23,527	22,985	22,095
14-19歳		6,161	5,972	5,639	5,247	4,844	4,939	4,753	4,983	4,672	3,995	3,106
人口10万人当たり		78.9	78.2	75.5	71.3	66.5	67.9	65.4	68.8	64.7	55.6	43.2
20-29歳		6,058	5,821	5,196	4,638	4,497	4,102	4,056	4,332	4,426	4,355	4,384
人口10万人当たり		38.6	38.0	34.6	31.5	31.2	29.5	29.8	32.5	33.9	33.8	34.0
30-39歳		5,855	6,085	5,926	5,208	4,904	4,860	4,562	5,168	5,033	4,951	4,875
人口10万人当たり		31.5	32.2	31.5	28.0	26.8	26.6	25.6	30.0	30.2	30.7	30.2
40-49歳		3,587	3,729	3,572	3,455	3,479	3,594	3,700	4,277	4,391	4,655	4,649
人口10万人当たり		22.6	23.8	22.4	21.3	21.2	21.3	21.4	24.2	24.3	25.3	25.3
50-59歳		3,399	3,385	2,994	2,567	2,324	2,257	2,075	2,270	2,304	2,337	2,445
人口10万人当たり		17.8	17.6	16.2	14.5	13.8	13.7	13.0	14.5	14.9	15.1	15.8
60-69歳		1,584	1,606	1,605	1,523	1,632	1,709	1,797	1,917	1,922	1,839	1,783
人口10万人当たり		9.9	10.2	9.8	9.0	9.2	9.3	9.7	10.4	10.5	10.1	9.8
70歳以上		486	477	526	526	573	569	629	805	779	853	853
人口10万人当たり		2.7	2.5	2.7	2.6	2.8	2.7	2.9	3.6	3.4	3.6	3.6

(2) 窃盗犯（重要窃盗犯に該当する手口を除く。）

ア 車上ねらい

平成 17 年に 25 万件を超えていた車上ねらいの認知件数は、27 年には 19 万 1,571 件・74.7%減少し、6 万 5,023 件となった。同期間中の検挙件数の減少率は、認知件数のそれより高い 75.3%であり、平成 27 年の検挙率は、17 年以降最低の 20.3%であった。

被害車両の施錠状態別に認知件数をみると、施錠していたにもかかわらず盗まれた（施錠あり）件数が平成 17 年以降 27 年までに 81.7%減少したのに対し、同期間中に、無施錠で盗まれた（施錠なし）件数は 59.6%減にとどまり、27 年には「施錠あり」が「施錠なし」を下回った。

さらに、被害車両の施錠状態別に検挙状況をみると、平成 17 年から 27 年までの毎年、「施錠あり」被疑者 1 人当たりの検挙件数は、「施錠なし」被疑者 1 人当たりの検挙件数に比べて多く、「施錠あり」の検挙率は「施錠なし」の検挙率より高かった。

図表：１－２－３－２－ア－１（車上ねらい認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	256,594	205,744	168,129	155,671	145,137	124,608	113,101	104,037	87,976	75,289	65,023
施錠あり	174,862	136,083	104,857	99,167	90,365	75,639	67,094	61,652	48,094	39,653	32,027
施錠なし	81,732	69,661	63,272	56,504	54,772	48,969	46,007	42,385	39,882	35,636	32,996
検挙件数(件)	53,465	49,592	41,116	40,146	38,706	29,780	23,658	24,504	19,868	15,604	13,185
施錠あり	41,611	36,051	29,001	27,798	27,888	21,115	15,433	15,812	13,134	9,715	7,115
施錠なし	11,854	13,541	12,115	12,348	10,818	8,665	8,225	8,692	6,734	5,889	6,070
検挙人員(人)	2,634	2,766	2,344	2,258	2,290	2,186	2,128	1,979	1,775	1,674	1,554
施錠あり	1,047	1,030	769	694	679	655	491	498	378	362	319
施錠なし	1,587	1,736	1,575	1,564	1,611	1,531	1,637	1,481	1,397	1,312	1,235
検挙率(%)	20.8	24.1	24.5	25.8	26.7	23.9	20.9	23.6	22.6	20.7	20.3
施錠あり	23.8	26.5	27.7	28.0	30.9	27.9	23.0	25.6	27.3	24.5	22.2
施錠なし	14.5	19.4	19.1	21.9	19.8	17.7	17.9	20.5	16.9	16.5	18.4

被害品の推移をみると、平成 17 年に最も被害数の多かったバッグ・財布類は、27 年までに 7 万 9,249 件・74.1%減少した。「施錠あり」における建設機械は唯一増加した被害品であり、平成 17 年に比べ 27 年は 1,245 件・81.7%増加した。

図表：１－２－３－２－ア－２（施錠状態別車上ねらい主な被害品数 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
被害品数（品）		448,520	358,391	293,660	274,857	258,342	227,356	203,239	187,004	158,145	133,634	115,950
施錠あり		279,166	217,947	165,963	161,038	146,712	126,136	108,617	100,398	77,476	62,147	50,050
うちバック・財布類		61,104	49,404	37,228	36,032	31,135	26,604	23,201	22,488	17,401	14,217	11,222
うちカード・有価証券		50,828	37,684	28,573	25,777	23,175	20,829	17,471	14,944	12,396	9,853	8,756
うち機械類		26,242	23,066	19,075	19,398	18,539	15,576	15,862	15,075	12,314	11,186	8,731
携帯電話		7,123	5,569	4,407	4,348	3,732	3,101	2,455	2,343	1,809	1,407	1,035
建設機械		1,523	2,439	2,249	2,306	2,556	1,861	2,849	2,922	3,022	3,363	2,768
その他		17,596	15,058	12,419	12,744	12,251	10,614	10,558	9,810	7,483	6,416	4,928
うち運転免許証		17,063	13,292	10,267	9,041	8,711	7,636	6,503	6,006	5,150	4,313	3,819
うち車両用部品		26,754	18,788	14,960	15,265	14,563	12,835	9,827	8,260	5,162	3,367	2,391
カーナビ		14,133	11,236	9,497	10,446	9,852	9,119	6,876	5,906	3,338	2,042	1,394
カーステレオ		5,870	2,637	1,376	888	698	419	296	199	106	61	39
ナンバープレート		300	228	149	168	182	158	109	97	104	74	69
その他		6,451	4,687	3,938	3,763	3,831	3,139	2,546	2,058	1,614	1,190	889
施錠なし		169,354	140,444	127,697	113,819	111,630	101,220	94,622	86,606	80,669	71,487	65,900
うちバック・財布類		45,894	38,172	34,799	30,868	28,353	25,894	24,211	22,036	20,474	18,148	16,527
うちカード・有価証券		40,004	32,413	29,073	25,855	23,809	21,469	19,822	18,228	17,412	15,296	14,395
うち機械類		13,525	11,896	11,375	10,496	11,074	10,419	9,608	8,786	8,008	7,402	6,593
携帯電話		6,350	5,185	5,018	4,857	4,558	4,090	3,646	3,422	3,223	2,963	2,719
建設機械		743	762	552	585	823	663	849	774	722	817	735
その他		6,432	5,949	5,805	5,054	5,693	5,666	5,113	4,590	4,063	3,622	3,139
うち運転免許証		19,116	15,566	13,730	11,817	11,762	10,869	10,113	9,296	8,957	7,722	7,353
うち車両用部品		2,309	1,823	1,636	1,522	1,601	1,338	1,300	1,277	1,062	854	845
カーナビ		776	634	551	563	616	594	555	526	373	239	195
カーステレオ		376	200	154	107	68	45	37	35	21	16	11
ナンバープレート		105	94	80	83	61	46	53	51	43	43	37
その他		1,052	895	851	769	856	653	655	665	625	556	602

年齢層別検挙人員の推移をみると、14-19 歳と 20 歳代が多いが、平成 26 年は 20 歳代と 40 歳代が同数となった。しかし、年齢層別人口当たりの当該年齢層の検挙人員の推移をみると、平成 17 年から 27 年まで最多層は常に 14-19 歳であった。

図表：１－２－３－２－ア－３（年齢層別車上ねらい検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり車上ねらい検挙人員 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）		2,634	2,766	2,344	2,258	2,290	2,186	2,128	1,979	1,775	1,674	1,554
14-19歳		535	554	557	464	525	475	493	412	360	285	259
人口10万人当たり		6.9	7.3	7.5	6.3	7.2	6.5	6.8	5.7	5.0	4.0	3.6
20-29歳		603	605	454	400	407	403	348	360	319	297	286
人口10万人当たり		3.8	3.9	3.0	2.7	2.8	2.9	2.6	2.7	2.4	2.3	2.2
30-39歳		468	515	391	365	392	379	349	333	308	281	253
人口10万人当たり		2.5	2.7	2.1	2.0	2.1	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6
40-49歳		315	366	287	355	306	324	308	324	257	297	281
人口10万人当たり		2.0	2.3	1.8	2.2	1.9	1.9	1.8	1.8	1.4	1.6	1.5
50-59歳		413	410	341	343	334	280	259	226	220	195	181
人口10万人当たり		2.2	2.1	1.8	1.9	2.0	1.7	1.6	1.4	1.4	1.3	1.2
60-69歳		213	239	226	235	235	222	246	225	204	198	174
人口10万人当たり		1.3	1.5	1.4	1.4	1.3	1.2	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0
70歳以上		87	77	88	96	91	103	125	99	107	121	120
人口10万人当たり		0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.6	0.4	0.5	0.5	0.5

イ 部品ねらい

部品ねらいの認知件数は平成 17 年以降減少傾向にあり、27 年には 17 年から 7 万 1,172 件・68.6% 減の 3 万 2,600 件となった。検挙件数はほぼ横ばいで推移していたが、平成 24 年以降減少に転じ、27 年には 17 年から 7,258 件・61.6%減少した。検挙率は平成 22、23 年を除き、10%台前半で推移した。

図表：１－２－３－２－イ－１（部品ねらい認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	103,772	88,739	78,016	76,109	76,342	68,375	57,981	51,828	45,981	37,797	32,600
検挙件数(件)	11,786	9,840	10,382	10,591	9,359	11,783	10,022	6,959	6,306	4,760	4,528
検挙人員(人)	1,973	1,931	1,758	1,621	1,523	1,399	1,244	999	893	842	811
検挙率(%)	11.4	11.1	13.3	13.9	12.3	17.2	17.3	13.4	13.7	12.6	13.9

平成 17 年から 27 年までの部品ねらいの被害品の推移をみると、毎年、92%以上を車両用部品が占めていた。車両用部品のうちカーナビが全体に占める割合は、平成 22 年まで増加傾向にあったが、23 年以降大きく減少し、27 年には 3.8%となった。

図表：１－２－３－２－イ－２（部品ねらい被害品数 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
被害品数(品)	115,579	96,995	84,605	82,082	83,470	74,134	62,253	55,498	48,425	39,316	33,630
車両用部品	106,839	90,405	79,034	76,361	77,371	68,737	57,902	51,636	45,145	36,925	31,814
カーナビ	21,873	22,383	21,309	22,292	24,137	22,155	13,182	10,491	6,637	2,196	1,223
カーステレオ	9,889	4,331	2,097	1,291	1,160	637	385	243	131	84	53
ナンバープレート	36,021	29,274	25,569	23,207	21,869	20,745	20,482	19,256	17,817	15,509	13,529
タイヤ・ホイール					7,121	5,938	5,791	5,900	5,425	4,049	2,790
その他	39,056	34,417	30,059	29,571	23,084	19,262	18,062	15,746	15,135	15,087	14,219
その他	8,740	6,590	5,571	5,721	6,099	5,397	4,351	3,862	3,280	2,391	1,816

※ タイヤ・ホイールの統計は平成21年開始。

年齢層別検挙人員の推移をみると、平成 17 年には 14-19 歳が 61.6%を占めていたが、27 年には 55.5 %まで低下した。年齢層別人口 10 万人当たりの当該年齢層の検挙人員をみると、平成 17 年から 27 年まで常に 14-19 歳が最多層であり、他を大きく上回った。

図表：１－２－３－２－イ－３（年齢層別部品ねらい検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり部品ねらい検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	1,973	1,931	1,758	1,621	1,523	1,399	1,244	999	893	842	811
14-19歳	1,216	1,146	1,044	998	919	787	719	573	503	458	450
人口10万人当たり	15.6	15.0	14.0	13.6	12.6	10.8	9.9	7.9	7.0	6.4	6.3
20-29歳	321	317	316	228	264	222	171	134	130	123	111
人口10万人当たり	2.0	2.1	2.1	1.5	1.8	1.6	1.3	1.0	1.0	1.0	0.9
30-39歳	157	176	124	117	114	105	109	70	62	78	62
人口10万人当たり	0.8	0.9	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.5	0.4
40-49歳	73	76	73	67	77	88	75	72	59	65	62
人口10万人当たり	0.5	0.5	0.5	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3
50-59歳	89	100	83	76	58	70	62	52	35	34	36
人口10万人当たり	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2
60-69歳	71	87	72	89	61	71	75	57	63	39	51
人口10万人当たり	0.4	0.6	0.4	0.5	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3
70歳以上	46	29	46	46	30	56	33	41	41	45	39
人口10万人当たり	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

ウ 万引き

万引きの認知件数は、平成 17 年から 21 年まではほぼ横ばいであったが、22 年以降減少傾向にあり、27 年には 17 年から 3 万 6,639 件・23.8%減の 11 万 7,333 件となった。検挙件数は期間を通じて減少傾向にあり、27 年までの減少率は認知件数を上回る 28.6%となった。検挙率はおおむね低下傾向にあり、平成 27 年は 17 年以降最低の 70.4%であった。

図表：１－２－３－２－ウ－１（万引き認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）	153,972	147,113	141,915	145,551	150,059	148,665	141,931	135,224	126,386	121,143	117,333
検挙件数（件）	115,636	110,723	105,774	105,986	108,802	107,684	104,516	97,841	89,910	86,784	82,557
検挙人員（人）	113,953	107,123	102,504	101,504	105,228	104,804	101,340	93,079	85,464	80,096	75,114
検挙率（%）	75.1	75.3	74.5	72.8	72.5	72.4	73.6	72.4	71.1	71.6	70.4

平成 17 年から 27 年までの毎年、万引きの最多被害品は食料品であった。この期間中に、食料品以外の被害品数は 35.9%減少したが、食料品の減少率は 9.6%にとどまっており、被害品全体に占める食料品の割合は、平成 24 年以降 40%を上回った。

図表：１－２－３－２－ウ－２（万引き被害品数 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
被害品数(品)		179,287	166,885	160,882	164,034	168,906	167,159	159,218	150,629	141,258	135,407	130,744
食料品類		60,381	58,189	57,670	60,545	63,794	64,472	62,829	60,724	57,037	55,741	54,576
その他		118,906	108,696	103,212	103,489	105,112	102,687	96,389	89,905	84,221	79,666	76,168

被疑者の年齢層別に被害品の種類・数の推移をみると、平成 17 年から 27 年まで大きな変化はみられなかった。食料品は全ての年齢層において最多の被害品であり、その構成割合はおおむね年齢層が上がるほど高くなった。また、食料品に次いで被害が多いのは、29 歳以下では化粧品類、30 歳以上では衣料品類であった。

図表：１－２－３－２－ウ－３（検挙事件に係る被疑者の年齢層別万引き被害品数 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
被害品数(品)		136,714	127,764	121,768	121,335	124,384	122,951	119,111	110,582	101,847	98,391	92,920
うち食料品		55,731	54,289	53,624	55,778	58,699	59,259	58,523	55,782	52,413	51,064	49,234
14-19歳		40,891	33,411	30,595	28,285	31,120	29,489	26,702	20,227	16,919	14,229	11,744
うち食料品		7,978	6,899	6,806	7,006	8,262	8,015	7,974	6,233	5,567	4,815	4,130
うち化粧品類		7,552	6,294	5,831	5,023	4,994	4,513	3,646	2,622	2,047	1,495	1,176
20-29歳		15,567	14,230	12,972	13,387	13,479	13,204	12,803	12,039	10,221	10,296	10,624
うち食料品		4,604	4,131	3,828	3,930	4,207	4,422	4,158	3,873	3,519	3,665	3,607
うち化粧品類		1,747	1,826	1,645	1,933	1,781	1,778	1,746	1,513	1,094	1,294	1,693
30-39歳		13,693	13,588	13,119	13,376	13,218	12,678	12,486	11,541	10,561	10,432	9,539
うち食料品		4,963	4,712	4,578	4,902	5,187	5,312	5,040	4,894	4,478	4,244	4,011
うち衣料品類		1,663	1,891	1,513	1,579	1,532	1,246	1,256	1,196	1,065	1,114	915
40-49歳		12,308	11,675	11,379	11,765	12,281	13,248	12,522	12,744	12,822	12,919	12,067
うち食料品		5,768	5,469	5,202	5,577	6,025	6,347	6,031	6,010	5,928	5,818	5,692
うち衣料品類		1,289	1,217	1,136	1,298	1,155	1,190	1,129	1,209	1,114	1,126	1,025
50-59歳		17,730	17,553	15,957	15,258	14,813	14,368	13,210	12,639	11,571	11,511	11,022
うち食料品		10,153	9,879	9,272	9,025	8,950	8,426	7,887	7,291	6,717	6,236	6,221
うち衣料品類		1,488	1,417	1,248	1,229	1,079	1,187	1,029	1,010	900	1,268	941
60-69歳		18,024	17,288	16,805	17,367	18,047	18,083	18,217	17,313	16,026	15,004	14,337
うち食料品		10,830	10,407	10,321	10,925	11,691	11,758	11,821	11,104	10,110	9,711	9,186
うち衣料品類		1,208	1,128	1,081	1,093	1,170	1,100	1,129	1,086	1,013	954	1,005
70-79歳		14,026	15,202	15,545	16,122	15,645	15,596	16,386	16,831	16,245	15,889	15,467
うち食料品		8,720	9,645	10,129	10,547	10,436	10,613	10,956	11,368	10,962	10,912	10,630
うち衣料品類		818	794	792	806	751	758	846	822	792	764	796
80歳以上		3,812	4,258	4,831	5,236	5,245	5,783	6,367	6,847	7,075	7,598	7,649
うち食料品		2,576	2,987	3,330	3,730	3,789	4,242	4,537	4,892	5,008	5,501	5,611
うち衣料品類		207	205	226	222	198	235	247	270	288	307	304

年齢層別検挙人員の推移をみると、平成 17 年から 25 年まで 14-19 歳が最も多かったが、26 年には 70 歳代が、27 年には 60 歳代及び 70 歳代がこれを上回った。年齢層別人口 10 万人当たりの当該年齢層の検挙人員の推移をみると、平成 17 年から 27 年まで常に 14-19 歳が最多であり、中高年では 70 歳代が多かった。

図表：１－２－３－２－ウ－４（年齢層別万引き検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり万引き検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	113,953	107,123	102,504	101,504	105,228	104,804	101,340	93,079	85,464	80,096	75,114
14-19歳	36,481	30,189	28,186	26,303	29,153	28,364	26,005	19,673	16,760	13,763	11,179
人口10万人当たり	467.5	395.3	377.2	357.2	400.2	389.7	357.8	271.5	231.9	191.6	155.6
20-29歳	11,859	10,837	9,949	9,442	9,850	9,685	9,145	8,326	7,399	7,259	7,044
人口10万人当たり	75.6	70.7	66.2	64.1	68.3	69.6	67.3	62.5	56.6	56.4	54.7
30-39歳	10,146	9,850	9,194	9,430	9,625	9,635	9,159	8,590	7,744	7,245	6,768
人口10万人当たり	54.6	52.1	48.9	50.7	52.6	52.7	51.4	49.8	46.4	44.9	41.9
40-49歳	9,508	9,233	8,819	9,076	9,538	10,000	9,621	9,745	9,302	9,054	8,749
人口10万人当たり	59.9	58.9	55.3	56.1	58.1	59.2	55.7	55.1	51.5	49.2	47.5
50-59歳	14,662	14,442	13,317	12,652	12,279	11,782	10,941	10,323	9,444	8,811	8,632
人口10万人当たり	76.7	75.0	72.0	71.6	72.8	71.7	68.6	66.0	61.1	57.0	55.9
60-69歳	15,568	15,085	14,647	15,290	15,887	15,902	15,979	15,037	13,828	12,886	12,032
人口10万人当たり	97.1	95.7	89.8	89.9	89.3	86.5	86.4	81.5	75.3	71.1	66.3
70-79歳	12,337	13,602	13,998	14,520	14,067	14,120	14,701	15,137	14,593	14,225	13,757
人口10万人当たり	103.3	111.3	112.1	114.7	110.6	108.5	110.3	110.9	105.0	100.2	96.9
80歳以上	3,392	3,885	4,394	4,791	4,829	5,316	5,789	6,248	6,394	6,853	6,953
人口10万人当たり	53.4	57.5	61.5	63.8	61.1	64.8	67.6	69.9	68.8	71.0	72.1

20 歳以上の検挙人員について、前歴の有無及び性別に推移をみると、平成 17 年から 27 年までの毎年、男性が女性より多く、女性は常に「前歴なし」が「前歴あり」を上回ったのに対し、男性は 17 年を除き「前歴あり」が「前歴なし」を上回った。

図表：１－２－３－２－ウ－５（性・前歴の有無別 20 歳以上万引き検挙人員 H17-27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	77,503	76,962	74,343	75,227	76,109	76,456	75,379	73,434	68,723	66,361	63,972
男性	42,934	42,923	40,934	42,164	43,467	42,981	42,691	41,635	38,439	37,193	35,615
前歴なし	22,797	21,083	19,192	19,376	19,564	18,827	18,148	17,192	15,381	14,969	14,007
前歴あり	20,137	21,840	21,742	22,788	23,903	24,154	24,543	24,443	23,058	22,224	21,608
同一罪種の前歴あり					18,707	19,250	19,693	19,874	18,822	18,204	17,880
同一罪種の前歴なし					5,196	4,904	4,850	4,569	4,236	4,020	3,728
女性	34,569	34,039	33,409	33,063	32,642	33,475	32,688	31,799	30,284	29,168	28,357
前歴なし	23,373	21,627	20,391	19,651	19,346	19,217	18,549	17,414	16,029	15,255	14,664
前歴あり	11,196	12,412	13,018	13,412	13,296	14,258	14,139	14,385	14,255	13,913	13,693
同一罪種の前歴あり					12,238	13,270	13,237	13,531	13,414	13,072	12,937
同一罪種の前歴なし					1,058	988	902	854	841	841	756

※ 20歳以上の検挙人員に限る。

※ 同一罪種の前歴の有無に関する統計は平成21年開始。

エ オートバイ盗

オートバイ盗の認知件数は平成 17 年以降減少傾向にあり、27 年には 17 年から 6 万 8,669 件・65.9 %減の 3 万 5,486 件となった。平成 26 年からの減少率は 18.8%で、各年の前年からの減少率の中で最も高かった。

検挙件数は平成 17 年以降では 18 年をピークに以降減少傾向にあり、鍵の状態別¹にみると、27 年は、18 年から「キーあり」で 52.4%、「キーなし」で 73.9%減少した。

平成 27 年の検挙率は、「キーあり」が 17 年以降最高の 17.7%となった一方で、「キーなし」は 8.9 %であった。

図表：１－２－３－２－エ－１（オートバイ盗認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	104,155	93,294	83,028	80,857	82,811	74,278	68,852	60,405	51,442	43,720	35,486
キーあり	23,758	21,145	19,686	18,587	18,585	17,492	16,541	14,694	13,234	11,613	9,418
キーなし	80,397	72,149	63,342	62,270	64,226	56,786	52,311	45,711	38,208	32,107	26,068
検挙件数(件)	11,621	12,426	10,161	8,930	9,437	7,811	8,037	6,674	5,618	5,152	3,994
キーあり	3,496	3,497	3,202	2,862	3,021	2,864	2,764	2,462	2,327	2,049	1,665
キーなし	8,125	8,929	6,959	6,068	6,416	4,947	5,273	4,212	3,291	3,103	2,329
検挙人員(人)	8,665	7,766	7,131	6,062	6,194	5,954	5,270	4,554	4,057	3,463	2,743
キーあり	3,401	3,106	3,163	2,610	2,757	2,766	2,597	2,193	2,000	1,853	1,452
キーなし	5,264	4,660	3,968	3,452	3,437	3,188	2,673	2,361	2,057	1,610	1,291
検挙率(%)	11.2	13.3	12.2	11.0	11.4	10.5	11.7	11.0	10.9	11.8	11.3
キーあり	14.7	16.5	16.3	15.4	16.3	16.4	16.7	16.8	17.6	17.6	17.7
キーなし	10.1	12.4	11.0	9.7	10.0	8.7	10.1	9.2	8.6	9.7	8.9

鍵の状態別に被害オートバイの還付率をみると、「キーなし」の還付率に比べて、「キーあり」の還付率が高い傾向があった。平成 27 年は、いずれも前年から低下した。

図表：１－２－３－２－エ－２（鍵の状態別オートバイ盗被害車両還付状況 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分												
キーあり	認知件数(件)	23,758	21,145	19,686	18,587	18,585	17,492	16,541	14,694	13,234	11,613	9,418
	還付件数(件)	11,599	10,724	10,182	9,628	9,335	9,173	8,961	8,217	7,508	6,782	5,403
	還付率(%)	48.8	50.7	51.7	51.8	50.2	52.4	54.2	55.9	56.7	58.4	57.4
キーなし	認知件数	80,397	72,149	63,342	62,270	64,226	56,786	52,311	45,711	38,208	32,107	26,068
	還付件数	28,822	26,797	24,458	22,434	22,086	19,333	18,880	17,547	15,731	12,934	9,642
	還付率	35.8	37.1	38.6	36.0	34.4	34.0	36.1	38.4	41.2	40.3	37.0

※ 還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

¹ 32 ページ注 1 参照。

年齢層別検挙人員の推移をみると、平成 17 年から 27 年まで毎年、14-19 歳が 90%超を占めた。

**図表：１－２－３－２－エ－３（年齢層別オートバイ盗検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たりオートバイ盗検挙人員 H17-H27 の推移）**

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	8,665	7,766	7,131	6,062	6,194	5,954	5,270	4,554	4,057	3,463	2,743
14-19歳	8,211	7,333	6,753	5,715	5,852	5,546	4,943	4,282	3,832	3,259	2,576
人口10万人当たり	105.2	96.0	90.4	77.6	80.3	76.2	68.0	59.1	53.0	45.4	35.9
20-29歳	333	312	267	236	219	257	205	177	140	131	96
人口10万人当たり	2.1	2.0	1.8	1.6	1.5	1.8	1.5	1.3	1.1	1.0	0.7
30歳以上	121	121	111	111	123	151	122	95	85	73	71
人口10万人当たり	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

オ 自転車盗

自転車盗の認知件数は平成 17 年以降減少傾向にあるが、施錠状態別にみると、「施錠あり」が一貫して減少傾向にあるのに対し、「施錠なし」は 22 年まで増加した後減少に転じた。そのため、平成 20 年までは「施錠あり」が「施錠なし」を上回ったのに対し、21 年以降は「施錠なし」が「施錠あり」を上回った。

検挙件数・人員は、毎年、「施錠なし」の方が多く、検挙率も高かった。

図表：１－２－３－２－オ－１（施錠状態別自転車盗認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	406,104	388,463	395,344	395,495	392,098	376,066	349,215	316,063	303,273	292,221	260,530
施錠あり	220,210	206,182	209,312	201,081	195,975	178,276	154,460	133,440	122,764	121,884	111,198
施錠なし	185,894	182,281	186,032	194,414	196,123	197,790	194,755	182,623	180,509	170,337	149,332
検挙件数(件)	32,322	30,945	28,243	28,053	26,747	24,752	21,302	19,251	16,560	15,320	14,103
施錠あり	12,544	11,909	10,925	11,025	9,855	9,085	6,827	6,271	5,180	4,964	4,745
施錠なし	19,778	19,036	17,318	17,028	16,892	15,667	14,475	12,980	11,380	10,356	9,358
検挙人員(人)	25,737	25,432	23,682	20,872	20,378	19,051	16,541	14,526	12,311	11,073	9,553
施錠あり	7,655	7,595	7,073	6,037	5,550	5,127	3,823	3,191	2,471	2,186	1,805
施錠なし	18,082	17,837	16,609	14,835	14,828	13,924	12,718	11,335	9,840	8,887	7,748
検挙率(%)	8.0	8.0	7.1	7.1	6.8	6.6	6.1	6.1	5.5	5.2	5.4
施錠あり	5.7	5.8	5.2	5.5	5.0	5.1	4.4	4.7	4.2	4.1	4.3
施錠なし	10.6	10.4	9.3	8.8	8.6	7.9	7.4	7.1	6.3	6.1	6.3

施錠状態別に被害自転車の還付率をみると、「施錠あり」の還付率に比べて、「施錠なし」の還付率が高く、平成 26、27 年はともに 50%を超えた。

図表：１－２－３－２－オ－２（施錠状態別自転車盗被害車両還付状況 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分	認知件数(件)	220,210	206,182	209,312	201,081	195,975	178,276	154,460	133,440	122,764	121,884	111,198
	還付件数(件)	79,186	76,446	81,150	76,117	75,007	69,450	58,720	50,866	49,578	52,268	47,043
	還付率(%)	36.0	37.1	38.8	37.9	38.3	39.0	38.0	38.1	40.4	42.9	42.3
施錠なし	認知件数	185,894	182,281	186,032	194,414	196,123	197,790	194,755	182,623	180,509	170,337	149,332
	還付件数	80,663	81,265	84,390	85,960	88,226	87,766	85,562	81,689	84,218	87,842	78,972
	還付率	43.4	44.6	45.4	44.2	45.0	44.4	43.9	44.7	46.7	51.6	52.9

※ 還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

年齢層別検挙人員の推移をみると、毎年、最も多いのは14-19歳であった。平成17年には「施錠あり」の67.4%、「施錠なし」の53.3%を占めたが、「施錠あり」では27年に、「施錠なし」では25年に、それぞれ50%を下回った。

図表：１－２－３－２－オ－３（施錠状態・年齢層別自転車盗検挙人員、
年齢層別人口10万人当たり自転車盗検挙人員 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分	検挙人員(人)	25,737	25,432	23,682	20,872	20,378	19,051	16,541	14,526	12,311	11,073	9,553
	施錠あり	7,655	7,595	7,073	6,037	5,550	5,127	3,823	3,191	2,471	2,186	1,805
	14-19歳	5,162	5,019	4,612	3,814	3,525	3,196	2,305	1,836	1,430	1,184	895
	人口10万人当たり	66.1	65.7	61.7	51.8	48.4	43.9	31.7	25.3	19.8	16.5	12.5
	20-24歳	770	764	687	597	529	551	409	349	265	261	228
	人口10万人当たり	10.4	10.4	9.5	8.4	7.7	8.4	6.4	5.6	4.3	4.2	3.7
	25-29歳	258	271	267	257	214	209	175	174	116	133	90
	人口10万人当たり	3.1	3.4	3.4	3.4	2.9	2.8	2.4	2.5	1.7	2.0	1.3
	30-39歳	332	336	306	311	314	255	242	208	171	149	139
	人口10万人当たり	1.8	1.8	1.6	1.7	1.7	1.4	1.4	1.2	1.0	0.9	0.9
	40-49歳	287	275	266	225	231	219	146	158	111	123	117
	人口10万人当たり	1.8	1.8	1.7	1.4	1.4	1.3	0.8	0.9	0.6	0.7	0.6
	50-59歳	399	422	386	329	273	240	165	152	97	109	97
	人口10万人当たり	2.1	2.2	2.1	1.9	1.6	1.5	1.0	1.0	0.6	0.7	0.6
	60-69歳	307	325	352	318	290	279	229	187	165	122	126
	人口10万人当たり	1.9	2.1	2.2	1.9	1.6	1.5	1.2	1.0	0.9	0.7	0.7
	70歳以上	140	183	197	186	174	178	152	127	116	105	113
	人口10万人当たり	0.8	1.0	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.5
施錠なし	検挙人員(人)	18,082	17,837	16,609	14,835	14,828	13,924	12,718	11,335	9,840	8,887	7,748
	14-19歳	9,635	9,708	9,046	8,200	7,941	7,502	6,728	5,938	4,917	4,288	3,306
	人口10万人当たり	123.5	127.1	121.1	111.4	109.0	103.1	92.6	81.9	68.0	59.7	46.0
	20-24歳	2,776	2,645	2,449	2,090	2,201	2,043	1,950	1,752	1,659	1,506	1,489
	人口10万人当たり	37.6	36.2	33.8	29.4	31.8	31.3	30.6	27.9	26.7	24.3	24.0
	25-29歳	1,156	1,091	1,000	875	906	878	825	788	705	667	634
	人口10万人当たり	13.9	13.6	12.8	11.5	12.1	11.9	11.4	11.2	10.3	10.0	9.5
	30-39歳	1,281	1,250	1,093	1,008	1,111	1,041	931	853	828	762	724
	人口10万人当たり	6.9	6.6	5.8	5.4	6.1	5.7	5.2	4.9	5.0	4.7	4.5
	40-49歳	838	756	740	698	755	650	622	572	541	532	519
	人口10万人当たり	5.3	4.8	4.6	4.3	4.6	3.8	3.6	3.2	3.0	2.9	2.8
	50-59歳	1,099	1,083	1,008	807	769	698	617	498	427	384	332
	人口10万人当たり	5.7	5.6	5.5	4.6	4.6	4.2	3.9	3.2	2.8	2.5	2.1
	60-69歳	895	820	821	734	734	658	622	537	418	429	380
	人口10万人当たり	5.6	5.2	5.0	4.3	4.1	3.6	3.4	2.9	2.3	2.4	2.1
	70歳以上	402	484	452	423	411	454	423	397	345	319	364
	人口10万人当たり	2.2	2.6	2.3	2.1	2.0	2.1	1.9	1.8	1.5	1.3	1.5

14-19歳の検挙人員について、年齢別（1歳刻み）に人口10万人当たりの検挙人員をみると、17-19歳に比べて14-16歳が高い傾向がみられた。

図表：1-2-3-2-オ-4（14-19歳年齢別自転車盗検挙人員、
年齢別人口10万人当たり自転車盗検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
14-19歳検挙人員(人)	14,797	14,727	13,658	12,014	11,466	10,698	9,033	7,774	6,347	5,472	4,201
人口10万人当たり	189.6	192.8	182.8	163.2	157.4	147.0	124.3	107.3	87.8	76.2	58.5
14歳	2,896	2,839	2,855	2,528	2,674	2,503	1,932	1,689	1,488	1,180	797
人口10万人当たり	238.9	234.0	239.7	209.3	221.7	211.2	161.9	141.0	126.2	100.2	67.7
15歳	3,388	3,491	3,456	2,892	2,819	2,458	2,202	1,766	1,435	1,220	927
人口10万人当たり	273.7	287.8	284.9	242.8	233.4	201.1	185.7	148.0	119.8	103.4	78.6
16歳	3,490	3,476	3,111	2,756	2,455	2,277	1,940	1,765	1,290	1,163	896
人口10万人当たり	273.1	280.8	256.7	227.2	206.3	185.3	158.9	148.9	108.1	97.1	74.8
17歳	2,248	2,143	1,858	1,688	1,503	1,402	1,185	1,054	890	765	590
人口10万人当たり	170.6	167.6	150.1	139.4	124.0	116.3	96.5	86.3	75.0	64.1	49.4
18歳	1,541	1,514	1,319	1,151	1,071	1,111	908	766	647	558	492
人口10万人当たり	113.1	114.4	102.6	92.4	88.1	90.8	75.0	62.1	52.6	46.7	41.2
19歳	1,234	1,264	1,059	999	944	947	866	734	597	586	499
人口10万人当たり	88.4	92.3	79.4	77.1	75.3	78.0	70.4	60.4	48.1	47.3	40.3

カ 組織窃盗事件

平成27年中に各都道府県警察が認定した組織窃盗事件¹は11件であった。このうち、警察庁登録組織窃盗事件²として登録した事件は2件であった。

これまでの警察庁登録組織窃盗事件の検挙事例をみると、窃盗組織は、いずれも来日外国人や暴力団組員等を主要なメンバーとして、数十人単位の多数の者で構成され、首魁の指揮の下、実行犯を入れ替えながら、連続して広域にわたる侵入窃盗や自動車盗等を敢行するとともに、実行犯以外のメンバーが、窃取した預貯金通帳を用いて不正に現金を引き下ろしたり、窃取した自動車を解体したり車台番号等を改ざんして不正に輸出するなどしていた。

図表：1-2-3-2-カ-1（組織窃盗事件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
都道府県警察が認定した組織窃盗事件数(件)	49	45	30	30	21	29	11	14	9	9	11
うち警察庁登録事件	9	6	1	2	2	6	3	2	2	2	2
終結事件数	49	45	30	30	21	29	11	14	9	7	1
うち警察庁登録事件	9	6	1	2	2	6	3	2	2	2	0
捜査中の事件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10
うち警察庁登録事件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

※ 実務統計による。

※ 終結・捜査中の区分は平成27年12月末現在の状況。

¹ 組織窃盗事件とは、多数の被疑者が、首魁による指揮統制の下に、下見、窃取、盗品の運搬、処分等の各行為を分担又は共同して行う窃盗犯罪をいう。

² 平成9年10月、警察庁では、組織窃盗事件登録要領を制定し、各都道府県警察が認定した組織窃盗事件のうち、特に重要な事件を、「警察庁登録組織窃盗事件」として、全国警察に情報提供を求めるなど、組織の壊滅を主眼とする捜査を推進している。

(3) 知能犯

知能犯の認知件数は、平成 17 年以降減少傾向にあったところ、25 年に増加に転じたが、27 年には 3 年ぶりに減少した。検挙件数は、同じく平成 17 年以降減少傾向にあったが、27 年は増加に転じた。

偽造に関する犯罪が減少したことから、知能犯に占める詐欺の割合は高くなり、平成 26、27 年は 9 割を超えた。

検挙率は、平成 17 年以降上昇傾向にあったが、22 年の 66.6%をピークに低下に転じ、26 年には 44.2 %となった。

図表：１－２－３－３－１（知能犯認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分												
知能犯	認知件数(件)	97,500	84,271	75,999	73,451	53,222	44,544	40,894	40,235	43,141	46,027	43,622
	検挙件数(件)	38,151	37,296	33,878	36,979	34,147	29,688	26,433	24,105	22,060	20,355	20,742
	検挙人員(人)	15,053	15,760	15,264	15,145	15,433	14,138	13,262	13,665	13,523	13,125	13,016
	検挙率(%)	39.1	44.3	44.6	50.3	64.2	66.6	64.6	59.9	51.1	44.2	47.5
詐欺	認知件数	85,596	74,632	67,787	64,558	45,318	37,659	34,720	34,762	38,302	41,523	39,432
	検挙件数	29,384	30,127	27,963	30,277	28,753	24,897	22,169	20,264	18,534	17,165	17,613
	検挙人員	11,648	12,406	12,113	12,036	12,542	11,306	10,569	10,997	10,827	10,489	10,502
	検挙率	34.3	40.4	41.3	46.9	63.4	66.1	63.9	58.3	48.4	41.3	44.7
偽造	認知件数	9,410	7,010	5,941	6,544	5,830	5,008	4,372	3,596	3,020	2,665	2,550
	検挙件数	7,175	5,433	4,442	5,097	3,992	3,429	2,915	2,497	2,189	1,853	1,866
	検挙人員	2,033	1,847	1,898	1,810	1,710	1,617	1,491	1,466	1,562	1,397	1,350
	検挙率	76.2	77.5	74.8	77.9	68.5	68.5	66.7	69.4	72.5	69.5	73.2
横領	認知件数	2,347	2,408	2,157	2,220	1,987	1,763	1,699	1,754	1,714	1,723	1,536
	検挙件数	1,453	1,545	1,358	1,485	1,324	1,259	1,252	1,256	1,242	1,245	1,165
	検挙人員	1,111	1,252	1,104	1,140	1,073	1,091	1,060	1,078	1,032	1,132	1,045
	検挙率	61.9	64.2	63.0	66.9	66.6	71.4	73.7	71.6	72.5	72.3	75.8
その他	認知件数	147	221	114	129	87	114	103	123	105	116	104
	検挙件数	139	191	115	120	78	103	97	88	95	92	98
	検挙人員	261	255	149	159	108	124	142	124	102	107	119
	検挙率	94.6	86.4	100.9	93.0	89.7	90.4	94.2	71.5	90.5	79.3	94.2

ア 詐欺

平成 17 年以降減少傾向にあった詐欺の認知件数は 24 年に増加に転じたが、27 年には 4 年ぶりに減少した。平成 23 年から 27 年にかけて、詐欺の認知件数は 4,712 件増加したが、同期間中、振り込み詐欺（恐喝を除く。）は 6,503 件、売付は 4,256 件それぞれ増加した。

検挙件数は平成 21 年以降一貫して減少していたが、27 年は微増となった。また、検挙率は平成 17 年以降上昇傾向にあったが、22 年の 66.1%をピークに低下に転じ、26 年には 41.3%となったが、27 年は 5 年ぶりに上昇した。

図表：１－２－３－３－ア－１（詐欺認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）		85,596	74,632	67,787	64,558	45,318	37,659	34,720	34,762	38,302	41,523	39,432
うち振り込み詐欺						8,081	6,603	6,235	6,343	9,199	11,255	12,738
うち売付		22,052	15,017	12,117	6,680	4,816	4,132	3,585	3,776	6,711	9,612	7,841
うち無銭		12,372	12,418	11,535	10,599	10,708	9,253	8,516	8,095	7,117	5,904	5,461
検挙件数（件）		29,384	30,127	27,963	30,277	28,753	24,897	22,169	20,264	18,534	17,165	17,613
うち振り込み詐欺						1,587	2,474	2,419	2,311	2,518	2,350	3,555
うち売付		4,407	4,273	3,147	2,644	1,710	1,657	1,799	1,420	1,223	1,705	1,603
うち無銭		6,468	7,210	6,736	6,321	6,535	5,787	5,283	4,991	4,285	3,500	3,245
検挙人員（人）		11,648	12,406	12,113	12,036	12,542	11,306	10,569	10,997	10,827	10,489	10,502
うち振り込み詐欺						692	649	773	1,027	1,212	1,485	2,080
うち売付		289	425	372	355	330	419	350	376	437	518	499
うち無銭		5,130	5,665	5,357	5,166	5,446	4,878	4,190	3,997	3,470	2,863	2,718
検挙率（％）		34.3	40.4	41.3	46.9	63.4	66.1	63.9	58.3	48.4	41.3	44.7
うち振り込み詐欺						19.6	37.5	38.8	36.4	27.4	20.9	27.9
うち売付		20.0	28.5	26.0	39.6	35.5	40.1	50.2	37.6	18.2	17.7	20.4
うち無銭		52.3	58.1	58.4	59.6	61.0	62.5	62.0	61.7	60.2	59.3	59.4

※ 振り込み詐欺に関する犯罪統計は平成21年開始。

(7) 特殊詐欺¹

特殊詐欺の認知件数は平成 23 年から 27 年まで一貫して増加し、手口別にみると、とりわけ架空請求詐欺²及び還付金等詐欺³が著しく増加した。特殊詐欺の中で最も多い手口はオレオレ詐欺⁴であり、全体に占める割合は、平成 23 年は 60%を上回っていたが、24 年以降は 40%台で推移している。

¹ 被害者に電話をかけるなどして対面することなく欺もうし、指定した預貯金口座への振り込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝も含む。）の総称。その代表的なものが振り込み詐欺（オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺及び還付金等詐欺）。特殊詐欺及び振り込み詐欺には、詐欺（知能犯）のほか恐喝（粗暴犯）が当たるところ、ここでは、特に断りのない限り恐喝を含めた数値を示す。

² 架空の事実を口実に金品を請求する文書を送付して、指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口による詐欺

³ 市区町村の職員等を装い、医療費の還付等に必要の手続を装って現金自動預払機（ＡＴＭ）を操作させて口座間送金により振り込ませる手口による電子計算機使用詐欺

⁴ 親族を装うなどして電話をかけ、会社における横領金の補填金等の様々な名目で現金が至急必要であるかのように信じ込ませ、動転した被害者に、指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口による詐欺

図表：１－２－３－３－ア－２（手口別特殊詐欺認知件数 H23-H27 の推移）

区分	年次	H23	H24	H25	H26	H27
特殊詐欺認知件数（件）		7,216	8,693	11,998	13,392	13,824
うち既遂		6,939	8,132	11,161	12,444	12,769
振り込め詐欺		6,233	6,348	9,204	11,256	12,741
うち既遂		5,964	5,902	8,473	10,398	11,752
オレオレ詐欺		4,656	3,634	5,396	5,557	5,828
うち既遂		4,411	3,261	4,745	4,855	5,134
架空請求詐欺		756	1,177	1,522	3,180	4,097
うち既遂		735	1,115	1,463	3,045	3,821
融資保証金詐欺 ※ 1		525	404	469	591	440
うち既遂		524	403	468	590	440
還付金等詐欺		296	1,133	1,817	1,928	2,376
うち既遂		294	1,123	1,797	1,908	2,357
振り込め詐欺以外の特殊詐欺		983	2,345	2,794	2,136	1,083
うち既遂		975	2,230	2,688	2,046	1,017
金融商品等取引名目 ※ 2		773	1,986	1,875	1,228	663
うち既遂		765	1,874	1,782	1,160	603
ギャンブル必勝法情報提供名目 ※ 3		172	261	587	467	271
うち既遂		172	260	583	462	266
異性との交際あっせん名目 ※ 4		25	43	53	53	47
うち既遂		25	43	53	53	47
その他		13	55	279	388	102
うち既遂		13	53	270	371	101

※ 実務統計による。

※ 1 融資を受けるための保証金の名目で、指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口による詐欺をいう。

※ 2 架空又は価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨等について、電話やダイレクトメール等により虚偽の情報を提供し、購入すれば利益が得られるものと誤信させ、購入を申し込んできた被害者に有価証券等の購入名目で現金を口座に振り込ませるなどの手口による詐欺をいう。

※ 3 不特定多数の者が購読する雑誌に「パチンコ打ち子募集」等と記載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信したりするなどし、これに応じて会員登録等を申し込んできた被害者に対して、パチンコ攻略法等の虚偽の情報を提供するなどした上で、会員登録料や情報料等の名目で現金を口座に振り込ませるなどの手口による詐欺をいう。

※ 4 不特定多数の者が購読する雑誌に「女性紹介」等と記載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信したりするなどし、これに応じて女性の紹介等を求めてきた被害者に対して、女性に関する虚偽の情報を提供するなどした上で、会員登録料や保証金等の名目で現金を口座に振り込ませるなどの手口による詐欺をいう。

特殊詐欺の被害額の推移をみると、平成 23 年から 26 年までは大きく増加していたが、27 年は前年から約 83.5 億円・14.8%減少した。これに対し、振り込め詐欺のみの被害額をみると、平成 23 年から 27 年まで一貫して増加した。とりわけ、架空請求詐欺の被害額の増加は著しく、被害額全体に占める割合は、平成 23 年には 5.1%であったのに対し、27 年には 38.9%を占めた。

図表：１－２－３－３－ア－３（手口別特殊詐欺被害額 H23-H27 の推移）

区分	年次	H23	H24	H25	H26	H27
特殊詐欺被害額（円）		20,404,305,829	36,436,112,888	48,949,490,349	56,550,685,877	48,197,981,078
振り込め詐欺被害額		12,719,000,363	16,041,104,000	25,866,648,203	37,978,278,332	39,371,873,021
	既遂 1 件当たり被害額	2,132,629	2,717,910	3,052,832	3,652,460	3,350,227
オレオレ詐欺		10,705,026,363	11,199,903,000	17,132,755,203	17,490,283,836	17,509,045,980
	既遂 1 件当たり被害額	2,426,893	3,434,500	3,610,697	3,602,530	3,410,410
架空請求詐欺		1,038,157,000	3,010,488,000	6,339,024,000	17,581,405,496	18,752,959,041
	既遂 1 件当たり被害額	1,412,459	2,699,989	4,332,894	5,773,861	4,907,867
融資保証金詐欺		721,845,000	703,040,000	706,882,000	914,939,000	563,877,000
	既遂 1 件当たり被害額	1,377,567	1,744,516	1,510,432	1,550,744	1,281,539
還付金等詐欺		253,972,000	1,127,673,000	1,687,987,000	1,991,650,000	2,545,991,000
	既遂 1 件当たり被害額	863,850	1,004,161	939,336	1,043,842	1,080,183
振り込め詐欺以外の特殊詐欺被害額		7,685,305,466	20,395,008,888	23,082,842,146	18,572,407,545	8,826,108,057
	既遂 1 件当たり被害額	7,882,365	9,145,744	8,587,367	9,077,423	8,678,572
金融商品等取引名目		6,944,741,229	18,613,416,073	17,879,863,124	12,504,642,617	6,733,238,288
	既遂 1 件当たり被害額	9,078,093	9,932,453	10,033,593	10,779,864	11,166,233
ギャンブル必勝法情報提供名目		556,780,047	1,179,496,565	3,139,657,409	2,768,045,778	1,375,785,399
	既遂 1 件当たり被害額	3,237,093	4,536,525	5,385,347	5,991,441	5,172,126
異性との交際あっせん名目		144,265,000	182,040,150	103,618,247	320,306,849	159,242,276
	既遂 1 件当たり被害額	5,770,600	4,233,492	1,955,061	6,043,525	3,388,134
その他		39,519,190	420,056,100	1,959,703,366	2,979,412,301	557,842,094
	既遂 1 件当たり被害額	3,039,938	7,925,587	7,258,161	8,030,761	5,523,189

※ 実務統計による。

※ 被害者がキャッシュカードを犯人に直接手渡すなどする「キャッシュカード手交型」の特殊詐欺におけるＡＴＭからの引出（窃取）額を含む（オレオレ詐欺以外の手口の統計は、平成25年開始）。

平成 26、27 年における特殊詐欺の被害者は、半数以上が 70 歳以上女性であった。手口別にみると、中でもオレオレ詐欺において当該層の割合が高く、両年ともに 60%以上を占めた。

図表：１－２－３－３－ア－４（手口別特殊詐欺被害者の年齢・性別割合（H26、H27））

区分		年次	H26						
			合計	19歳以下	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
特殊詐欺認知件数	男性(%)	28.0	0.2	1.5	1.3	1.8	2.6	4.9	15.8
	女性(%)	72.0	0.2	1.4	1.4	2.0	2.8	12.3	51.9
振り込み詐欺	男性	26.8	0.2	1.5	1.2	1.7	2.1	4.5	15.6
	女性	73.2	0.2	1.6	1.5	2.1	2.6	12.5	52.7
オレオレ詐欺	男性	21.5	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	2.9	18.3
	女性	78.5	0.0	0.0	0.0	0.4	1.9	13.2	63.0
架空請求詐欺	男性	29.5	0.7	4.1	3.2	3.9	4.3	5.3	7.9
	女性	70.5	0.6	5.0	4.2	4.8	4.6	8.9	42.4
融資保証金詐欺	男性	70.0	0.2	7.9	6.0	10.6	16.1	17.6	11.6
	女性	30.0	0.4	3.9	6.6	8.9	5.0	4.1	1.2
還付金等詐欺	男性	26.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	4.1	21.7
	女性	73.8	0.0	0.0	0.1	0.6	0.6	18.7	53.8
振り込み詐欺以外の特殊詐欺	男性	33.9	0.0	1.1	1.6	2.3	4.8	7.1	17.0
	女性	66.1	0.0	0.5	0.6	1.8	4.1	11.7	47.4
金融商品等取引名目	男性	29.5	0.0	0.2	0.4	1.1	1.9	5.5	20.5
	女性	70.5	0.0	0.2	0.0	1.0	2.6	11.6	55.0
ギャンブル必勝法情報提供名目	男性	50.7	0.0	4.1	5.1	4.1	13.5	12.2	11.8
	女性	49.3	0.0	0.9	2.6	4.9	9.0	14.1	17.8
異性との交際あっせん名目	男性	90.6	0.0	3.8	7.5	26.4	26.4	20.8	5.7
	女性	9.4	0.0	3.8	1.9	0.0	3.8	0.0	0.0
その他	男性	19.9	0.0	0.3	0.3	0.8	0.5	4.4	13.7
	女性	80.1	0.0	0.5	0.0	0.8	2.8	10.3	65.6

区分		年次	H27						
			合計	19歳以下	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
特殊詐欺認知件数	男性(%)	28.1	0.3	2.2	1.6	2.2	2.4	4.2	15.2
	女性(%)	71.9	0.3	2.2	1.9	2.3	2.7	9.8	52.7
振り込め詐欺	男性	27.2	0.4	2.2	1.6	2.1	2.1	3.9	15.0
	女性	72.8	0.3	2.3	1.9	2.3	2.5	9.7	53.8
オレオレ詐欺	男性	20.3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	2.6	17.6
	女性	79.7	0.0	0.0	0.1	0.2	1.3	10.7	67.3
架空請求詐欺	男性	32.7	1.1	6.0	4.0	4.8	4.8	5.2	6.7
	女性	67.3	1.0	6.6	5.2	5.9	4.6	6.8	37.1
融資保証金詐欺	男性	73.4	0.3	8.9	9.4	14.1	15.4	14.1	11.2
	女性	26.6	0.3	3.4	5.2	7.0	3.7	3.1	3.9
還付金等詐欺	男性	27.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	3.3	23.4
	女性	72.9	0.0	0.0	0.1	0.5	1.4	13.4	57.6
振り込め詐欺以外の特殊詐欺	男性	38.9	0.0	1.4	1.6	3.4	6.4	8.0	18.1
	女性	61.1	0.0	1.3	1.3	1.9	5.1	11.2	40.4
金融商品等取引名目	男性	28.1	0.0	0.0	0.0	0.6	2.7	5.7	19.0
	女性	71.9	0.0	0.2	0.0	0.5	3.5	12.4	55.5
ギャンブル必勝法情報提供名目	男性	63.5	0.0	3.7	4.8	8.5	12.9	13.7	19.9
	女性	36.5	0.0	0.4	2.2	4.1	7.7	11.4	10.7
異性との交際あっせん名目	男性	72.3	0.0	6.4	4.3	8.5	27.7	21.3	4.3
	女性	27.7	0.0	2.1	10.6	8.5	6.4	0.0	0.0
その他	男性	28.4	0.0	2.0	2.0	5.9	2.9	2.0	13.7
	女性	71.6	0.0	10.8	2.9	2.9	7.8	7.8	39.2

※ 実務統計による。

平成 26 年に減少に転じた特殊詐欺の検挙件数は、27 年は再び増加に転じた。手口別にみると、架空請求詐欺の検挙件数が前年から 826 件・281.9%と大きく増加した一方、金融商品等取引名目の特殊詐欺の検挙件数は 312 件・42.1%減少した。

また、検挙人員は、平成 23 年から 27 年まで一貫して増加した。平成 27 年の検挙人員を手口別に 26 年と比較すると、振り込め詐欺の各手口が増加したのに対し、振り込め詐欺以外の特殊詐欺の各手口は減少した。

図表：１－２－３－３－ア－５（手口別特殊詐欺検挙状況 H23-H27 の推移）

区分	年次	H23	H24	H25	H26	H27
特殊詐欺検挙件数（件）		2,556	2,990	3,419	3,252	4,112
振り込め詐欺		2,419	2,313	2,519	2,351	3,555
オレオレ詐欺		1,668	1,802	1,749	1,793	1,958
架空請求詐欺		706	370	354	293	1,119
融資保証金詐欺		43	25	270	71	65
還付金等詐欺		2	116	146	194	413
振り込め詐欺以外の特殊詐欺		137	677	900	901	557
金融商品等取引名目		73	647	797	741	429
ギャンブル必勝法情報提供名目		63	14	27	64	71
異性との交際あっせん名目		1	9	21	4	13
その他		0	7	55	92	44
特殊詐欺検挙人員（人）		923	1,523	1,774	1,985	2,506
振り込め詐欺		775	1,028	1,213	1,486	2,080
オレオレ詐欺		580	840	1,017	1,233	1,266
架空請求詐欺		178	165	156	231	762
融資保証金詐欺		12	11	20	4	16
還付金等詐欺		5	12	20	18	36
振り込め詐欺以外の特殊詐欺		148	495	561	499	426
金融商品等取引名目		128	474	479	360	339
ギャンブル必勝法情報提供名目		18	17	42	68	41
異性との交際あっせん名目		2	1	2	6	5
その他		0	3	38	65	41

※ 実務統計による。

特殊詐欺を助長する犯罪の検挙件数は平成 25 年をピークに減少傾向にあるが、検挙人員は 23 年から 27 年まで一貫して増加した。

図表：１－２－３－３－ア－６（助長詐欺検挙状況 H23-H27 の推移）

区分 \ 年次	H23	H24	H25	H26	H27
検挙件数（件）	3,851	4,103	4,277	4,222	4,027
口座詐欺・盗品等譲受け	2,138	2,070	2,031	1,935	1,753
犯罪収益移転防止法違反	1,288	1,581	1,729	1,610	1,523
携帯電話端末詐欺 ※1	392	411	432	624	703
携帯電話不正利用防止法違反 ※2	33	41	85	53	48
検挙人員（人）	2,371	2,540	2,647	2,723	2,757
口座詐欺・盗品等譲受け	1,085	1,118	1,115	1,085	1,088
犯罪収益移転防止法違反	981	1,167	1,200	1,180	1,168
携帯電話端末詐欺	277	225	275	406	452
携帯電話不正利用防止法違反	28	30	57	52	49

※ 実務統計による。

※1 携帯音声通信事業者から携帯電話端末等を詐取する手口をいう。

※2 携帯電話不正利用防止法とは、携帯音声通信事業者による契約者等の本人確認等及び携帯音声通信役務の不正な利用の防止に関する法律（平成17年法律第31号）をいう。

(イ) 無銭

詐欺の認知件数を手口別にみると、平成 20 年から 24 年までの毎年、無銭が最多であった。この手口の検挙率は比較的高く、平成 17 年から 27 年まで常に 50%を上回った。

年齢層別に無銭の検挙人員をみると、平成 17 年には 50 歳代が最も多かったが、27 年までに 639 人・57.5%減少し、27 年の最多層は 20 歳代となった。また、年齢層別人口 10 万人当たりの当該年齢層の検挙人員の推移をみると、平成 17 年から 21 年までは 14-19 歳が最多層であったが、22 年以降は 20 歳代が最多層となった。

図表：１－２－３－３－ア－７（年齢層別無銭検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり無銭検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	5,130	5,665	5,357	5,166	5,446	4,878	4,190	3,997	3,470	2,863	2,718
14-19歳	606	734	704	603	678	552	488	431	296	296	212
人口10万人当たり	7.8	9.6	9.4	8.2	9.3	7.6	6.7	5.9	4.1	4.1	3.0
20-29歳	981	1,099	1,069	1,044	1,146	1,149	950	932	777	595	585
人口10万人当たり	6.3	7.2	7.1	7.1	7.9	8.3	7.0	7.0	5.9	4.6	4.5
30-39歳	786	818	792	769	800	751	629	622	565	455	397
人口10万人当たり	4.2	4.3	4.2	4.1	4.4	4.1	3.5	3.6	3.4	2.8	2.5
40-49歳	874	866	860	841	854	798	689	639	599	514	523
人口10万人当たり	5.5	5.5	5.4	5.2	5.2	4.7	4.0	3.6	3.3	2.8	2.8
50-59歳	1,111	1,201	1,053	1,027	1,031	782	646	611	554	446	472
人口10万人当たり	5.8	6.2	5.7	5.8	6.1	4.8	4.0	3.9	3.6	2.9	3.1
60-69歳	599	704	664	648	729	602	586	563	478	395	360
人口10万人当たり	3.7	4.5	4.1	3.8	4.1	3.3	3.2	3.1	2.6	2.2	2.0
70歳以上	173	243	215	234	208	244	202	199	201	162	169
人口10万人当たり	0.9	1.3	1.1	1.2	1.0	1.2	0.9	0.9	0.9	0.7	0.7

(ウ) 売付

平成 17 年の詐欺の認知件数を手口別にみると、最も多くを占めたのは売付の 2 万 2,052 件で、詐欺全体の 25.8% を占めた。その後は毎年減少し、平成 23 年には 17 年に比べ 83.7% 減の 3,585 件、詐欺全体の 10.3% まで減少したが、24 年から 26 年にかけては再び増加した。

検挙率は、平成 17 年には 20.0% であったが、23 年には 50.2% まで上昇した。平成 24 年からは 3 年連続して低下し、26 年には 17.7% となったが、27 年は 2.7 ポイント回復した。

検挙人員を年齢層別にみると、平成 17 年から 27 年まで常に 20 歳代が最多であった。また、各年齢層別人口 10 万人当たりの当該年齢層の検挙人員の推移をみると、平成 17 年から 20 年までは 14-19 歳が最も高かったが、21 年以降は 20 歳代が上回った。

図表：１－２－３－３－ア－８（年齢層別売付検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり売付検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	289	425	372	355	330	419	350	376	437	518	499
14-19 歳	41	84	61	62	50	60	49	52	39	56	41
人口 10 万人当たり	0.5	1.1	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.5	0.8	0.6
20-29 歳	79	137	113	106	123	152	106	118	155	185	168
人口 10 万人当たり	0.5	0.9	0.8	0.7	0.9	1.1	0.8	0.9	1.2	1.4	1.3
30-39 歳	67	99	77	78	74	85	84	90	107	136	138
人口 10 万人当たり	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	0.8	0.9
40-49 歳	44	45	52	43	34	53	58	59	53	71	73
人口 10 万人当たり	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4
50-59 歳	36	30	39	44	24	38	32	34	40	36	41
人口 10 万人当たり	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3
60 歳以上	22	30	30	22	25	31	21	23	43	34	38
人口 10 万人当たり	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

イ 構造的な不正事案

(7) 政治・行政をめぐる不正事案

政治・行政をめぐる不正事案（公職選挙法違反事件を除く。）の検挙事件数は、平成 19 年以降減少傾向にあり、27 年は 18 年から 82 件・68.9%減少した。

図表：１－２－３－３－イ－１（政治・行政をめぐる不正事案検挙事件数 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙事件数(件)		84	119	73	77	52	55	56	45	38	46	37
贈収賄		65	74	47	50	38	41	36	31	25	29	29
談合・公契約関係競売等妨害		17	42	26	27	14	12	15	13	11	16	8
あっせん利得処罰法違反		1	2	0	0	0	0	1	1	1	1	0
政治資金規正法違反		1	1	0	0	0	2	4	0	1	0	0

※ 実務統計による。

※ 公契約関係競売等妨害には、偽計入札妨害を含む。

(4) 公職選挙法違反事件

a 第 47 回衆議院議員総選挙違反取締り（平成 26 年 12 月 14 日施行）

第 47 回衆議院議員総選挙における期日後 90 日（平成 27 年 3 月 14 日）現在の検挙事件数は 31 事件、検挙件数は 87 件、検挙人員は 105 人（うち逮捕者 20 人）で、前回（第 46 回衆議院議員総選挙）の期日後 90 日（平成 24 年 3 月 16 日）現在に比べ、検挙事件数が 33 事件、検挙件数が 21 件、検挙人員が 36 人（うち逮捕者 13 人）、それぞれ減少した。

図表：１－２－３－３－イ－２（衆議院議員総選挙における検挙状況（第 46、47 回））

	第47回				第46回			
	事件数 (件)	件数 (件)	人員 (人)	うち逮捕	事件数	件数	人員	うち逮捕
買収	6	57	72	10	13	55	75	11
自由妨害	11	14	11	9	19	19	19	15
文書違反	1	1	2	0	8	8	15	0
詐偽投票等	6	6	6	0	9	9	10	3
投票干渉	3	4	10	1	6	6	9	2
投票偽造	1	1	1	0	0	0	0	0
地位利用	0	0	0	0	1	3	3	0
その他	3	4	3	0	8	8	10	2
合計	31	87	105	20	64	108	141	33

※ 実務統計による。

ｂ 第 18 回統一地方選挙違反取締り（平成 27 年 4 月 12、26 日施行）

第 18 回統一地方選挙における後段期日後 90 日（平成 27 年 7 月 25 日）現在の検挙事件数は 95 事件、406 件、検挙人員は 673 人（うち逮捕者 104 人）で、前回（第 17 回統一地方選挙）の後段期日後 90 日（平成 23 年 7 月 23 日）現在に比べ、検挙事件数が 69 事件、検挙件数が 148 件、検挙人員が 407 人（うち逮捕者 53 人）、それぞれ減少した。

図表：１－２－３－３－イ－３（統一地方選挙における検挙状況（第 17、18 回））

	第18回				第17回			
	事件数 (件)	件数 (件)	人員 (人)	うち逮捕	事件数	件数	人員	うち逮捕
買 収	35	314	550	69	80	399	944	119
自 由 妨 害	21	23	21	16	26	30	26	19
投 票 干 渉	3	5	5	4	2	2	3	1
詐 偽 投 票 等	15	37	55	8	19	33	41	12
投 票 偽 造	3	3	6	4	1	1	3	2
文 書 違 反	10	11	20	3	19	20	30	0
戸 別 訪 問	1	3	9	0	1	2	1	0
そ の 他	7	10	7	0	15	52	17	2
政 治 資 金 法 違 反	0	0	0	0	1	15	15	2
合 計	95	406	673	104	164	554	1,080	157

※ 実務統計による。

ｃ 一般地方選挙違反取締り

一般地方選挙において、平成 26 年は平川市長選挙における現金買収事件（青森）、三豊市議会議員選挙における現金買収事件（香川）等を、27 年は尾花沢市議会議員選挙における現金買収事件（山形）、鹿沼市議会議員選挙における供応買収事件（栃木）等を検挙した。

(ウ) 金融・不良債権関連犯罪

金融・不良債権関連犯罪の検挙事件数は、平成 18 年をピークに減少傾向にあり、27 年は、18 年から 97 件・76.4%減少した。

図表：１－２－３－３－イ－４（金融・不良債権関連事犯検挙事件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙事件数(件)	116	127	79	72	108	84	93	76	68	43	30
うち暴力団関係	51	36	25	17	45	35	54	39	36	26	12
融資過程	20	32	19	18	50	41	53	40	46	30	16
うち暴力団関係	12	14	15	12	39	33	45	28	34	26	12
債権回収過程	47	27	13	10	6	4	10	11	2	0	2
うち暴力団関係	38	21	10	5	6	2	9	11	2	0	0
その他金融機関役職員	49	68	47	44	50	39	30	25	20	13	12
うち暴力団関係	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 実務統計による。

ウ 偽造

偽造の認知件数は平成 17 年以降減少傾向にあり、27 年には 17 年から 6,860 件・72.9%減少した。

認知件数の内訳をみると、文書偽造が最も多く、次いで通貨偽造が多いが、とりわけ通貨偽造の減少率は高く、同期間中に 3,186 件・84.6%減少した。

また、偽造の検挙件数も同期間中に 5,309 件・74.0%減少しており、中でも通貨偽造は 2,038 件・92.9%減少した。

通貨偽造の検挙率は平成 17 年の 58.3%をピークに大きく低下し、26 年には 17.1%となったが、27 年には回復して 26.9%となった。文書偽造の検挙率は期間を通じて高水準であった。

図表：１－２－３－３－ウ－１（偽造認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）	9,410	7,010	5,941	6,544	5,830	5,008	4,372	3,596	3,020	2,665	2,550
うち通貨偽造	3,765	1,479	1,410	1,234	1,968	1,840	1,577	1,152	752	613	579
うち文書偽造	4,747	4,832	3,994	4,786	3,385	2,723	2,304	2,134	2,005	1,768	1,690
検挙件数（件）	7,175	5,433	4,442	5,097	3,992	3,429	2,915	2,497	2,189	1,853	1,866
うち通貨偽造	2,194	622	419	395	557	572	476	298	186	105	156
うち文書偽造	4,249	4,258	3,582	4,289	3,085	2,519	2,034	1,910	1,781	1,535	1,522
検挙人員（人）	2,033	1,847	1,898	1,810	1,710	1,617	1,491	1,466	1,562	1,397	1,350
うち通貨偽造	209	74	68	87	80	78	65	58	51	37	34
うち文書偽造	1,455	1,574	1,711	1,581	1,517	1,419	1,322	1,322	1,421	1,292	1,268
検挙率（％）	76.2	77.5	74.8	77.9	68.5	68.5	66.7	69.4	72.5	69.5	73.2
うち通貨偽造	58.3	42.1	29.7	32.0	28.3	31.1	30.2	25.9	24.7	17.1	26.9
うち文書偽造	89.5	88.1	89.7	89.6	91.1	92.5	88.3	89.5	88.8	86.8	90.1

届出等により警察が押収した日本銀行券の枚数（発見枚数）は減少傾向にあり、平成 25 年には過去最少の 966 枚となったが、27 年は 1,208 枚発見された。500 円貨幣については平成 24 年及び 26 年にそれぞれ前年から半減しており、27 年は前年とほぼ同数となった。

図表：１－２－３－３－ウ－２（偽造日本銀行券の発見枚数 H22-H27 の推移）

区分 \ 年次	H22	H23	H24	H25	H26	H27
合計（枚）	6,299	5,161	3,822	2,324	2,872	1,843
紙幣合計	3,609	1,536	1,950	966	2,235	1,208
一万円券	2,427	1,157	1,457	587	1,581	793
五千円券	474	85	109	74	108	33
二千円券	327	3	4	2	1	16
千円券	381	291	380	303	545	366
五百円貨幣	2,690	3,625	1,872	1,358	637	635

※ 実務統計による。

(4) 風俗犯（重要犯罪に該当する手口を除く。）

ア 公然わいせつ

公然わいせつの認知件数は平成 22 年以降増加傾向にあったが、26、27 年はそれぞれ前年から減少した。検挙件数は、平成 24 年に 2,000 件を超えたが、25～27 年は毎年減少した。検挙率は、平成 17 年以降 23 年まで 70%を超えていたものの、24 年には 69.3%となり、25 年以降は 60%程度で推移している。

図表：１－２－３－４－ア－１（公然わいせつ認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数（件）		2,420	2,602	2,286	2,365	2,359	2,655	2,638	2,979	3,175	3,143	2,912
うちショーによるもの		10	14	8	15	5	4	4	5	5	2	2
検挙件数（件）		1,741	1,999	1,718	1,782	1,810	1,953	1,926	2,064	1,921	1,870	1,773
うちショーによるもの		7	14	7	12	4	4	3	5	4	2	1
検挙人員（人）		1,502	1,715	1,618	1,613	1,626	1,727	1,700	1,745	1,662	1,554	1,491
うちショーによるもの		14	56	78	58	26	21	31	50	17	13	1
検挙率（％）		71.9	76.8	75.2	75.3	76.7	73.6	73.0	69.3	60.5	59.5	60.9
うちショーによるもの		70.0	100.0	87.5	80.0	80.0	100.0	75.0	100.0	80.0	100.0	50.0

年齢層別に検挙人員をみると、平成 17 年から 22 年までは 30 歳代が最多層であったが、23、24 年は 30 歳代と 40 歳代が拮抗、25 年以降は 40 歳代が最多層となった。年齢層別人口 10 万人当たりの当該年齢層の検挙人員の推移をみると、平成 17 年には 30 歳代が最も高かったものの減少傾向にあり、27 年には 20 歳代が最も高くなった。

図表：１－２－３－４－ア－２（年齢層別公然わいせつ検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たり公然わいせつ検挙人員 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）		1,502	1,715	1,618	1,613	1,626	1,727	1,700	1,745	1,662	1,554	1,491
14-19歳		67	75	63	89	92	80	86	101	117	85	92
人口10万人当たり		0.9	1.0	0.8	1.2	1.3	1.1	1.2	1.4	1.6	1.2	1.3
20-29歳		330	302	291	289	292	322	292	308	297	275	295
人口10万人当たり		2.1	2.0	1.9	2.0	2.0	2.3	2.1	2.3	2.3	2.1	2.3
30-39歳		436	538	455	467	471	453	425	425	376	339	294
人口10万人当たり		2.3	2.8	2.4	2.5	2.6	2.5	2.4	2.5	2.3	2.1	1.8
40-49歳		329	384	395	367	376	419	425	422	443	402	351
人口10万人当たり		2.1	2.4	2.5	2.3	2.3	2.5	2.5	2.4	2.5	2.2	1.9
50-59歳		211	261	231	226	236	234	240	260	227	244	221
人口10万人当たり		1.1	1.4	1.2	1.3	1.4	1.4	1.5	1.7	1.5	1.6	1.4
60-69歳		92	116	131	121	109	157	162	152	135	131	160
人口10万人当たり		0.6	0.7	0.8	0.7	0.6	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.9
70歳以上		37	39	52	54	50	62	70	77	67	78	78
人口10万人当たり		0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3

イ わいせつ物頒布等

わいせつ物頒布等の認知・検挙件数は、平成 23 年に前年から大きく増加したが、25 年には減少に転じ、以後ほぼ横ばいで推移している。検挙率は、90%を超える高水準で推移していたが、26 年には 90%をわずかに下回った。

図表：１－２－３－４－イ－１（わいせつ物頒布等認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	693	795	810	816	797	837	1,186	1,320	1,089	1,151	1,095
検挙件数(件)	671	770	787	787	768	783	1,158	1,270	1,010	1,033	998
検挙人員(人)	814	913	892	857	820	805	1,061	1,132	896	787	757
検挙率(%)	96.8	96.9	97.2	96.4	96.4	93.5	97.6	96.2	92.7	89.7	91.1

年齢層別に検挙人員をみると、平成 17 年から 27 年まで、毎年、30 歳代及び 40 歳代で全検挙人員の過半数を占めた。年齢層別人口 10 万人当たりの当該年齢層の検挙人員の推移をみると、平成 17 年から 22 年までは 30 歳代が最も高かったが、23 年以降の最多層は毎年異なり、14-19 歳が最多層となることもあった。

図表：１－２－３－４－イ－２（年齢層別わいせつ物頒布等検挙人員、
年齢層別人口 10 万人当たりわいせつ物頒布等検挙人員 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員(人)	814	913	892	857	820	805	1,061	1,132	896	787	757
14-19歳	7	10	8	5	16	17	99	127	73	50	56
人口10万人当たり	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	1.4	1.8	1.0	0.7	0.8
20-29歳	167	168	175	154	96	116	190	217	184	151	151
人口10万人当たり	1.1	1.1	1.2	1.0	0.7	0.8	1.4	1.6	1.4	1.2	1.2
30-39歳	268	337	299	253	278	260	263	269	226	191	189
人口10万人当たり	1.4	1.8	1.6	1.4	1.5	1.4	1.5	1.6	1.4	1.2	1.2
40-49歳	161	188	196	218	216	233	330	300	229	228	215
人口10万人当たり	1.0	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.9	1.7	1.3	1.2	1.2
50-59歳	142	137	149	132	137	107	118	150	132	117	100
人口10万人当たり	0.7	0.7	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	1.0	0.9	0.8	0.6
60歳以上	69	73	65	95	77	72	61	69	52	50	46
人口10万人当たり	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1

(5) その他の刑法犯

ア 公務執行妨害

公務執行妨害の認知件数は平成 19 年以降、検挙件数は 20 年以降減少傾向にある。検挙率は、95%前後の高水準で推移している。

図表：１－２－３－５－ア－１（公務執行妨害認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	3,327	3,576	3,569	3,242	3,072	2,973	3,031	3,123	2,968	2,834	2,691
検挙件数(件)	3,188	3,402	3,459	3,071	2,952	2,881	2,863	2,932	2,870	2,763	2,559
検挙人員(人)	2,868	3,118	3,181	2,945	2,698	2,547	2,476	2,501	2,540	2,367	2,152
検挙率(%)	95.8	95.1	96.9	94.7	96.1	96.9	94.5	93.9	96.7	97.5	95.1

イ 器物損壊等

器物損壊等の認知件数は平成 17 年以降一貫して減少しており、27 年は、17 年に比べて 9 万 2,381 件・45.0%減少した。検挙件数は平成 19 年以降減少傾向にあり、検挙率は 10%未満の低水準で推移している。

図表：１－２－３－５－イ－１（器物損壊等認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	205,312	194,824	185,472	179,134	170,336	158,501	149,524	145,711	140,809	126,818	112,931
検挙件数(件)	12,884	13,816	13,617	13,129	12,062	11,554	10,948	11,204	10,711	10,509	10,387
検挙人員(人)	6,362	6,551	6,575	6,480	6,160	5,864	5,839	5,975	6,042	5,775	5,588
検挙率(%)	6.3	7.1	7.3	7.3	7.1	7.3	7.3	7.7	7.6	8.3	9.2

被害器物別に器物損壊等の認知件数をみると、平成 17 年以降 27 年までの毎年、自動車が全被害器物の過半数を占めた。特に減少率が高いのが自動販売機で、3,115 件・80.5%減少した。

図表：１－２－３－５－イ－２（被害器物別器物損壊等認知件数 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
被害器物別 認知件数(件)	205,306	194,823	185,472	179,133	170,336	158,498	149,523	145,704	140,802	126,811	112,927
車両	119,323	113,172	108,157	105,082	101,151	94,750	90,208	86,550	82,865	75,197	67,060
自動車	105,964	100,072	94,949	91,932	89,116	83,933	79,602	75,792	71,162	64,643	57,643
オートバイ	6,474	6,266	6,165	5,999	5,463	4,732	4,563	4,379	4,445	3,885	3,292
自転車	4,765	4,827	5,163	5,463	5,140	4,806	4,930	5,239	5,832	5,465	5,021
その他	2,120	2,007	1,880	1,688	1,432	1,279	1,113	1,140	1,426	1,204	1,104
家屋・建造物	66,650	62,424	57,276	52,968	49,433	45,536	41,934	40,540	39,211	34,566	30,359
自動販売機	3,871	2,920	2,662	2,407	2,167	1,710	1,584	1,563	1,355	1,023	756
看板	2,378	2,461	2,549	2,504	2,380	2,239	2,127	2,229	2,057	1,858	1,790
動植物	1,066	976	1,039	1,303	1,012	914	738	835	869	816	833
その他	12,018	12,870	13,789	14,869	14,193	13,349	12,932	13,987	14,445	13,351	12,129

※ 認知件数は、被害器物があるものに限る。

(6) その他

ア 人質立てこもり

人質立てこもりの認知・検挙件数は平成 17 年以降 10 件以下で推移しており、27 年は 6 件であった。

認知した事件は、全て年内に検挙した。

図表：１－２－３－６－ア－１（人質立てこもり認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知事件数(件)	7	3	6	4	2	4	10	2	1	3	6
検挙事件数(件)	7	3	6	4	2	4	10	2	1	3	6
検挙人数(人)	7	3	6	4	2	4	10	2	1	3	6

※ 実務統計による。

イ 銃砲刀剣類等を使用した犯罪

銃器使用事件の認知件数は平成 17 年以降一貫して減少していたが、26 年は前年から 20 件・15.7%増加した。平成 27 年は再び減少に転じ、前年から 37 件・25.2%減少した。

刀剣類・刃物類使用事件の認知件数は微減傾向にあり、平成 27 年は 17 年に比べて 2,592 件・34.1%減少した。主な罪種別にみると、増加したのは脅迫のみであった。

平成 27 年の主な罪種別認知件数に占める銃器使用の割合をみると、いずれも 1%を下回ったが、刀剣類・刃物類使用の割合をみると、殺人が最も高い 49.8%で、強盗 28.8%、脅迫 23.0%と続いた。

図表：１－２－３－６－イ－１（銃砲刀剣類等使用事件の認知件数 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)		2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,826,500	1,713,832	1,604,019	1,502,951	1,403,167	1,314,140	1,212,163	1,098,969
うち銃器使用		412	366	324	276	253	205	180	153	127	147	110
うち拳銃使用		207	189	183	139	162	126	100	91	73	82	58
うち刀剣類・刃物類使用		7,596	6,604	6,004	5,844	6,319	5,740	5,525	5,564	5,305	5,348	5,004
殺人		1,392	1,309	1,199	1,301	1,095	1,068	1,052	1,032	938	1,054	933
うち銃器使用		24	23	34	19	14	19	19	17	13	15	5
うち拳銃使用		21	21	27	19	12	16	17	15	11	12	5
うち刀剣類・刃物類使用		718	713	653	677	567	553	557	558	478	566	465
強盗		5,988	5,108	4,567	4,298	4,535	4,051	3,695	3,691	3,324	3,056	2,426
うち銃器使用		111	111	94	75	100	60	44	44	16	26	17
うち拳銃使用		91	96	79	67	95	57	37	40	14	26	16
うち刀剣類・刃物類使用		1,992	1,625	1,445	1,502	1,689	1,464	1,299	1,220	1,106	1,051	699
強姦		2,076	1,948	1,766	1,590	1,415	1,293	1,193	1,266	1,409	1,250	1,167
うち銃器使用		3	2	4	2	2	2	1	0	0	0	2
うち拳銃使用		3	2	3	1	2	2	1	0	0	0	1
うち刀剣類・刃物類使用		237	179	152	122	121	110	89	83	84	64	64
暴行		25,815	31,002	31,966	31,670	29,670	29,636	29,319	31,863	31,545	32,372	32,543
うち銃器使用		42	36	17	21	8	10	6	20	12	17	17
うち拳銃使用		6	4	5	6	2	5	2	5	4	2	4
うち刀剣類・刃物類使用		362	321	300	294	219	190	187	195	221	230	255
傷害		34,484	33,987	30,986	28,386	26,545	26,634	25,922	28,053	27,864	26,653	25,183
うち銃器使用		20	13	14	8	8	5	12	6	9	5	7
うち拳銃使用		4	3	2	1	4	0	4	1	2	0	1
うち刀剣類・刃物類使用		967	823	806	649	673	640	677	687	641	636	629
脅迫		2,479	2,658	2,553	2,658	2,354	2,304	2,321	3,253	3,452	3,738	3,700
うち銃器使用		24	11	27	19	20	15	8	14	15	16	12
うち拳銃使用		18	9	19	13	14	11	6	13	12	12	12
うち刀剣類・刃物類使用		613	607	582	622	617	560	612	773	762	782	852
恐喝		10,978	8,636	7,384	6,383	5,556	5,233	4,329	4,181	3,621	3,041	2,614
うち銃器使用		14	12	14	6	6	6	6	8	1	4	6
うち拳銃使用		9	10	11	6	5	4	6	7	1	4	5
うち刀剣類・刃物類使用		210	159	124	101	87	87	66	61	60	47	49
強制わいせつ		8,751	8,326	7,664	7,137	6,723	7,068	6,929	7,321	7,654	7,400	6,755
うち銃器使用		4	4	1	4	6	3	2	2	2	6	0
うち拳銃使用		4	1	0	3	3	2	1	0	2	5	0
うち刀剣類・刃物類使用		261	210	173	160	155	145	125	134	113	105	68
器物損壊等		205,312	194,824	185,472	179,134	170,336	158,501	149,524	145,711	140,809	126,818	112,931
うち銃器使用		121	96	79	86	53	59	51	23	36	33	24
うち拳銃使用		23	20	15	13	15	16	15	5	18	8	4
うち刀剣類・刃物類使用		1,866	1,676	1,489	1,431	1,923	1,684	1,599	1,493	1,584	1,625	1,654
その他		1,972,018	1,763,052	1,635,279	1,563,943	1,465,603	1,368,231	1,278,667	1,176,796	1,093,524	1,006,781	910,717
うち銃器使用		49	58	40	36	36	26	31	19	23	25	20
うち拳銃使用		28	23	22	10	10	13	11	5	9	13	10
うち刀剣類・刃物類使用		370	291	280	286	268	307	314	360	256	242	269

ウ カードの窃盗被害状況とカード使用犯罪

カードを被害品に含む窃盗事件に係る平成 27 年の認知件数は、前年から減少した。カード別にみると、プリペイドカード及び消費者金融カードの被害は微増であり、手口別にみると忍込みと仮睡者ねらいが増加した。

図表：１－２－３－６－ウ－１（カードの種類・窃盗の手口別カードを被害品に含む窃盗認知件数 H26、H27）

カード区分		H26				
手口区分		キャッシュカード	クレジットカード	プリペイドカード	消費者金融カード	合計
カード被害窃盗認知件数(件)		47,359	31,840	3,717	331	83,247
侵入窃盗		4,587	3,065	261	33	7,946
空き巣		1,544	858	87	13	2,502
忍込み		1,700	1,410	76	9	3,195
居空き		434	289	19	5	747
その他		909	508	79	6	1,502
非侵入窃盗		42,473	28,389	3,411	294	74,567
置引き		12,097	7,520	1,206	75	20,898
車上ねらい		11,672	7,941	570	88	20,271
仮睡者ねらい		2,621	2,105	39	27	4,792
ひったくり		2,373	1,785	48	6	4,212
すり		2,362	1,877	73	12	4,324
職場ねらい		1,263	730	71	9	2,073
脱衣場ねらい		1,172	873	60	5	2,110
その他		8,913	5,558	1,344	72	15,887
乗り物盗		299	386	45	4	734

カード区分		H27				
手口区分		キャッシュカード	クレジットカード	プリペイドカード	消費者金融カード	合計
カード被害窃盗認知件数		42,828	29,871	3,928	354	76,981
侵入窃盗		4,424	3,081	260	19	7,784
空き巣		1,361	726	78	6	2,171
忍込み		1,879	1,647	78	6	3,610
居空き		379	231	21	3	634
その他		805	477	83	4	1,369
非侵入窃盗		38,151	26,451	3,634	326	68,562
置引き		11,028	7,102	1,312	85	19,527
車上ねらい		10,741	7,463	567	106	18,877
仮睡者ねらい		2,571	2,246	46	23	4,886
ひったくり		1,493	1,123	55	6	2,677
すり		2,131	1,715	68	13	3,927
職場ねらい		1,203	763	82	8	2,056
脱衣場ねらい		1,032	826	66	12	1,936
その他		7,952	5,213	1,438	73	14,676
乗り物盗		253	339	34	9	635

カード偽造犯罪（刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪）の認知件数は、平成 17 年から 25 年までおおむね減少傾向にあったが、26、27 年はそれぞれ前年から増加した。

検挙率は、平成 24 年には 132.0%となったが、その後は低下を続け、27 年には 64.6%と、17 年以降初めて 70%を下回った。

図表：１－２－３－６－ウ－２（カード偽造犯罪の認知・検挙状況 H17-H27 の推移）

区分		年次										
		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
総計	認知件数(件)	563	395	381	322	330	265	348	128	99	162	181
	検挙件数(件)	502	319	298	277	259	192	286	169	95	125	117
	検挙人員(人)	279	121	64	68	58	47	28	7	5	14	12
	検挙率(%)	89.2	80.8	78.2	86.0	78.5	72.5	82.2	132.0	96.0	77.2	64.6
支払用カード 電磁的記録不正 作出	認知件数	30	17	13	9	12	17	10	4	8	9	2
	検挙件数	3	18	8	5	8	5	4	6	1	5	2
	検挙人員	3	2	7	3	6	1	2	3	0	2	1
	検挙率	10.0	105.9	61.5	55.6	66.7	29.4	40.0	150.0	12.5	55.6	100.0
不正作出支払 用カード電磁 的記録供用	認知件数	272	181	306	245	265	221	320	115	75	148	173
	検挙件数	249	155	242	225	216	161	268	151	83	111	106
	検挙人員	50	31	33	33	27	27	20	3	2	9	8
	検挙率	91.5	85.6	79.1	91.8	81.5	72.9	83.8	131.3	110.7	75.0	61.3
不正電磁的記 録カードの譲 り渡し、貸渡 し、輸入	認知件数	8	11	1	2	13	4	0	0	0	1	0
	検挙件数	7	8	1	2	6	4	0	0	0	1	2
	検挙人員	8	5	1	3	8	3	0	0	0	0	2
	検挙率	87.5	72.7	100.0	100.0	46.2	100.0	-	-	-	100.0	-
不正電磁的記 録カード所持	認知件数	216	80	30	29	22	17	10	4	8	3	5
	検挙件数	214	77	28	27	20	16	9	5	6	4	6
	検挙人員	181	63	19	18	13	12	5	1	1	2	1
	検挙率	99.1	96.3	93.3	93.1	90.9	94.1	90.0	125.0	75.0	133.3	120.0
支払用カード 電磁的記録不正 取得	認知件数	10	95	26	24	11	3	0	1	3	0	0
	検挙件数	3	52	14	9	4	1	0	1	3	0	0
	検挙人員	3	8	1	3	2	0	1	0	2	1	0
	検挙率	30.0	54.7	53.8	37.5	36.4	33.3	-	100.0	100.0	-	-
支払用カード 電磁的記録不正 提供	認知件数	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0
	検挙件数	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0
	検挙人員	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	検挙率	0.0	-	-	-	0.0	200.0	100.0	-	-	100.0	-
支払用カード 不正記録情報 保管	認知件数	12	5	0	6	2	2	4	2	3	0	0
	検挙件数	12	5	0	5	1	2	3	3	2	1	0
	検挙人員	15	10	0	3	1	2	0	0	0	0	0
	検挙率	100.0	100.0	-	83.3	50.0	100.0	75.0	150.0	66.7	-	-
支払用カード 不正作出器 械、原料準備	認知件数	14	6	5	7	4	0	3	2	2	0	1
	検挙件数	14	4	5	4	4	1	1	3	0	2	1
	検挙人員	18	2	3	5	1	1	0	0	0	0	0
	検挙率	100.0	66.7	100.0	57.1	100.0	-	33.3	150.0	0.0	-	100.0

不正に取得し、又は不正に作成したキャッシュカード、クレジットカード、消費者金融カードを使用して、現金自動預払機（ＡＴＭ（ＣＤを含む。））から現金を窃取する犯罪（払出盗）の認知件数は、平成 26 年には前年から 21 件・1.3%とわずかに増加したものの、17 年から 25 年までは一貫して減少し、27 年も減少した。

使用されたカードの内訳をみると、キャッシュカードが最も多く、平成 17 年には全体の 73.2%を占め、その割合は 27 年には 90.1%まで上昇した。使用されたカード別の現金被害額をみると、平成 17 年にはキャッシュカードが全体の 81.7%を占め、27 年には 95.1%まで上昇した。

**図表：１－２－３－６－ウ－３（カードを使用した払出盗の
カード種類別認知件数、現金被害額 H17-H27 の推移）**

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分	認知件数（件）	5,008	4,950	3,632	2,462	2,328	2,082	1,907	1,856	1,584	1,605	1,389
	現金被害額（千円）	2,867,669	2,310,049	1,503,232	992,251	995,374	861,625	856,346	998,950	698,233	693,340	764,859
キャッシュカード	認知件数	3,668	3,549	2,640	1,950	1,911	1,780	1,713	1,660	1,445	1,448	1,251
	現金被害額	2,343,881	1,814,632	1,203,770	833,568	821,877	776,302	794,265	915,025	634,716	658,912	727,499
クレジットカード	認知件数	658	757	551	291	275	173	145	145	109	110	98
	現金被害額	259,298	290,858	167,930	68,333	118,647	40,564	39,629	53,074	47,271	19,229	26,883
消費者金融カード	認知件数	682	644	441	221	142	129	49	51	30	47	40
	現金被害額	264,490	204,559	131,532	90,350	54,850	44,759	22,452	30,851	16,246	15,199	10,477

カードを使用した詐欺事件の認知件数はおおむね減少傾向にあったが、平成 26、27 年はいずれも前年から増加した。使用されたカードの内訳をみると、平成 18 年から 27 年までの毎年、90%以上をクレジットカードが占めた。1 件当たりの被害額はクレジットカードに比べてキャッシュカードや消費者金融カードが高いことから、被害額でみると、クレジットカードは 90%に満たない年が多かった。

図表：１－２－３－６－ウ－４（カードを使用した詐欺のカード種類別認知件数、被害額 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分	認知件数（件）	1,568	1,337	1,371	1,404	1,248	1,167	1,040	1,160	914	964	1,157
	被害額（千円）	182,371	177,459	202,574	163,369	134,824	122,638	122,161	105,961	91,011	109,999	350,806
クレジットカード	認知件数	1,389	1,245	1,290	1,350	1,137	1,130	1,003	1,123	877	912	1,073
	被害額	148,204	143,003	175,352	145,939	110,985	112,225	106,394	102,857	69,049	92,025	310,266
プリペイドカード	認知件数	94	22	33	15	21	10	15	22	19	39	48
	被害額	3,585	12,041	1,453	951	475	498	333	188	1,171	1,675	7,810
消費者金融カード	認知件数	81	64	44	19	11	7	7	5	8	4	12
	被害額	29,582	22,156	18,581	4,883	6,840	1,000	2,501	1,190	800	1,100	8,758
キャッシュカード	認知件数	4	6	4	20	79	20	15	10	10	9	24
	被害額	1,000	259	7,188	11,596	16,524	8,915	12,933	1,726	19,991	15,199	23,972

第3 検挙人員の属性についての分析

平成17年以降の刑法犯の傾向について、検挙人員の属性からみる。

1 少年による犯罪

平成17年の刑法犯検挙人員に占める少年の割合は32.2%であった。少年の検挙人員は同年から平成27年まで一貫して減少し、同年には、17年から8万5,033人・68.3%減の3万9,489人となり、全体に占める割合は16.5%となった。

人口千人当たりの検挙人員でみると、成人が平成17年の2.5人から27年には1.9人へと約4分の3になっているのに対し、少年は16.0人から5.5人へと約3分の1になった。

図表：1－3－1－1（少年・成人別刑法犯検挙人員、人口千人当たり刑法犯検挙人員 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	305,631	287,021	262,486	251,115	239,355
14-19歳	124,522	113,551	103,884	91,462	90,844	86,394	78,186	65,983	56,901	48,843	39,489
割合（%）	32.2	29.6	28.4	26.9	27.3	26.8	25.6	23.0	21.7	19.5	16.5
人口千人当たり	16.0	14.9	13.9	12.4	12.5	11.9	10.8	9.1	7.9	6.8	5.5
20歳以上	262,433	270,699	261,693	248,290	242,044	236,226	227,445	221,038	205,585	202,272	199,866
人口千人当たり	2.5	2.6	2.5	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.0	1.9	1.9

主な罪種・手口について、検挙人員に占める少年の割合をみると、強盗や窃盗、占有離脱物横領、住居侵入については高く、暴行や脅迫、殺人については比較的低かった（平成 26 年の 14 歳以上人口に占める 14-19 歳の割合は 6.4%。）。特に、平成 26、27 年についてみると、窃盗のうちオートバイ盗は 9 割以上、自動販売機ねらいは 8 割以上を少年が占めた。

図表：１－３－１－２（主な罪種・手口における少年検挙人員 H17-H27 の推移）

区分		年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
殺人	検挙人員(人)		1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	971	899	906	967	913
	うち14-19歳		71	73	64	51	53	46	57	47	53	55	62
	割合(%)		5.3	5.9	5.5	4.2	5.1	4.6	5.9	5.2	5.8	5.7	6.8
強盗	検挙人員		3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	2,431	2,430	2,255	2,096	1,972
	うち14-19歳		1,159	913	786	730	722	576	607	622	556	472	426
	割合		30.2	27.4	26.3	26.0	23.5	22.4	25.0	25.6	24.7	22.5	21.6
強姦	検挙人員		1,074	1,058	1,013	951	918	803	768	858	937	919	933
	うち14-19歳		152	120	129	132	128	123	72	136	135	135	94
	割合		14.2	11.3	12.7	13.9	13.9	15.3	9.4	15.9	14.4	14.7	10.1
暴行	検挙人員		13,970	19,802	21,808	22,379	21,376	22,076	21,999	23,610	22,744	24,419	25,485
	うち14-19歳		1,545	1,513	1,593	1,548	1,333	1,288	1,213	1,496	1,492	1,367	1,247
	割合		11.1	7.6	7.3	6.9	6.2	5.8	5.5	6.3	6.6	5.6	4.9
傷害	検挙人員		27,130	27,075	25,458	23,164	22,253	22,030	21,572	23,752	23,527	22,985	22,095
	うち14-19歳		6,161	5,972	5,639	5,247	4,844	4,939	4,753	4,983	4,672	3,995	3,106
	割合		22.7	22.1	22.2	22.7	21.8	22.4	22.0	21.0	19.9	17.4	14.1
脅迫	検挙人員		1,522	1,693	1,684	1,824	1,562	1,613	1,663	2,145	2,377	2,726	2,720
	うち14-19歳		139	150	118	152	111	143	127	142	174	222	178
	割合		9.1	8.9	7.0	8.3	7.1	8.9	7.6	6.6	7.3	8.1	6.5
恐喝	検挙人員		6,439	5,780	5,054	4,474	3,961	3,761	3,324	3,050	2,561	2,458	2,187
	うち14-19歳		2,641	2,134	1,847	1,675	1,368	1,392	1,225	1,133	898	719	603
	割合		41.0	36.9	36.5	37.4	34.5	37.0	36.9	37.1	35.1	29.3	27.6
窃盗	検挙人員		194,119	187,654	180,446	174,738	175,823	175,214	168,514	153,864	138,947	131,490	123,847
	うち14-19歳		71,450	62,951	58,418	52,785	55,047	52,674	47,999	38,602	33,321	28,419	23,264
	割合		36.8	33.5	32.4	30.2	31.3	30.1	28.5	25.1	24.0	21.6	18.8
うち ひったくり	検挙人員		1,851	1,652	1,524	1,251	1,438	1,191	1,098	861	740	680	559
	うち14-19歳		1,041	855	816	650	723	578	580	363	309	286	210
	割合		56.2	51.8	53.5	52.0	50.3	48.5	52.8	42.2	41.8	42.1	37.6
うち オートバイ盗	検挙人員		8,665	7,766	7,131	6,062	6,194	5,954	5,270	4,554	4,057	3,463	2,743
	うち14-19歳		8,211	7,333	6,753	5,715	5,852	5,546	4,943	4,282	3,832	3,259	2,576
	割合		94.8	94.4	94.7	94.3	94.5	93.1	93.8	94.0	94.5	94.1	93.9
うち 自転車盗	検挙人員		25,737	25,432	23,682	20,872	20,378	19,051	16,541	14,526	12,311	11,073	9,553
	うち14-19歳		14,797	14,727	13,658	12,014	11,466	10,698	9,033	7,774	6,347	5,472	4,201
	割合		57.5	57.9	57.7	57.6	56.3	56.2	54.6	53.5	51.6	49.4	44.0
うち 自動販売機 ねらい	検挙人員		2,027	1,370	1,064	819	746	671	633	698	818	1,091	1,059
	うち14-19歳		1,486	917	658	464	402	415	390	472	649	915	873
	割合		73.3	66.9	61.8	56.7	53.9	61.8	61.6	67.6	79.3	83.9	82.4
うち 部品ねらい	検挙人員		1,973	1,931	1,758	1,621	1,523	1,399	1,244	999	893	842	811
	うち14-19歳		1,216	1,146	1,044	998	919	787	719	573	503	458	450
	割合		61.6	59.3	59.4	61.6	60.3	56.3	57.8	57.4	56.3	54.4	55.5
詐欺	検挙人員		11,648	12,406	12,113	12,036	12,542	11,306	10,569	10,997	10,827	10,489	10,502
	うち14-19歳		1,070	1,227	1,106	1,052	1,087	918	899	876	793	880	854
	割合		9.2	9.9	9.1	8.7	8.7	8.1	8.5	8.0	7.3	8.4	8.1
強制わいせつ	検挙人員		2,286	2,254	2,240	2,219	2,129	2,189	2,217	2,451	2,487	2,602	2,644
	うち14-19歳		288	246	265	279	284	322	283	342	339	319	385
	割合		12.6	10.9	11.8	12.6	13.3	14.7	12.8	14.0	13.6	12.3	14.6
占有離脱物横領	検挙人員		91,306	89,444	80,192	64,256	59,919	52,598	45,227	36,467	29,556	25,719	22,689
	うち14-19歳		32,605	30,731	26,606	20,711	19,063	17,404	14,768	11,746	9,195	7,686	5,669
	割合		35.7	34.4	33.2	32.2	31.8	33.1	32.7	32.2	31.1	29.9	25.0
住居侵入	検挙人員		6,107	6,209	5,901	5,881	5,547	5,601	5,433	5,581	5,157	4,986	4,405
	うち14-19歳		2,835	3,047	2,908	2,889	2,748	2,739	2,486	2,425	2,012	1,804	1,333
	割合		46.4	49.1	49.3	49.1	49.5	48.9	45.8	43.5	39.0	36.2	30.3

2 高齢者による犯罪

高齢者の検挙人員は、平成 17 年から 19 年まで大きく増加したが、その後はほぼ横ばいで推移している。
 検挙人員に占める割合は平成 17 年から 27 年まで一貫して増加しており、同年には全体の 19.9%を占めた。
 また、65 歳以上人口 10 万人当たりの検挙人員は、平成 19 年の 176.9 人をピークに減少傾向にある。

図表：1－3－2－1（高齢者・非高齢者別刑法犯検挙人員、
人口 10 万人当たり刑法犯検挙人員 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）		386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	305,631	287,021	262,486	251,115	239,355
65歳以上		42,108	46,637	48,597	48,786	48,102	48,145	48,621	48,544	46,226	47,214	47,632
構成率（%）		10.9	12.1	13.3	14.4	14.4	14.9	15.9	16.9	17.6	18.8	19.9
人口10万人当たり		163.5	175.3	176.9	172.9	165.8	163.3	163.4	157.7	144.9	143.1	144.3
14-64歳		344,847	337,613	316,980	290,966	284,786	274,475	257,010	238,477	216,260	203,901	191,723
人口10万人当たり		402.7	397.5	376.5	348.4	344.3	331.0	311.4	293.1	269.7	258.0	242.6

主な罪種・手口について、検挙人員に占める高齢者の割合をみると、万引きのみが高かった（平成 26 年の 14 歳以上人口に占める 65 歳以上の割合は 29.5%。）。

図表：1－3－2－2（主な罪種・手口における高齢者検挙人員 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
殺人	検挙人員（人）	1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	971	899	906	967	913
	うち65歳以上	138	152	123	179	143	174	148	148	156	192	164
	割合（%）	10.3	12.2	10.6	14.8	13.8	17.4	15.2	16.5	17.2	19.9	18.0
強盗	検挙人員	3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	2,431	2,430	2,255	2,096	1,972
	うち65歳以上	95	101	110	103	116	107	107	116	118	117	127
	割合	2.5	3.0	3.7	3.7	3.8	4.2	4.4	4.8	5.2	5.6	6.4
強姦	検挙人員	1,074	1,058	1,013	951	918	803	768	858	937	919	933
	うち65歳以上	14	17	18	20	20	15	19	21	20	23	32
	割合	1.3	1.6	1.8	2.1	2.2	1.9	2.5	2.4	2.1	2.5	3.4
暴行	検挙人員	13,970	19,802	21,808	22,379	21,376	22,076	21,999	23,610	22,744	24,419	25,485
	うち65歳以上	881	1,472	1,822	2,021	2,262	2,337	2,574	3,017	3,048	3,478	3,808
	割合	6.3	7.4	8.4	9.0	10.6	10.6	11.7	12.8	13.4	14.2	14.9
傷害	検挙人員	27,130	27,075	25,458	23,164	22,253	22,030	21,572	23,752	23,527	22,985	22,095
	うち65歳以上	1,074	1,086	1,124	1,112	1,185	1,174	1,251	1,479	1,546	1,649	1,715
	割合	4.0	4.0	4.4	4.8	5.3	5.3	5.8	6.2	6.6	7.2	7.8
脅迫	検挙人員	1,522	1,693	1,684	1,824	1,562	1,613	1,663	2,145	2,377	2,726	2,720
	うち65歳以上	126	145	201	196	209	202	242	300	356	371	432
	割合	8.3	8.6	11.9	10.7	13.4	12.5	14.6	14.0	15.0	13.6	15.9
恐喝	検挙人員	6,439	5,780	5,054	4,474	3,961	3,761	3,324	3,050	2,561	2,458	2,187
	うち65歳以上	61	78	65	75	88	82	77	78	92	102	105
	割合	0.9	1.3	1.3	1.7	2.2	2.2	2.3	2.6	3.6	4.1	4.8
窃盗	検挙人員	194,119	187,654	180,446	174,738	175,823	175,214	168,514	153,864	138,947	131,490	123,847
	うち65歳以上	27,333	29,953	31,573	33,276	33,055	34,355	35,429	35,659	34,060	34,518	34,429
	割合	14.1	16.0	17.5	19.0	18.8	19.6	21.0	23.2	24.5	26.3	27.8
うち万引き	検挙人員	113,953	107,123	102,504	101,504	105,228	104,804	101,340	93,079	85,464	80,096	75,114
	うち65歳以上	23,252	25,060	25,854	27,015	27,019	27,362	28,066	28,673	27,953	28,084	27,539
	割合	20.4	23.4	25.2	26.6	25.7	26.1	27.7	30.8	32.7	35.1	36.7
詐欺	検挙人員	11,648	12,406	12,113	12,036	12,542	11,306	10,569	10,997	10,827	10,489	10,502
	うち65歳以上	705	878	855	912	925	846	798	911	857	870	830
	割合	6.1	7.1	7.1	7.6	7.4	7.5	7.6	8.3	7.9	8.3	7.9
強制わいせつ	検挙人員	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129	2,189	2,217	2,451	2,487	2,602	2,644
	うち65歳以上	110	135	135	130	131	147	154	184	192	215	223
	割合	4.8	6.0	6.0	5.9	6.2	6.7	6.9	7.5	7.7	8.3	8.4
占有離脱物横領	検挙人員	91,306	89,444	80,192	64,256	59,919	52,598	45,227	36,467	29,556	25,719	22,689
	うち65歳以上	9,730	10,739	10,596	8,875	8,200	6,903	5,986	4,648	3,796	3,532	3,446
	割合	10.7	12.0	13.2	13.8	13.7	13.1	13.2	12.7	12.8	13.7	15.2

高齢者の検挙人員を罪種別にみると、平成 17 年以降 27 年までの毎年、窃盗、暴行、占有離脱物横領及び傷害で 90%以上を占めた。その内訳をみると、平成 17 年には窃盗に次いで占有離脱物横領が多かったが、27 年には窃盗に次いで多いのは暴行であった。

図表：１－３－２－３（主な罪種・手口別高齢者検挙人員 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
65歳以上検挙人員(人)		42,108	46,637	48,597	48,786	48,102	48,145	48,621	48,544	46,226	47,214	47,632
窃盗		27,333	29,953	31,573	33,276	33,055	34,355	35,429	35,659	34,060	34,518	34,429
暴行		881	1,472	1,822	2,021	2,262	2,337	2,574	3,017	3,048	3,478	3,808
占有離脱物横領		9,730	10,739	10,596	8,875	8,200	6,903	5,986	4,648	3,796	3,532	3,446
傷害		1,074	1,086	1,124	1,112	1,185	1,174	1,251	1,479	1,546	1,649	1,715
その他		3,090	3,387	3,482	3,502	3,400	3,376	3,381	3,741	3,776	4,037	4,234

これらの犯罪について、人口 10 万人当たりの検挙人員を年齢層別にみると、暴行、傷害及び占有離脱物横領は年齢が高くなるにつれ減少するのに対し、窃盗（万引き）は 75-79 歳がピークとなる傾向がみられた。

図表：１－３－２－４（主な罪種・手口・年齢層別高齢者検挙人員 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
暴行(人)		881	1,472	1,822	2,021	2,262	2,337	2,574	3,017	3,048	3,478	3,808
65-69歳		490	805	966	990	1,146	1,123	1,182	1,349	1,334	1,532	1,749
70-74歳		238	396	527	608	641	674	777	916	932	1,008	1,078
75-79歳		103	196	227	304	333	359	397	515	498	593	623
80-84歳		37	56	76	87	106	138	164	191	213	264	285
85歳以上		13	19	26	32	36	43	54	46	71	81	73
傷害		1,074	1,086	1,124	1,112	1,185	1,174	1,251	1,479	1,546	1,649	1,715
65-69歳		588	609	598	586	612	605	622	674	767	796	862
70-74歳		293	287	325	318	337	347	383	435	419	477	470
75-79歳		129	129	140	129	168	157	179	262	248	247	244
80-84歳		48	48	53	62	52	50	47	86	95	100	98
85歳以上		16	13	8	17	16	15	20	22	17	29	41
窃盗		27,333	29,953	31,573	33,276	33,055	34,355	35,429	35,659	34,060	34,518	34,429
65-69歳		9,509	9,819	10,028	10,414	10,857	10,928	10,564	10,126	9,386	9,519	9,475
70-74歳		8,653	9,341	9,622	9,856	9,247	9,517	9,776	9,843	9,391	9,439	9,196
75-79歳		5,447	6,479	7,022	7,680	7,553	7,903	8,532	8,650	8,240	7,892	7,962
80-84歳		2,661	3,099	3,560	3,839	3,874	4,337	4,696	5,075	4,996	5,423	5,342
85歳以上		1,063	1,215	1,341	1,487	1,524	1,670	1,861	1,965	2,047	2,245	2,454
うち万引き		23,252	25,060	25,854	27,015	27,019	27,362	28,066	28,673	27,953	28,084	27,539
65-69歳		7,523	7,573	7,462	7,704	8,123	7,926	7,576	7,288	6,966	7,006	6,829
70-74歳		7,476	7,855	7,882	7,884	7,561	7,437	7,531	7,735	7,580	7,539	7,161
75-79歳		4,861	5,747	6,116	6,636	6,506	6,683	7,170	7,402	7,013	6,686	6,596
80-84歳		2,408	2,776	3,192	3,425	3,449	3,838	4,114	4,461	4,520	4,820	4,723
85歳以上		984	1,109	1,202	1,366	1,380	1,478	1,675	1,787	1,874	2,033	2,230
占有離脱物横領		9,730	10,739	10,596	8,875	8,200	6,903	5,986	4,648	3,796	3,532	3,446
65-69歳		4,674	4,744	4,581	3,819	3,386	2,789	2,350	1,721	1,323	1,236	1,262
70-74歳		2,896	3,434	3,402	2,783	2,606	2,163	1,940	1,492	1,207	1,157	1,002
75-79歳		1,418	1,655	1,723	1,470	1,372	1,289	1,079	925	831	721	703
80-84歳		570	699	664	590	617	494	425	374	317	315	353
85歳以上		172	207	226	213	219	168	192	136	118	103	126

図表：１－３－２－５（主な罪種・手口・年齢層別人口10万人当たり高齢者検挙人員 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分												
暴行（人）		3.4	5.5	6.6	7.2	7.8	7.9	8.7	9.8	9.6	10.5	11.5
	65-69歳	6.6	10.6	12.3	12.3	13.7	13.6	15.0	16.4	15.3	16.7	19.1
	70-74歳	3.6	5.8	7.6	8.7	9.3	9.6	10.8	12.4	12.3	12.7	13.6
	75-79歳	2.0	3.6	4.1	5.3	5.7	6.0	6.5	8.2	7.9	9.5	9.9
	80-84歳	1.1	1.5	2.0	2.1	2.5	3.2	3.6	4.1	4.5	5.4	5.9
	85歳以上	0.4	0.6	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.1	1.6	1.7	1.5
傷害		4.2	4.1	4.1	3.9	4.1	4.0	4.2	4.8	4.8	5.0	5.2
	65-69歳	7.9	8.0	7.6	7.3	7.3	7.3	7.9	8.2	8.8	8.7	9.4
	70-74歳	4.4	4.2	4.7	4.6	4.9	4.9	5.3	5.9	5.5	6.0	5.9
	75-79歳	2.4	2.4	2.5	2.3	2.9	2.6	2.9	4.2	3.9	3.9	3.9
	80-84歳	1.4	1.3	1.4	1.5	1.2	1.1	1.0	1.9	2.0	2.1	2.0
	85歳以上	0.5	0.4	0.2	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.6	0.9
窃盗		106.1	112.6	115.0	117.9	114.0	116.5	119.1	115.8	106.8	104.6	104.3
	65-69歳	127.4	128.8	127.9	129.5	129.5	132.1	134.4	123.4	107.9	104.0	103.5
	70-74歳	129.9	137.1	139.0	141.7	133.8	135.6	136.1	133.1	123.6	119.1	116.0
	75-79歳	103.2	119.7	126.2	134.6	130.0	131.8	138.9	138.3	130.8	125.9	127.0
	80-84歳	77.7	84.7	92.1	94.6	91.5	99.1	104.5	109.6	104.9	111.4	109.7
	85歳以上	36.2	39.3	41.0	43.0	41.6	43.7	45.7	45.6	45.1	47.0	51.3
	うち万引き	90.3	94.2	94.1	95.7	93.1	92.8	94.3	93.1	87.6	85.1	83.5
	65-69歳	100.8	99.3	95.2	95.8	96.9	95.8	96.4	88.8	80.1	76.5	74.6
	70-74歳	112.3	115.3	113.9	113.3	109.4	106.0	104.8	104.6	99.8	95.1	90.3
	75-79歳	92.1	106.2	109.9	116.3	111.9	111.5	116.7	118.4	111.3	106.6	105.2
	80-84歳	70.3	75.9	82.6	84.4	81.4	87.7	91.5	96.3	94.9	99.0	97.0
	85歳以上	33.5	35.8	36.7	39.5	37.7	38.7	41.1	41.5	41.3	42.5	46.7
	占有離脱物横領	37.8	40.4	38.6	31.5	28.3	23.4	20.1	15.1	11.9	10.7	10.4
	65-69歳	62.6	62.2	58.4	47.5	40.4	33.7	29.9	21.0	15.2	13.5	13.8
	70-74歳	43.5	50.4	49.1	40.0	37.7	30.8	27.0	20.2	15.9	14.6	12.6
	75-79歳	26.9	30.6	31.0	25.8	23.6	21.5	17.6	14.8	13.2	11.5	11.2
	80-84歳	16.7	19.1	17.2	14.5	14.6	11.3	9.5	8.1	6.7	6.5	7.2
	85歳以上	5.9	6.7	6.9	6.2	6.0	4.4	4.7	3.2	2.6	2.2	2.6

3 外国人による犯罪

外国人の刑法犯検挙件数は、平成 17 年以降一貫して減少しており、検挙件数全体に占める割合は、17 年から 21 年までは 5 % 台又は 6 % 台で推移していたのに対し、22 年以降は 4 % 台となっている。

一方、外国人の刑法犯検挙人員は平成 24 年を底に増加傾向に転じており、検挙人員全体に占める割合も 17 年から 24 年までは 3 % 台であったが、25 年以降は 4 % 台で推移している。

外国人のうち来日外国人についてみると、刑法犯検挙件数は平成 17 年以降一貫して減少しており、27 年の検挙件数は、17 年から 2 万 3,620 件・71.5%減少した。刑法犯検挙人員は平成 24 年まで減少傾向にあったが、25 年に増加に転じ、以後増加傾向にある。平成 27 年の検挙人員は 17 年から 2,318 人・27.3%減であった。

図表：1－3－3－1（外国人の刑法犯検挙状況 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙件数（件）	649,503	640,657	605,358	573,392	544,699	497,356	462,535	437,610	394,121	370,568	357,484
うち外国人	43,622	37,365	37,314	34,620	30,569	22,569	20,401	18,750	17,572	16,801	16,017
うち来日外国人	33,037	27,453	25,730	23,202	20,561	14,025	12,582	11,142	10,674	9,664	9,417
検挙人員（人）	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	305,631	287,021	262,486	251,115	239,355
うち外国人	14,786	14,418	13,339	12,611	12,365	12,021	10,981	10,419	10,552	10,519	11,046
うち来日外国人	8,505	8,148	7,528	7,148	7,190	6,710	5,889	5,423	5,620	5,787	6,187

外国人の検挙件数について国籍・地域別にみると、平成 17 年から 21 年までは中国が最多であったが、22 年以降は中国と韓国・朝鮮が拮抗している。検挙人員については、平成 17 年以降 27 年まで常に韓国・朝鮮が中国を上回っているものの、大きな差はみられなかった。

来日外国人の検挙件数について国籍・地域別にみると、平成 17 年から 26 年までは中国が最多であったが、27 年にはベトナムが中国を上回り、最多となった。検挙人員についてみると、平成 17 年から 27 年まで常に中国が最多であった。

外国人の検挙件数に占める来日外国人の割合は、平成 17 年以降低下傾向にあるが、コロンビアやベトナムは、27 年も 90%以上が来日外国人となった。

図表：１－３－３－２（国籍等別刑法犯検挙状況 H17-27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
外国人検挙件数(件)		43,622	37,365	37,314	34,620	30,569	22,569	20,401	18,750	17,572	16,801	16,017
	うち来日	33,037	27,453	25,730	23,202	20,561	14,025	12,582	11,142	10,674	9,664	9,417
中国		12,386	11,182	10,932	11,406	10,958	6,065	7,117	5,743	4,581	3,468	3,351
	うち来日	11,366	10,095	9,664	10,063	10,109	5,243	6,185	4,847	3,709	2,684	2,390
韓国・朝鮮		8,648	8,951	9,302	9,123	7,150	6,836	5,704	5,626	3,869	4,718	3,996
	うち来日	1,468	1,732	2,168	1,664	1,567	1,516	612	1,096	495	555	543
ブラジル		7,493	4,511	8,401	5,171	5,693	3,462	1,902	1,780	3,299	2,381	1,930
	うち来日	6,811	4,068	7,289	4,406	3,720	2,531	1,366	1,004	2,270	1,474	1,282
トルコ		6,793	4,397	1,034	36	86	29	39	40	116	49	65
	うち来日	6,779	4,391	864	33	82	22	36	31	108	40	53
コロンビア		1,786	2,176	598	1,211	717	380	90	56	288	374	287
	うち来日	1,768	2,121	506	1,082	693	339	81	45	207	365	273
ペルー		1,025	773	558	665	724	723	814	497	529	387	443
	うち来日	814	575	420	518	499	430	607	298	304	232	226
ベトナム		960	1,219	1,233	1,669	1,564	1,727	1,688	1,408	1,302	2,088	2,809
	うち来日	792	1,020	1,112	1,517	1,442	1,507	1,552	1,225	1,197	1,972	2,556
フィリピン		664	657	1,463	1,307	1,297	707	725	817	1,140	998	840
	うち来日	431	482	524	543	624	442	439	513	620	559	450
パキスタン		644	205	1,025	511	110	203	75	136	77	124	73
	うち来日	153	191	1,012	501	101	166	58	105	47	93	47
アメリカ		367	396	343	655	265	329	283	286	256	306	261
	うち来日	198	231	191	452	125	167	153	134	124	205	138
外国人検挙人員(人)		14,786	14,418	13,339	12,611	12,365	12,021	10,981	10,419	10,552	10,519	11,046
	うち来日	8,505	8,148	7,528	7,148	7,190	6,710	5,889	5,423	5,620	5,787	6,187
韓国・朝鮮		4,678	4,773	4,690	4,223	3,974	3,818	3,405	3,252	3,031	2,815	2,765
	うち来日	539	604	790	714	756	682	571	520	489	396	444
中国		4,662	4,342	3,733	3,534	3,407	3,458	3,232	2,985	2,834	2,682	2,743
	うち来日	3,739	3,452	2,899	2,764	2,747	2,740	2,445	2,160	2,028	1,904	1,848
ブラジル		1,278	1,257	1,119	1,032	1,029	831	751	730	713	725	725
	うち来日	1,064	1,016	931	818	744	515	426	438	393	356	358
ベトナム		716	800	700	730	796	723	693	610	945	1,243	1,589
	うち来日	592	650	580	613	689	608	582	510	839	1,136	1,475
フィリピン		596	578	634	688	790	722	732	700	790	752	783
	うち来日	386	407	444	465	541	464	455	408	415	410	435
ペルー		499	442	385	464	475	495	448	390	372	344	391
	うち来日	369	301	275	321	318	289	240	193	194	179	195
アメリカ		328	331	315	319	258	293	279	259	242	228	232
	うち来日	156	166	179	155	131	130	138	121	118	134	103
ロシア		220	179	136	104	79	71	66	85	87	96	77
	うち来日	213	176	134	95	69	65	54	72	73	80	60

※ 平成17年から27年までの間に検挙件数500件以上、検挙人員200人以上の年のある国・地域を抽出。

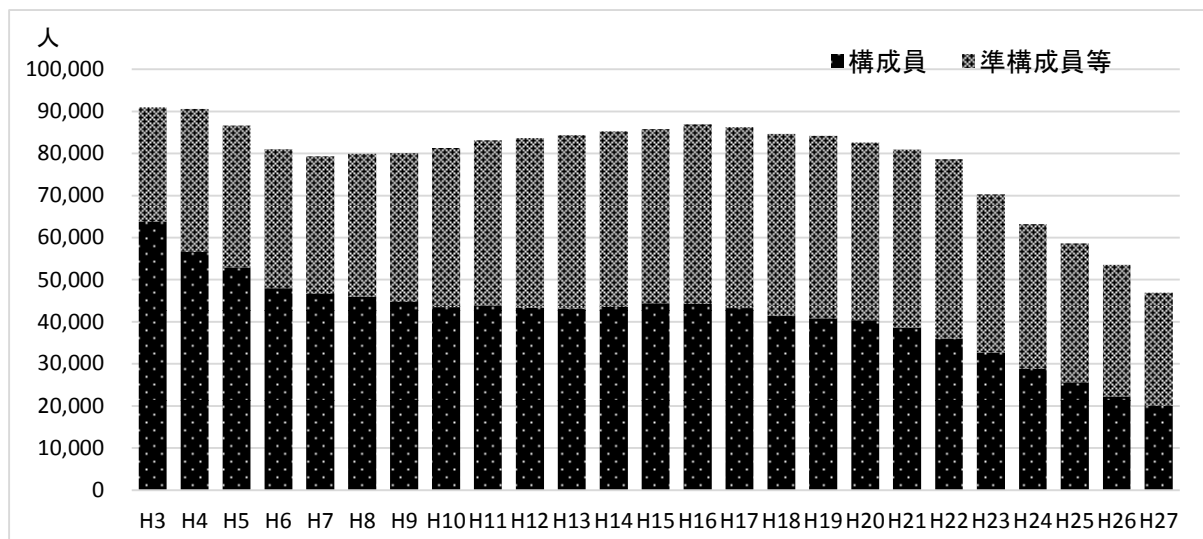
※ 中国に、「台湾」及び「香港等」は含まない。

4 暴力団による犯罪

(1) 暴力団構成員等の状況

暴力団構成員等（暴力団構成員及び準構成員等をいう。以下同じ。）の数は、平成 17 年以降一貫して減少しており、27 年末現在で 46,900 人¹と、6 年連続で暴力団対策法²施行後の最少人数を更新した。うち、暴力団構成員の数は 20,100 人、準構成員等の数は 26,800 人で、いずれも暴力団対策法施行後最少となった。

図表：1－3－4－1－1（暴力団構成員等 H3-H27 の推移）



区分	年次	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
暴力団構成員等(人)		91,000	90,600	86,700	81,000	79,300	79,900	80,100	81,300	83,100	83,600	84,400	85,300
構成員		63,800	56,600	52,900	48,000	46,600	46,000	44,700	43,500	43,900	43,400	43,100	43,600
準構成員等		27,200	34,000	33,800	33,000	32,700	33,900	35,400	37,800	39,200	40,200	41,300	41,700

区分	年次	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
暴力団構成員等		85,800	87,000	86,300	84,700	84,200	82,600	80,900	78,600	70,300	63,200	58,600	53,500	46,900
構成員		44,400	44,300	43,300	41,500	40,900	40,400	38,600	36,000	32,700	28,800	25,600	22,300	20,100
準構成員等		41,400	42,700	43,000	43,200	43,300	42,200	42,300	42,600	37,600	34,400	33,000	31,200	26,800

※ 数値は各年末時点の概数

¹ 本項における暴力団構成員等の数は概数であり、増減数、増減率及び構成比は概数上のものであるため、各項目の和は合計と必ずしも一致しない。

² 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）をいう。

また、平成 27 年末の主要団体（六代目山口組、神戸山口組、住吉会及び稲川会。以下同じ。）の暴力団構成員等の数は 33,200 人（全暴力団構成員等の 70.8%）で、うち暴力団構成員の数は 14,700 人（全暴力団構成員の 73.1%）であった。全暴力団構成員等の半数弱を占めていた六代目山口組の分裂に伴い、一極集中の状態に変化が生じている。

図表：１－３－４－１－２（主要団体の暴力団構成員等 H18-H27 の推移）

年次			18年末	19年末	20年末	21年末	22年末	23年末	24年末	25年末	26年末	27年末
区分												
主要団体	六代目山口組	構成員（人）	20,600	20,400	20,200	19,000	17,300	15,200	13,100	11,600	10,300	6,000
		準構成員等（人）	19,100	18,600	17,800	17,400	17,600	15,800	14,600	14,100	13,100	8,000
		計（人）	39,700	39,000	38,000	36,400	34,900	31,000	27,700	25,700	23,400	14,100
	神戸山口組（※）	構成員	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2,800
		準構成員等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3,400
		計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6,100
	住吉会	構成員	6,100	6,100	6,100	6,100	5,900	5,600	5,000	4,200	3,400	3,200
		準構成員等	6,300	6,500	6,600	6,700	6,700	6,100	5,500	5,300	5,100	4,100
		計	12,400	12,600	12,700	12,800	12,600	11,700	10,600	9,500	8,500	7,300
	稲川会	構成員	4,900	4,800	4,800	4,700	4,500	4,000	3,700	3,300	2,900	2,700
		準構成員等	4,600	4,700	4,500	4,700	4,600	4,100	3,800	3,800	3,700	3,000
		計	9,500	9,500	9,300	9,400	9,100	8,100	7,600	7,000	6,600	5,800
主要団体合計		構成員	31,600	31,300	31,100	29,800	27,700	24,800	21,800	19,100	16,600	14,700
		準構成員等	30,000	29,800	28,900	28,800	28,900	26,100	24,000	23,100	22,000	18,500
		計	61,600	61,100	60,000	58,600	56,600	50,900	45,800	42,300	38,500	33,200

※ 平成28年4月15日指定。

(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況

平成 17 年以降の暴力団構成員等の検挙人員の推移をみると、同年以降減少傾向にあり、27 年までに 5,939 人・31.9%減少した。うち暴力団構成員については、平成 17 年以降一貫して減少し、同期間中に 2,787 人・46.1%減少した。

図表：１－３－４－２－１（暴力団構成員等の刑法犯検挙人員 H17-H27 の推移）

年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員(人)	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	305,631	287,021	262,486	251,115	239,355
うち暴力団構成員等	18,629	18,016	16,621	16,242	16,312	15,782	15,805	14,506	13,447	13,253	12,690
うち暴力団構成員	6,043	5,987	5,368	5,121	4,703	4,234	4,126	3,785	3,725	3,315	3,256

主な罪種別に暴力団構成員等の検挙人員の推移をみると、平成 17 年以降多くの罪種で減少傾向にあるが、放火、脅迫、詐欺及び文書偽造については 27 年までの間にそれぞれ 3 人・7.1%、49 人・9.0%、569 人・33.2%、25 人・10.3%増加した。

主な罪種に係る検挙人員について暴力団構成員等の構成割合をみると、凶器準備集合（46.3%）、恐喝（47.6%）、賭博（55.8%）、逮捕監禁（31.0%）、暴力行為等処罰ニ関スル法律違反（28.7%）等については高い一方、強姦（5.1%）、暴行（4.4%）、窃盗（1.7%）等については低い傾向がみられた（括弧内の数値は平成 27 年の割合。）。

図表：１－３－４－２－２（主な罪種における暴力団構成員等検挙人員 H17-H27 の推移）

区分		年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
殺人	検挙人員(人)		1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	971	899	906	967	913
	うち暴力団構成員等		258	183	188	220	204	178	133	102	119	140	115
	うち暴力団構成員		108	77	97	106	100	62	35	26	44	43	48
強盗	検挙人員		3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	2,431	2,430	2,255	2,096	1,972
	うち暴力団構成員等		696	593	541	534	581	560	482	463	357	384	295
	うち暴力団構成員		177	163	163	138	153	127	120	81	78	65	41
放火	検挙人員		791	825	764	659	631	651	616	592	549	598	591
	うち暴力団構成員等		42	40	22	44	30	33	33	17	31	32	45
	うち暴力団構成員		12	12	4	11	1	7	6	4	0	0	13
強姦	検挙人員		1,074	1,058	1,013	951	918	803	768	858	937	919	933
	うち暴力団構成員等		114	103	103	94	95	70	84	57	67	65	48
	うち暴力団構成員		24	23	24	13	15	18	13	11	12	7	9
凶器準備集合	検挙人員		95	155	159	83	73	45	24	20	65	30	54
	うち暴力団構成員等		39	31	14	13	3	4	0	3	3	21	25
	うち暴力団構成員		26	15	11	9	3	2	0	2	1	1	11
暴行	検挙人員		13,970	19,802	21,808	22,379	21,376	22,076	21,999	23,610	22,744	24,419	25,485
	うち暴力団構成員等		1,297	1,376	1,210	1,235	1,165	1,130	1,167	1,126	1,048	1,134	1,115
	うち暴力団構成員		446	476	404	411	356	362	302	318	297	274	259
傷害	検挙人員		27,130	27,075	25,458	23,164	22,253	22,030	21,572	23,752	23,527	22,985	22,095
	うち暴力団構成員等		3,972	3,881	3,580	3,219	3,123	3,016	3,040	2,970	2,807	2,696	2,596
	うち暴力団構成員		1,436	1,450	1,305	1,071	1,029	919	888	803	762	650	617
脅迫	検挙人員		1,522	1,693	1,684	1,824	1,562	1,613	1,663	2,145	2,377	2,726	2,720
	うち暴力団構成員等		543	612	545	625	543	536	589	617	595	627	592
	うち暴力団構成員		275	322	273	309	268	241	274	253	229	222	213
恐喝	検挙人員		6,439	5,780	5,054	4,474	3,961	3,761	3,324	3,050	2,561	2,458	2,187
	うち暴力団構成員等		2,619	2,523	2,175	2,013	1,800	1,684	1,559	1,334	1,084	1,084	1,042
	うち暴力団構成員		1,232	1,197	1,005	1,006	799	802	741	572	462	432	431
窃盗	検挙人員		194,119	187,654	180,446	174,738	175,823	175,214	168,514	153,864	138,947	131,490	123,847
	うち暴力団構成員等		3,198	3,139	3,050	3,028	3,136	3,329	3,538	2,794	2,470	2,296	2,121
	うち暴力団構成員		658	634	610	617	509	527	492	377	363	309	294
詐欺	検挙人員		11,648	12,406	12,113	12,036	12,542	11,306	10,569	10,997	10,827	10,489	10,502
	うち暴力団構成員等		1,712	1,785	1,743	1,846	2,072	1,960	2,077	2,190	2,321	2,337	2,281
	うち暴力団構成員		485	540	510	518	530	446	654	734	837	770	803
横領	検挙人員		1,111	1,252	1,104	1,140	1,073	1,091	1,060	1,078	1,032	1,132	1,045
	うち暴力団構成員等		86	97	83	99	64	82	94	79	71	71	63
	うち暴力団構成員		24	26	20	30	11	17	17	12	14	14	11
文書偽造	検挙人員		1,455	1,574	1,711	1,581	1,517	1,419	1,322	1,322	1,421	1,292	1,268
	うち暴力団構成員等		243	309	308	353	350	317	330	256	306	311	268
	うち暴力団構成員		100	111	83	113	114	104	94	84	107	137	119
賭博	検挙人員		1,771	1,379	1,529	1,359	1,376	1,312	903	876	725	735	923
	うち暴力団構成員等		845	685	648	639	789	652	405	511	294	366	515
	うち暴力団構成員		97	66	107	107	133	81	26	49	56	34	60
わいせつ物頒布	検挙人員		814	913	892	857	820	805	1,061	1,132	896	787	757
	うち暴力団構成員等		202	197	157	197	191	154	161	96	87	91	63
	うち暴力団構成員		15	8	12	22	20	6	14	7	3	6	7
公務執行妨害	検挙人員		2,868	3,118	3,181	2,945	2,698	2,547	2,476	2,501	2,540	2,367	2,152
	うち暴力団構成員等		525	488	518	457	433	450	464	387	369	323	293
	うち暴力団構成員		135	137	121	114	102	101	74	80	83	64	45
犯人蔵匿	検挙人員		409	460	408	336	349	276	296	243	285	301	265
	うち暴力団構成員等		61	83	72	47	76	58	54	31	52	51	34
	うち暴力団構成員		27	45	31	19	17	15	20	16	20	15	11
証人等威迫	検挙人員		26	19	8	7	5	7	6	9	8	10	5
	うち暴力団構成員等		16	8	2	5	2	5	4	5	7	8	1
	うち暴力団構成員		10	5	2	3	1	3	3	1	5	2	0
逮捕監禁	検挙人員		642	629	526	511	535	413	444	424	345	367	400
	うち暴力団構成員等		336	299	276	239	278	202	198	201	167	133	124
	うち暴力団構成員		165	115	136	103	147	71	51	74	55	60	32
信用棄損・威力業務妨害	検挙人員		351	350	331	468	342	400	337	400	404	438	456
	うち暴力団構成員等		88	63	83	62	41	49	58	44	52	48	38
	うち暴力団構成員		27	29	33	27	18	10	19	15	8	23	5
器物損壊等	検挙人員		6,362	6,551	6,575	6,480	6,160	5,864	5,839	5,975	6,042	5,775	5,588
	うち暴力団構成員等		642	631	535	547	509	479	538	510	435	412	369
	うち暴力団構成員		209	230	169	157	152	110	105	107	104	68	91
暴力行為等処罰ニ関スル法律	検挙人員		240	224	137	103	237	254	222	182	103	101	101
	うち暴力団構成員等		71	82	47	22	71	77	43	37	27	18	29
	うち暴力団構成員		31	52	20	13	38	34	21	14	15	7	15

5 薬物常用者による犯罪

薬物常用者（覚醒剤常用者、麻薬常用者、大麻常用者、その他の薬物常用者及び有機溶剤等乱用者をいう。以下同じ。）を被疑者とする検挙人員は、おおむね 800 人台で推移しており、全検挙人員の 0.3%前後を占めている。平成 26 年には前年から 14.0%増加して 920 人となったが、27 年には 10.9%減少して 820 人となった。

図表：１－３－５－１（薬物常用者刑法犯検挙人員 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙人員（人）		386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	305,631	287,021	262,486	251,115	239,355
うち薬物常用者		1,103	934	770	808	858	805	831	842	807	920	820
全検挙人員に占める割合（%）		0.29	0.24	0.21	0.24	0.26	0.25	0.27	0.29	0.31	0.37	0.34

平成 17 年以降の薬物常用者検挙人員を薬物の種類別にみると、期間を通じて覚醒剤が最も多く、27 年には薬物常用者である刑法犯検挙人員の 84.6%を覚醒剤常用者が占めた。

図表：１－３－５－２（薬物の種類別薬物常用者刑法犯検挙人員 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
薬物常用者検挙人員（人）		1,103	934	770	808	858	805	831	842	807	920	820
覚醒剤常用者		823	682	577	591	684	632	696	694	654	701	694
麻薬常用者		22	13	13	16	2	9	12	5	14	9	3
大麻常用者		54	48	35	56	17	23	18	18	17	21	22
その他の薬物常用者		74	74	74	75	76	83	63	85	103	158	76
有機溶剤等乱用者		130	117	71	70	79	58	42	40	19	31	25

罪種別に薬物常用者が検挙事件に占める割合をみると、放火（1.4%）や恐喝（1.2%）は高く、強姦（0.2%）や暴行（0.2%）は低い傾向がみられた（括弧内の数値は平成 27 年の割合。）。。

図表：１－３－５－３（主な罪種における薬物常用者検挙人員 H17-H27 の推移）

区分	年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
殺人	検挙人員（人）	1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	971	899	906	967	913
	うち薬物常用者	19	11	19	17	10	17	13	13	15	9	9
強盗	検挙人員	3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	2,431	2,430	2,255	2,096	1,972
	うち薬物常用者	51	53	42	39	57	35	42	32	32	28	19
放火	検挙人員	791	825	764	659	631	651	616	592	549	598	591
	うち薬物常用者	8	4	2	6	4	2	1	2	2	4	8
強姦	検挙人員	1,074	1,058	1,013	951	918	803	768	858	937	919	933
	うち薬物常用者	12	7	5	6	1	5	8	7	2	5	2
暴行	検挙人員	13,970	19,802	21,808	22,379	21,376	22,076	21,999	23,610	22,744	24,419	25,485
	うち薬物常用者	32	32	22	23	28	33	34	32	28	51	47
傷害	検挙人員	27,130	27,075	25,458	23,164	22,253	22,030	21,572	23,752	23,527	22,985	22,095
	うち薬物常用者	102	98	90	80	99	84	102	119	151	132	120
脅迫	検挙人員	1,522	1,693	1,684	1,824	1,562	1,613	1,663	2,145	2,377	2,726	2,720
	うち薬物常用者	6	4	9	5	14	15	16	13	14	30	17
恐喝	検挙人員	6,439	5,780	5,054	4,474	3,961	3,761	3,324	3,050	2,561	2,458	2,187
	うち薬物常用者	65	36	41	38	43	42	33	33	29	40	27
窃盗	検挙人員	194,119	187,654	180,446	174,738	175,823	175,214	168,514	153,864	138,947	131,490	123,847
	うち薬物常用者	526	472	349	404	373	372	415	384	344	371	355

第4 被害者の属性についての分析

平成17年以降の刑法犯の傾向について、被害者の属性からみる。

1 女性被害の状況

被害者の性別が判明している刑法犯認知件数について、被害者の性別割合をみると、平成元年以降、男性が66%前後、女性が33%前後で推移しており、あまり変動はみられなかった。

図表：1-4-1-1（被害者の性別刑法犯認知件数 H17-H27）

年次 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	1,919,609	1,716,254	1,581,526	1,500,475	1,404,846	1,303,397	1,214,506	1,132,543	1,061,851	974,013	874,094
男性	1,275,810	1,136,613	1,042,371	991,684	935,587	870,623	819,883	761,497	713,405	650,931	584,760
割合(%)	66.5	66.2	65.9	66.1	66.6	66.8	67.5	67.2	67.2	66.8	66.9
女性	643,799	579,641	539,155	508,791	469,259	432,774	394,623	371,046	348,446	323,082	289,334
割合	33.5	33.8	34.1	33.9	33.4	33.2	32.5	32.8	32.8	33.2	33.1

※ 認知件数は、被害者の性別が判明しているものに限る。

主な罪種・手口別の認知件数について、女性の割合をみると、平成27年において70%以上であったものは、強姦のほか、強制わいせつ(97.6%)、公然わいせつ(91.3%)、色情ねらい(85.7%)、ひったくり(84.9%)、遺棄(75.5%)、略取誘拐・人身売買(75.4%)、職権盗¹(74.5%)、途中ねらい²(73.0%)であった。

これらの犯罪のうち女性を被害者とするものの認知件数の推移をみると、平成17年以降27年まで一貫して減少しているのはひったくりのみで、その他は17年以降おおむね減少傾向にあったものの、24年に増加に転じ、以後はそれぞれ増加と減少を繰り返した。発生件数の少ない略取誘拐・人身売買、職権盗、途中ねらいについて、3年移動平均で平成19年以降の推移をみると、略取誘拐・人身売買が21年以降おおむね横ばいであった一方、途中ねらいは20年以降一貫して減少した。また、職権盗は、減少傾向にあったものの、26、27年は2年連続で増加した。

¹ 公務員等の身分を詐称し、捜査、検査等を装い、すきをみて金品を窃取する手口をいう。

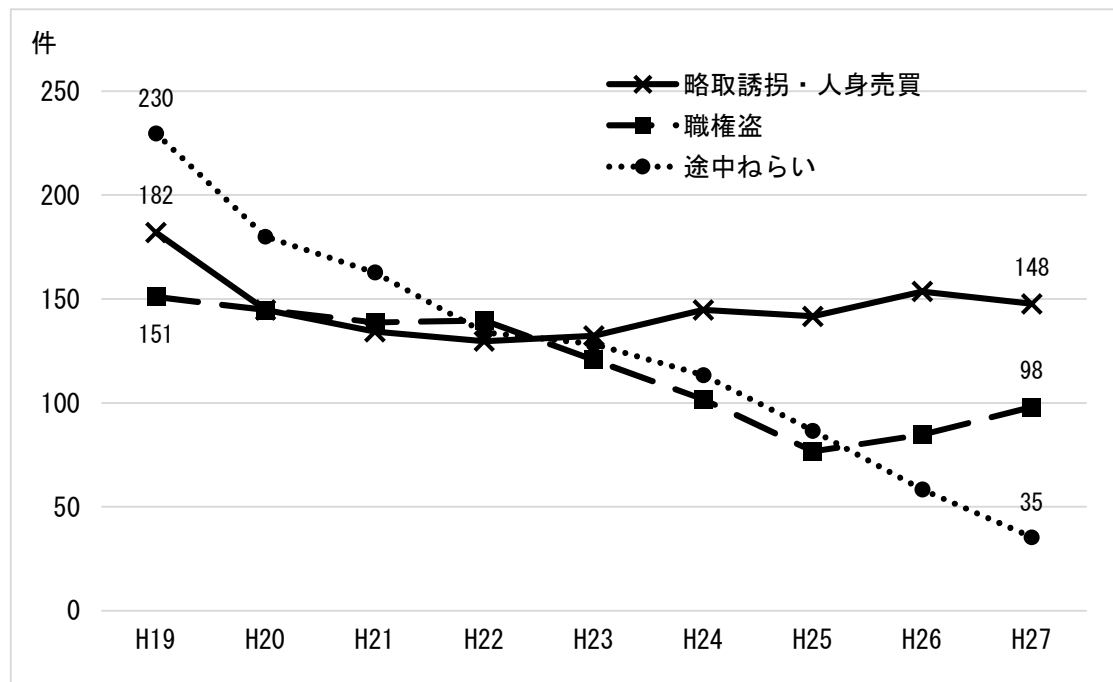
² 金品を輸送中の者又は銀行等に預金に行く者若しくは銀行等から払戻しを受けて帰る途中の者の情を知ったうえで金品を窃取する手口をいう。

図表：１－４－１－２（主な罪種・手口における女性被害認知件数 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分												
殺人	認知件数(件)	1,389	1,303	1,194	1,294	1,092	1,065	1,045	1,024	930	1,047	921
	うち女性	532	564	467	526	430	412	407	429	388	423	390
	割合(%)	38.3	43.3	39.1	40.6	39.4	38.7	38.9	41.9	41.7	40.4	42.3
強盗	認知件数	5,606	4,688	4,208	3,996	4,160	3,733	3,389	3,433	3,097	2,838	2,249
	うち女性	2,207	1,882	1,720	1,554	1,621	1,595	1,374	1,406	1,285	1,106	941
	割合	39.4	40.1	40.9	38.9	39.0	42.7	40.5	41.0	41.5	39.0	41.8
強姦	認知件数	2,076	1,948	1,766	1,590	1,415	1,293	1,193	1,266	1,409	1,250	1,167
	うち女性	2,076	1,948	1,766	1,590	1,415	1,293	1,193	1,266	1,409	1,250	1,167
	割合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
暴行	認知件数	25,815	31,002	31,966	31,670	29,670	29,636	29,319	31,863	31,545	32,372	32,543
	うち女性	9,761	11,417	11,441	11,406	10,601	10,840	10,555	11,985	11,860	12,849	13,481
	割合	37.8	36.8	35.8	36.0	35.7	36.6	36.0	37.6	37.6	39.7	41.4
傷害	認知件数	34,484	33,987	30,986	28,386	26,545	26,634	25,922	28,053	27,864	26,653	25,183
	うち女性	9,555	9,528	8,885	8,124	7,641	7,949	7,441	8,980	8,958	9,169	8,825
	割合	27.7	28.0	28.7	28.6	28.8	29.8	28.7	32.0	32.1	34.4	35.0
脅迫	認知件数	2,399	2,580	2,463	2,583	2,283	2,248	2,291	3,203	3,393	3,699	3,671
	うち女性	969	1,096	1,035	1,050	881	944	892	1,543	1,634	1,945	1,877
	割合	40.4	42.5	42.0	40.7	38.6	42.0	38.9	48.2	48.2	52.6	51.1
恐喝	認知件数	10,730	8,461	7,246	6,203	5,449	5,124	4,229	4,111	3,559	2,973	2,558
	うち女性	1,542	1,118	968	861	725	671	589	533	524	437	401
	割合	14.4	13.2	13.4	13.9	13.3	13.1	13.9	13.0	14.7	14.7	15.7
窃盗	認知件数	1,459,925	1,282,891	1,184,398	1,136,558	1,077,703	999,806	929,805	852,926	789,494	714,436	634,480
	うち女性	508,046	449,100	416,258	392,903	369,941	338,330	305,484	279,126	255,069	229,494	201,492
	割合	34.8	35.0	35.1	34.6	34.3	33.8	32.9	32.7	32.3	32.1	31.8
	うち ひったくり	認知件数	32,008	26,822	23,681	19,154	19,045	14,582	12,486	10,093	7,901	6,197
		うち女性	29,845	24,851	21,869	17,579	17,400	13,361	11,324	9,008	6,918	5,394
		割合	93.2	92.7	92.3	91.8	91.4	91.6	90.7	89.2	87.6	87.0
	うち 職権盗	認知件数	262	229	216	216	171	182	107	94	114	149
		うち女性	162	146	145	143	128	148	86	71	73	111
		割合	61.8	63.8	67.1	66.2	74.9	81.3	80.4	75.5	64.0	74.5
	うち 色情ねらい	認知件数	17,989	17,477	16,985	15,880	14,172	13,506	11,962	13,009	11,963	11,025
		うち女性	15,773	15,119	14,657	13,689	12,270	11,596	10,249	11,114	10,220	9,396
		割合	87.7	86.5	86.3	86.2	86.6	85.9	85.7	85.4	85.4	85.7
	うち 途中ねらい	認知件数	356	260	278	167	184	156	140	136	88	37
		うち女性	277	193	219	128	141	133	111	96	53	27
		割合	77.8	74.2	78.8	76.6	76.6	85.3	79.3	70.6	60.2	73.0
詐欺	認知件数	66,597	56,262	49,149	44,289	26,216	21,467	20,133	20,558	25,704	29,880	28,245
	うち女性	23,643	23,090	22,082	22,189	11,748	10,263	10,458	11,005	13,954	16,326	15,379
	割合	35.5	41.0	44.9	50.1	44.8	47.8	51.9	53.5	54.3	54.6	54.4
強制わいせつ	認知件数	8,751	8,326	7,664	7,137	6,723	7,068	6,929	7,321	7,654	7,400	6,755
	うち女性	8,534	8,140	7,464	6,954	6,612	6,905	6,767	7,144	7,446	7,186	6,596
	割合	97.5	97.8	97.4	97.4	98.3	97.7	97.7	97.6	97.3	97.1	97.6
公然わいせつ	認知件数	1,045	1,113	965	913	838	964	761	1,018	1,230	1,226	1,138
	うち女性	979	1,042	894	848	778	887	707	945	1,156	1,130	1,039
	割合	93.7	93.6	92.6	92.9	92.8	92.0	92.9	92.8	94.0	92.2	91.3
遺棄	認知件数	48	55	51	39	53	54	56	49	64	51	49
	うち女性	23	31	31	17	27	29	35	26	37	28	37
	割合	47.9	56.4	60.8	43.6	50.9	53.7	62.5	53.1	57.8	54.9	75.5
逮捕監禁	認知件数	576	522	418	409	362	356	315	309	304	304	341
	うち女性	272	246	185	202	180	164	162	149	145	159	181
	割合	47.2	47.1	44.3	49.4	49.7	46.1	51.4	48.2	47.7	52.3	53.1
略取誘拐・ 人身売買	認知件数	277	199	207	155	156	186	153	190	185	198	191
	うち女性	229	156	161	117	125	147	125	162	138	161	144
	割合	82.7	78.4	77.8	75.5	80.1	79.0	81.7	85.3	74.6	81.3	75.4

※ 認知件数は、自然人被害のものに限る。

図表：１－４－１－３（女性被害の略取誘拐・人身売買等認知件数３年移動平均 H19-H27 の推移）



主な罪種について女性被害の認知件数を被害女性の年齢層別にみると、主な被害層は20歳代であるが、詐欺及び殺人では70歳以上の被害が最も多く、強制わいせつ、公然わいせつ及び略取誘拐・人身売買は19歳以下が最多層であった。

図表：１－４－１－４（主な罪種に係る被害女性年齢層別認知件数 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
殺人	認知件数(件)	532	564	467	526	430	412	407	429	388	423	390
	19歳以下	66	72	51	67	44	52	47	40	42	60	60
	20-29歳	62	63	59	72	61	42	40	50	31	53	45
	30-39歳	76	83	60	67	58	41	42	48	40	46	35
	40-49歳	67	62	46	65	63	52	51	58	55	51	51
	50-59歳	88	85	58	51	50	51	48	52	32	52	36
	60-69歳	64	81	71	71	48	67	59	76	62	66	55
	70歳以上	107	118	122	133	106	107	120	105	126	95	108
	年齢不明	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強盗	認知件数	2,207	1,882	1,720	1,554	1,621	1,595	1,374	1,406	1,285	1,106	941
	19歳以下	254	212	203	174	158	187	151	155	143	148	114
	20-29歳	687	658	553	538	480	507	435	418	414	357	252
	30-39歳	355	284	267	237	235	219	189	189	171	132	122
	40-49歳	211	181	167	166	195	206	167	190	160	152	140
	50-59歳	288	234	196	167	208	158	138	160	123	103	107
	60-69歳	190	145	143	130	179	149	141	127	134	97	102
	70歳以上	222	168	191	142	166	169	153	167	140	117	104
	年齢不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強姦	認知件数	2,076	1,948	1,766	1,590	1,415	1,293	1,193	1,266	1,409	1,250	1,167
	19歳以下	875	808	770	697	608	549	531	574	556	506	432
	20-29歳	912	855	740	674	613	549	474	498	630	537	524
	30-39歳	182	170	162	145	122	122	116	118	143	126	130
	40-49歳	53	58	47	37	41	44	41	48	52	55	51
	50-59歳	34	34	29	22	18	15	11	16	19	12	13
	60-69歳	16	10	8	8	9	8	9	5	8	5	9
	70歳以上	4	13	10	7	4	6	11	7	1	9	8
	年齢不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

区分		年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
暴行	認知件数		9,761	11,417	11,441	11,406	10,601	10,840	10,555	11,985	11,860	12,849	13,481
	19歳以下		3,344	3,382	3,242	2,970	2,573	2,447	2,328	2,462	2,552	2,444	2,267
	20-29歳		3,024	3,550	3,435	3,457	3,170	3,221	2,998	3,312	3,307	3,547	3,661
	30-39歳		1,652	2,015	1,993	2,114	2,017	2,135	2,022	2,345	2,282	2,549	2,653
	40-49歳		826	1,080	1,269	1,278	1,284	1,419	1,450	1,757	1,824	2,081	2,373
	50-59歳		495	764	784	785	711	784	733	901	843	983	1,156
	60-69歳		281	375	420	489	507	509	571	674	596	689	746
	70歳以上		139	251	298	313	339	325	453	534	456	556	625
傷害	認知件数		9,555	9,528	8,885	8,124	7,641	7,949	7,441	8,980	8,958	9,169	8,825
	19歳以下		1,510	1,446	1,428	1,332	1,164	1,247	1,138	1,256	1,200	1,093	915
	20-29歳		2,510	2,482	2,284	2,065	2,032	1,977	1,832	2,232	2,250	2,381	2,317
	30-39歳		2,272	2,280	2,121	1,852	1,703	1,778	1,609	1,987	1,949	2,004	2,019
	40-49歳		1,336	1,440	1,261	1,260	1,237	1,338	1,353	1,645	1,707	1,782	1,682
	50-59歳		1,027	1,022	925	816	662	748	667	787	827	827	813
	60-69歳		548	495	485	454	478	495	481	614	525	553	508
	70歳以上		352	363	381	345	365	366	361	459	500	529	571
脅迫	認知件数		969	1,096	1,035	1,050	881	944	892	1,543	1,634	1,945	1,877
	19歳以下		182	191	176	172	136	185	129	241	277	324	322
	20-29歳		244	288	266	300	243	218	224	424	451	540	519
	30-39歳		213	234	220	202	181	186	200	293	325	372	369
	40-49歳		141	156	146	179	153	172	149	279	277	335	327
	50-59歳		108	113	122	113	82	90	83	158	154	195	174
	60-69歳		54	75	65	59	55	65	62	94	96	107	96
	70歳以上		27	39	40	25	31	28	45	54	54	72	70
恐喝	認知件数		1,542	1,118	968	861	725	671	589	533	524	437	401
	19歳以下		416	324	258	226	181	185	178	122	113	89	70
	20-29歳		438	316	288	253	201	173	148	143	134	135	128
	30-39歳		198	153	147	142	115	106	84	85	79	68	63
	40-49歳		195	134	104	82	99	88	73	80	81	58	62
	50-59歳		164	93	76	77	55	44	54	48	54	37	34
	60-69歳		80	50	49	43	51	44	30	26	37	27	23
	70歳以上		51	48	46	38	23	31	22	29	26	23	21
窃盗	認知件数		508,046	449,100	416,258	392,903	369,941	338,330	305,484	279,126	255,069	229,494	201,492
	19歳以下		103,884	97,441	97,254	91,723	86,640	79,632	69,928	61,900	57,526	50,689	41,841
	20-29歳		118,917	103,917	94,432	88,630	82,762	75,177	66,522	61,736	55,781	50,309	45,511
	30-39歳		82,091	71,825	64,928	61,295	56,428	51,106	44,430	40,138	35,560	31,736	28,471
	40-49歳		60,838	53,478	49,412	47,614	45,880	43,191	40,352	37,838	34,824	32,542	28,827
	50-59歳		63,677	53,784	46,520	41,271	36,619	32,059	28,917	25,937	23,276	21,593	19,195
	60-69歳		44,151	37,629	34,944	34,601	34,379	31,848	29,747	26,886	24,318	20,934	18,060
	70歳以上		34,488	31,026	28,768	27,769	27,233	25,317	25,588	24,691	23,784	21,691	19,587
詐欺	認知件数		23,643	23,090	22,082	22,189	11,748	10,263	10,458	11,005	13,954	16,326	15,379
	19歳以下		717	756	785	707	496	334	307	307	262	368	321
	20-29歳		3,969	3,773	3,477	2,985	2,066	1,299	992	1,127	1,304	1,685	1,503
	30-39歳		4,902	4,109	3,342	2,693	1,666	1,110	886	885	1,132	1,699	1,412
	40-49歳		3,829	3,090	2,724	2,601	1,318	983	777	831	1,182	1,597	1,411
	50-59歳		3,835	3,739	3,606	3,355	1,487	1,137	1,164	970	997	1,137	1,004
	60-69歳		3,072	3,560	3,984	4,869	1,997	1,993	2,375	2,381	2,361	2,097	1,781
	70歳以上		3,319	4,063	4,164	4,979	2,718	3,407	3,957	4,504	6,716	7,743	7,947
強制わいせつ	認知件数		8,534	8,140	7,464	6,954	6,612	6,905	6,767	7,144	7,446	7,186	6,596
	19歳以下		4,803	4,377	3,877	3,562	3,438	3,640	3,482	3,677	3,782	3,536	3,073
	20-29歳		2,820	2,878	2,696	2,526	2,402	2,512	2,447	2,622	2,709	2,670	2,527
	30-39歳		656	606	613	606	546	506	552	540	622	630	610
	40-49歳		170	188	187	179	149	163	203	192	210	233	271
	50-59歳		51	63	47	49	53	47	47	68	76	75	72
	60-69歳		23	19	29	23	18	19	16	34	24	26	24
	70歳以上		11	9	15	9	6	18	20	11	23	16	19
公然わいせつ	認知件数		979	1,042	894	848	778	887	707	945	1,156	1,130	1,039
	19歳以下		538	555	430	410	373	415	346	472	559	519	535
	20-29歳		225	240	226	213	196	245	173	243	298	274	232
	30-39歳		117	126	120	115	125	125	102	120	163	158	134
	40-49歳		59	63	60	68	45	74	49	70	77	98	83
	50-59歳		24	33	37	27	23	17	14	24	35	42	30
	60-69歳		11	14	11	11	12	7	16	9	17	26	18
	70歳以上		5	11	10	4	4	4	7	7	7	13	7

区分 \ 年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
逮捕・監禁	認知件数	272	246	185	202	180	164	162	149	145	159	181
	19歳以下	85	79	62	59	53	35	41	37	42	43	40
	20-29歳	103	110	71	95	78	69	57	77	60	77	72
	30-39歳	52	29	25	19	26	32	27	18	21	18	35
	40-49歳	15	17	17	16	16	18	20	7	13	11	21
	50-59歳	7	7	8	8	4	5	8	2	7	7	10
	60-69歳	7	1	1	2	1	3	5	5	1	2	2
	70歳以上	3	3	1	3	2	2	4	3	1	1	1
略取・誘拐・人身売買	認知件数	229	156	161	117	125	147	125	162	138	161	144
	19歳以下	176	114	112	86	100	115	97	132	118	132	110
	20-29歳	36	38	30	19	20	25	20	24	16	22	20
	30-39歳	12	3	13	8	3	6	4	3	2	3	9
	40-49歳	2	1	5	2	1	1	2	3	1	2	5
	50-59歳	1	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0
	60-69歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	70歳以上	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0

※ 認知件数は、被害者の性別・年齢が判明しているものに限る（ただし、殺人は年齢不明を含む。）。

女性を被害者とする殺人、傷害、暴行について、被疑者が当該女性の配偶者である場合とそうでない場合とに分けて検挙件数の推移をみると、殺人については、被疑者が配偶者以外であるものの減少率に比べて配偶者であるものの減少率が高かった。一方、傷害や暴行については、被疑者が配偶者であるものの増加率が高かった。

図表：１－４－１－５（被疑者と被害者の関係別女性被害殺人等検挙件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
殺人	女性被害検挙件数（件）	443	463	391	425	360	349	350	351	344	365	344
	被疑者が配偶者	124	116	105	126	98	111	88	95	106	90	82
	前年からの増減率（％）	-	-6.5	-9.5	20.0	-22.2	13.3	-20.7	8.0	11.6	-15.1	-8.9
	被疑者が配偶者以外	319	347	286	299	262	238	262	256	238	275	262
	前年からの増減率	-	8.8	-17.6	4.5	-12.4	-9.2	10.1	-2.3	-7.0	15.5	-4.7
傷害	女性被害検挙件数	6,415	6,449	6,204	5,771	5,560	5,828	5,558	6,927	6,936	7,431	7,360
	被疑者が配偶者	1,253	1,286	1,249	1,264	1,209	1,434	1,323	2,053	2,008	2,538	2,504
	前年からの増減率	-	2.6	-2.9	1.2	-4.4	18.6	-7.7	55.2	-2.2	26.4	-1.3
	被疑者が配偶者以外	5,162	5,163	4,955	4,507	4,351	4,394	4,235	4,874	4,928	4,893	4,856
	前年からの増減率	-	0.0	-4.0	-9.0	-3.5	1.0	-3.6	15.1	1.1	-0.7	-0.8
暴行	女性被害検挙件数	3,659	5,443	6,028	6,283	6,366	6,791	6,820	7,909	7,764	9,150	10,032
	被疑者が配偶者	355	663	864	971	1,008	1,353	1,403	1,980	1,966	2,750	3,467
	前年からの増減率	-	86.8	30.3	12.4	3.8	34.2	3.7	41.1	-0.7	39.9	26.1
	被疑者が配偶者以外	3,304	4,780	5,164	5,312	5,358	5,438	5,417	5,929	5,798	6,400	6,565
	前年からの増減率	-	44.7	8.0	2.9	0.9	1.5	-0.4	9.5	-2.2	10.4	2.6

※ 解決事件を除く。

2 少年被害の状況

少年を被害者とする刑法犯認知件数は、平成 17 年以降一貫して減少しており、27 年は、17 年に比べて 17 万 4,398 件・53.5%減少した。被害者の年齢が判明している認知件数に占める割合は、平成 22 年の 20.5%をピークに 27 年まで減少傾向にある。平成 27 年の 17.6%は、26 年の総人口に占める 19 歳以下の割合（17.5%）とほぼ同じであり、少年を被害者とする人口千人当たりの認知件数も、成人と同数であった。

図表：1－4－2－1（被害者の年齢（少年・成人）別刑法犯認知件数、
人口千人当たり刑法犯認知件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	1,871,293	1,668,361	1,540,070	1,467,073	1,373,025	1,274,731	1,190,123	1,113,147	1,046,045	960,483	862,395
19歳以下	326,042	309,104	304,685	290,206	276,956	260,759	233,725	211,821	199,999	179,915	151,644
割合(%)	17.4	18.5	19.8	19.8	20.2	20.5	19.6	19.0	19.1	18.7	17.6
人口千人当たり(件)	13.5	13.0	12.9	12.4	12.0	11.4	10.3	9.4	8.9	8.1	6.8
20歳以上	1,545,251	1,359,257	1,235,385	1,176,867	1,096,069	1,013,972	956,398	901,326	846,046	780,568	710,751
人口千人当たり	14.9	13.1	11.9	11.3	10.5	9.6	9.1	8.6	8.1	7.4	6.8

※ 認知件数は、被害者の年齢が判明しているものに限る。

主な罪種・手口別の認知件数について、被害者の年齢層別割合の推移をみると、平成 27 年において少年の者の割合が 30%以上であったものは、略取誘拐・人身売買（77.5%。12 歳以下に限れば 44.0%。）、公然わいせつ（48.8%）、強制わいせつ（47.3%）、自転車盗（施錠なし、45.8%）、強姦（37.0%）、恐喝（33.5%）、自転車盗（施錠あり、32.6%）であった。

これらの犯罪について、少年が被害者であった認知件数の推移をみると、略取誘拐・人身売買は減少から横ばいとなりつつあったが、強制わいせつ、自転車盗、強姦、恐喝はいずれも減少傾向が続いた。また、略取誘拐・人身売買のうち、12 歳以下の者を被害者とするものの認知件数は、平成 26 年に 9 年ぶりに 100 件を上回ったが、27 年は減少に転じた。

図表：１－４－２－２（主な罪種・手口の少年被害認知件数 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分												
殺人	認知件数(件)	1,389	1,303	1,194	1,294	1,092	1,065	1,045	1,024	930	1,047	921
	うち19歳以下	151	156	122	166	115	125	123	110	103	133	125
	割合(%)	10.9	12.0	10.2	12.8	10.5	11.7	11.8	10.7	11.1	12.7	13.6
強盗	認知件数	5,606	4,688	4,208	3,996	4,160	3,733	3,389	3,433	3,097	2,838	2,249
	うち19歳以下	635	489	445	364	381	360	316	346	305	261	203
	割合	11.3	10.4	10.6	9.1	9.2	9.6	9.3	10.1	9.8	9.2	9.0
強姦	認知件数	2,076	1,948	1,766	1,590	1,415	1,293	1,193	1,266	1,409	1,250	1,167
	うち19歳以下	875	808	770	697	608	549	531	574	556	506	432
	割合	42.1	41.5	43.6	43.8	43.0	42.5	44.5	45.3	39.5	40.5	37.0
暴行	認知件数	25,815	31,002	31,966	31,670	29,670	29,636	29,319	31,863	31,545	32,372	32,543
	うち19歳以下	6,329	6,585	6,407	6,009	5,387	5,050	4,871	5,351	5,394	5,035	4,635
	割合	24.5	21.2	20.0	19.0	18.2	17.0	16.6	16.8	17.1	15.6	14.2
傷害	認知件数	34,484	33,987	30,986	28,386	26,545	26,634	25,922	28,053	27,864	26,653	25,183
	うち19歳以下	6,522	6,374	5,991	5,529	5,059	5,282	5,048	5,352	5,056	4,339	3,639
	割合	18.9	18.8	19.3	19.5	19.1	19.8	19.5	19.1	18.1	16.3	14.5
脅迫	認知件数	2,399	2,580	2,463	2,583	2,283	2,248	2,291	3,203	3,393	3,699	3,671
	うち19歳以下	317	340	312	310	244	295	278	395	438	494	458
	割合	13.2	13.2	12.7	12.0	10.7	13.1	12.1	12.3	12.9	13.4	12.5
恐喝	認知件数	10,730	8,461	7,246	6,203	5,449	5,124	4,229	4,111	3,559	2,973	2,558
	うち19歳以下	4,871	3,485	3,065	2,623	2,317	2,262	1,871	1,773	1,374	1,043	857
	割合	45.4	41.2	42.3	42.3	42.5	44.1	44.2	43.1	38.6	35.1	33.5
窃盗	認知件数	1,459,925	1,282,891	1,184,398	1,136,558	1,077,703	999,806	929,805	852,926	789,494	714,436	634,480
	うち19歳以下	275,732	261,718	260,560	251,275	242,350	228,409	204,349	183,079	172,677	155,210	130,240
	割合	18.9	20.4	22.0	22.1	22.5	22.8	22.0	21.5	21.9	21.7	20.5
	うち 自転車盗 (施錠なし)	認知件数	183,380	180,523	184,748	193,301	194,980	196,650	193,680	181,710	179,719	169,543
	うち19歳以下	101,902	100,435	101,891	105,180	103,447	103,963	99,298	91,926	89,854	81,372	67,995
	割合	55.6	55.6	55.2	54.4	53.1	52.9	51.3	50.6	50.0	48.0	45.8
	うち 自転車盗 (施錠あり)	認知件数	219,332	205,322	208,345	200,189	195,216	177,657	153,899	132,938	122,300	121,417
	うち19歳以下	103,470	96,683	97,346	89,396	85,352	76,065	61,444	51,314	46,050	42,793	36,121
	割合	47.2	47.1	46.7	44.7	43.7	42.8	39.9	38.6	37.7	35.2	32.6
詐欺	認知件数	66,597	56,262	49,149	44,289	26,216	21,467	20,133	20,558	25,704	29,880	28,245
	うち19歳以下	1,703	1,594	1,711	1,543	1,021	718	577	529	507	666	627
	割合	2.6	2.8	3.5	3.5	3.9	3.3	2.9	2.6	2.0	2.2	2.2
強制わいせつ	認知件数	8,751	8,326	7,664	7,137	6,723	7,068	6,929	7,321	7,654	7,400	6,755
	うち19歳以下	4,970	4,534	4,021	3,708	3,534	3,782	3,627	3,817	3,950	3,720	3,196
	割合	56.8	54.5	52.5	52.0	52.6	53.5	52.3	52.1	51.6	50.3	47.3
公然わいせつ	認知件数	1,045	1,113	965	913	838	964	761	1,018	1,230	1,226	1,138
	うち19歳以下	559	569	445	429	390	426	354	486	573	539	555
	割合	53.5	51.1	46.1	47.0	46.5	44.2	46.5	47.7	46.6	44.0	48.8
逮捕監禁	認知件数	576	522	418	409	362	356	315	309	304	304	341
	うち19歳以下	140	145	109	114	92	67	79	77	93	76	85
	割合	24.3	27.8	26.1	27.9	25.4	18.8	25.1	24.9	30.6	25.0	24.9
略取誘拐・ 人身売買	認知件数	277	199	207	155	156	186	153	190	185	198	191
	うち19歳以下	215	145	144	111	126	149	123	156	157	159	148
	割合	77.6	72.9	69.6	71.6	80.8	80.1	80.4	82.1	84.9	80.3	77.5
	うち12歳以下	104	86	82	63	77	91	86	95	94	109	84
	割合	37.5	43.2	39.6	40.6	49.4	48.9	56.2	50.0	50.8	55.1	44.0

※ 認知件数は、被害者の年齢が判明しているものに限る。

主な罪種・手口について人口 10 万人当たりの認知件数の推移をみると、全体に比べて少年の件数が多いのは、略取誘拐・人身売買（3.5 倍）、公然わいせつ（2.8 倍）、強制わいせつ（2.7 倍）、自転車盗（施錠なし 2.6 倍）、強姦（2.1 倍）等であった（括弧内の数値は平成 27 年の割合。）。

図表：1－4－2－3（主な罪種・手口における人口 10 万人当たり少年被害認知件数 H17-H27 の推移）

区分		年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
殺人	人口10万人当たり認知件数(件)		1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7
	うち19歳以下		0.6	0.7	0.5	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6
強盗	人口10万人当たり認知件数		4.4	3.7	3.3	3.1	3.3	2.9	2.7	2.7	2.4	2.2	1.8
	うち19歳以下		2.6	2.0	1.9	1.6	1.7	1.6	1.4	1.5	1.4	1.2	0.9
強姦	人口10万人当たり認知件数		1.6	1.5	1.4	1.2	1.1	1.0	0.9	1.0	1.1	1.0	0.9
	うち19歳以下		3.6	3.4	3.3	3.0	2.6	2.4	2.3	2.5	2.5	2.3	1.9
暴行	人口10万人当たり認知件数		20.2	24.3	25.0	24.8	23.3	23.1	22.9	25.0	24.8	25.5	25.6
	うち19歳以下		26.2	27.6	27.2	25.8	23.3	22.0	21.4	23.7	24.0	22.6	20.8
傷害	人口10万人当たり認知件数		27.0	26.6	24.3	22.2	20.8	20.8	20.3	22.0	21.9	21.0	19.8
	うち19歳以下		27.0	26.7	25.4	23.7	21.9	23.0	22.2	23.7	22.5	19.5	16.4
脅迫	人口10万人当たり認知件数		1.9	2.0	1.9	2.0	1.8	1.8	1.8	2.5	2.7	2.9	2.9
	うち19歳以下		1.3	1.4	1.3	1.3	1.1	1.3	1.2	1.7	2.0	2.2	2.1
恐喝	人口10万人当たり認知件数		8.4	6.6	5.7	4.9	4.3	4.0	3.3	3.2	2.8	2.3	2.0
	うち19歳以下		20.1	14.6	13.0	11.2	10.0	9.9	8.2	7.8	6.1	4.7	3.9
窃盗	人口10万人当たり認知件数		1,142.6	1,004.1	927.0	890.1	845.2	780.8	727.6	668.9	620.2	562.2	499.3
	うち19歳以下		1,140.4	1,096.9	1,105.3	1,077.0	1,049.7	996.0	897.1	810.2	769.6	697.9	585.6
うち自転車盗(施錠なし)	人口10万人当たり認知件数		143.5	141.3	144.6	151.4	152.9	153.6	151.6	142.5	141.2	133.4	116.9
	うち19歳以下		421.5	421.0	432.2	450.8	448.1	453.3	435.9	406.8	400.5	365.9	305.7
うち自転車盗(施錠あり)	人口10万人当たり認知件数		171.7	160.7	163.1	156.8	153.1	138.7	120.4	104.3	96.1	95.5	87.2
	うち19歳以下		428.0	405.2	412.9	383.2	369.7	331.7	269.7	227.1	205.3	192.4	162.4
詐欺	人口10万人当たり認知件数		52.1	44.0	38.5	34.7	20.6	16.8	15.8	16.1	20.2	23.5	22.2
	うち19歳以下		7.0	6.7	7.3	6.6	4.4	3.1	2.5	2.3	2.3	3.0	2.8
強制わいせつ	人口10万人当たり認知件数		6.8	6.5	6.0	5.6	5.3	5.5	5.4	5.7	6.0	5.8	5.3
	うち19歳以下		20.6	19.0	17.1	15.9	15.3	16.5	15.9	16.9	17.6	16.7	14.4
公然わいせつ	人口10万人当たり認知件数		0.8	0.9	0.8	0.7	0.7	0.8	0.6	0.8	1.0	1.0	0.9
	うち19歳以下		2.3	2.4	1.9	1.8	1.7	1.9	1.6	2.2	2.6	2.4	2.5
逮捕監禁	人口10万人当たり認知件数		0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3
	うち19歳以下		0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4
略取誘拐・人身売買	人口10万人当たり認知件数		0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2
	うち19歳以下		0.9	0.6	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	0.7	0.7	0.7	0.7
	うち12歳以下		0.7	0.6	0.6	0.4	0.5	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.6

主な罪種・手口について、被害者の学職別認知件数をみると、殺人は未就学児童（図表：１－４－２－４においては「未就学」とする。）、暴行、脅迫、恐喝、窃盗、強制わいせつ及び公然わいせつは高校生、略取誘拐・人身売買は小学生の被害割合が高い傾向がみられた。

図表：１－４－２－４（主な罪種の１９歳以下被害者の学職別認知件数 H17-H27 の推移）

区分		年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
殺人	認知件数(件)		151	156	122	166	115	125	123	110	103	133	125
	未就学		78	75	59	89	48	54	54	47	42	55	51
	小学生		27	34	23	25	28	23	22	19	26	26	29
	中学生		6	11	8	10	9	6	15	8	7	16	12
	高校生		15	14	14	18	14	15	17	16	13	17	18
	その他		25	22	18	24	16	27	15	20	15	19	15
強盗	認知件数		635	489	445	364	381	360	316	346	305	261	203
	未就学		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
	小学生		12	5	4	8	6	7	12	10	8	4	2
	中学生		54	46	37	29	32	26	26	21	26	32	12
	高校生		198	171	154	138	114	133	120	108	119	84	81
	その他		371	267	250	189	229	194	157	207	152	140	108
強姦	認知件数		875	808	770	697	608	549	531	574	556	506	432
	未就学		3	3	1	0	1	0	1	3	0	4	6
	小学生		41	46	56	47	36	36	41	45	47	51	43
	中学生		165	151	146	131	101	100	116	122	109	107	91
	高校生		323	291	261	242	252	216	199	207	185	169	143
	その他		343	317	306	277	218	197	174	197	215	175	149
暴行	認知件数		6,329	6,585	6,407	6,009	5,387	5,050	4,871	5,351	5,394	5,035	4,635
	未就学		111	88	98	89	66	73	79	96	94	107	135
	小学生		872	802	671	645	573	508	511	630	671	647	662
	中学生		1,450	1,481	1,431	1,334	1,216	1,137	1,110	1,196	1,232	1,063	917
	高校生		2,365	2,541	2,430	2,213	1,996	1,851	1,716	1,906	1,900	1,693	1,519
	その他		1,531	1,673	1,777	1,728	1,536	1,481	1,455	1,523	1,497	1,525	1,402
傷害	認知件数		6,522	6,374	5,991	5,529	5,059	5,282	5,048	5,352	5,056	4,339	3,639
	未就学		123	119	148	118	113	127	123	116	114	161	170
	小学生		329	336	284	257	280	256	275	290	330	309	329
	中学生		1,840	1,832	1,747	1,635	1,539	1,680	1,558	1,557	1,451	1,187	805
	高校生		2,048	1,993	1,847	1,686	1,534	1,595	1,543	1,662	1,513	1,159	1,004
	その他		2,182	2,094	1,965	1,833	1,593	1,624	1,549	1,727	1,648	1,523	1,331
脅迫	認知件数		317	340	312	310	244	295	278	395	438	494	458
	未就学		1	0	1	0	0	1	0	0	2	1	1
	小学生		38	31	12	24	14	15	17	21	32	23	25
	中学生		76	86	78	88	60	92	71	84	108	102	100
	高校生		104	116	111	109	98	108	108	149	156	179	171
	その他		98	107	110	89	72	79	82	141	140	189	161
恐喝	認知件数		4,871	3,485	3,065	2,623	2,317	2,262	1,871	1,773	1,374	1,043	857
	未就学		0	1	1	1	2	0	0	0	1	0	0
	小学生		198	148	143	124	104	110	111	76	61	34	25
	中学生		1,685	1,144	965	847	727	814	600	537	398	292	215
	高校生		1,896	1,392	1,215	1,068	921	834	705	740	522	396	311
	その他		1,092	800	741	583	563	504	455	420	392	321	306
窃盗	認知件数		275,732	261,718	260,560	251,275	242,350	228,409	204,349	183,079	172,677	155,210	130,240
	未就学		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小学生		20,901	20,859	22,050	21,736	22,072	21,489	19,398	17,270	17,269	16,021	12,914
	中学生		58,699	55,424	56,957	56,806	56,047	53,531	47,641	42,005	39,739	34,895	28,005
	高校生		123,761	117,939	116,169	110,223	105,111	99,756	88,420	79,245	73,255	65,490	54,765
	その他		72,370	67,496	65,384	62,510	59,120	53,633	48,890	44,559	42,414	38,804	34,556

年次 区分		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
詐欺	認知件数	1,703	1,594	1,711	1,543	1,021	718	577	529	507	666	627
	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小学生	23	11	15	15	10	16	19	9	14	7	4
	中学生	88	94	86	83	51	36	57	35	27	27	38
	高校生	620	657	676	618	383	295	222	198	177	258	257
	その他	972	832	934	827	577	371	279	287	289	374	328
強制 わいせつ	認知件数	4,970	4,534	4,021	3,708	3,534	3,782	3,627	3,817	3,950	3,720	3,196
	未就学	126	112	88	98	73	99	84	77	85	93	96
	小学生	1,164	810	747	768	801	897	857	903	936	906	698
	中学生	698	651	559	496	487	541	549	555	588	592	500
	高校生	2,021	2,012	1,764	1,532	1,445	1,474	1,388	1,499	1,507	1,338	1,206
	その他	961	949	863	814	728	771	749	783	834	791	696
公然 わいせつ	認知件数	559	569	445	429	390	426	354	486	573	539	555
	未就学	0	1	0	0	3	1	1	2	2	0	1
	小学生	113	83	65	65	68	86	71	117	115	113	126
	中学生	145	145	102	106	99	101	87	116	161	131	127
	高校生	241	268	217	205	170	186	147	186	230	232	226
	その他	60	72	61	53	50	52	48	65	65	63	75
逮捕監禁	認知件数	140	145	109	114	92	67	79	77	93	76	85
	未就学	1	1	0	1	3	4	2	2	2	5	3
	小学生	3	7	3	1	4	2	5	5	6	7	7
	中学生	25	16	12	12	11	7	7	7	8	3	3
	高校生	48	49	26	42	28	12	21	19	25	14	21
	その他	63	72	68	58	46	42	44	44	52	47	51
略取誘拐・ 人身売買	認知件数	215	145	144	111	126	149	123	156	157	159	148
	未就学	31	27	31	18	23	35	33	30	36	33	31
	小学生	71	55	49	44	48	53	49	61	54	71	51
	中学生	40	23	16	11	27	28	14	21	22	22	24
	高校生	54	21	29	26	16	28	17	29	28	21	32
	その他	19	19	19	12	12	5	10	15	17	12	10

12歳以下の者を被害者とする強盗強姦、強姦、強制わいせつ（いずれも致死又は致死傷を含む。）及びわいせつ目的略取誘拐の認知件数の推移をみると、平成20年以降増加傾向にあった強制わいせつは27年に大きく減少したが、その他の罪種については大きな変化は見られなかった。

図表：1－4－2－5（12歳以下被害者の暴力的性犯罪罪種別認知件数 H17-H27 の推移）

年次 区分		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
子供対象・暴力的性犯罪 認知件数(件)		1,484	1,114	1,012	1,044	1,022	1,155	1,122	1,171	1,209	1,203	970
強盗強姦		0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
強姦		72	67	81	71	53	55	65	76	69	77	64
強制わいせつ		1,384	1,015	907	944	944	1,070	1,027	1,066	1,116	1,095	881
わいせつ目的略取誘拐		28	32	24	28	25	30	29	29	24	31	25

3 高齢者被害の状況

高齢者を被害者とする刑法犯認知件数は、平成 17 年以降減少傾向にあり、27 年は 17 年から 5 万 8,171 件・32.5%減少し、高齢者を被害者とする人口千人当たりの認知件数も、同期間中一貫して減少した。

一方で、被害者の年齢が判明している刑法犯認知件数に占める割合は上昇しており、同期間中に 4.4 ポイント上昇した。

図表：1－4－3－1（被害者の年齢（高齢者・非高齢者）別刑法犯認知件数、
人口千人当たり刑法犯認知件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	1,871,293	1,668,361	1,540,070	1,467,073	1,373,025	1,274,731	1,190,123	1,113,147	1,046,045	960,483	862,395
65歳以上	178,881	163,325	156,271	156,280	145,224	139,652	137,905	133,779	137,138	130,305	120,710
割合(%)	9.6	9.8	10.1	10.7	10.6	11.0	11.6	12.0	13.1	13.6	14.0
人口千人当たり(件)	6.9	6.1	5.7	5.5	5.0	4.7	4.6	4.3	4.3	3.9	3.7
65歳未満	1,692,412	1,505,036	1,383,799	1,310,793	1,227,801	1,135,079	1,052,218	979,368	908,907	830,178	741,685
人口千人当たり	16.6	14.9	13.8	13.2	12.5	11.5	10.7	10.1	9.5	8.8	7.9

※ 認知件数は、被害者の年齢が判明しているものに限る。

主な罪種・手口の認知件数について、高齢者を被害者とするものの割合をみると、平成 27 年において高齢者の割合が 40%以上であったものは、職権盗（87.9%）、振り込め詐欺¹（78.1%）、病室ねらい（56.1%）、訪問盗²（46.1%）、詐欺（45.1%）、途中ねらい（43.2%）、居空き（42.6%）であった。

これらの犯罪について、高齢者を被害者とする認知件数の推移をみると、振り込め詐欺が一貫して増加しているのに対し、病室ねらい、訪問盗、途中ねらい及び居空きは減少傾向にあった。

¹ 平成 21 年に犯罪統計を開始。

² 口実を設けて訪問し、隙を見て金品を窃取する手口をいう。

図表：１－４－３－２（主な罪種・手口の高齢者被害認知件数 H17-H27 の推移）

区分		年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
殺人	認知件数(件)		1,389	1,303	1,194	1,294	1,092	1,065	1,045	1,024	930	1,047	921
	うち65歳以上		234	250	259	313	237	256	263	262	280	257	266
	割合(%)		16.8	19.2	21.7	24.2	21.7	24.0	25.2	25.6	30.1	24.5	28.9
強盗	認知件数		5,606	4,688	4,208	3,996	4,160	3,733	3,389	3,433	3,097	2,838	2,249
	うち65歳以上		522	428	432	401	431	427	379	384	355	331	300
	割合		9.3	9.1	10.3	10.0	10.4	11.4	11.2	11.2	11.5	11.7	13.3
強姦	認知件数		2,076	1,948	1,766	1,590	1,415	1,293	1,193	1,266	1,409	1,250	1,167
	うち65歳以上		14	14	12	11	7	9	13	9	5	10	12
	割合		0.7	0.7	0.7	0.7	0.5	0.7	1.1	0.7	0.4	0.8	1.0
暴行	認知件数		25,815	31,002	31,966	31,670	29,670	29,636	29,319	31,863	31,545	32,372	32,543
	うち65歳以上		929	1,417	1,611	1,743	1,788	1,782	2,003	2,236	2,216	2,526	2,746
	割合		3.6	4.6	5.0	5.5	6.0	6.0	6.8	7.0	7.0	7.8	8.4
傷害	認知件数		34,484	33,987	30,986	28,386	26,545	26,634	25,922	28,053	27,864	26,653	25,183
	うち65歳以上		1,791	1,870	1,784	1,723	1,766	1,729	1,757	2,018	2,075	2,229	2,180
	割合		5.2	5.5	5.8	6.1	6.7	6.5	6.8	7.2	7.4	8.4	8.7
脅迫	認知件数		2,399	2,580	2,463	2,583	2,283	2,248	2,291	3,203	3,393	3,699	3,671
	うち65歳以上		153	190	204	182	175	185	206	244	298	282	341
	割合		6.4	7.4	8.3	7.0	7.7	8.2	9.0	7.6	8.8	7.6	9.3
恐喝	認知件数		10,730	8,461	7,246	6,203	5,449	5,124	4,229	4,111	3,559	2,973	2,558
	うち65歳以上		265	271	216	194	177	166	130	134	137	113	114
	割合		2.5	3.2	3.0	3.1	3.2	3.2	3.1	3.3	3.8	3.8	4.5
窃盗	認知件数		1,459,925	1,282,891	1,184,398	1,136,558	1,077,703	999,806	929,805	852,926	789,494	714,436	634,480
	うち65歳以上		139,177	123,017	117,275	115,686	111,052	106,158	104,534	98,253	97,278	89,737	82,070
	割合		9.5	9.6	9.9	10.2	10.3	10.6	11.2	11.5	12.3	12.6	12.9
うち 職権盗	認知件数		262	229	216	216	171	182	107	94	114	166	149
	うち65歳以上		125	152	146	163	140	163	97	87	109	158	131
	割合		47.7	66.4	67.6	75.5	81.9	89.6	90.7	92.6	95.6	95.2	87.9
うち 病室 ねらい	認知件数		4,017	3,454	2,881	2,766	2,343	2,101	1,607	1,667	1,754	1,326	1,106
	うち65歳以上		1,790	1,646	1,324	1,315	1,112	1,054	878	866	920	735	621
	割合		44.6	47.7	46.0	47.5	47.5	50.2	54.6	51.9	52.5	55.4	56.1
うち 訪問盗	認知件数		2,190	2,076	1,912	1,779	1,691	1,473	1,583	1,660	1,410	1,193	1,146
	うち65歳以上		843	793	825	702	702	600	743	844	668	540	528
	割合		38.5	38.2	43.1	39.5	41.5	40.7	46.9	50.8	47.4	45.3	46.1
うち 途中 ねらい	認知件数		356	260	278	167	184	156	140	136	88	38	37
	うち65歳以上		142	99	123	70	77	66	61	60	45	17	16
	割合		39.9	38.1	44.2	41.9	41.8	42.3	43.6	44.1	51.1	44.7	43.2
うち 居空き	認知件数		7,086	6,120	5,442	4,842	4,788	3,932	3,700	3,702	3,315	2,761	2,410
	うち65歳以上		2,184	2,068	1,893	1,763	1,774	1,431	1,380	1,458	1,397	1,184	1,026
	割合		30.8	33.8	34.8	36.4	37.1	36.4	37.3	39.4	42.1	42.9	42.6
詐欺	認知件数		66,597	56,262	49,149	44,289	26,216	21,467	20,133	20,558	25,704	29,880	28,245
	うち65歳以上		8,521	10,037	10,110	12,133	6,075	6,590	7,410	8,488	11,721	12,798	12,725
	割合		12.8	17.8	20.6	27.4	23.2	30.7	36.8	41.3	45.6	42.8	45.1
うち 振り込め 詐欺	認知件数						8,021	6,556	6,162	6,291	9,150	11,143	12,671
	うち65歳以上						2,617	3,500	3,900	4,328	7,253	8,936	9,896
	割合						32.6	53.4	63.3	68.8	79.3	80.2	78.1
強制 わいせつ	認知件数		8,751	8,326	7,664	7,137	6,723	7,068	6,929	7,321	7,654	7,400	6,755
	うち65歳以上		19	12	30	20	10	25	25	24	34	26	30
	割合		0.2	0.1	0.4	0.3	0.1	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4
公然 わいせつ	認知件数		1,045	1,113	965	913	838	964	761	1,018	1,230	1,226	1,138
	うち65歳以上		9	21	22	10	7	9	15	15	18	27	23
	割合		0.9	1.9	2.3	1.1	0.8	0.9	2.0	1.5	1.5	2.2	2.0
逮捕監禁	認知件数		576	522	418	409	362	356	315	309	304	304	341
	うち65歳以上		15	15	7	9	6	11	11	14	4	9	9
	割合		2.6	2.9	1.7	2.2	1.7	3.1	3.5	4.5	1.3	3.0	2.6
略取誘拐・ 人身売買	認知件数		277	199	207	155	156	186	153	190	185	198	191
	うち65歳以上		1	0	0	3	1	1	0	0	2	1	1
	割合		0.4	0.0	0.0	1.9	0.6	0.5	0.0	0.0	1.1	0.5	0.5

※ 認知件数は、被害者の年齢が判明しているものに限る。

※ 振り込め詐欺に関する犯罪統計は平成21年に開始したものであり、恐喝に該当する手口を含む。

高齢者を被害者とする認知件数について、被害者の年齢を5歳刻みに細分化し、人口10万人当たりの主な罪種・手口の認知件数の推移をみると、多くの罪種・手口において年齢が高くなるにつれ減少する傾向があるのに対し、詐欺、振り込め詐欺及び病室ねらいは80-84歳、殺人、居空き、訪問盗及び職権盗は85歳以上が最も多かった。

図表：1-4-3-3（主な罪種・手口の被害高齢者年齢層別人口10万人当たり認知件数H17-H27の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分												
殺人	認知件数(件)	0.9	0.9	0.9	1.1	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8
	65-69歳	0.8	1.0	0.9	1.1	0.7	1.0	0.9	1.1	0.8	0.8	0.8
	70-74歳	1.0	0.9	0.7	1.1	0.9	0.9	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8
	75-79歳	0.9	0.8	1.0	1.1	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7
	80-84歳	0.8	1.1	1.2	1.3	1.1	0.8	0.9	0.7	0.9	0.9	0.8
	85歳以上	0.9	1.0	1.1	1.0	0.7	0.8	1.0	0.9	1.0	0.5	0.9
強盗	認知件数	2.0	1.6	1.6	1.4	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9
	65-69歳	2.2	2.1	2.0	1.8	2.0	1.9	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4
	70-74歳	2.0	1.7	1.6	1.4	1.5	1.4	1.4	1.3	1.1	1.0	0.8
	75-79歳	2.2	1.6	1.4	1.4	1.4	1.3	1.1	1.3	1.0	0.9	0.8
	80-84歳	2.3	1.1	1.5	1.4	1.2	1.2	1.3	1.0	1.0	0.8	0.7
	85歳以上	1.1	0.9	1.0	0.6	0.7	1.2	0.8	0.8	0.6	0.6	0.5
暴行	認知件数	3.6	5.3	5.9	6.2	6.2	6.0	6.7	7.3	6.9	7.7	8.3
	65-69歳	6.5	9.2	9.8	10.4	10.2	10.1	10.5	11.4	11.2	12.4	13.8
	70-74歳	3.6	6.1	6.8	7.8	7.1	7.2	8.5	9.2	8.4	8.7	9.0
	75-79歳	2.5	3.6	4.3	3.7	4.5	4.3	5.3	6.0	5.9	6.6	6.8
	80-84歳	1.5	1.9	2.4	2.8	2.9	2.9	3.7	3.8	3.5	3.8	5.2
	85歳以上	0.6	1.1	1.3	1.2	1.6	1.4	1.7	1.7	1.6	2.1	1.9
傷害	認知件数	7.0	7.0	6.5	6.1	6.1	5.9	5.9	6.6	6.5	6.8	6.6
	65-69歳	11.2	11.3	10.3	9.4	9.5	9.0	9.0	9.8	9.6	10.2	9.2
	70-74歳	7.4	7.7	7.5	7.3	6.8	7.1	7.0	7.8	7.4	7.6	7.5
	75-79歳	5.2	5.3	4.8	4.5	4.9	4.9	5.3	6.0	6.1	6.1	6.0
	80-84歳	3.7	3.5	3.3	3.3	3.3	2.5	3.1	3.8	4.5	3.8	4.8
	85歳以上	2.3	2.3	2.1	2.1	1.9	2.2	2.0	1.9	1.7	2.7	2.8
脅迫	認知件数	0.6	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0
	65-69歳	0.9	1.3	1.1	1.1	1.0	1.0	1.3	1.5	1.7	1.3	1.6
	70-74歳	0.7	0.8	0.9	0.7	0.8	1.0	0.7	0.9	1.1	1.1	1.1
	75-79歳	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	0.4	0.6	0.6	0.7	0.8	1.1
	80-84歳	0.3	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6
	85歳以上	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2
恐喝	認知件数	1.0	1.0	0.8	0.7	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
	65-69歳	1.6	1.6	1.2	1.1	1.1	0.9	0.7	0.7	0.8	0.6	0.5
	70-74歳	1.1	1.1	0.8	0.9	0.7	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4
	75-79歳	0.9	1.0	0.7	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3
	80-84歳	0.5	0.4	0.6	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3
	85歳以上	0.3	0.4	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2

区分		年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
窃盗	認知件数		540.3	462.5	427.0	410.0	382.9	360.1	351.4	319.1	305.0	271.9	248.7
		65-69歳	757.7	642.9	599.8	579.3	536.4	510.1	495.0	444.0	418.9	371.5	344.4
		70-74歳	603.2	520.5	485.6	468.2	440.9	417.8	412.0	373.7	358.0	318.5	277.6
		75-79歳	454.6	400.0	370.2	359.3	335.9	321.7	323.6	295.8	286.2	255.7	233.4
		80-84歳	360.0	310.1	278.9	264.3	254.2	230.2	235.3	219.4	210.6	189.6	178.8
		85歳以上	209.3	179.4	160.8	153.7	145.2	138.1	137.0	128.4	122.6	109.1	108.7
	うち 職権盗	認知件数	0.5	0.6	0.5	0.6	0.5	0.6	0.3	0.3	0.3	0.5	0.4
		65-69歳	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
		70-74歳	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
		75-79歳	0.4	0.6	0.5	0.6	0.5	0.6	0.3	0.3	0.2	0.4	0.3
		80-84歳	1.1	1.2	1.1	1.4	1.1	0.8	0.6	0.5	1.1	1.3	0.9
		85歳以上	1.1	1.4	1.3	1.5	1.1	1.6	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0
	うち 病室 ねらい	認知件数	6.9	6.2	4.8	4.7	3.8	3.6	3.0	2.8	2.9	2.2	1.9
		65-69歳	5.8	4.8	4.1	4.2	3.6	3.1	2.4	2.4	2.4	1.7	1.8
		70-74歳	7.6	6.4	5.4	5.1	4.2	3.7	2.9	2.8	2.9	2.4	1.5
		75-79歳	8.0	7.4	5.6	5.7	4.5	4.3	3.4	3.3	3.4	2.5	2.0
		80-84歳	7.5	7.2	5.0	4.7	3.6	4.1	3.6	2.9	3.2	2.6	2.3
		85歳以上	6.0	5.7	3.7	3.1	2.8	2.7	2.6	2.8	2.7	2.3	1.9
	うち 訪問盗	認知件数	3.3	3.0	3.0	2.5	2.4	2.0	2.5	2.7	2.1	1.6	1.6
		65-69歳	1.5	1.4	1.0	1.0	0.9	1.0	1.1	1.2	1.0	0.8	0.6
		70-74歳	2.2	2.2	2.0	1.7	1.4	1.2	1.7	1.6	1.3	1.2	0.8
		75-79歳	3.8	3.4	3.4	2.8	2.8	1.8	2.8	3.1	2.3	1.3	1.5
		80-84歳	5.7	4.8	5.9	4.3	4.4	3.7	3.8	5.1	3.3	3.2	3.1
		85歳以上	6.5	5.8	5.9	5.0	5.0	4.3	4.8	4.6	3.9	2.8	3.4
	うち 途中 ねらい	認知件数	0.6	0.4	0.4	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0
		65-69歳	0.4	0.4	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1
		70-74歳	0.7	0.3	0.5	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1
		75-79歳	0.8	0.4	0.6	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1
		80-84歳	0.7	0.4	0.7	0.3	0.4	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0
		85歳以上	0.1	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
	うち 居空き	認知件数	8.5	7.8	6.9	6.2	6.1	4.9	4.6	4.7	4.4	3.6	3.1
		65-69歳	8.1	7.3	6.5	5.6	5.5	4.4	4.1	3.7	3.6	2.9	2.6
		70-74歳	8.9	7.8	6.9	5.8	5.7	4.3	4.2	4.2	4.5	3.2	2.5
		75-79歳	8.5	7.7	7.2	6.9	6.7	5.4	4.9	5.3	4.8	4.1	3.6
		80-84歳	9.2	9.5	7.9	7.6	7.2	5.8	5.6	6.4	4.9	4.6	3.6
		85歳以上	7.6	7.0	6.1	5.9	6.0	4.9	5.0	5.1	4.5	3.9	3.9
詐欺	認知件数		33.1	37.7	36.8	43.0	20.9	22.4	24.9	27.6	36.7	38.8	38.6
		65-69歳	38.1	42.4	43.8	51.5	22.5	22.0	23.7	24.6	26.1	25.1	22.5
		70-74歳	37.2	38.8	39.4	50.3	21.8	21.6	25.7	30.0	40.5	38.9	34.7
		75-79歳	33.3	39.3	37.6	45.3	22.7	25.2	29.0	34.3	48.9	55.3	56.4
		80-84歳	29.7	36.8	32.7	33.9	22.8	26.5	29.4	31.6	47.8	56.6	61.1
		85歳以上	14.4	22.2	18.2	15.3	10.9	15.5	14.6	15.0	22.2	25.1	29.2
	うち 振り込め 詐欺	認知件数					9.0	11.9	13.1	14.1	22.7	27.1	30.0
		65-69歳					9.9	10.4	11.8	11.4	13.3	14.5	12.9
		70-74歳					10.4	11.2	13.9	15.7	25.7	27.4	26.5
		75-79歳					10.2	14.6	15.7	18.2	33.4	41.6	47.9
		80-84歳					8.2	15.2	16.0	16.5	29.8	41.4	51.3
		85歳以上					3.4	8.2	7.1	7.7	13.8	16.9	23.1

※ 振り込め詐欺に関する犯罪統計は平成21年に開始したものであり、恐喝に該当する手口を含む。

4 外国人被害の状況

外国人を被害者とする刑法犯認知件数は、平成 17 年から 23 年まで減少傾向にあったが、24 年以降微増傾向にある。刑法犯認知件数全体に占める割合も漸増傾向にあり、27 年には 2 % を超えた。

図表：１－４－４－１（外国人被害の刑法犯認知件数 H17-H27 の推移）

年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分											
認知件数(件)	1,919,609	1,716,254	1,581,526	1,500,475	1,404,846	1,303,397	1,214,506	1,132,543	1,061,851	974,013	874,094
うち外国人	23,353	22,877	22,599	22,222	20,428	18,876	17,211	17,245	17,192	17,769	17,929
割合(%)	1.2	1.3	1.4	1.5	1.5	1.4	1.4	1.5	1.6	1.8	2.1

主な罪種・手口別認知件数について、外国人を被害者とするものの割合をみると、同居ねらいや殺人について高く、詐欺や器物損壊等について低い傾向がみられた。

図表：１－４－４－２（主な罪種・手口の外国人被害認知件数 H17-H27 の推移）

年次		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分												
殺人	認知件数(件)	1,389	1,303	1,194	1,294	1,092	1,065	1,045	1,024	930	1,047	921
	うち外国人	50	57	55	64	55	39	32	41	30	41	41
	割合(%)	3.6	4.4	4.6	4.9	5.0	3.7	3.1	4.0	3.2	3.9	4.5
強盗	認知件数	5,606	4,688	4,208	3,996	4,160	3,733	3,389	3,433	3,097	2,838	2,249
	うち外国人	146	99	102	91	113	68	70	94	67	83	53
	割合	2.6	2.1	2.4	2.3	2.7	1.8	2.1	2.7	2.2	2.9	2.4
強姦	認知件数	2,076	1,948	1,766	1,590	1,415	1,293	1,193	1,266	1,409	1,250	1,167
	うち外国人	49	37	33	23	11	30	20	20	30	33	32
	割合	2.4	1.9	1.9	1.4	0.8	2.3	1.7	1.6	2.1	2.6	2.7
暴行	認知件数	25,815	31,002	31,966	31,670	29,670	29,636	29,319	31,863	31,545	32,372	32,543
	うち外国人	522	678	725	771	633	665	653	745	736	819	889
	割合	2.0	2.2	2.3	2.4	2.1	2.2	2.2	2.3	2.3	2.5	2.7
傷害	認知件数	34,484	33,987	30,986	28,386	26,545	26,634	25,922	28,053	27,864	26,653	25,183
	うち外国人	1,049	975	936	897	849	764	757	876	857	908	904
	割合	3.0	2.9	3.0	3.2	3.2	2.9	2.9	3.1	3.1	3.4	3.6
窃盗	認知件数	1,459,925	1,282,891	1,184,398	1,136,558	1,077,703	999,806	929,805	852,926	789,494	714,436	634,480
	うち外国人	18,328	17,801	17,650	17,450	16,234	14,906	13,380	13,228	13,161	13,558	13,713
	割合	1.3	1.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.6	1.7	1.9	2.2
うち同居ねらい	認知件数	1,529	1,510	1,281	1,285	1,191	958	919	929	906	811	741
	うち外国人	76	89	98	68	88	70	50	68	72	75	57
	割合	5.0	5.9	7.7	5.3	7.4	7.3	5.4	7.3	7.9	9.2	7.7
うち自転車盗	認知件数	402,712	385,845	393,093	393,490	390,196	374,307	347,579	314,648	302,019	290,960	259,327
	うち外国人	6,401	6,728	7,070	7,471	7,264	7,023	6,231	5,953	6,099	6,890	7,183
	割合	1.6	1.7	1.8	1.9	1.9	1.9	1.8	1.9	2.0	2.4	2.8
うち車上ねらい	認知件数	252,700	202,320	164,934	152,541	141,826	121,509	109,587	101,500	85,627	73,217	63,288
	うち外国人	2,234	1,943	1,823	1,673	1,469	1,205	1,104	1,148	1,159	1,088	1,020
	割合	0.9	1.0	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	1.1	1.4	1.5	1.6
うち置き引き	認知件数	66,727	64,767	58,161	53,702	49,946	46,048	43,113	43,719	42,550	39,317	36,231
	うち外国人	1,175	1,141	1,137	966	831	760	674	753	768	754	784
	割合	1.8	1.8	2.0	1.8	1.7	1.7	1.6	1.7	1.8	1.9	2.2
詐欺	認知件数	66,597	56,262	49,149	44,289	26,216	21,467	20,133	20,558	25,704	29,880	28,245
	うち外国人	421	368	328	216	195	182	159	139	209	302	258
	割合	0.6	0.7	0.7	0.5	0.7	0.8	0.8	0.7	0.8	1.0	0.9
占有離脱物横領	認知件数	94,729	92,629	82,580	67,486	62,719	55,525	48,376	39,537	32,970	29,379	26,328
	うち外国人	531	554	563	513	470	462	401	296	290	289	363
	割合	0.6	0.6	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	0.9	1.0	1.4
住居侵入	認知件数	27,114	24,239	21,390	18,806	17,868	16,643	15,352	15,297	14,721	13,218	12,521
	うち外国人	281	260	243	205	183	190	172	204	192	190	178
	割合	1.0	1.1	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1	1.3	1.3	1.4	1.4
器物損壊等	認知件数	168,671	157,012	146,657	140,779	133,659	124,334	117,743	114,475	110,022	99,500	88,251
	うち外国人	1,611	1,704	1,639	1,703	1,413	1,313	1,317	1,289	1,306	1,229	1,191
	割合	1.0	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.3

※ 認知件数は、自然人被害のものに限る。

外国人を被害者とする刑法犯の認知件数を罪種別にみると、平成 27 年において最も多かったのは窃盗（76.5%）であった。次いで器物損壊等（6.6%）、傷害（5.0%）、暴行（同）が多く、窃盗の過半数が自転車盗であった。

図表：１－４－４－３（外国人被害の主な罪種・手口別認知件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
外国人被害 認知件数(件)	23,353	22,877	22,599	22,222	20,428	18,876	17,211	17,245	17,192	17,769	17,929
うち暴行	522	678	725	771	633	665	653	745	736	819	889
うち傷害	1,049	975	936	897	849	764	757	876	857	908	904
うち窃盗	18,328	17,801	17,650	17,450	16,234	14,906	13,380	13,228	13,161	13,558	13,713
うち自転車盗	6,401	6,728	7,070	7,471	7,264	7,023	6,231	5,953	6,099	6,890	7,183
うち車上ねらい	2,234	1,943	1,823	1,673	1,469	1,205	1,104	1,148	1,159	1,088	1,020
うち置引き	1,175	1,141	1,137	966	831	760	674	753	768	754	784
うち器物損壊等	1,611	1,704	1,639	1,703	1,413	1,313	1,317	1,289	1,306	1,229	1,191

外国人を被害者とする刑法犯検挙件数について、被疑者の国籍別にみると、平成 17 年以降 25 年まで日本人が 75-80%程度で推移していたが、26、27 年は 75%を下回った。

外国人被害の殺人の被疑者は、外国人が 50-80%と多数を占めた。

図表：１－４－４－４（外国人被害の検挙事件に係る被疑者の国籍別刑法犯・殺人検挙件数 H17-H27 の推移）

区分 \ 年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
検挙件数(件)	4,341	4,822	4,859	4,659	4,380	3,850	3,656	3,646	3,477	3,538	3,752
日本人(件)	3,366	3,868	3,763	3,555	3,411	3,093	2,883	2,837	2,640	2,574	2,742
構成率(%)	77.5	80.2	77.4	76.3	77.9	80.3	78.9	77.8	75.9	72.8	73.1
外国人(件)	975	954	1,096	1,104	969	757	773	809	837	964	1,010
構成率(%)	22.5	19.8	22.6	23.7	22.1	19.7	21.1	22.2	24.1	27.2	26.9
うち殺人	41	52	51	51	55	36	31	36	31	35	36
日本人	12	15	13	18	18	12	7	11	15	11	9
構成率	29.3	28.8	25.5	35.3	32.7	33.3	22.6	30.6	48.4	31.4	25.0
外国人	29	37	38	33	37	24	24	25	16	24	27
構成率	70.7	71.2	74.5	64.7	67.3	66.7	77.4	69.4	51.6	68.6	75.0

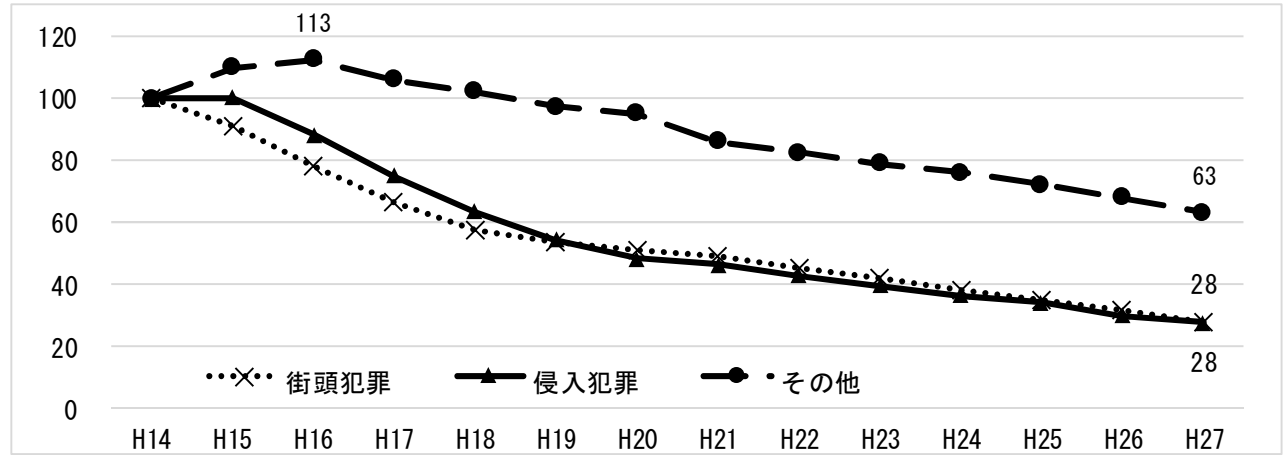
※ 解決事件を除く。

第2章 トピックス～戦後最少を記録した刑法犯認知件数～

第1 平成14年以降の刑法犯認知件数の減少理由に関する分析

刑法犯認知件数は、平成8年から14年にかけて7年連続で戦後最多を更新し続けた。とりわけ、路上強盗、ひったくり等の街頭犯罪及び侵入窃盗、侵入強盗等の侵入犯罪が急激に増加し、国民に不安を与えていたことから、警察庁においては、平成14年11月から、街頭犯罪及び侵入犯罪の発生を抑止するための総合対策（以下「総合対策」という。）を推進することとし¹、23年までの間に街頭犯罪・侵入犯罪の認知件数は約117万件・58.5%減少した。翌24年5月からは、街頭犯罪・侵入犯罪に限らず、各都道府県警察が、当該府県の犯罪情勢に応じて必要と判断した罪種への対策を重点的に講ずることとして、更に対策を推進した²。

図表：2－1－0－1（平成14年の認知件数を100とした場合の各区分認知件数指数 H14-H27 の推移）



区分	年次	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
街頭犯罪認知件数	件数	1,630,549	1,481,377	1,275,413	1,086,497	943,614	876,346	835,848
	指数	100	91	78	67	58	54	51
侵入犯罪認知件数	件数	374,602	376,446	331,228	281,499	238,389	204,811	181,824
	指数	100	100	88	75	64	55	49
その他認知件数	件数	848,588	932,313	956,126	901,297	868,847	827,679	808,828
	指数	100	110	113	106	102	98	95

区分	年次	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
街頭犯罪認知件数	件数	807,139	741,359	683,708	620,271	571,349	522,053	457,045
	指数	50	45	42	38	35	32	28
侵入犯罪認知件数	件数	174,642	160,668	148,376	137,202	128,289	112,658	104,275
	指数	47	43	40	37	34	30	28
その他認知件数	件数	732,051	701,992	670,867	645,694	614,502	577,452	537,649
	指数	86	83	79	76	72	68	63

¹ 街頭犯罪及び侵入犯罪の発生を抑止するための総合対策の推進について（平成14年11月11日付け警察庁乙生発第5号ほか）。平成24年5月廃止。
² 地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策の推進について（平成24年5月31日付け警察庁乙生発第4号ほか）

図表：２－１－０－２（主な街頭犯罪・侵入犯罪の罪種・手口別認知件数 H14、H23、H27 の比較）

区分 年次等	H14	H23	H27	H23-H14		H27-H14	
				増減数 (件)	増減率 (%)	増減数 (件)	増減率 (%)
主な街頭犯罪認知件数(件)	1,630,549	683,708	457,045	-946,841	-58.1	-1,173,504	-72.0
路上強盗	2,888	1,122	708	-1,766	-61.1	-2,180	-75.5
ひったくり	52,919	12,493	4,142	-40,426	-76.4	-48,777	-92.2
強姦(街頭)	869	303	235	-566	-65.1	-634	-73.0
強制わいせつ(街頭)	5,915	4,259	4,073	-1,656	-28.0	-1,842	-31.1
略取誘拐(街頭)	175	101	123	-74	-42.3	-52	-29.7
暴行(街頭)	12,814	15,847	15,308	3,033	23.7	2,494	19.5
傷害(街頭)	20,465	12,466	10,522	-7,999	-39.1	-9,943	-48.6
恐喝(街頭)	12,514	2,337	1,232	-10,177	-81.3	-11,282	-90.2
自動車盗	62,673	25,238	13,821	-37,435	-59.7	-48,852	-77.9
オートバイ盗	198,642	68,852	35,486	-129,790	-65.3	-163,156	-82.1
自転車盗	514,120	349,215	260,530	-164,905	-32.1	-253,590	-49.3
車上ねらい	443,298	113,101	65,023	-330,197	-74.5	-378,275	-85.3
部品ねらい	128,539	57,981	32,600	-70,558	-54.9	-95,939	-74.6
自動販売機ねらい	174,718	20,393	13,242	-154,325	-88.3	-161,476	-92.4
主な侵入犯罪認知件数(件)	374,602	148,376	104,275	-226,226	-60.4	-270,327	-72.2
侵入強盗	2,436	1,494	790	-942	-38.7	-1,646	-67.6
侵入窃盗	338,294	126,382	86,373	-211,912	-62.6	-251,921	-74.5
住居侵入	33,872	20,500	17,112	-13,372	-39.5	-16,760	-49.5
合計認知件数(件)	2,005,151	832,084	561,320	-1,173,067	-58.5	-1,443,831	-72.0

１ 罪種・手口についての分析

平成 14 年には 285 万件を超え戦後最多となった刑法犯認知件数は、27 年には約 175 万件・61.5%減の約 110 万件となった。包括罪種別にみれば全包括罪種が減少しているが、中でも窃盗犯の減少幅は約 157 万件・66.0%と大きく、刑法犯認知件数の減少数の 89.5%を占めた。したがって、平成 14 年以降の窃盗犯の各手口の減少理由を検討することにより、刑法犯認知件数の減少理由を概観する。

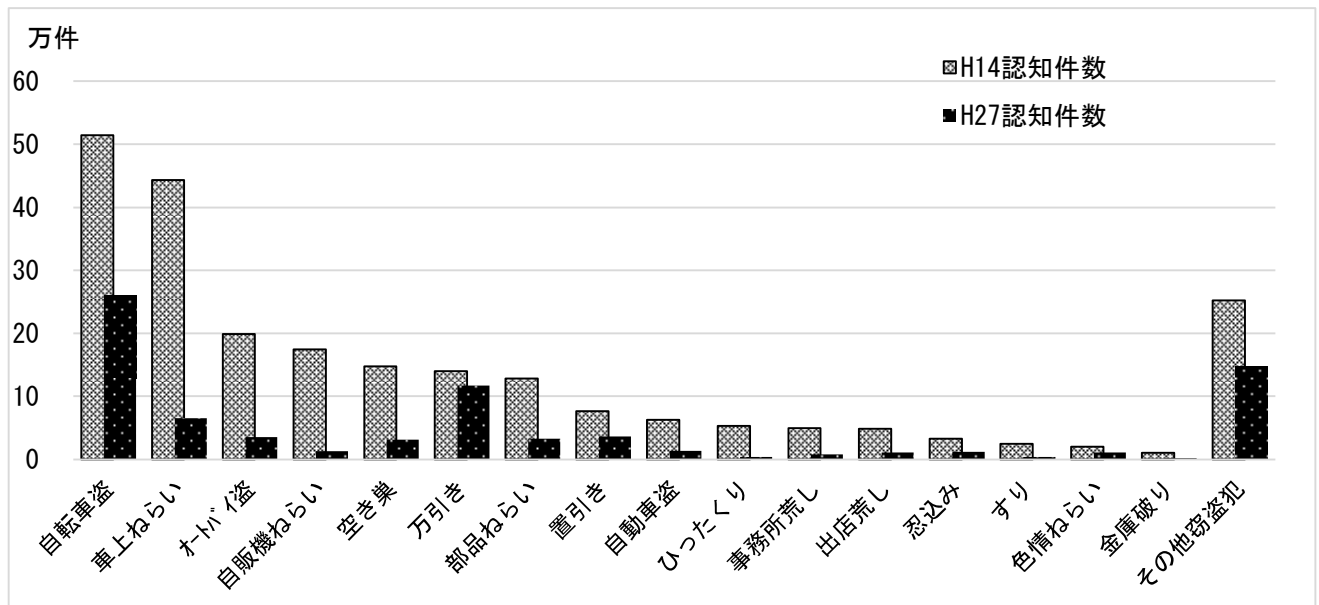
図表：２－１－１－０－１（包括罪種別 H14 と H27 の比較）

年次等		包括罪種						合計
		凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯	
H14	認知件数(件)	12,567	76,573	2,377,488	62,751	12,220	312,140	2,853,739
	構成率(%)	0.4	2.7	83.3	2.2	0.4	10.9	100
H27	認知件数	5,618	64,049	807,560	43,622	11,032	167,088	1,098,969
	構成率	0.5	5.8	73.5	4.0	1.0	15.2	100
H27-H14	増減数(件)	-6,949	-12,524	-1,569,928	-19,129	-1,188	-145,052	-1,754,770
	増減率(%)	-55.3	-16.4	-66.0	-30.5	-9.7	-46.5	-61.5
	刑法犯認知件数の増減数に占める各包括罪種の増減数割合(%)	0.4	0.7	89.5	1.1	0.1	8.3	100

平成 14 年の窃盗犯認知件数約 238 万件について手口別にみると、最も多いのは自転車盗で約 51 万件（窃盗犯全体の 21.6%）、次いで車上ねらいで約 44 万件（同 18.6%）、オートバイ盗で約 20 万件（同 8.4%）であった。27 年には、それぞれ 49.3%減の約 26 万件、85.3%減の約 7 万件、82.1%減の約 4 万件となり、これら 3 手口で窃盗犯の減少数の約半数を占めた。

以下、減少数の多い手口について、手口別に減少理由を概観する。

図表：2－1－1－0－2（手口別窃盗犯認知件数 H14 と H27 の比較）



	自転車盗	車上ねらい	オートバイ盗	自販機ねらい	空き巣	万引き	部品ねらい	置引き	自動車盗	ひったくり	事務所荒し	出店荒し	忍込み	すり	色情ねらい	金庫破り	その他窃盗犯
H14 認知件数 (件)	514,120	443,298	198,642	174,718	147,500	140,002	128,539	76,170	62,673	52,919	49,411	48,719	32,860	24,590	20,269	10,345	252,713
H27 認知件数	260,530	65,023	35,486	13,242	31,430	117,333	32,600	36,632	13,821	4,142	8,279	11,319	12,251	4,222	11,249	1,916	148,085
減少数 (件)	253,590	378,275	163,156	161,476	116,070	22,669	95,939	39,538	48,852	48,777	41,132	37,400	20,609	20,368	9,020	8,429	104,628
減少率 (%)	49.3	85.3	82.1	92.4	78.7	16.2	74.6	51.9	77.9	92.2	83.2	76.8	62.7	82.8	44.5	81.5	41.4

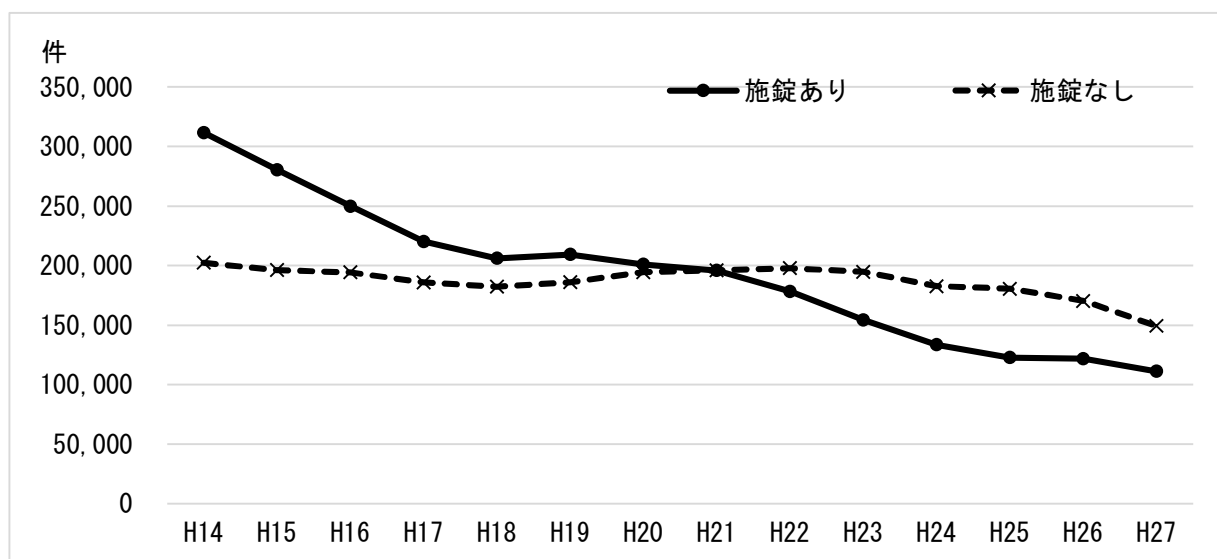
(1) 自転車盗

自転車盗の認知件数は、平成 13 年をピークに減少傾向にあり、27 年は 14 年と比べて 25 万 3,590 件・49.3%減少した。

自転車盗認知件数の推移を施錠状態別にみると、「施錠あり」が 20 万 589 件・64.3%減少したのに対し、「施錠なし」は 5 万 3,001 件・26.2%の減少にとどまった。

平成 27 年の自転車保有台数は、14 年より 1 万台程度少ないと推定され¹（減少率 14%程度）、また、この間に、駐輪中の自転車の施錠率を急激に押し上げ又は低下させる要因は確認されなかった。「施錠あり」を中心に被害が減少したのは、平成 12 年及び 19 年に、警察庁が業界団体に対し、鍵本体の堅牢化や不正開錠に強い錠の規格化等を要請したこと、21 年に、J I S 規格が改正されて不正開錠に強い錠が採用されたこと、26 年に、警察庁が業界団体に対し、不正開錠に強い錠の普及に向けた取組等を更に要請したこと等の効果があったものと考えられる。

図表：2－1－1－1－1（施錠状態別自転車盗認知件数 H14-H27 の推移）



年次	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	514,120	476,589	444,268	406,104	388,463	395,344	395,495	392,098	376,066	349,215	316,063	303,273	292,221	260,530
施錠あり	311,787	280,444	249,951	220,210	206,182	209,312	201,081	195,975	178,276	154,460	133,440	122,764	121,884	111,198
施錠なし	202,333	196,145	194,317	185,894	182,281	186,032	194,414	196,123	197,790	194,755	182,623	180,509	170,337	149,332

自転車盗の認知件数を施錠状態・発生場所別にみると、最も減少率が高いのは、駅で発生した「施錠あり」であり、平成 14 年と 27 年を比べると 2,928 件・76.6%減少した。続いて、道路上、学校・幼稚園、駐車（輪）場における被害の減少率が高く、いずれも 70%を超えた。

道路上被害の減少は、駅前を中心とする放置駐輪の撤去促進等の効果、駐車（輪）場被害の減少は、駅前を中心とする駐輪場の整備（駐輪場の新設、有人化、ゲート設置、防犯カメラの設置等）²等の効果、駅における被害が最も減少したのはこれらの相乗効果等と考えられる。

一方で、平成 27 年の住宅における自転車盗の被害は、14 年に比べて増加した。住宅における被害を

¹ 一般財団法人自転車産業振興協会は、平成 12 年に 7 年から 17 年の各年について、24 年に 18 年から 25 年の各年について、自転車保有台数を推算している。これによると、平成 18 年から 25 年の保有台数は微増であり、25 年の保有台数は 17 年から 1 万 4 千台程度少ない。平成 26、27 年の増加率が 25 年までと大きく変わらないと仮定すれば、27 年の保有台数は 14 年から 1 万台前後少ない 7,400 万台前後と推定される。

² 駐輪場数、放置自転車台数は必ずしも判然としないが、自転車を放置する代表的な場所が駅周辺であり、内閣府「駅周辺における放置自転車等の実態調査」によれば、平成 25 年の駅周辺の駐輪場箇所数、有人駐輪場数、収容台数は 14 年に比べて増加、駅周辺の放置自転車数は平成 3 年以降ほぼ一貫して減少。

住宅形態別にみると、共同住宅の「施錠なし」が大きく増加したが、共同住宅の居住者数がとりわけ増加している状況にはなく¹、確たる増加要因は明らかでない。

図表：２－１－１－１－２（施錠状態・発生場所別自転車盗認知件数 H14-H27 の推移）

区分 \ 年次	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
施錠あり認知件数(件)	311,787	280,444	249,951	220,210	206,182	209,312	201,081
駐車（輪）場	173,890	157,822	138,919	123,430	115,110	111,082	105,903
道路上	73,581	66,520	59,675	53,301	47,750	46,619	42,591
住宅	30,925	27,755	25,661	22,779	23,740	30,232	32,172
一戸建住宅	6,936	6,172	5,574	4,984	4,787	4,973	5,041
4階建以上共同住宅	14,837	13,053	11,901	10,582	11,174	14,839	15,624
3階建以下共同住宅	9,152	8,530	8,186	7,213	7,779	10,420	11,507
スーパーマーケット	5,772	4,751	4,680	3,514	3,540	3,888	3,765
学校・幼稚園	5,129	4,579	4,751	3,778	3,835	4,229	3,797
駅	3,823	2,997	3,047	2,546	2,209	2,627	2,397
その他	18,667	16,020	13,218	10,862	9,998	10,635	10,456
施錠なし認知件数(件)	202,333	196,145	194,317	185,894	182,281	186,032	194,414
駐車（輪）場	89,902	90,033	89,667	86,961	86,066	85,292	88,291
道路上	45,091	43,842	43,821	42,431	40,079	38,720	38,612
住宅	35,838	33,502	32,543	30,462	31,768	36,879	41,525
一戸建住宅	22,132	20,131	19,134	17,317	16,630	17,545	18,705
4階建以上共同住宅	6,241	6,141	6,020	6,172	7,117	9,283	11,185
3階建以下共同住宅	7,465	7,230	7,389	6,973	8,021	10,051	11,635
スーパーマーケット	5,468	4,689	5,378	4,705	4,478	4,585	4,795
学校・幼稚園	5,719	5,774	5,985	5,529	5,817	6,181	5,945
駅	2,034	1,716	1,844	1,748	1,557	1,544	1,704
その他	18,281	16,589	15,079	14,058	12,516	12,831	13,542

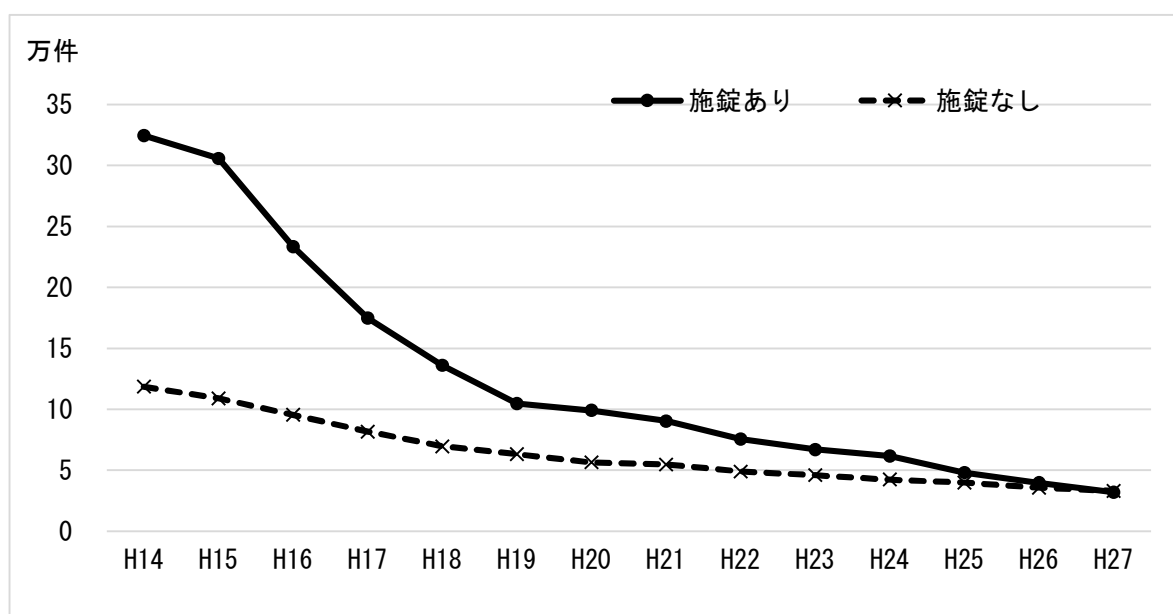
区分 \ 年次	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
施錠あり認知件数	195,975	178,276	154,460	133,440	122,764	121,884	111,198
駐車（輪）場	102,607	90,222	76,557	63,718	58,265	56,903	50,470
道路上	39,015	34,591	30,591	26,471	23,694	23,357	19,516
住宅	34,781	36,271	32,972	30,219	28,677	30,610	31,205
一戸建住宅	5,784	5,730	5,529	5,311	5,449	5,583	4,960
4階建以上共同住宅	17,089	17,963	15,914	14,300	13,240	14,281	15,106
3階建以下共同住宅	11,908	12,578	11,529	10,608	9,988	10,746	11,139
スーパーマーケット	3,171	3,145	2,463	2,236	2,205	1,977	1,806
学校・幼稚園	3,738	3,320	2,570	1,975	1,595	1,544	1,452
駅	2,421	2,025	1,369	1,544	1,269	954	895
その他	10,242	8,702	7,938	7,277	7,059	6,539	5,854
施錠なし認知件数	196,123	197,790	194,755	182,623	180,509	170,337	149,332
駐車（輪）場	87,569	86,905	85,472	78,662	77,621	72,172	62,237
道路上	38,228	36,619	35,344	31,502	29,209	27,011	22,650
住宅	44,418	48,927	49,849	49,344	50,856	51,132	47,190
一戸建住宅	20,094	21,251	22,070	21,878	23,010	22,395	19,335
4階建以上共同住宅	12,038	14,149	13,987	13,692	13,610	14,312	14,152
3階建以下共同住宅	12,286	13,527	13,792	13,774	14,236	14,425	13,703
スーパーマーケット	4,320	4,516	4,385	4,331	4,380	3,851	3,221
学校・幼稚園	6,027	6,084	5,155	4,411	4,139	3,712	3,423
駅	1,773	1,619	1,384	1,591	1,622	1,337	1,125
その他	13,788	13,120	13,166	12,782	12,682	11,122	9,486

¹ 総務省住宅・土地統計調査によれば、平成15年の一戸建居住世帯人員は約8233万人、共同住宅居住世帯人員は約4230万人、平成25年の一戸建居住世帯人員は約8050万人、共同住宅居住世帯人員は約4406万人で、一戸建居住世帯人員と共同住宅居住世帯人員の比率はいずれもおおむね13：7。

(2) 車上ねらい

車上ねらいの認知件数は、平成 14 年をピークとして 19 年まで急減、その後も減少を続けた。車両¹ 1 万台当たりの認知件数をみると、平成 14 年には 25.7 件であったが、27 年には 4.1 件と、大幅に減少した。平成 14 年と 27 年の認知件数を比較すると、「施錠なし」が 8 万 5,589 件・72.2%減少したのに対し、「施錠あり」は 29 万 2,686 件・90.1%減少しており、メーカーによる車両の鍵の堅牢化等の効果があったものと考えられる。

図表：2-1-1-2-1（施錠状態別車上ねらい認知件数 H14-H27 の推移）



区分 \ 年次	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
認知件数 (件)	443,298	414,819	328,921	256,594	205,744	168,129	155,671
施錠あり	324,713	305,871	233,481	174,862	136,083	104,857	99,167
施錠なし	118,585	108,948	95,440	81,732	69,661	63,272	56,504
車両 1 万台当たり (件)	25.7	24.0	18.9	14.7	13.2	10.7	9.9

区分 \ 年次	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数	145,137	124,608	113,101	104,037	87,976	75,289	65,023
施錠あり	90,365	75,639	67,094	61,652	48,094	39,653	32,027
施錠なし	54,772	48,969	46,007	42,385	39,882	35,636	32,996
車両 1 万台当たり	9.3	7.9	7.2	6.6	5.5	4.7	4.1

¹ 自動車（道路交通法（昭和 35 年法律第 105 号）に規定する自動車のうち、小型二輪車を除いたものをいう。以下同じ。）、二輪車及び自転車の保有台数合計。自動車台数は、一般財団法人自動車検査登録情報協会ホームページから引用した各年 3 月末現在の登録台数。二輪車台数は、一般社団法人全国軽自動車協会連合会資料から引用した各年 3 月末現在の軽二輪及び小型二輪の保有台数と総務省市町村税課税状況等の調による各年賦課期日現在の 50cc 以下、50cc 超～90cc 及び 90cc 超の原動機付自転車台数の和。自転車台数は、平成 14 年から 25 年までは一般財団法人自転車産業振興協会資料から引用した各年の推定保有台数で、26 年、27 年は 25 年と同数と仮定。以後、自動車、二輪車又は自転車の台数に言及する際は、特記がある場合を除き、この例による。

車上ねらいの認知件数を施錠状態及び発生場所別にみると、駐車（輪）場又は道路上における「施錠あり」が大きく減少した一方、住宅における「施錠なし」はあまり減少しなかった。

駐車（輪）場における被害の減少は、防犯カメラの増加や駐車（輪）場の照度基準の引上げ¹等が、道路上における被害の減少は、道路上の放置車両台数の減少²等の影響があったものと考えられる。

図表：２－１－１－２－２（施錠状態・発生場所別車上ねらい認知件数 H14-H27 の推移）

区分 \ 年次	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
施錠あり認知件数(件)	324,713	305,871	233,481	174,862	136,083	104,857	99,167
駐車（輪）場	237,759	224,136	169,250	126,352	99,122	76,305	72,414
道路上	36,017	34,396	26,434	21,657	16,056	10,614	8,970
住宅	25,257	23,026	18,357	13,992	11,203	9,847	10,157
その他	25,680	24,313	19,440	12,861	9,702	8,091	7,626
施錠なし認知件数(件)	118,585	108,948	95,440	81,732	69,661	63,272	56,504
駐車（輪）場	52,810	49,893	42,972	36,815	32,029	28,236	25,536
道路上	36,890	32,956	28,807	24,499	19,167	16,848	14,607
住宅	12,348	11,262	9,487	8,156	7,658	7,723	6,966
その他	16,537	14,837	14,174	12,262	10,807	10,465	9,395

区分 \ 年次	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
施錠あり認知件数	90,365	75,639	67,094	61,652	48,094	39,653	32,027
駐車（輪）場	65,740	53,129	46,593	40,825	30,262	24,606	18,985
道路上	7,758	6,489	6,042	5,335	4,243	3,318	2,616
住宅	9,706	9,641	9,173	10,249	8,807	7,949	7,254
その他	7,161	6,380	5,286	5,243	4,782	3,780	3,172
施錠なし認知件数	54,772	48,969	46,007	42,385	39,882	35,636	32,996
駐車（輪）場	24,424	20,893	19,888	17,641	15,849	14,020	12,708
道路上	13,743	12,563	11,299	10,222	9,571	8,574	8,007
住宅	7,427	7,027	6,940	6,942	6,880	6,189	6,185
その他	9,178	8,486	7,880	7,580	7,582	6,853	6,096

¹ 「安全・安心まちづくり推進要綱の改正について」（平成 18 年 4 月 20 日付け警察庁丙生企発第 36 号）。なお、「安全・安心まちづくり推進要綱の改正について」（平成 26 年 8 月 28 日付け警察庁丙生企発第 96 号）により更に改正されている。

² 平成 18 年 6 月には、駐車監視員制度の導入等を内容とする道路交通法一部改正法が施行された。施行後、毎年、放置車両確認標章取付け件数が減少していることから、放置車両数自体が減少しているものと考えられる。

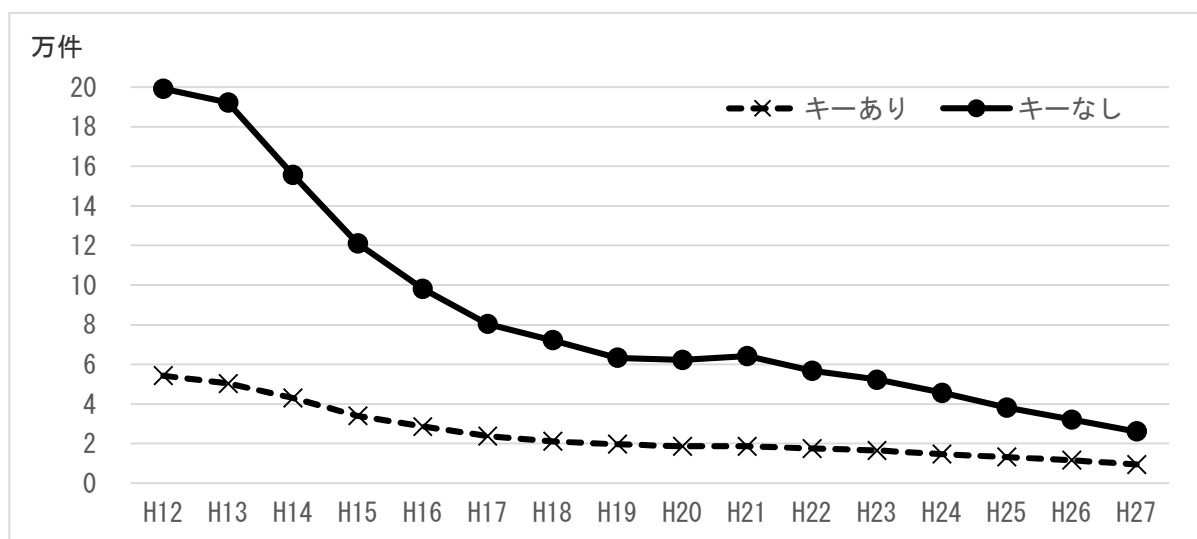
(3) オートバイ盗

オートバイ盗の認知件数は、昭和 63 年及び平成元年に急増し、同年に 27 万件を超えた。その後、平成 13 年までほぼ横ばいで推移したが、14 年以降現在まで減少傾向にある。

被害車両の鍵の状態別¹に平成 14 年と 27 年の認知件数を比較すると、「キーあり」は 3 万 3,621 件・78.1%、「キーなし」は 12 万 9,535 件・83.2%減少した。

これは、総合対策のほか、市町村等による駐車（輪）場の整備の推進、平成 17 年から、盗品売買等防止団体²である業界団体が盗品等に関する情報を関係団体に提供し、その流通を防止していること等の効果に加え、「キーなし」については、12 年に、警察庁等の要望を受けた業界団体が盗難防止対策をとりまとめ、以降、業界内でコンビロック³、シャッターキー⁴等の採用を推進し、防犯性が高まっていること等が影響したものと考えられる。

図表：2-1-1-3-1（鍵の状態別オートバイ盗認知件数 H12-H27 の推移）



年次	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
区分								
認知件数 (件)	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	83,028
キーあり	54,254	50,346	43,039	33,969	28,574	23,758	21,145	19,686
キーなし	199,179	192,171	155,603	121,010	98,143	80,397	72,149	63,342

年次	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分								
認知件数	80,857	82,811	74,278	68,852	60,405	51,442	43,720	35,486
キーあり	18,587	18,585	17,492	16,541	14,694	13,234	11,613	9,418
キーなし	62,270	64,226	56,786	52,311	45,711	38,208	32,107	26,068

¹ 32 ページ注 1 参照。

² 古物営業法施行規則（平成 7 年国家公安委員会規則第 10 号）第 21 条にいう「盗品売買等防止団体」をいう。

³ ハンドルロックとイグニッションスイッチを一体化したもの。

⁴ 鍵穴に取り付けられている蓋様のもの

平成 16 年¹以降の排気量別被害品数をみると、実数及び保有台数千台当たりいずれも期間を通じて 50cc 未満が 50cc 超を上回った。平成 16 年から 27 年までの間に、50cc 超の被害品数は 1 万 5,220 件・58.8%減少したが、50cc 未満の被害品数は 7 万 5,002 件・75.6%減少した。これは、盗難率が高い原付第一種スクータータイプの車種から優先的に最新盗難防止策の適用を増加させるという業界の方針²の影響もあったものと考えられる。

図表：２－１－１－３－２（排気量別オートバイ千台当たりオートバイ盗被害品数 H16-H27 の推移）

区分 \ 年次	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
50cc超被害品数(品)	25,882	20,141	18,684	17,457	17,279	18,666	17,309	15,456	14,225	12,170	11,341	10,662
千台当たり	5.7	4.4	4.0	3.6	3.5	3.7	3.4	3.1	2.8	2.4	2.2	2.0
50cc未満被害品数	99,219	82,572	73,282	64,391	62,446	62,986	56,022	52,462	45,245	38,486	31,511	24,217
千台当たり	11.4	9.6	8.8	7.9	7.9	8.2	7.5	7.3	6.6	5.8	4.9	3.9

¹ 1 件当たりの登録可能被害品数は、平成 15 年以前が 1 品、16 年以降が 3 品であるため、ここでは 16 年以降に限ることとした。被害品数と認知件数は一致しない。

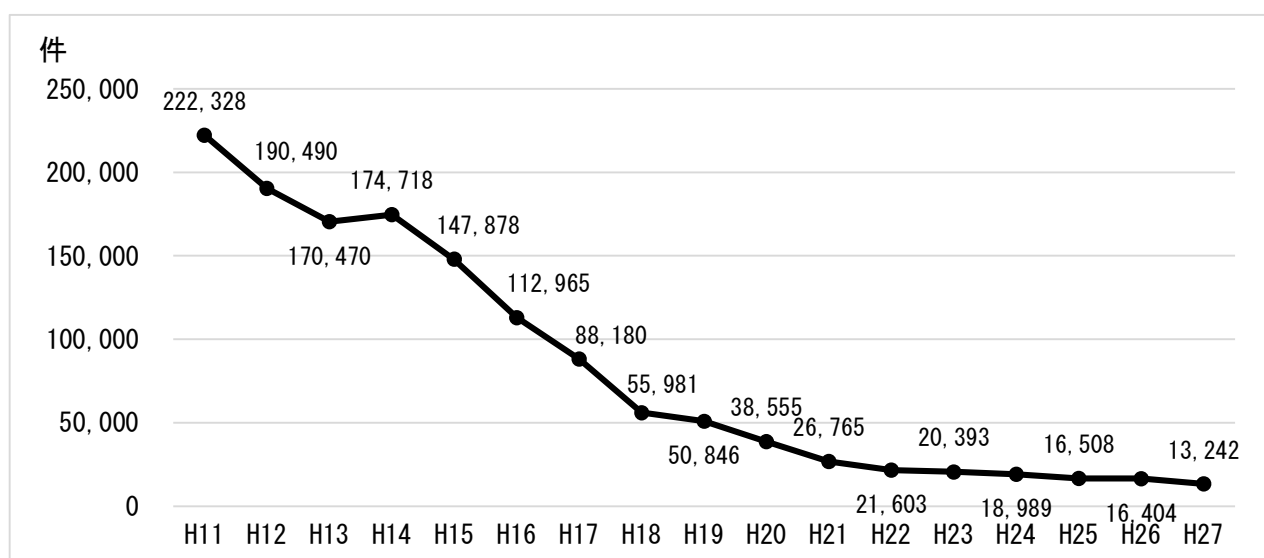
² 一般社団法人日本自動車工業会 JAMA レポート No. 86 参照。

(4) 自動販売機ねらい

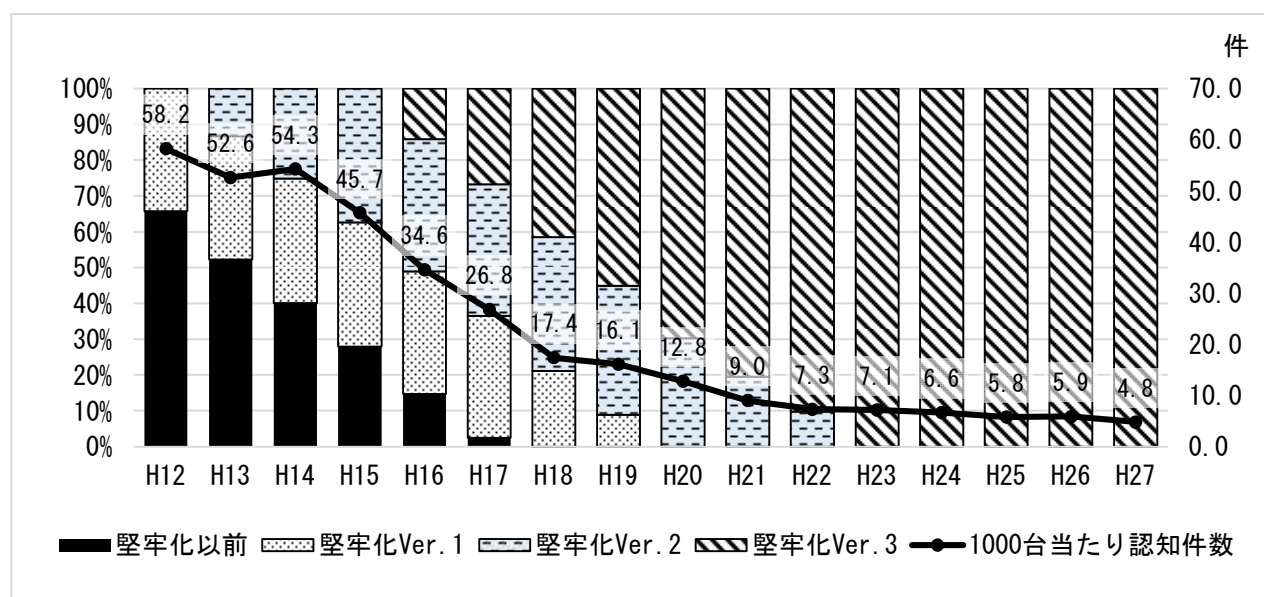
自動販売機ねらいの認知件数は、平成4年から急増し、唯一20万件を超えた11年をピークに以後減少傾向にある。清涼飲料水・たばこ用の自動販売機千台当たりの自動販売機ねらい認知件数の推移をみると、平成12年の58.2件から大きく減少し、27年には4.8件となった。

自動販売機は業界団体により堅牢化対策が講じられており、堅牢化された自動販売機の普及は自動販売機ねらいの発生抑止に大きな効果があったと考えられる。

図表：2-1-1-4-1（自動販売機ねらい認知件数 H11-H27 の推移）



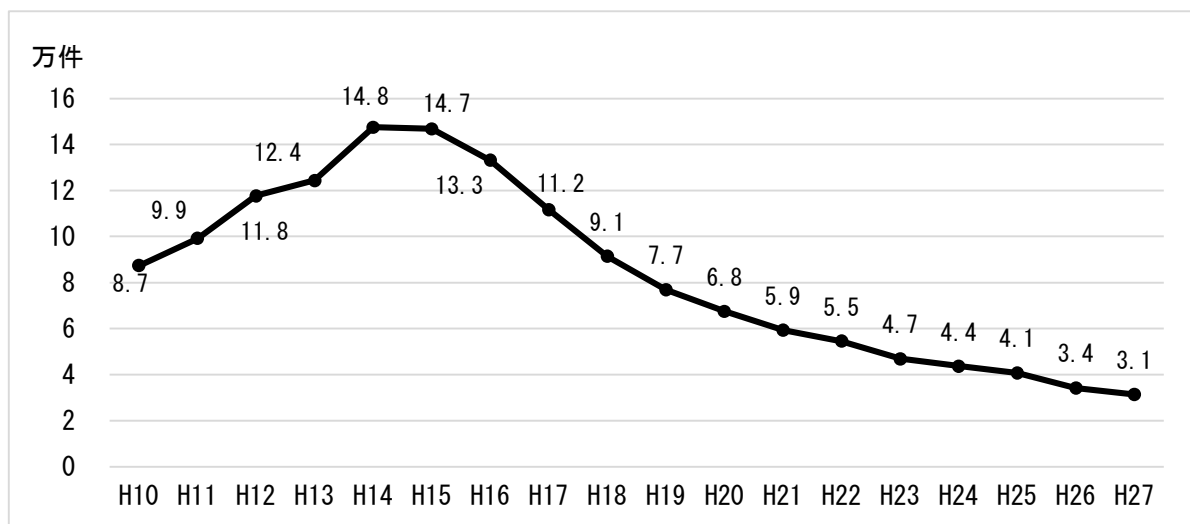
図表：2-1-1-4-2（堅牢化自動販売機の普及台数割合（第1軸）と清涼飲料水・たばこ用自動販売機千台当たり自動販売機ねらい認知件数（第2軸）H12-H27の推移）



(5) 空き巣

空き巣の認知件数は、平成 10 年から 14 年にかけて急増し、同年には 14 万 7,500 件となったが、15 年以降は一貫して減少し、19 年以降は毎年過去最少を更新した。

図表：2-1-1-5-1（空き巣認知件数 H10-H27 の推移）



空き巣を発生場所別にみると、毎年 99%以上の被害が住宅で発生しており、その過半数が一戸建住宅における発生であった。平成 14 年には住宅で発生した空き巣の 20%以上が 4 階建以上の共同住宅でのものであったが、その割合は年々減少し、24 年以降は毎年 10%を下回った。

図表：2-1-1-5-2（発生場所別空き巣認知件数 H10-H27 の推移）

区分 \ 年次	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
認知件数（件）	87,393	99,174	117,725	124,387	147,500	146,808	133,159	111,700	91,461
住宅対象	87,040	98,838	117,376	124,127	147,235	146,533	132,945	111,458	91,329
一戸建住宅	51,200	53,105	55,999	62,288	74,414	75,121	68,623	58,489	47,692
4 階建以上共同住宅	11,904	18,896	31,052	28,247	32,335	30,183	24,629	20,145	14,869
3 階建以下共同住宅	23,936	26,837	30,325	33,592	40,486	41,229	39,693	32,824	28,768
住宅以外	353	336	349	260	265	275	214	242	132

区分 \ 年次	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数	76,894	67,526	59,350	54,536	46,899	43,661	40,716	34,171	31,430
住宅対象	76,755	67,417	59,247	54,463	46,801	43,585	40,619	34,116	31,374
一戸建住宅	41,394	37,857	35,097	31,997	28,934	26,736	26,305	21,398	19,875
4 階建以上共同住宅	12,664	9,163	6,689	6,385	4,765	4,327	3,866	3,306	3,048
3 階建以下共同住宅	22,697	20,397	17,461	16,081	13,102	12,522	10,448	9,412	8,451
住宅以外	139	109	103	73	98	76	97	55	56

侵入手段別に住宅を対象とする空き巣の認知件数をみると、平成 16 年¹から 27 年までの間の毎年、ガラス破りがほぼ半数を占めた。無締りや合かぎを除く侵入手段の減少には、住宅対象機械警備等自主防犯機器の普及等が影響したものと考えられる。侵入手段別の減少率をみると、最も減少率が高いのは特殊開錠用具関係²で、97.9%減少した。これは、平成 12 年に、ピッキング用具を使用した侵入窃盗を特定重要窃盗犯に指定³して、対策を推進したこと、15 年に、特殊開錠用具の所持の禁止等に関する法律（平成 15 年法律第 65 号）等が制定されたこと等の効果があったものと考えられる。

図表：2-1-1-5-3（住宅侵入手段別空き巣認知件数 H16-H27 の推移）

年次 区分	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数(件)	132,945	111,458	91,329	76,755	67,417	59,247	54,463	46,801	43,585	40,619	34,116	31,374
ガラス破り	67,383	57,598	46,689	37,439	33,789	29,638	27,583	21,499	20,129	18,823	14,966	14,084
無締り	32,068	26,845	23,424	21,420	19,355	18,573	17,494	16,615	15,441	14,040	12,224	11,049
不明	8,436	6,028	4,760	4,344	4,270	3,433	3,017	2,813	2,643	2,613	2,458	2,156
特殊開錠用具関係	7,434	4,755	3,844	2,258	1,414	491	382	329	248	189	152	155
合かぎ	4,679	4,335	3,225	3,004	2,603	2,118	1,987	2,070	1,808	1,619	1,379	1,428
その他	6,103	5,665	4,405	4,056	3,161	1,835	1,290	1,166	1,105	969	811	689

図表：2-1-1-5-4（機械警備業者の対象施設数 H14-H26 の推移）

年次 区分	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
機械警備業者の 対象施設数 (施設)	1,164,542	1,386,730	1,427,375	1,770,328	1,875,775	2,014,223	2,115,380	2,470,462	2,579,866	2,628,574	2,748,876	2,767,263	3,066,725
住宅	302,207	403,520	403,389	525,156	610,275	651,194	697,029	1,036,262	1,139,427	1,182,788	1,270,345	1,340,551	1,506,320
住宅以外	862,335	983,210	1,023,986	1,245,172	1,265,500	1,363,029	1,418,351	1,434,200	1,440,439	1,445,786	1,478,531	1,426,712	1,560,405

（財）都市防犯研究センターが空き巣被疑者に対して平成 8 年に行った調査（以下「第 1 回調査」という。）⁴によれば、被疑者が、対象宅が留守であるか否かを確認する方法としては、インターホンを鳴らしたり、外から対象宅の動きを見張ったりすることが多いとのことであったが、13-14 年に行った調査（以下「第 2 回調査」という。）では、いずれの回答割合も減少していた。回答者数が必ずしも十分に多数とは言えないことから一般化は困難ではあるが、これを参考に分析すれば、カメラモニター付きドアホンの普及が進んだこと、警察官の増員によりパトロール活動が増加したこと、防犯ボランティア活動が活発化したことにより地域の目が増加したこと等は空き巣の減少に影響があったものと考えられる。

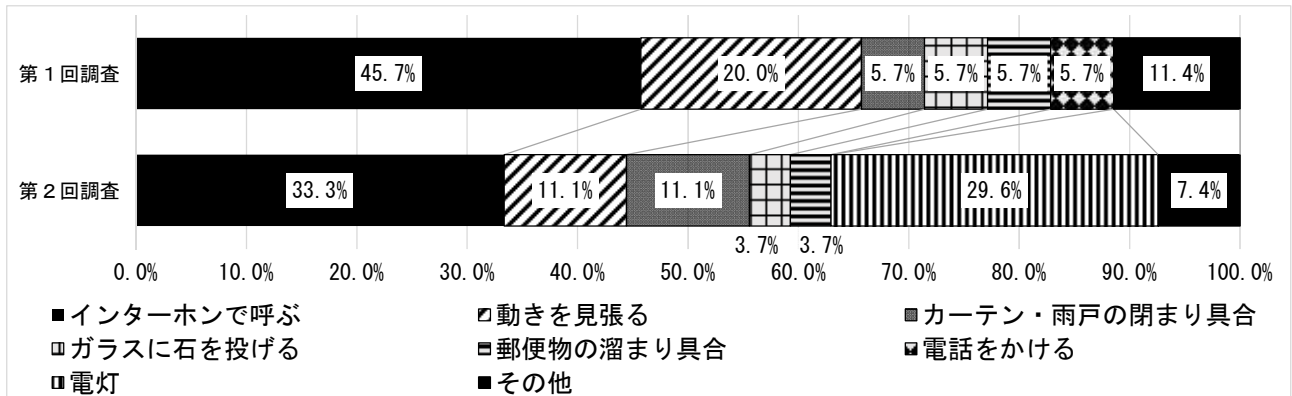
¹ 平成 16 年に統計を開始。

² ピッキング及びサムターン回しをいう。

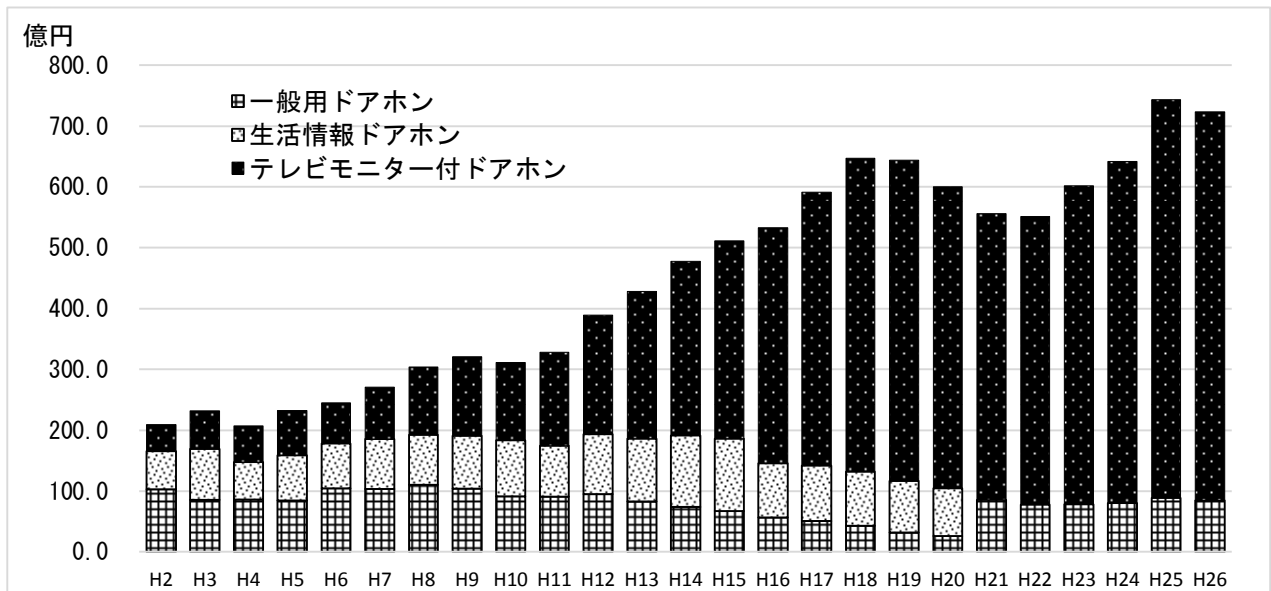
³ 特定重要窃盗犯対策の推進について（依命通達）（平成 12 年 8 月 3 日付け乙刑発第 20 号ほか）。平成 25 年 12 月廃止。

⁴ 第 1 回調査はシングルアンサー、第 2 回調査はマルチアンサー。「電話をかける」はいずれの調査でも選択肢にあるが、第 2 回調査では回答者なし。「日が暮れても玄関や室内の電灯が消えている」は第 2 回調査のみの選択肢。出典は JUSRI レポート No. 12 及び No. 20。

図表：２－１－１－５－５（都市防犯研究センター調査結果）



図表：２－１－１－５－６（住宅用ドアホン生産実績金額 H2-H26 の推移）



出典：一般社団法人インターホン工業会資料

図表：２－１－１－５－７（警察官条例定員 H14-H27 の推移）

年次	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
警察官条例定員(人)	237,056	241,133	244,343	247,873	251,329	252,888	252,764	253,682	254,530	256,113	256,739	257,098	257,041	257,978
H14からの増加率(%)	-	1.7	3.1	4.6	6.0	6.7	6.6	7.0	7.4	8.0	8.3	8.5	8.4	8.8

図表：２－１－１－５－８（防犯ボランティア団体数・構成員数 H15-H27 の推移）

年次	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
団体数(団体)	3,056	8,079	19,515	31,931	37,774	40,538	42,762	44,508	45,672	46,673	47,084	47,532	48,060
構成員数(万人)	17.8	52.2	119.4	197.9	234.2	250.1	262.9	270.2	271.4	277.4	274.7	277.6	275.9

(6) 部品ねらい

部品ねらいの認知件数は、平成 11 年から 13 年にかけて急増したが、14 年以降現在まで減少傾向にある。平成 27 年には、統計開始以後最多であった 13 年の 12 万 9,380 件から 9 万 6,780 件・74.8%減少した。発生場所別に認知件数の減少率をみると、最も高いのが道路上で、平成 13 年から 27 年の間に 87.8%、次いで駐車（輪）場が 81.4%、それぞれ減少した。

図表：2-1-1-6-1（部品ねらい発生場所別認知件数 H11-H27 の推移）

区分 \ 年次	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
認知件数（件）	73,824	101,338	129,380	128,539	120,726	112,161	103,772	88,739	78,016
うち駐車（輪）場	49,869	69,260	89,968	88,867	85,649	79,042	73,970	63,874	54,605
うち住宅	8,273	11,630	14,691	14,883	13,327	13,430	12,381	11,085	11,569
一戸建住宅	2,720	3,937	4,976	5,020	4,506	5,163	4,652	3,967	3,605
4 階建以上共同住宅	3,269	4,643	5,836	5,882	5,007	4,523	4,102	3,701	4,221
3 階建以下共同住宅	2,284	3,050	3,879	3,981	3,814	3,744	3,627	3,417	3,743
うち道路上	7,773	10,812	13,276	12,784	11,133	9,515	8,591	6,313	5,049
うち空き地	1,179	1,439	1,676	1,666	1,555	1,355	1,072	848	704

区分 \ 年次	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数	76,109	76,342	68,375	57,981	51,828	45,981	37,797	32,600
うち駐車（輪）場	52,482	52,716	45,376	37,515	30,645	26,370	20,689	16,710
うち住宅	12,602	12,709	13,250	11,342	12,912	11,647	9,530	8,550
一戸建住宅	3,499	3,550	4,007	3,405	4,210	3,871	3,416	2,794
4 階建以上共同住宅	4,700	4,791	4,869	4,297	4,472	4,120	3,274	3,164
3 階建以下共同住宅	4,403	4,368	4,374	3,640	4,230	3,656	2,840	2,592
うち道路上	4,454	4,108	3,455	3,012	2,521	2,164	1,780	1,616
うち空き地	646	614	577	486	383	383	353	382

部品ねらいの被害品¹の推移をみると、平成 16 年の被害品で最も多かったナンバープレートは 27 年まで一貫して減少し、同年には 16 年に比べ、2 万 8,235 件・67.6%減少した。また、平成 16 年以降増加し、21、22 年にはナンバープレートより被害の多かったカーナビゲーションシステム（以下「カーナビ」という。）は、27 年には 1,223 件となり、最多であった 21 年に比べ、2 万 2,914 件・94.9%減少した。

ナンバープレート被害が減少した理由としては、平成 16 年に、国土交通省が、取り外しづらく、無理に取り外すと再使用ができない封印を採用したことのほか、同年以降、警察において、偽造ナンバープレートを装着した盗難自動車の取締りの強化を始めとする偽造ナンバープレート等を悪用して行う各種犯罪への対策を強化したこと等が考えられる。また、カーナビ被害が減少したのは、平成 19 年に業界団体と連携し、カーナビの製造番号を画面上で確認できるようにして被害品確認を容易にしたこと、23 年に愛知県警察の依頼を受けた大手自動車会社がカーナビのパスワードロック及び盗難防止ねじを標準化したこと、25 年に同社が盗品売買等防止団体²に承認され、盗難カーナビに関する情報を関係団体に提供し、その流通を防止していること等の効果があったものと考えられる。

¹ 108 ページ注 1 参照。

² 107 ページ注 1 参照。

図表：2-1-1-6-2（部品ねらい被害品数 H16-H27 の推移）

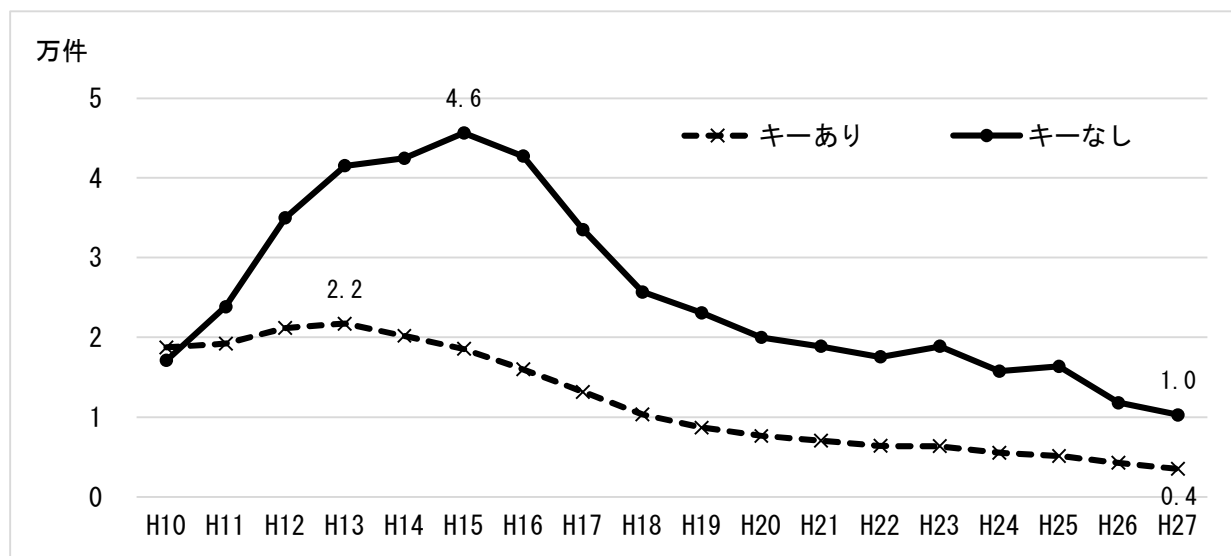
区分	年次	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
被害品数(品)		123,491	115,579	96,995	84,605	82,082	83,470	74,134	62,253	55,498	48,425	39,316	33,630
車両用部品		113,823	106,839	90,405	79,034	76,361	77,371	68,737	57,902	51,636	45,145	36,925	31,814
ナンバープレート		41,764	36,021	29,274	25,569	23,207	21,869	20,745	20,482	19,256	17,817	15,509	13,529
カーナビ		14,786	21,873	22,383	21,309	22,292	24,137	22,155	13,182	10,491	6,637	2,196	1,223
カーステレオ		15,260	9,889	4,331	2,097	1,291	1,160	637	385	243	131	84	53
タイヤ・ホイール							7,121	5,938	5,791	5,900	5,425	4,049	2,790
その他の車両用部品		42,013	39,056	34,417	30,059	29,571	23,084	19,262	18,062	15,746	15,135	15,087	14,219
その他		9,668	8,740	6,590	5,571	5,721	6,099	5,397	4,351	3,862	3,280	2,391	1,816

※ タイヤ・ホイールの統計は平成21年に開始しており、20年までは「その他の車両用部品」に含まれる。

(7) 自動車盗

自動車盗の認知件数は、平成 11、12 年に急増し、15 年の 6 万 4,223 件をピークに以後減少傾向にある。自動車盗の認知件数を鍵の状態別¹にみると、「キーなし」が平成 11、12 年に急増し、15 年をピークに 18 年まで大きく減少した。一方、「キーあり」は「キーなし」に比べて増減が少なく、11-13 年にかけてやや増加し、14 年以降漸減を続けている。

図表：2-1-1-7-1（鍵の状態別自動車盗認知件数 H10-H27 の推移）



¹ 32 ページ注 1 参照。

これをさらに発生場所別にみると、平成 10 年から 15 年までの増加数 2 万 8,339 件中 73.5%が「キーなし」の駐車（輪）場における発生増であるが、15 年から 27 年までの減少数 5 万 402 件に占める同区分の割合は 54.0%に過ぎない。平成 15 年から 27 年までの間の減少率が最も高いのは道路上における発生で、「キーあり」で 91.0%、「キーなし」で 93.1%減少した。

図表：2－1－1－7－2（鍵の状態・発生場所別自動車盗認知件数 H10-H27 の推移）

区分	年次	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
認知件数	認知件数(件)	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058
	10万台当たり	51.4	61.0	78.5	87.3	85.6	87.1	79.2	62.3	47.7
	キーあり	18,752	19,234	21,195	21,743	20,204	18,568	15,999	13,186	10,355
	駐車(輪)場	7,432	8,044	8,957	9,381	9,142	8,608	7,258	5,979	4,746
	道路上	5,802	5,834	6,179	6,006	5,043	4,542	3,676	2,859	2,048
	住宅	1,969	1,780	1,931	1,987	1,958	1,864	1,666	1,366	1,097
	その他	3,549	3,576	4,128	4,369	4,061	3,554	3,399	2,982	2,464
	キーなし	17,132	23,858	35,010	41,532	42,469	45,655	42,738	33,542	25,703
	駐車(輪)場	11,065	16,260	24,144	28,572	29,238	31,891	29,825	23,057	17,600
	道路上	2,889	3,268	4,171	4,714	4,574	4,568	3,527	2,660	1,780
	住宅	1,272	1,776	2,618	3,029	3,172	3,710	4,090	3,356	2,361
	その他	1,906	2,554	4,077	5,217	5,485	5,486	5,296	4,469	3,962

区分	年次	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数	認知件数	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821
	10万台当たり	41.9	36.6	34.5	31.9	33.6	28.2	28.3	21.0	17.9
	キーあり	8,695	7,663	7,066	6,396	6,362	5,537	5,149	4,279	3,523
	駐車(輪)場	4,212	3,460	3,324	2,887	2,965	2,221	1,960	1,562	1,307
	道路上	1,441	1,343	1,109	907	860	749	673	502	410
	住宅	967	837	871	871	830	936	917	836	713
	その他	2,075	2,023	1,762	1,731	1,707	1,631	1,599	1,379	1,093
	キーなし	23,095	20,005	18,894	17,574	18,876	15,782	16,380	11,825	10,298
	駐車(輪)場	15,323	12,777	12,163	10,378	11,642	8,716	8,621	5,598	4,696
	道路上	1,416	1,325	1,021	821	762	589	542	415	316
	住宅	2,407	1,985	2,041	2,241	2,501	2,754	2,647	2,337	2,384
	その他	3,949	3,918	3,669	4,134	3,971	3,723	4,570	3,475	2,902

鍵の状態及び主たる被疑者の国籍別に検挙件数をみると、「キーあり」の検挙件数に占める日本人の割合は、「キーなし」の検挙件数に占める日本人の割合より高い。また、鍵の状態・主たる被疑者の国籍・共犯形態別に検挙件数の推移をみると、日本人による「キーあり」被害を除き、平成 12-14 年に単独事件から共犯事件へと主たる形態が変容している。すなわち、「キーなし」の認知件数急増理由として、組織的に敢行されるものの増加と、外国人によるものの増加が想定される。

警察庁では、平成 12 年に「組織的に敢行される自動車盗」を特定重要窃盗犯に指定して、以後対策を推進した¹。また、「国際組織犯罪等対策に係る今後の取組について」（平成 13 年 8 月 29 日国際組織犯罪等対策推進本部²決定）³を受け、官民が一丸となった自動車の盗難と盗難自動車の不正輸出への

¹ 111 ページ注 3 参照。

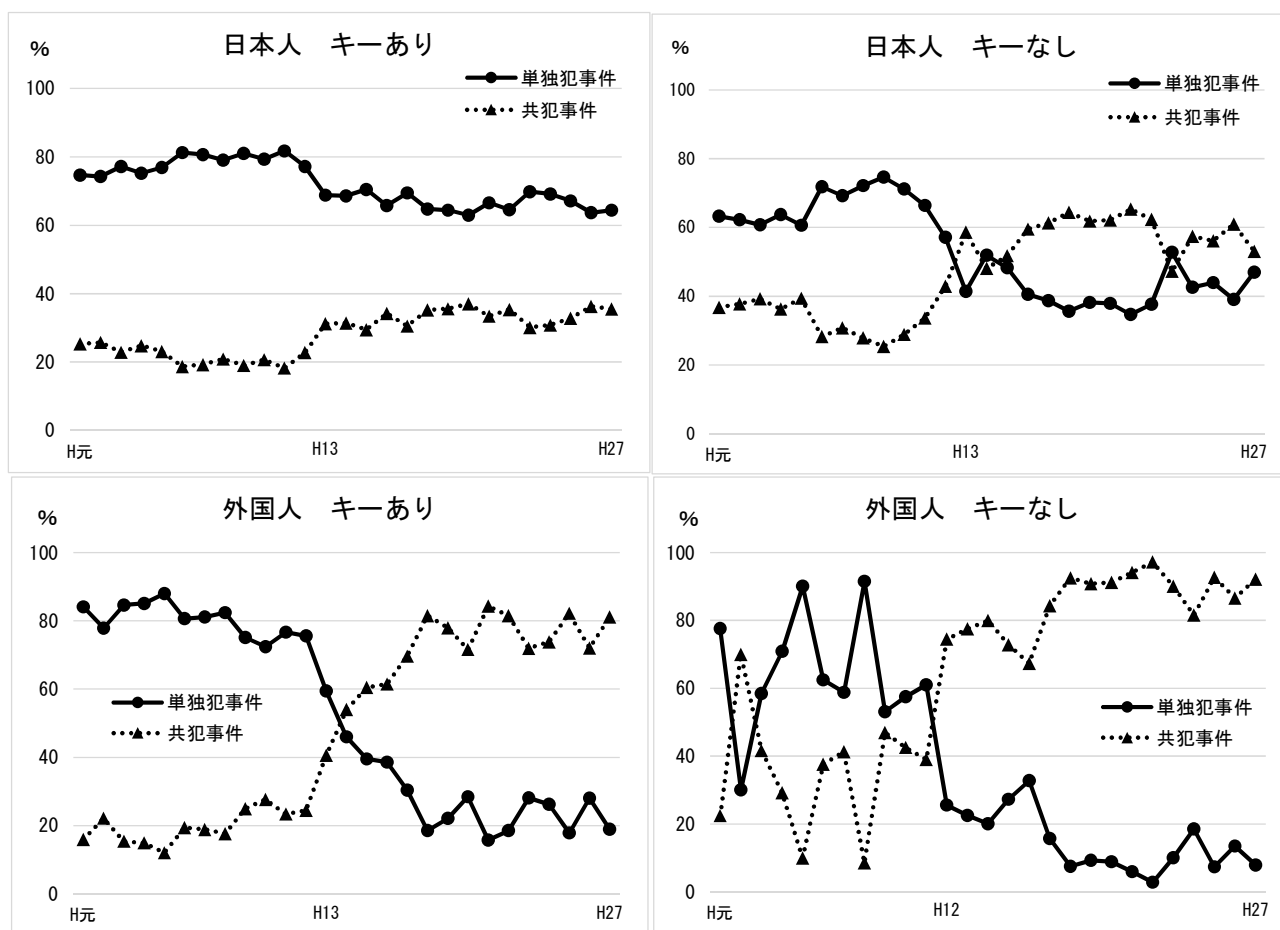
² 平成 16 年に「国際組織犯罪等・国際テロ対策推進本部」に名称変更。内閣官房長官を本部長、国家公安委員会委員長を副本部長とする。

³ 平成 15 年 9 月 17 日一部改訂。

対策を講じた。さらに、総合対策のほか、平成 15 年 12 月には犯罪対策閣僚会議において「犯罪に強い社会の実現のための行動計画」が策定され、犯罪の温床となる不法滞在者を 5 年間で半減させるなどの方針が示され、出入国管理及び難民認定に関する法律の改正による出入国管理の厳格化、不法滞在者の罰則強化、警察と入国管理局等による合同摘発等が行われた。

これらの効果のほか、駐車場の照度基準の改正や防犯カメラの普及、鍵を挿入することなくエンジン等が始動・停止するシステム（スマートエントリー等）の普及等により、鍵をメインスイッチ（イグニッションスイッチ）に差したまま車両を離れるケースが減少したことも影響して、自動車盗の発生は減少したものと考えられる。

図表： 2－1－1－7－3（鍵の状態・主たる被疑者の国籍別
自動車盗検挙件数における共犯形態別割合 H 元-H27 の推移）



図表：２－１－１－７－４（鍵の状態・主たる被疑者の国籍・共犯形態別自動車盗検挙件数 H10-H27 の推移）

区分	年次	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
キーあり検挙件数(件)		10,662	9,036	6,138	6,063	5,573	4,970	4,438	4,619	3,849
日本人		10,159	8,745	5,999	5,866	5,373	4,770	4,098	4,316	3,530
	単独犯事件	8,057	7,149	4,631	4,037	3,685	3,364	2,696	2,998	2,286
	共犯事件	2,102	1,596	1,368	1,829	1,688	1,406	1,402	1,318	1,244
外国人		503	291	139	197	200	200	340	303	319
	単独犯事件	364	223	105	117	92	79	131	92	59
	共犯事件	139	68	34	80	108	121	209	211	260
キーなし検挙件数(件)		7,344	6,035	5,077	7,110	6,964	6,624	8,702	9,582	8,687
日本人		6,756	5,781	4,897	6,670	5,972	6,022	7,427	7,989	7,187
	単独犯事件	4,805	3,839	2,798	2,761	3,102	2,906	3,007	3,094	2,559
	共犯事件	1,951	1,942	2,099	3,909	2,870	3,116	4,420	4,895	4,628
外国人		588	254	180	440	992	602	1,275	1,593	1,500
	単独犯事件	338	155	46	99	199	164	417	250	112
	共犯事件	250	99	134	341	793	438	858	1,343	1,388

区分	年次	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
キーあり検挙件数		3,464	3,113	2,661	2,429	2,302	2,069	2,134	1,710	1,674
日本人		3,124	2,916	2,432	2,240	2,156	1,817	1,921	1,560	1,505
	単独犯事件	2,012	1,835	1,619	1,447	1,506	1,257	1,290	994	970
	共犯事件	1,112	1,081	813	793	650	560	631	566	535
外国人		340	197	229	189	146	252	213	150	169
	単独犯事件	75	56	36	35	41	66	38	42	32
	共犯事件	265	141	193	154	105	186	175	108	137
キーなし検挙件数		9,386	8,873	6,364	5,502	5,573	4,985	5,216	4,529	4,638
日本人		7,104	7,408	5,126	4,820	4,952	3,869	4,179	3,792	3,608
	単独犯事件	2,710	2,806	1,778	1,813	2,615	1,647	1,835	1,481	1,694
	共犯事件	4,394	4,602	3,348	3,007	2,337	2,222	2,344	2,311	1,914
外国人		2,282	1,465	1,238	682	621	1,116	1,037	737	1,030
	単独犯事件	210	129	73	19	62	206	76	99	81
	共犯事件	2,072	1,336	1,165	663	559	910	961	638	949

※解決事件を除く。

(8) ひったくり

ひったくりの認知件数は、平成9年から13年にかけて大きく増加し、14年には統計開始後最多の5万2,919件に達した。しかし、翌平成15年以降は毎年減少しており、27年にはピーク時から4万8,777件・92.2%減の4,142件となった。

ひったくりの検挙件数は、平成11年を第1のピーク、14年を第2のピークとして、以降ほぼ一貫して減少してきた。被疑者の年齢層別にみれば、第1のピークである平成11年は14-19歳のピークであり、14年は20-24歳のピークであった。

図表：2-1-1-8-1（ひったくり認知件数、年齢層別検挙件数 H9-H27 の推移）

区分 \ 年次	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
認知件数(件)	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	26,828
検挙件数(件)	13,274	19,515	20,487	14,722	12,784	18,310	14,683	13,493	10,353	10,032
14-19歳	8,302	10,558	12,169	7,873	7,241	8,156	6,091	4,684	3,313	2,925
20-24歳	1,966	3,967	3,995	3,138	2,011	4,940	3,487	3,088	2,797	3,260
25-29歳	1,377	2,331	1,748	1,309	1,776	2,296	1,987	2,039	2,135	1,295
30-39歳	822	1,297	1,249	1,483	1,237	1,641	1,974	2,425	1,316	1,891
40歳以上	807	1,362	1,326	919	519	1,277	1,144	1,257	792	661

区分 \ 年次	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
認知件数	23,687	19,165	19,053	14,587	12,493	10,097	7,909	6,201	4,142
検挙件数	11,227	11,190	9,006	6,290	6,247	4,616	4,152	3,657	2,384
14-19歳	2,831	2,637	2,907	1,307	1,207	909	534	479	401
20-24歳	3,560	2,423	2,424	1,418	942	1,224	416	539	433
25-29歳	1,366	3,045	1,553	1,216	1,011	1,069	1,079	1,033	424
30-39歳	2,289	2,331	1,526	1,563	2,511	993	1,534	1,138	568
40歳以上	1,181	754	596	786	576	421	589	468	558

※ 解決事件を除く。

認知件数がピークであった平成14年と27年の検挙件数を被疑者の逃走手段別に比較すると、オートバイ利用は1万2,776件・88.8%減少した。

これらを踏まえると、ひったくりが減少したのは、平成12年に「少年等によるひったくり」を特定重要窃盗犯に指定して以降25年まで対策を推進したこと¹、非行集団等に対する実態把握等の強化²による少年犯罪抑止等に加え、総合対策や街頭防犯カメラの普及等によりひったくりを含む街頭における犯罪への対策が進んだこと、オートバイの防盜性を高める取組等の効果があったものと考えられる。

¹ 111 ページ注3 参照。

² 非行集団等に対する実態把握等の強化について（平成12年2月8日付け警察庁丙少発第4号ほか）

図表：２－１－１－８－２（逃走時の交通手段別ひったくり検挙件数 H9-H27 の推移）

年次 区分	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
逃走時に交通機関を用いた検挙件数(件)	12,531	18,468	19,444	13,978	12,230	17,568	14,032	12,786	9,678	9,319
うちオートバイ	9,032	13,722	15,201	11,203	9,581	14,387	10,418	9,124	7,236	7,067
盗難車	4,274	6,696	6,550	4,541	4,775	8,098	5,136	4,433	2,851	3,631
盗難車以外	4,758	7,026	8,651	6,662	4,806	6,289	5,282	4,691	4,385	3,436
うち自転車	2,167	2,911	2,596	1,707	1,493	1,881	1,778	1,630	1,052	1,285
うち自動車	930	1,264	1,169	830	893	1,061	1,476	2,013	1,352	952
盗難車	397	333	361	175	280	249	455	737	653	276
自己所有	340	576	489	363	367	541	710	971	464	532
その他	193	355	319	292	246	271	311	305	235	144

年次 区分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
逃走時に交通機関を用いた検挙件数	10,522	10,624	8,320	5,642	5,810	4,215	3,807	3,354	2,138
うちオートバイ	9,236	8,689	6,528	4,350	4,258	3,168	3,024	2,515	1,611
盗難車	3,761	5,217	3,471	2,429	1,946	1,485	848	766	955
盗難車以外	5,475	3,472	3,057	1,921	2,312	1,683	2,176	1,749	656
うち自転車	721	1,190	1,008	781	1,084	646	574	520	324
うち自動車	556	735	783	507	447	398	206	316	199
盗難車	179	141	117	72	90	71	21	41	27
自己所有	251	342	497	305	233	190	121	190	103
その他	126	252	169	130	124	137	64	85	69

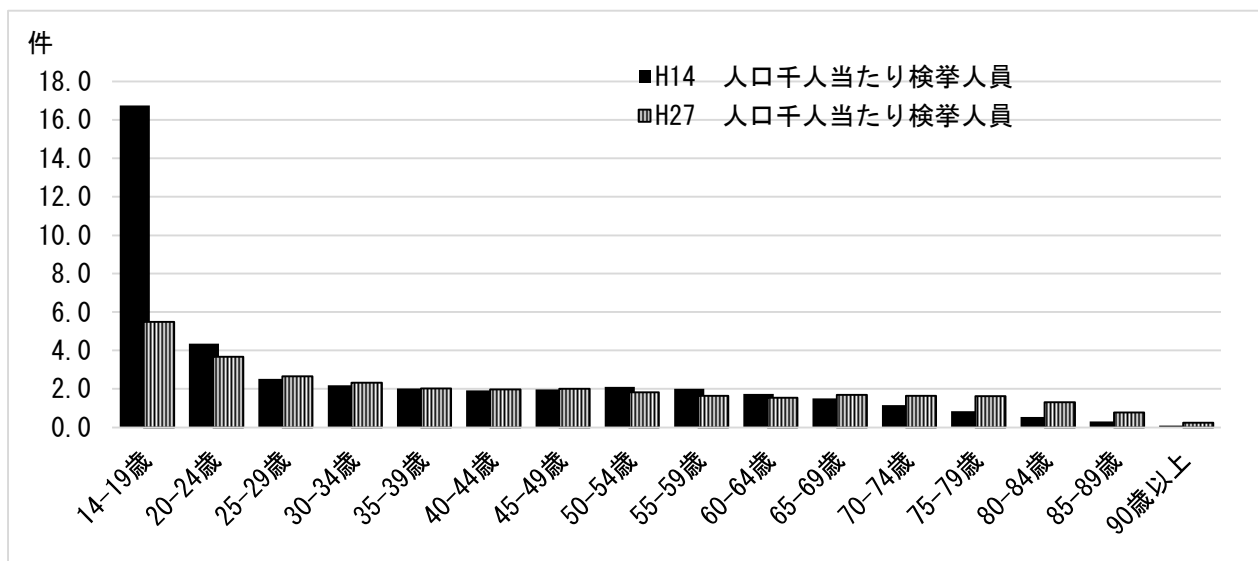
※解決事件を除く。

2 検挙人員の年齢についての分析

平成 14 年の検挙人員を年齢層別にみると、14-19 歳が 14 万人を超えて検挙人員全体の 41.0%を占めていたのに対し、27 年の同年齢層の検挙人員は 4 万人を下回り、全体の 16.5%にとどまった。平成 27 年の検挙人員は 14 年から 10 万 8,203 人・31.1%減少したが、減少数のうち 95%以上を 14-19 歳が占めた。

各年齢層別人口千人当たりの検挙人員をみると、14-19 歳が大きく減少したのに対し、その他多くの年齢層ではほぼ横ばいであった。

図表：2-1-2-1（年齢層別刑法犯検挙人員、
年齢層別人口千人当たり刑法犯検挙人員 H14 と H27 の比較）



	検挙人員（人）				人口千人当たり検挙人員（人）		
	H14	H27	増減数	増減率(%)	H14	H27	増減数
14-19歳	142,594	39,489	-103,105	-72.3	16.8	5.5	-11.3
20-24歳	34,800	22,775	-12,025	-34.6	4.3	3.7	-0.7
25-29歳	23,796	17,664	-6,132	-25.8	2.5	2.6	0.1
30-34歳	20,673	17,287	-3,386	-16.4	2.2	2.3	0.1
35-39歳	16,718	17,442	724	4.3	2.0	2.0	0.0
40-44歳	15,005	19,302	4,297	28.6	1.9	2.0	0.0
45-49歳	16,005	17,175	1,170	7.3	2.0	2.0	0.0
50-54歳	22,264	14,189	-8,075	-36.3	2.1	1.8	-0.3
55-59歳	17,346	12,592	-4,754	-27.4	2.0	1.6	-0.4
60-64歳	14,116	13,808	-308	-2.2	1.7	1.5	-0.2
65-69歳	11,070	15,373	4,303	38.9	1.5	1.7	0.2
70-74歳	7,147	12,942	5,795	81.1	1.2	1.6	0.5
75-79歳	3,913	10,163	6,250	159.7	0.8	1.6	0.8
80-84歳	1,528	6,364	4,836	316.5	0.5	1.3	0.8
85-89歳	500	2,360	1,860	372.0	0.3	0.8	0.5
90歳以上	83	430	347	418.1	0.1	0.3	0.2
合計	347,558	239,355	-108,203	-31.1	3.1	2.1	-1.0

第2 昭和48年との刑法犯認知・検挙状況の比較

1 総括

平成27年の刑法犯認知件数は、戦後最少であった昭和48年を42年ぶりに下回り、戦後最少となった。

昭和48年と平成27年の刑法犯認知件数はほぼ同数であるが、人口は27年の方が多いため、人口千人当たりの認知件数でみれば、25年以降過去最少を更新し続けている。同年には昭和48年をわずかに下回る10.3件、平成26、27年にはそれぞれ前年を更に下回る9.5件、8.6件となった。

また、昭和48年と比べ、平成27年の検挙件数は48.1%、検挙人員は33.1%少なく、人口千人当たりの検挙人員は半減している。

図表：2-2-1-1（刑法犯認知・検挙状況 S48 と H27 の比較）

区分	年次等	S48	H27	S48を100とした場合のH27の指数
認知件数（件）		1,190,549	1,098,969	92
人口千人当たり認知件数（件）		11.0	8.6	79
検挙件数（件）		688,328	357,484	52
検挙率（%）		57.8	32.5	56
検挙人員（人）		357,738	239,355	67
14歳以上人口千人当たり検挙人員（人）		4.3	2.1	50
うち少年事件		108,211	38,921	36
14-19歳人口千人当たり少年事件検挙人員		11.1	5.4	49

2 包括罪種ごとの認知の状況

包括罪種別¹に昭和48年と平成27年の認知件数を比較すると、凶悪犯の減少率が最も高く42.7%、知能犯、粗暴犯、窃盗犯、風俗犯と続く。唯一増加した「その他の刑法犯」は、昭和48年の約4.5倍となった。

各包括罪種の刑法犯認知件数に占める割合をみると、窃盗犯が昭和48年の81.8%から73.5%に低下した。

図表：2-2-2-1（包括罪種別認知件数 S48 と H27 の比較）

区分	年次等	S48		H27		増減数 （件）	増減率 （%）
		認知件数（件）	構成率（%）	認知件数	構成率		
刑法犯総数		1,190,549	100.0	1,098,969	100.0	-91,580	-7.7
凶悪犯		9,803	0.8	5,618	0.5	-4,185	-42.7
粗暴犯		88,119	7.4	64,049	5.8	-24,070	-27.3
窃盗犯		973,876	81.8	807,560	73.5	-166,316	-17.1
知能犯		70,152	5.9	43,622	4.0	-26,530	-37.8
風俗犯		11,669	1.0	11,032	1.0	-637	-5.5
その他の刑法犯		36,930	3.1	167,088	15.2	130,158	352.4

¹ 占有離脱物横領が属する包括罪種は、昭和48年は知能犯、平成27年にはその他の刑法犯である。2、3及び4(1)では、昭和48年についても占有離脱物横領はその他の刑法犯に計上することとした（したがって、昭和48年の知能犯は占有離脱物横領を除いた数であり、その他の刑法犯は占有離脱物横領を加算した数である。）。

3 罪種・手口ごとの認知の状況

増減は罪種・手口により大きく異なった。

増加した主な罪種・手口は、強盗（21.3%増）、暴行（20.2%増）、脅迫（31.1%増）、自転車盗（62.4%増）、部品ねらい（20.2%増）、自動販売機ねらい（41.1%増）、万引き（24.9%増）、職場ねらい（144.9%増）、強制わいせつ（108.9%増）、公然わいせつ（60.6%増）、住居侵入（72.0%増）、器物損壊等（1,837.7%増）、占有離脱物横領（467.0%増）、公務執行妨害（23.4%増）であった。

図表：2－2－3－1（主な罪種・手口別認知件数 S48 と H27 の比較）

区分	年次等	S48		H27		増減数 (件)	増減率 (%)
		認知件数(件)	構成率(%)	認知件数	構成率		
凶悪犯		9,803	100.0	5,618	100.0	-4,185	-42.7
殺人		2,048	20.9	933	16.6	-1,115	-54.4
強盗		2,000	20.4	2,426	43.2	426	21.3
放火		1,576	16.1	1,092	19.4	-484	-30.7
強姦		4,179	42.6	1,167	20.8	-3,012	-72.1
粗暴犯		88,119	100.0	64,049	100.0	-24,070	-27.3
傷害		43,385	49.2	25,183	39.3	-18,202	-42.0
暴行		27,079	30.7	32,543	50.8	5,464	20.2
恐喝		14,652	16.6	2,614	4.1	-12,038	-82.2
脅迫		2,823	3.2	3,700	5.8	877	31.1
凶器準備集合		180	0.2	9	0.0	-171	-95.0
窃盗犯		973,876	100.0	807,560	100.0	-166,316	-17.1
侵入盗		323,085	33.2	86,373	10.7	-236,712	-73.3
うち空き巣		159,706	16.4	31,430	3.9	-128,276	-80.3
うち忍込み		38,737	4.0	12,251	1.5	-26,486	-68.4
うち居空き		16,415	1.7	2,410	0.3	-14,005	-85.3
乗り物盗		229,018	23.5	309,837	38.4	80,819	35.3
うち自動車盗		29,418	3.0	13,821	1.7	-15,597	-53.0
うちオートバイ盗		39,191	4.0	35,486	4.4	-3,705	-9.5
うち自転車盗		160,409	16.5	260,530	32.3	100,121	62.4
非侵入盗		421,773	43.3	411,350	50.9	-10,423	-2.5
うちすり		20,378	2.1	4,222	0.5	-16,156	-79.3
うち車上ねらい		72,373	7.4	65,023	8.1	-7,350	-10.2
うち部品ねらい		27,123	2.8	32,600	4.0	5,477	20.2
うち自動販売機ねらい		9,387	1.0	13,242	1.6	3,855	41.1
うち万引き		93,936	9.6	117,333	14.5	23,397	24.9
うち職場ねらい		4,434	0.5	10,859	1.3	6,425	144.9
知能犯		70,152	100.0	43,622	100.0	-26,530	-37.8
詐欺		55,473	79.1	39,432	90.4	-16,041	-28.9
横領		5,498	7.8	1,536	3.5	-3,962	-72.1
偽造		7,672	10.9	2,550	5.8	-5,122	-66.8
汚職		1,250	1.8	70	0.2	-1,180	-94.4
背任		259	0.4	34	0.1	-225	-86.9
風俗犯		11,669	100.0	11,032	100.0	-637	-5.5
賭博		4,377	37.5	270	2.4	-4,107	-93.8
強制わいせつ		3,233	27.7	6,755	61.2	3,522	108.9
公然わいせつ		1,813	15.5	2,912	26.4	1,099	60.6
その他わいせつ		2,246	19.2	1,095	9.9	-1,151	-51.2
その他の刑法犯		36,930	100.0	167,088	100.0	130,158	352.4
住居侵入		9,949	26.9	17,112	10.2	7,163	72.0
器物損壊等		5,828	15.8	112,931	67.6	107,103	1837.7
占有離脱物横領		4,674	12.7	26,500	15.9	21,826	467.0
公務執行妨害		2,181	5.9	2,691	1.6	510	23.4
逮捕監禁		708	1.9	341	0.2	-367	-51.8
略取誘拐・人身売買		281	0.8	192	0.1	-89	-31.7
その他		13,309	36.0	7,321	4.4	-5,988	-45.0

自転車盗について、自転車保有台数1万台当たりで比較すると、昭和48年が41.0件であるのに対し、平成27年は36.4件と減少しており、認知件数の増加は自転車保有台数が増加した結果と考えられる。また、自転車保有台数の増加は占有離脱物横領の増加理由にもなっているものと考えられる¹。

住宅対象侵入窃盗についてみると、世帯数が約2,873万世帯から約5,210万世帯へと約1.8倍に増加しているのに対し、空き巣、忍込み、居空きはいずれも減少しており、住宅の防犯性能の向上等の効果と考えられる。

図表：2-2-3-2（窃盗の主な手口の被害率S48とH27の比較）

区分 \ 年次	S48	H27
侵入盗認知件数（件）	323,085	86,373
うち空き巣	159,706	31,430
1万世帯当たり	55.6	6.0
うち忍込み	38,737	12,251
1万世帯当たり	13.5	2.4
うち居空き	16,415	2,410
1万世帯当たり	5.7	0.5
乗り物盗認知件数（件）	229,018	309,837
うち自動車盗	29,418	13,821
登録台数1万台当たり	12.7	1.8
うちオートバイ盗	39,191	35,486
保有台数1万台当たり ※	44.3	30.9
うち自転車盗	160,409	260,530
保有台数1万台当たり	41.0	36.4

※ オートバイの保有台数は、一般社団法人日本自動車工業会ホームページから引用した昭和50年の二輪車保有台数。

4 検挙人員の構成の変化

(1) 年齢層の変化

検挙人員を年齢層別にみると、昭和48年は20歳代が最も多く11万8,441人で、人口千人当たりの検挙人員は、14-19歳が最も多く、11.1人であった。一方、平成27年は、60歳以上が最も多く6万1,440人で、人口千人当たりの検挙人員は、14-19歳が最も多く、5.5人であった。

昭和48年と平成27年の人口千人当たりの検挙人員を比較すると、14-19歳が半減しているのに対し、60歳以上は2.1倍となった。

¹ 平成27年における占有離脱物横領の認知件数2万6,500件のうち、自転車を対象としたものは、1万9,401件（73.2%）。

図表：２－２－４－１－１（年齢層別刑法犯検挙人員、
年齢層別人口千人当たり刑法犯検挙人員 S48 と H27 の比較）

区分	年次等	S48	H27	増減数	増減率(%)
検挙人員(人)		357,738	239,355	-118,383	-33.1
14-19歳		108,604	39,489	-69,115	-63.6
構成率(%)		30.4	16.5	-13.9	ポイント
人口千人当たり		11.1	5.5		
20-29歳		118,441	40,439	-78,002	-65.9
構成率		33.1	16.9	-16.2	ポイント
人口千人当たり		6.0	3.1		
30-39歳		69,692	34,729	-34,963	-50.2
構成率		19.5	14.5	-5.0	ポイント
人口千人当たり		4.0	2.2		
40-49歳		37,870	36,477	-1,393	-3.7
構成率		10.6	15.2	4.6	ポイント
人口千人当たり		2.6	2.0		
50-59歳		14,646	26,781	12,135	82.9
構成率		4.1	11.2	7.1	ポイント
人口千人当たり		1.5	1.7		
60歳以上		8,485	61,440	52,955	624.1
構成率		2.4	25.7	23.3	ポイント
人口千人当たり		0.7	1.5		

60 歳以上の検挙人員を包括罪種別にみると、粗暴犯や窃盗犯が大幅に増加しているのに比べ、知能犯や風俗犯はあまり増加しなかった。

図表：２－２－４－１－２（包括罪種別 60 歳以上検挙人員 S48 と H27 の比較）

区分	年次等	S48	H27	増減数	増減率(%)
60歳以上検挙人員(人)		8,485	61,440	52,955	624.1
凶悪犯		107	589	482	450.5
構成率(%)		1.3	1.0	-0.3	ポイント
粗暴犯		897	8,889	7,992	891.0
構成率		10.6	14.5	3.9	ポイント
窃盗犯		4,277	42,159	37,882	885.7
構成率		50.4	68.6	18.2	ポイント
知能犯		1,075	1,744	669	62.2
構成率		12.7	2.8	-9.9	ポイント
風俗犯		648	725	77	11.9
構成率		7.6	1.2	-6.4	ポイント
その他の刑法犯		1,481	7,334	5,853	395.2
構成率		17.5	11.9	-5.6	ポイント

(2) 再犯者率の変化

刑法犯検挙人員を初犯・再犯の別にみると、昭和 48 年には検挙人員の 35.3%を再犯者が占めたが、平成 27 年にはその割合が 48.0%に上昇した。

とりわけ、万引きの再犯者率は、昭和 48 年には 1 割程度であったが、平成 27 年には 5 割を超えた。

図表：2-2-4-2-1（窃盗犯の主な手口別再犯者割合 S48 と H27 の比較）

年次等 区分		S48			H27		
		合計	再犯者	再犯者率(%)	合計	再犯者	再犯者率
検挙人員（人）		357,738	126,269	35.3	239,355	114,944	48.0
うち窃盗犯		174,003	47,178	27.1	123,847	61,532	49.7
うち自転車盗		25,087	4,717	18.8	9,553	3,236	33.9
うちオートバイ盗		12,145	3,358	27.6	2,743	1,503	54.8
うち部品ねらい		4,443	957	21.5	811	478	58.9
うち万引き		58,368	5,874	10.1	75,114	38,997	51.9

5 被害者の年齢層の変化

刑法犯認知件数¹を被害者の年齢層別にみると、平成 27 年における刑法犯認知件数に占める 19 歳以下の被害割合は、昭和 48 年に比べて 7.6%増加した。19 歳以下の刑法犯認知件数について、同年齢層の人口千人当たりでみると、昭和 48 年が 3.3 件であるのに対し、平成 27 年は 6.8 件に増加した。一方、25 歳以上の各層の人口当たり認知件数は減少した。

図表：2-2-5-1（被害者の年齢層別刑法犯認知件数、
年齢層別人口千人当たり刑法犯認知件数 S48 と H27 の比較）

年次等		S48	H27	増減数	増減率 (%)
区分					
認知件数（件）		1, 147, 472	862, 395	-285, 077	-24. 8
0-19歳		114, 849	151, 644	36, 795	32. 0
	人口千人当たり	3. 3	6. 8		
	0-5歳	821	496	-325	-39. 6
		人口千人当たり	0. 1	0. 1	
	6-13歳	22, 950	30, 017	7, 067	30. 8
		人口千人当たり	1. 7	3. 4	
	14-19歳	91, 078	121, 131	30, 053	33. 0
		人口千人当たり	9. 3	16. 9	
	20-24歳	141, 967	96, 620	-45, 347	-31. 9
		人口千人当たり	13. 8	15. 6	
25-29歳	137, 546	74, 843	-62, 703	-45. 6	
	人口千人当たり	14. 4	11. 2		
30-39歳	286, 086	137, 226	-148, 860	-52. 0	
	人口千人当たり	16. 5	8. 5		
40-49歳	230, 322	138, 620	-91, 702	-39. 8	
	人口千人当たり	15. 6	7. 5		
50-59歳	137, 121	99, 399	-37, 722	-27. 5	
	人口千人当たり	14. 0	6. 4		
60歳以上	99, 581	164, 043	64, 462	64. 7	
	人口千人当たり	8. 1	3. 9		

¹ この項においては、被害者の年齢が判明しているものに限る。

被害が増加した19歳以下について、年齢を3区分（5歳以下、6～13歳、14歳以上）し、主な罪種別にみると、14歳以上では強姦の被害が減った一方で、強制わいせつの被害が増加した。また、恐喝については、14歳以上の被害件数が大きく減少した。

図表：2-2-5-2（主な罪種に係る19歳以下被害者の年齢層別認知件数S48とH27の比較）

年次等 罪種・年齢層		S48			H27			増減数 (件)	増減率 (%)
		認知件数 (件)	構成割合 (%)	人口10万人 当たり(件)	認知件数	構成割合	人口10万人 当たり		
強姦		4,179	100.0	3.8	1,167	100.0	0.9	-3,012	-72.1
	0-5歳	17	0.4	0.1	5	0.4	0.1	-12	-70.6
	6-13歳	426	10.2	3.2	92	7.9	1.0	-334	-78.4
	14-19歳	1,474	35.3	15.1	335	28.7	4.7	-1,139	-77.3
強制わいせつ		3,233	100.0	3.0	6,755	100.0	5.3	3,522	108.9
	0-5歳	235	7.3	2.0	75	1.1	1.2	-160	-68.1
	6-13歳	1,239	38.3	9.4	963	14.3	10.9	-276	-22.3
	14-19歳	561	17.4	5.7	2,158	31.9	30.0	1,597	284.7
窃盗犯		973,876	100.0	895.9	634,480	100.0	499.3	-339,396	-34.9
	0-5歳	94	0.0	0.8	0	0.0	0.0	-94	-100.0
	6-13歳	19,313	2.0	147.1	25,991	4.1	295.4	6,678	34.6
	14-19歳	72,897	7.5	744.8	104,249	16.4	1451.3	31,352	43.0
恐喝		14,652	100.0	13.5	2,558	100.0	2.0	-12,094	-82.5
	0-5歳	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	-
	6-13歳	830	5.7	6.3	109	4.3	1.2	-721	-86.9
	14-19歳	5,930	40.5	60.6	748	29.2	10.4	-5,182	-87.4
逮捕監禁		708	100.0	0.7	341	100.0	0.3	-367	-51.8
	0-5歳	2	0.3	0.0	2	0.6	0.0	0	0.0
	6-13歳	22	3.1	0.2	9	2.6	0.1	-13	-59.1
	14-19歳	158	22.3	1.6	74	21.7	1.0	-84	-53.2
略取誘拐・人身売買		281	100.0	0.3	191	100.0	0.2	-90	-32.0
	0-5歳	51	18.1	0.4	26	13.6	0.4	-25	-49.0
	6-13歳	81	28.8	0.6	66	34.6	0.8	-15	-18.5
	14-19歳	98	34.9	1.0	56	29.3	0.8	-42	-42.9

第3章 資料編

図表3－1 罪種別刑法犯認知件数・

区分 \ 年次		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
人口（十万人）		1,278	1,278	1,278	1,277	1,275	1,281
刑法犯総数	認知件数	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,826,500	1,713,832	1,604,019
	犯 罪 率	1,775.7	1,604.7	1,493.6	1,430.3	1,344.2	1,252.2
重要犯罪	認知件数	20,388	18,649	16,922	15,922	15,271	14,878
	犯 罪 率	16.0	14.6	13.2	12.5	12.0	11.6
重要窃盗犯	認知件数	338,967	282,047	241,425	210,530	201,037	181,567
	犯 罪 率	265.2	220.7	188.9	164.9	157.7	141.7
凶悪犯	認知件数	11,360	10,124	9,051	8,630	8,392	7,624
	犯 罪 率	8.9	7.9	7.1	6.8	6.6	6.0
殺人	認知件数	1,392	1,309	1,199	1,301	1,095	1,068
	犯 罪 率	1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8
強盗	認知件数	5,988	5,108	4,567	4,298	4,535	4,051
	犯 罪 率	4.7	4.0	3.6	3.4	3.6	3.2
放火	認知件数	1,904	1,759	1,519	1,441	1,347	1,212
	犯 罪 率	1.5	1.4	1.2	1.1	1.1	0.9
強姦	認知件数	2,076	1,948	1,766	1,590	1,415	1,293
	犯 罪 率	1.6	1.5	1.4	1.2	1.1	1.0
粗暴犯	認知件数	73,772	76,303	72,908	69,113	64,140	63,813
	犯 罪 率	57.7	59.7	57.0	54.1	50.3	49.8
うち暴行	認知件数	25,815	31,002	31,966	31,670	29,670	29,636
	犯 罪 率	20.2	24.3	25.0	24.8	23.3	23.1
うち傷害	認知件数	34,484	33,987	30,986	28,386	26,545	26,634
	犯 罪 率	27.0	26.6	24.2	22.2	20.8	20.8
うち恐喝	認知件数	10,978	8,636	7,384	6,383	5,556	5,233
	犯 罪 率	8.6	6.8	5.8	5.0	4.4	4.1
窃盗犯	認知件数	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,379,752	1,308,378	1,229,059
	犯 罪 率	1,349.8	1,200.7	1,118.9	1,080.5	1,026.2	959.5
侵入窃盗	認知件数	244,776	205,463	175,728	155,270	148,771	136,749
	犯 罪 率	191.5	160.8	137.5	121.6	116.7	106.8
乗り物盗	認知件数	556,987	517,815	510,162	504,020	500,869	474,314
	犯 罪 率	435.8	405.2	399.2	394.7	392.8	370.3
非侵入窃盗	認知件数	923,309	811,250	744,066	720,462	658,738	617,996
	犯 罪 率	722.5	634.8	582.2	564.2	516.7	482.4
知能犯	認知件数	97,500	84,271	75,999	73,451	53,222	44,544
	犯 罪 率	76.3	65.9	59.5	57.5	41.7	34.8
うち詐欺	認知件数	85,596	74,632	67,787	64,558	45,318	37,659
	犯 罪 率	67.0	58.4	53.0	50.6	35.5	29.4
風俗犯	認知件数	12,085	11,932	11,184	10,590	10,219	10,938
	犯 罪 率	9.5	9.3	8.8	8.3	8.0	8.5
うち強制わいせつ	認知件数	8,751	8,326	7,664	7,137	6,723	7,068
	犯 罪 率	6.8	6.5	6.0	5.6	5.3	5.5
その他の刑法犯	認知件数	349,504	333,692	309,738	284,964	269,481	248,041
	犯 罪 率	273.5	261.1	242.4	223.2	211.4	193.6

※ 万の位を四捨五入し、十万人を単位とした人口を使用。

人口10万人当たり刑法犯認知件数の推移

年次	区分				
人口（十万人）	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27
認知件数	1,278	1,275	1,273	1,271	1,271
犯 罪 率	1,502.951	1,403.167	1,314.140	1,212.163	1,098.969
認知件数	1,176.0	1,100.5	1,032.3	953.7	864.6
犯 罪 率	14,144	14,581	14,596	14,051	12,565
認知件数	11.1	11.4	11.5	11.1	9.9
犯 罪 率	169,653	152,219	142,259	120,488	108,558
認知件数	132.7	119.4	111.8	94.8	85.4
犯 罪 率	7,062	7,070	6,757	6,453	5,618
認知件数	5.5	5.5	5.3	5.1	4.4
犯 罪 率	1,052	1,032	938	1,054	933
認知件数	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7
犯 罪 率	3,695	3,691	3,324	3,056	2,426
認知件数	2.9	2.9	2.6	2.4	1.9
犯 罪 率	1,122	1,081	1,086	1,093	1,092
認知件数	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9
犯 罪 率	1,193	1,266	1,409	1,250	1,167
認知件数	0.9	1.0	1.1	1.0	0.9
犯 罪 率	61,897	67,356	66,494	65,814	64,049
認知件数	48.4	52.8	52.2	51.8	50.4
犯 罪 率	29,319	31,863	31,545	32,372	32,543
認知件数	22.9	25.0	24.8	25.5	25.6
犯 罪 率	25,922	28,053	27,864	26,653	25,183
認知件数	20.3	22.0	21.9	21.0	19.8
犯 罪 率	4,329	4,181	3,621	3,041	2,614
認知件数	3.4	3.3	2.8	2.4	2.1
犯 罪 率	1,152,492	1,059,131	981,233	897,259	807,560
認知件数	901.8	830.7	770.8	705.9	635.4
犯 罪 率	126,382	115,328	107,313	93,566	86,373
認知件数	98.9	90.5	84.3	73.6	68.0
犯 罪 率	443,305	397,787	376,244	352,045	309,837
認知件数	346.9	312.0	295.6	277.0	243.8
犯 罪 率	582,805	546,016	497,676	451,648	411,350
認知件数	456.0	428.2	390.9	355.3	323.6
犯 罪 率	40,894	40,235	43,141	46,027	43,622
認知件数	32.0	31.6	33.9	36.2	34.3
犯 罪 率	34,720	34,762	38,302	41,523	39,432
認知件数	27.2	27.3	30.1	32.7	31.0
犯 罪 率	10,966	11,986	12,041	11,915	11,032
認知件数	8.6	9.4	9.5	9.4	8.7
犯 罪 率	6,929	7,321	7,654	7,400	6,755
認知件数	5.4	5.7	6.0	5.8	5.3
犯 罪 率	229,640	217,389	204,474	184,695	167,088
認知件数	179.7	170.5	160.6	145.3	131.5
犯 罪 率					

図表 3－2 都道府県別

年次 都道府県	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
認知件数(件)	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,826,500	1,713,832	1,604,019
北海道	73,071	65,417	60,880	59,733	52,139	51,226
東北管区	102,900	93,986	85,364	82,349	77,356	73,970
青森	14,769	13,018	11,784	11,015	9,987	9,943
岩手	11,289	10,090	9,102	9,111	8,240	7,400
宮城	33,357	31,698	29,216	28,583	25,859	24,614
秋田	8,604	7,571	6,699	6,134	5,740	5,407
山形	10,352	9,214	8,708	7,924	8,003	7,179
福島	24,529	22,395	19,855	19,582	19,527	19,427
東京	253,912	244,611	228,805	212,152	205,708	195,970
関東管区	673,226	596,152	548,734	531,032	492,395	465,837
茨城	52,266	47,183	46,087	43,885	42,491	41,312
栃木	33,380	33,059	30,358	28,550	25,990	23,500
群馬	35,453	32,060	27,769	26,730	24,110	22,211
埼玉	157,047	136,651	126,453	122,108	113,632	106,228
千葉	131,037	115,700	105,185	100,827	96,400	92,325
神奈川	142,920	122,703	112,529	113,556	98,216	93,369
新潟	28,174	26,126	25,024	23,435	22,189	21,227
山梨	10,683	9,547	8,435	7,890	8,134	7,919
長野	26,753	22,902	21,422	21,105	20,164	18,295
静岡	55,513	50,221	45,472	42,946	41,069	39,451
中部管区	306,274	249,659	229,674	226,382	223,196	198,645
富山	13,168	11,364	10,648	10,112	8,740	7,679
石川	12,739	12,524	10,669	9,689	8,812	8,293
福井	8,324	7,422	7,193	6,740	6,369	6,058
岐阜	38,649	32,864	31,252	29,799	27,928	25,017
愛知	198,937	157,382	143,948	144,694	145,807	128,173
三重	34,457	28,103	25,964	25,348	25,540	23,425
近畿管区	485,308	453,593	426,640	406,671	373,231	347,447
滋賀	18,750	17,969	16,553	15,455	15,258	15,501
京都	57,586	54,932	52,960	50,259	44,538	42,258
大阪	249,511	232,451	216,303	210,293	193,325	182,259
兵庫	121,539	113,320	107,378	97,527	90,670	80,860
奈良	21,365	18,895	18,299	18,835	15,478	14,444
和歌山	16,557	16,026	15,147	14,302	13,962	12,125
中国管区	101,354	96,602	89,411	83,293	78,742	75,097
鳥取	7,382	6,838	6,261	6,005	5,845	5,189
島根	7,586	6,782	6,001	5,802	5,157	5,116
岡山	32,102	31,632	29,257	27,357	25,862	24,097
広島	36,938	35,022	32,696	30,129	28,853	28,335
山口	17,346	16,328	15,196	14,000	13,025	12,360
四国管区	61,117	53,704	51,319	48,144	44,851	42,901
徳島	9,655	9,111	8,518	8,451	7,389	7,108
香川	16,997	14,640	13,010	11,425	10,884	10,432
愛媛	22,167	19,001	18,626	17,829	16,827	16,672
高知	12,298	10,952	11,165	10,439	9,751	8,689
九州管区	212,131	197,126	188,009	176,744	166,214	152,926
福岡	106,805	102,101	95,207	90,356	86,057	78,809
佐賀	11,040	9,660	10,112	8,683	8,271	8,138
長崎	12,833	11,148	10,730	10,323	9,199	8,950
熊本	22,191	20,054	19,553	17,429	17,015	15,309
大分	13,035	11,823	11,567	9,840	9,495	8,691
宮崎	12,030	11,352	11,498	11,105	9,602	8,750
鹿児島	14,934	13,565	13,625	13,655	12,837	11,392
沖縄	19,263	17,423	15,717	15,353	13,738	12,887

刑法犯認知件数の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次 都道府県
1,502,951	1,403,167	1,314,140	1,212,163	1,098,969	認知件数(件)
49,263	45,489	41,066	40,359	35,457	北海道
62,345	58,284	56,385	52,775	49,071	東北管区
8,343	7,424	6,515	5,753	5,486	青森
6,353	6,480	5,757	5,115	4,884	岩手
20,605	19,561	19,367	18,630	17,742	宮城
4,429	4,211	3,972	3,603	3,154	秋田
6,436	5,992	6,178	5,358	5,014	山形
16,179	14,616	14,596	14,316	12,791	福島
186,432	172,385	162,557	160,120	148,182	東京
432,966	402,338	380,786	338,566	313,124	関東管区
38,447	36,873	35,055	30,502	29,085	茨城
23,067	20,369	18,924	16,345	14,630	栃木
20,981	20,330	18,820	17,782	16,275	群馬
100,253	93,157	84,154	76,857	73,456	埼玉
83,010	80,802	77,904	68,026	61,656	千葉
85,659	76,511	76,962	67,295	61,664	神奈川
20,566	18,503	17,320	16,424	14,970	新潟
7,376	7,934	7,461	6,528	6,406	山梨
17,707	15,463	14,791	13,206	11,502	長野
35,900	32,396	29,395	25,601	23,480	静岡
186,844	170,696	158,071	141,367	127,581	中部管区
6,681	6,678	6,383	6,223	6,115	富山
8,081	7,548	7,481	7,494	7,585	石川
5,674	5,432	5,285	4,871	3,880	福井
25,230	24,561	22,357	20,192	18,160	岐阜
118,963	104,984	96,839	85,037	76,663	愛知
22,215	21,493	19,726	17,550	15,178	三重
329,780	314,130	290,783	274,118	244,796	近畿管区
13,762	15,139	15,447	12,435	11,308	滋賀
37,810	32,866	31,944	28,671	24,068	京都
177,397	168,012	151,413	148,257	132,471	大阪
76,532	75,642	70,532	64,911	59,374	兵庫
13,325	12,170	12,337	11,140	10,036	奈良
10,954	10,301	9,110	8,704	7,539	和歌山
70,667	65,518	61,366	55,876	47,914	中国管区
4,941	4,313	4,279	4,077	3,388	鳥取
4,466	4,500	4,379	4,772	3,342	島根
23,872	22,005	19,824	17,209	14,706	岡山
25,937	23,902	22,592	21,123	18,777	広島
11,451	10,798	10,292	8,695	7,701	山口
39,853	35,976	34,286	31,754	28,826	四国管区
6,492	6,046	5,818	4,643	4,543	徳島
9,198	8,849	8,340	8,802	7,212	香川
16,156	13,999	13,598	12,599	11,407	愛媛
8,007	7,082	6,530	5,710	5,664	高知
144,801	138,351	128,840	117,228	104,018	九州管区
73,421	72,240	66,794	63,259	54,663	福岡
8,150	7,551	7,509	6,284	5,422	佐賀
8,491	8,460	7,318	6,017	4,965	長崎
14,045	13,104	12,836	10,879	10,274	熊本
8,197	6,999	6,290	5,384	4,843	大分
9,490	8,428	7,997	7,321	6,632	宮崎
10,604	10,503	9,276	8,205	7,756	鹿児島
12,403	11,066	10,820	9,879	9,463	沖縄

図表 3－3 都道府県別

年次 都道府県	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
検 挙 件 数 (件)	649,503	640,657	605,358	573,392	544,699	497,356
北 海 道	22,257	23,036	22,657	21,639	17,394	16,083
東 北 管 区	36,939	34,284	31,668	30,011	28,390	28,280
青 森	5,029	4,393	4,080	4,046	4,030	3,892
岩 手	4,306	4,195	3,754	3,457	3,626	3,990
宮 城	9,819	9,410	8,731	8,382	7,894	7,518
秋 田	4,162	4,071	3,817	3,410	2,974	2,994
山 形	5,069	4,024	3,890	3,630	3,795	3,636
福 島	8,554	8,191	7,396	7,086	6,071	6,250
東 京	86,444	89,549	79,277	67,496	64,239	58,227
関 東 管 区	188,264	193,509	186,541	175,365	168,484	152,497
茨 城	15,967	17,031	18,824	17,476	14,265	12,422
栃 木	9,065	9,258	10,001	9,866	9,687	8,239
群 馬	11,052	10,829	10,472	10,522	11,370	11,078
埼 玉	31,161	34,060	32,550	31,140	30,846	30,048
千 葉	35,528	38,122	34,911	30,608	27,627	24,918
神 奈 川	47,286	47,342	44,747	41,913	40,380	35,964
新 潟	8,146	8,183	8,298	7,755	8,406	7,783
山 梨	4,472	3,931	3,500	2,964	3,154	3,046
長 野	8,490	9,669	9,319	8,893	8,296	6,589
静 岡	17,097	15,084	13,919	14,228	14,453	12,410
中 部 管 区	74,913	64,962	57,174	60,186	65,867	58,673
富 山	3,802	3,573	3,021	2,949	2,777	2,428
石 川	5,272	5,208	4,406	3,714	3,066	2,905
福 井	4,388	3,546	3,291	3,245	3,286	2,788
岐 阜	9,636	9,236	9,249	10,018	10,843	7,903
愛 知	42,313	32,166	29,043	33,607	39,271	36,169
三 重	9,502	11,233	8,164	6,653	6,624	6,480
近 畿 管 区	106,802	102,594	100,692	96,651	89,300	80,505
滋 賀	8,153	6,484	6,715	6,111	4,873	4,326
京 都	15,385	14,978	14,073	13,220	11,743	10,944
大 阪	41,290	39,192	38,079	39,025	35,386	29,841
兵 庫	28,846	29,238	28,457	26,838	25,948	23,624
奈 良	9,022	8,805	8,475	7,301	6,649	7,602
和 歌 山	4,106	3,897	4,893	4,156	4,701	4,168
中 国 管 区	37,386	35,360	34,370	33,315	28,539	28,015
鳥 取	3,437	3,862	3,203	3,013	2,518	2,682
島 根	3,652	3,305	3,006	3,000	2,691	2,751
岡 山	9,361	9,525	8,136	8,183	7,176	7,372
広 島	12,279	11,350	13,006	12,008	10,353	9,920
山 口	8,657	7,318	7,019	7,111	5,801	5,290
四 国 管 区	21,134	20,918	18,624	17,993	18,041	16,713
徳 島	4,411	3,843	3,506	3,508	3,403	3,145
香 川	4,934	5,193	4,948	4,965	4,755	4,616
愛 媛	8,008	7,977	6,681	6,568	6,780	5,944
高 知	3,781	3,905	3,489	2,952	3,103	3,008
九 州 管 区	75,364	76,445	74,355	70,736	64,445	58,363
福 岡	34,059	35,372	34,774	34,398	30,003	27,595
佐 賀	4,216	4,636	4,079	3,460	3,661	3,464
長 崎	5,861	6,125	5,978	4,785	4,768	4,343
熊 本	8,944	7,641	8,256	7,356	7,740	6,597
大 分	4,911	5,114	4,028	4,447	3,795	3,357
宮 崎	4,568	5,359	4,750	4,652	3,932	3,476
鹿 児 島	6,130	5,400	5,282	5,002	4,983	4,514
沖 縄	6,675	6,798	7,208	6,636	5,563	5,017

刑法犯検挙件数の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次 都道府県
462,535	437,610	394,121	370,568	357,484	検挙件数(件)
15,955	15,723	15,466	13,862	12,225	北海道
23,671	24,779	21,573	20,754	19,715	東北管区
3,655	3,413	2,515	2,505	2,392	青森
2,718	2,765	2,415	2,143	2,159	岩手
6,125	6,896	6,176	5,981	5,859	宮城
2,516	2,516	2,279	2,323	1,903	秋田
3,441	3,620	3,283	3,081	2,955	山形
5,216	5,569	4,905	4,721	4,447	福島
51,198	48,915	44,758	41,909	43,516	東京
144,322	132,694	118,996	116,433	108,233	関東管区
12,490	11,463	9,820	9,646	8,896	茨城
7,904	7,585	7,074	6,182	6,074	栃木
9,100	9,279	8,188	8,229	7,931	群馬
29,126	26,704	23,689	21,300	19,056	埼玉
21,957	21,515	18,351	20,591	17,799	千葉
33,420	27,855	26,800	26,995	26,416	神奈川
8,158	7,313	6,100	6,460	6,104	新潟
2,589	2,444	2,177	1,991	1,787	山梨
6,186	6,418	5,653	5,348	4,461	長野
13,392	12,118	11,144	9,691	9,709	静岡
57,180	52,345	45,206	38,829	40,210	中部管区
2,189	2,113	1,982	1,747	2,137	富山
3,111	2,849	2,812	3,065	3,164	石川
2,593	2,445	2,050	2,705	1,953	福井
6,687	6,694	6,057	5,197	5,792	岐阜
35,409	32,773	26,257	20,720	22,299	愛知
7,191	5,471	6,048	5,395	4,865	三重
76,335	72,175	64,421	62,383	58,634	近畿管区
4,737	4,557	4,451	4,294	4,446	滋賀
10,076	8,816	7,170	7,475	6,382	京都
29,946	29,127	26,649	25,239	23,853	大阪
20,884	20,884	18,188	16,945	16,039	兵庫
6,524	4,834	4,568	5,203	4,359	奈良
4,168	3,957	3,395	3,227	3,555	和歌山
26,612	25,802	25,056	22,395	20,314	中国管区
2,105	2,310	2,740	2,139	1,785	鳥取
2,436	2,406	2,449	2,828	1,905	島根
7,120	7,342	6,915	5,895	5,612	岡山
10,142	9,112	8,437	7,786	7,391	広島
4,809	4,632	4,515	3,747	3,621	山口
15,258	13,783	12,791	11,758	12,381	四国管区
3,037	2,546	2,324	2,122	2,374	徳島
3,929	3,910	3,511	3,450	3,242	香川
5,525	4,888	4,445	4,194	4,835	愛媛
2,767	2,439	2,511	1,992	1,930	高知
52,004	51,394	45,854	42,245	42,256	九州管区
21,377	23,286	20,807	18,420	19,372	福岡
3,470	2,804	2,848	2,906	3,463	佐賀
4,355	4,552	3,631	3,331	2,914	長崎
6,186	5,551	4,825	5,212	4,704	熊本
3,747	3,093	2,478	2,393	2,153	大分
3,838	3,497	2,924	2,557	2,490	宮崎
3,973	4,378	3,810	3,070	2,955	鹿児島
5,058	4,233	4,531	4,356	4,205	沖縄

図表 3 - 4 都道府県別

年次 都道府県	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
検 挙 人 員 (人)	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620
北 海 道	13,197	13,485	13,888	12,643	11,479	10,563
東 北 管 区	22,934	21,499	19,932	18,802	18,608	18,346
青 森	3,248	3,242	3,087	2,967	2,975	2,998
岩 手	2,631	2,677	2,453	2,321	2,311	1,997
宮 城	6,341	5,585	5,168	4,949	4,750	4,549
秋 田	2,336	2,287	1,996	1,839	1,920	1,964
山 形	2,887	2,542	2,356	2,445	2,605	2,645
福 島	5,491	5,166	4,872	4,281	4,047	4,193
東 京	58,837	58,775	53,702	46,784	46,716	44,548
関 東 管 区	107,113	109,554	103,526	98,123	94,637	95,359
茨 城	6,835	6,622	6,892	6,590	6,734	6,643
栃 木	5,910	5,447	5,520	5,097	5,679	5,410
群 馬	4,684	4,144	4,282	4,250	4,472	5,717
埼 玉	19,589	20,255	19,307	18,289	19,345	19,296
千 葉	17,230	19,895	17,604	16,046	15,278	14,988
神 奈 川	30,365	31,447	28,841	26,969	22,558	23,304
新 潟	5,758	5,712	5,642	5,800	5,544	5,337
山 梨	2,547	2,047	2,060	1,947	1,924	1,721
長 野	4,811	4,947	4,867	5,005	4,959	4,537
静 岡	9,384	9,038	8,511	8,130	8,144	8,406
中 部 管 区	33,449	35,945	33,672	30,441	31,773	30,459
富 山	2,612	2,432	2,046	2,142	2,039	1,762
石 川	2,892	2,957	2,403	2,195	2,163	2,051
福 井	1,823	1,670	1,603	1,696	1,606	1,450
岐 阜	4,875	4,751	4,529	4,375	4,200	3,776
愛 知	16,857	19,946	19,201	16,488	18,186	18,100
三 重	4,390	4,189	3,890	3,545	3,579	3,320
近 畿 管 区	70,851	68,971	67,886	62,902	61,830	56,369
滋 賀	2,988	2,639	2,517	2,585	2,971	2,705
京 都	10,178	9,941	9,550	8,412	8,489	8,147
大 阪	31,919	30,531	30,113	28,042	25,556	22,715
兵 庫	19,179	19,037	19,335	17,965	18,793	16,913
奈 良	3,711	3,793	3,474	3,359	3,241	3,168
和 歌 山	2,876	3,030	2,897	2,539	2,780	2,721
中 国 管 区	22,914	21,641	20,900	19,923	19,226	18,515
鳥 取	1,988	1,734	1,572	1,532	1,411	1,336
島 根	1,821	1,610	1,418	1,304	1,300	1,180
岡 山	6,567	6,123	5,420	5,269	5,191	4,619
広 島	8,079	7,856	8,179	7,667	7,680	7,571
山 口	4,459	4,318	4,311	4,151	3,644	3,809
四 国 管 区	11,931	11,125	10,880	10,622	10,596	10,318
徳 島	2,076	2,036	2,027	2,024	1,865	1,827
香 川	3,203	3,171	3,000	2,843	3,052	2,810
愛 媛	3,974	3,732	3,660	3,764	3,645	3,601
高 知	2,678	2,186	2,193	1,991	2,034	2,080
九 州 管 区	45,729	43,255	41,191	39,512	38,023	38,143
福 岡	20,866	19,712	18,898	18,125	15,938	16,286
佐 賀	2,059	1,762	2,079	1,810	2,046	2,211
長 崎	4,106	3,676	3,753	3,328	3,261	3,159
熊 本	4,872	4,711	4,234	4,687	4,881	4,607
大 分	2,897	2,730	2,175	2,116	2,133	2,162
宮 崎	2,787	3,142	2,868	2,562	2,426	2,464
鹿 児 島	3,796	3,334	3,224	3,012	3,322	3,097
沖 縄	4,346	4,188	3,960	3,872	4,016	4,157

刑法犯検挙人員の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次 都道府県
305,631	287,021	262,486	251,115	239,355	検挙人員(人)
10,518	9,797	9,409	8,835	8,426	北海道
15,970	16,025	13,812	13,274	12,549	東北管区
2,760	2,653	1,986	1,915	1,680	青森
1,807	1,939	1,679	1,508	1,430	岩手
3,899	4,001	3,527	3,537	3,457	宮城
1,735	1,689	1,469	1,436	1,423	秋田
2,386	2,448	2,253	2,037	1,918	山形
3,383	3,295	2,898	2,841	2,641	福島
40,065	38,848	34,969	32,651	32,627	東京
93,431	86,042	76,325	74,309	70,067	関東管区
6,032	5,611	4,809	5,068	5,141	茨城
4,846	4,687	3,865	3,594	3,102	栃木
5,331	4,745	4,249	4,627	4,644	群馬
19,672	18,681	16,510	15,190	13,260	埼玉
14,028	13,446	11,375	11,448	11,164	千葉
23,488	20,038	18,907	18,841	18,185	神奈川
5,315	4,980	4,316	4,232	4,050	新潟
1,569	1,599	1,336	1,357	1,245	山梨
4,494	4,061	3,766	3,198	2,785	長野
8,656	8,194	7,192	6,754	6,491	静岡
28,423	25,726	24,363	25,000	25,159	中部管区
1,694	1,526	1,460	1,235	1,454	富山
2,054	1,752	1,585	1,656	1,760	石川
1,491	1,518	1,369	1,368	1,284	福井
3,598	3,332	3,128	3,067	2,990	岐阜
16,520	14,700	14,373	15,227	15,393	愛知
3,066	2,898	2,448	2,447	2,278	三重
54,411	51,425	48,117	45,839	42,335	近畿管区
2,584	2,519	2,715	2,452	2,286	滋賀
7,842	6,759	5,508	5,495	4,767	京都
22,868	21,901	20,626	19,648	18,563	大阪
15,360	14,798	14,125	13,233	12,193	兵庫
3,119	3,027	2,812	2,644	2,308	奈良
2,638	2,421	2,331	2,367	2,218	和歌山
17,974	17,399	16,534	14,939	13,735	中国管区
1,270	1,293	1,180	1,042	1,030	鳥取
1,258	1,201	1,104	1,079	935	島根
4,930	5,010	5,013	4,338	3,780	岡山
7,201	6,702	6,326	5,938	5,631	広島
3,315	3,193	2,911	2,542	2,359	山口
9,855	9,108	8,338	7,714	7,237	四国管区
1,657	1,501	1,452	1,263	1,168	徳島
2,539	2,558	2,287	2,211	2,117	香川
3,803	3,281	3,099	2,988	2,786	愛媛
1,856	1,768	1,500	1,252	1,166	高知
34,984	32,651	30,619	28,554	27,220	九州管区
14,408	13,297	12,423	11,397	10,992	福岡
2,018	1,924	1,772	1,693	1,639	佐賀
3,251	3,152	2,748	2,359	2,072	長崎
4,385	3,957	3,443	3,671	3,340	熊本
1,833	1,876	1,778	1,742	1,628	大分
2,278	2,128	2,012	1,854	1,828	宮崎
2,937	3,045	2,798	2,430	2,426	鹿児島
3,874	3,272	3,645	3,408	3,295	沖縄

図表 3－5 都道府県別人口10万

年次 都道府県	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
全 国 総 数	1,775.7	1,604.7	1,493.6	1,430.3	1,344.2	1,252.2
北 海 道	1,304.8	1,168.2	1,087.1	1,086.1	948.0	931.4
東 北 管 区	1,071.9	979.0	898.6	876.1	822.9	795.4
青 森	1,054.9	929.9	841.7	786.8	713.4	710.2
岩 手	806.4	720.7	650.1	650.8	633.8	569.2
宮 城	1,389.9	1,320.8	1,270.3	1,242.7	1,124.3	1,070.2
秋 田	782.2	688.3	609.0	557.6	521.8	491.5
山 形	862.7	767.8	725.7	660.3	666.9	598.3
福 島	1,168.0	1,066.4	945.5	932.5	976.4	971.4
東 京	2,015.2	1,926.1	1,787.5	1,657.4	1,594.6	1,484.6
関 東 管 区	1,762.4	1,556.5	1,432.7	1,382.9	1,282.3	1,206.8
茨 城	1,742.2	1,572.8	1,536.2	1,462.8	1,416.4	1,377.1
栃 木	1,669.0	1,653.0	1,517.9	1,427.5	1,299.5	1,175.0
群 馬	1,772.7	1,603.0	1,388.5	1,336.5	1,205.5	1,110.6
埼 玉	2,211.9	1,924.7	1,781.0	1,719.8	1,600.5	1,475.4
千 葉	2,148.1	1,896.7	1,724.3	1,652.9	1,580.3	1,489.1
神 奈 川	1,624.1	1,394.4	1,264.4	1,275.9	1,103.6	1,037.4
新 潟	1,173.9	1,088.6	1,042.7	976.5	924.5	884.5
山 梨	1,187.0	1,060.8	937.2	876.7	903.8	879.9
長 野	1,216.0	1,041.0	973.7	959.3	916.5	831.6
静 岡	1,460.9	1,321.6	1,196.6	1,130.2	1,080.8	1,038.2
中 部 管 区	2,141.8	1,733.7	1,595.0	1,561.3	1,550.0	1,379.5
富 山	1,197.1	1,033.1	968.0	919.3	794.5	698.1
石 川	1,061.6	1,043.7	889.1	807.4	734.3	691.1
福 井	1,040.5	927.8	899.1	842.5	796.1	757.3
岐 阜	1,840.4	1,565.0	1,488.2	1,419.0	1,329.9	1,191.3
愛 知	2,725.2	2,155.9	1,945.2	1,955.3	1,970.4	1,732.1
三 重	1,813.5	1,479.1	1,366.5	1,334.1	1,344.2	1,232.9
近 畿 管 区	2,322.0	2,170.3	2,041.3	1,955.1	1,794.4	1,662.4
滋 賀	1,339.3	1,283.5	1,182.4	1,103.9	1,089.9	1,107.2
京 都	2,214.8	2,112.8	2,036.9	1,933.0	1,713.0	1,625.3
大 阪	2,835.4	2,641.5	2,458.0	2,389.7	2,196.9	2,047.9
兵 庫	2,170.3	2,023.6	1,917.5	1,741.6	1,619.1	1,443.9
奈 良	1,526.1	1,349.6	1,307.1	1,345.4	1,105.6	1,031.7
和 歌 山	1,655.7	1,602.6	1,514.7	1,430.2	1,396.2	1,212.5
中 国 管 区	1,316.3	1,254.6	1,176.5	1,096.0	1,036.1	988.1
鳥 取	1,230.3	1,139.7	1,043.5	1,000.8	974.2	864.8
島 根	1,083.7	968.9	857.3	828.9	736.7	730.9
岡 山	1,605.1	1,581.6	1,462.9	1,439.8	1,361.2	1,268.3
広 島	1,273.7	1,207.7	1,127.4	1,038.9	994.9	977.1
山 口	1,156.4	1,088.5	1,013.1	933.3	868.3	824.0
四 国 管 区	1,490.7	1,309.9	1,283.0	1,203.6	1,121.3	1,072.5
徳 島	1,206.9	1,138.9	1,064.8	1,056.4	923.6	888.5
香 川	1,699.7	1,464.0	1,301.0	1,142.5	1,088.4	1,043.2
愛 媛	1,477.8	1,266.7	1,241.7	1,273.5	1,201.9	1,190.9
高 知	1,537.3	1,369.0	1,395.6	1,304.9	1,218.9	1,086.1
九 州 管 区	1,443.1	1,341.0	1,287.7	1,210.6	1,138.5	1,047.4
福 岡	2,136.1	2,002.0	1,866.8	1,771.7	1,687.4	1,545.3
佐 賀	1,226.7	1,073.3	1,123.6	964.8	919.0	904.2
長 崎	855.5	743.2	715.3	737.4	657.1	639.3
熊 本	1,232.8	1,114.1	1,086.3	968.3	945.3	850.5
大 分	1,086.3	985.3	963.9	820.0	791.3	724.3
宮 崎	1,002.5	1,032.0	1,045.3	1,009.5	872.9	795.5
鹿 児 島	829.7	797.9	801.5	803.2	755.1	670.1
沖 縄	1,375.9	1,244.5	1,122.6	1,096.6	981.3	920.5

※ 人口は、万の位を四捨五入し、十万人を単位としたものを使用。

人当たり刑法犯認知件数の推移

Ｈ 23	Ｈ 24	Ｈ 25	Ｈ 26	Ｈ 27	年次 都道府県
1,176.0	1,100.5	1,032.3	953.7	864.6	全 国 総 数
895.7	827.1	760.5	747.4	656.6	北 海 道
677.7	633.5	619.6	586.4	545.2	東 北 管 区
595.9	530.3	501.2	442.5	422.0	青 森
488.7	498.5	442.8	393.5	375.7	岩 手
895.9	850.5	842.0	810.0	771.4	宮 城
402.6	382.8	361.1	360.3	315.4	秋 田
536.3	499.3	561.6	487.1	455.8	山 形
809.0	730.8	768.2	753.5	673.2	福 島
1,412.4	1,305.9	1,222.2	1,194.9	1,105.8	東 京
1,124.6	1,045.0	991.6	881.7	815.4	関 東 管 区
1,281.6	1,271.5	1,208.8	1,051.8	1,002.9	茨 城
1,153.4	1,018.5	946.2	817.3	731.5	栃 木
1,049.1	1,016.5	941.0	889.1	813.8	群 馬
1,392.4	1,293.8	1,168.8	1,067.5	1,020.2	埼 玉
1,338.9	1,303.3	1,256.5	1,097.2	994.5	千 葉
941.3	840.8	845.7	739.5	677.6	神 奈 川
856.9	804.5	753.0	714.1	650.9	新 潟
819.6	881.6	932.6	816.0	800.8	山 梨
843.2	736.3	704.3	628.9	547.7	長 野
970.3	875.6	794.5	691.9	634.6	静 岡
1,297.5	1,185.4	1,097.7	988.6	892.2	中 部 管 区
607.4	607.1	580.3	565.7	555.9	富 山
673.4	629.0	623.4	624.5	632.1	石 川
709.3	679.0	660.6	608.9	485.0	福 井
1,201.4	1,169.6	1,064.6	1,009.6	908.0	岐 阜
1,607.6	1,418.7	1,308.6	1,133.8	1,022.2	愛 知
1,234.2	1,194.1	1,095.9	975.0	843.2	三 重
1,577.9	1,510.2	1,398.0	1,317.9	1,176.9	近 畿 管 区
983.0	1,081.4	1,103.4	888.2	807.7	滋 賀
1,454.2	1,264.1	1,228.6	1,102.7	925.7	京 都
1,993.2	1,887.8	1,720.6	1,684.7	1,505.4	大 阪
1,366.6	1,350.8	1,259.5	1,180.2	1,079.5	兵 庫
951.8	869.3	881.2	795.7	716.9	奈 良
1,095.4	1,030.1	911.0	870.4	753.9	和 歌 山
942.2	873.6	818.2	755.1	647.5	中 国 管 区
823.5	718.8	713.2	679.5	564.7	鳥 取
638.0	642.9	625.6	681.7	477.4	島 根
1,256.4	1,158.2	1,043.4	905.7	774.0	岡 山
894.4	853.6	806.9	754.4	670.6	広 島
817.9	771.3	735.1	621.1	550.1	山 口
996.3	922.5	879.1	814.2	739.1	四 国 管 区
811.5	755.8	727.3	580.4	567.9	徳 島
919.8	884.9	834.0	880.2	721.2	香 川
1,154.0	999.9	971.3	899.9	814.8	愛 媛
1,000.9	885.3	932.9	815.7	809.1	高 知
991.8	947.6	888.6	808.5	717.4	九 州 管 区
1,439.6	1,416.5	1,309.7	1,240.4	1,071.8	福 岡
1,018.8	943.9	938.6	785.5	677.8	佐 賀
606.5	604.3	522.7	429.8	354.6	長 崎
780.3	728.0	713.1	604.4	570.8	熊 本
683.1	583.3	524.2	448.7	403.6	大 分
862.7	766.2	727.0	665.5	602.9	宮 崎
623.8	617.8	545.6	482.6	456.2	鹿 児 島
885.9	790.4	772.9	705.6	675.9	沖 縄

図表 3 - 6 都道府県別人口10万人

年次 都道府県	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
全 国 総 数	8.9	7.9	7.1	6.8	6.6	6.0
北 海 道	7.5	7.2	6.2	5.3	5.1	5.3
東 北 管 区	5.4	5.2	4.4	3.8	3.8	3.7
青 森	5.1	6.6	4.3	4.2	4.1	3.4
岩 手	4.3	4.6	3.3	3.3	2.8	3.3
宮 城	7.7	6.6	7.2	5.5	6.1	5.6
秋 田	4.6	3.7	3.2	2.9	2.7	2.5
山 形	4.7	4.1	3.7	1.7	2.3	1.8
福 島	4.4	4.3	3.4	3.7	3.5	3.8
東 京	10.1	9.8	8.6	9.3	8.6	7.2
関 東 管 区	9.2	7.9	7.0	6.8	6.7	5.9
茨 城	9.9	8.8	6.3	7.5	7.1	6.4
栃 木	9.6	7.0	7.1	6.9	7.2	5.4
群 馬	7.3	7.4	6.6	6.0	6.2	5.0
埼 玉	11.9	10.1	8.8	9.1	7.9	7.2
千 葉	9.8	9.3	7.7	7.1	8.9	7.7
神 奈 川	9.8	7.1	6.3	6.5	5.7	5.6
新 潟	5.4	5.7	5.5	4.6	3.8	3.1
山 梨	6.9	8.9	5.2	4.3	4.8	4.4
長 野	5.2	5.9	5.6	4.3	4.2	3.4
静 岡	6.9	6.0	6.5	6.3	6.4	4.9
中 部 管 区	9.1	7.3	6.2	6.3	6.8	5.6
富 山	3.5	3.4	3.3	2.8	2.1	2.3
石 川	4.1	5.0	3.8	2.8	2.3	1.8
福 井	3.6	4.6	2.5	3.1	2.8	4.9
岐 阜	7.1	5.5	5.5	6.4	6.2	4.5
愛 知	12.5	9.7	8.1	8.1	9.3	7.8
三 重	6.4	5.2	3.8	4.5	4.7	3.0
近 畿 管 区	12.2	10.5	9.8	8.4	8.6	8.3
滋 賀	7.5	6.0	4.6	4.4	4.1	3.8
京 都	9.2	6.9	7.3	7.0	6.8	6.7
大 阪	17.3	14.3	12.7	11.5	11.6	11.5
兵 庫	9.8	9.6	9.5	6.8	7.4	6.4
奈 良	4.6	4.4	6.0	4.6	3.2	3.6
和 歌 山	6.8	7.0	7.1	4.9	6.2	6.7
中 国 管 区	6.0	5.0	5.2	5.3	5.3	4.2
鳥 取	5.0	4.2	4.2	4.0	4.0	3.3
島 根	5.4	2.9	3.7	3.6	2.3	3.4
岡 山	6.2	5.0	5.5	7.0	6.1	4.5
広 島	6.6	6.0	5.9	5.5	6.3	4.4
山 口	5.3	4.5	4.1	4.2	4.5	4.1
四 国 管 区	7.8	6.5	5.8	5.5	4.2	4.7
徳 島	4.5	3.5	3.1	2.9	2.4	2.5
香 川	8.1	6.3	6.9	5.7	3.6	5.3
愛 媛	7.5	7.4	5.1	6.1	5.4	6.4
高 知	11.3	8.3	7.5	6.5	4.5	3.1
九 州 管 区	6.9	7.1	6.4	6.1	5.2	5.0
福 岡	9.9	10.2	9.4	9.2	7.6	7.8
佐 賀	3.8	4.8	3.8	3.6	4.2	3.9
長 崎	5.1	4.3	4.1	4.7	3.6	3.1
熊 本	5.4	7.8	4.7	5.4	3.7	3.4
大 分	4.7	4.6	3.0	3.3	2.7	2.6
宮 崎	5.9	4.5	5.9	3.9	2.8	4.0
鹿 児 島	4.2	4.5	4.5	3.1	4.1	3.4
沖 縄	7.4	7.0	7.2	6.9	5.6	4.2

※ 人口は、万の位を四捨五入し、十万人を単位としたものを使用。

当たり凶悪犯認知件数の推移

Ｈ 23	Ｈ 24	Ｈ 25	Ｈ 26	Ｈ 27	年次 都道府県
5.5	5.5	5.3	5.1	4.4	全 国 総 数
4.4	4.8	4.5	3.9	3.4	北 海 道
3.0	3.0	2.7	2.1	2.5	東 北 管 区
3.1	2.4	2.5	2.3	2.7	青 森
2.8	3.1	3.7	1.8	1.8	岩 手
3.9	4.3	3.2	2.5	3.4	宮 城
2.4	2.2	1.3	1.4	2.4	秋 田
2.0	2.3	2.7	1.6	1.7	山 形
2.8	2.9	2.7	2.2	2.4	福 島
7.3	6.9	6.4	6.8	5.6	東 京
5.5	5.5	5.1	5.2	4.1	関 東 管 区
5.1	4.8	5.1	4.5	4.9	茨 城
4.1	5.1	4.0	3.8	3.2	栃 木
4.3	5.3	4.1	4.1	3.7	群 馬
6.7	7.3	6.1	7.4	5.3	埼 玉
7.4	6.4	6.1	6.7	4.5	千 葉
5.6	6.0	5.2	4.4	3.8	神 奈 川
3.1	2.8	4.0	3.9	2.8	新 潟
4.7	4.3	5.0	4.3	4.0	山 梨
3.1	2.9	2.3	3.2	2.6	長 野
4.1	3.9	4.7	4.5	3.9	静 岡
5.4	4.4	5.0	4.2	3.9	中 部 管 区
2.3	1.5	3.4	1.6	1.4	富 山
2.3	2.8	2.9	2.4	2.9	石 川
3.1	3.0	3.3	2.5	3.4	福 井
4.6	3.3	4.0	3.6	3.7	岐 阜
7.1	5.6	6.4	5.4	4.7	愛 知
4.1	4.1	3.6	3.3	2.6	三 重
7.4	8.6	7.8	7.4	6.5	近 畿 管 区
2.9	3.9	3.7	3.2	3.6	滋 賀
4.8	5.9	5.8	5.0	3.8	京 都
10.8	12.6	11.4	10.7	9.7	大 阪
6.0	6.6	5.9	5.8	5.2	兵 庫
3.4	4.7	3.2	4.0	2.6	奈 良
3.0	3.5	4.5	4.7	2.9	和 歌 山
4.2	4.1	4.3	3.5	3.5	中 国 管 区
2.7	3.0	3.0	2.7	3.8	鳥 取
2.1	2.4	2.4	2.9	1.7	島 根
4.1	4.6	3.5	3.6	3.5	岡 山
5.2	5.3	5.8	4.1	4.2	広 島
3.9	2.6	4.2	3.0	3.1	山 口
4.1	3.8	4.6	3.9	3.8	四 国 管 区
3.0	2.6	2.9	3.1	3.0	徳 島
4.6	5.2	4.3	4.6	4.4	香 川
4.5	4.1	5.6	3.4	3.8	愛 媛
4.0	2.0	5.1	4.6	3.9	高 知
4.7	4.1	4.3	4.1	3.9	九 州 管 区
6.7	6.1	6.6	6.0	6.0	福 岡
5.0	4.3	4.4	4.0	4.0	佐 賀
1.7	2.7	2.8	2.0	1.4	長 崎
3.8	2.8	3.1	2.7	2.9	熊 本
2.5	1.7	1.8	2.8	1.7	大 分
3.6	3.3	1.5	3.6	1.4	宮 崎
3.5	2.7	2.7	3.0	2.5	鹿 児 島
5.4	4.6	4.8	4.4	5.4	沖 縄

図表 3 - 7 都道府県別人口10万人

年次 都道府県	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
全 国 総 数	57.7	59.7	57.0	54.1	50.3	49.8
北 海 道	38.4	41.0	38.3	37.6	34.1	33.2
東 北 管 区	35.8	38.1	36.1	36.1	36.0	35.7
青 森	49.0	47.9	41.4	42.8	42.1	41.9
岩 手	19.8	23.6	21.6	20.1	22.8	21.5
宮 城	34.9	39.2	42.0	38.6	40.2	39.7
秋 田	29.1	24.1	25.0	18.5	20.3	18.1
山 形	37.6	46.8	41.9	46.6	43.6	46.4
福 島	41.4	42.4	38.2	41.2	41.2	39.2
東 京	83.2	88.6	81.9	76.2	70.2	63.4
関 東 管 区	56.9	57.5	58.6	55.9	51.8	52.5
茨 城	47.2	50.3	50.7	46.7	45.3	46.7
栃 木	64.0	59.5	63.5	58.3	57.2	62.5
群 馬	43.3	40.0	41.0	38.4	40.5	57.6
埼 玉	64.3	62.2	58.1	57.5	52.6	50.1
千 葉	59.6	58.2	58.6	53.3	51.2	50.9
神 奈 川	77.4	78.7	78.5	74.8	64.4	63.3
新 潟	35.1	42.6	49.8	52.8	54.3	53.2
山 梨	40.4	40.0	34.8	29.9	27.8	27.1
長 野	19.5	26.0	41.2	42.0	34.4	32.1
静 岡	40.2	44.6	45.5	43.7	44.1	46.2
中 部 管 区	48.8	50.1	45.4	43.8	37.7	36.4
富 山	30.5	36.1	33.0	36.8	33.6	30.5
石 川	36.2	49.8	35.8	35.7	27.5	28.3
福 井	18.4	21.8	23.3	22.5	19.1	22.5
岐 阜	35.5	41.0	33.0	29.7	26.8	25.3
愛 知	62.4	61.1	56.0	55.2	46.4	44.6
三 重	40.2	38.4	37.9	33.1	30.2	29.1
近 畿 管 区	74.9	75.6	70.1	65.9	61.1	60.5
滋 賀	41.4	38.3	29.4	29.9	34.6	35.0
京 都	83.5	81.0	69.8	69.3	62.7	60.0
大 阪	86.8	82.0	75.8	70.6	66.0	64.7
兵 庫	71.7	84.6	82.7	75.4	70.0	69.9
奈 良	47.5	43.8	37.6	40.1	29.5	31.9
和 歌 山	57.4	58.5	60.4	47.6	45.1	47.9
中 国 管 区	53.8	54.8	52.6	49.6	46.5	46.6
鳥 取	42.7	39.8	35.7	29.5	28.7	31.2
島 根	30.4	34.4	29.9	23.7	18.9	20.6
岡 山	62.5	58.0	57.7	59.6	53.1	50.3
広 島	60.2	62.1	58.4	54.0	54.7	54.7
山 口	45.2	52.1	48.5	48.9	42.3	44.8
四 国 管 区	37.3	40.0	41.1	38.5	36.9	37.3
徳 島	34.0	48.5	49.3	44.6	37.3	38.3
香 川	32.6	38.6	39.9	37.3	43.2	40.3
愛 媛	35.6	34.7	36.5	39.0	35.9	37.5
高 知	49.6	43.5	37.8	33.0	30.1	32.3
九 州 管 区	52.1	55.7	51.9	48.6	46.6	48.8
福 岡	64.5	71.0	65.9	63.6	58.4	58.3
佐 賀	25.7	24.7	32.7	25.4	26.6	33.1
長 崎	62.7	57.3	52.4	51.9	48.0	49.4
熊 本	41.3	38.3	33.5	36.3	40.2	47.7
大 分	33.9	36.9	29.5	24.0	23.9	24.5
宮 崎	28.7	40.7	39.9	32.2	35.6	36.5
鹿 児 島	26.0	32.8	31.3	27.0	26.6	27.5
沖 縄	93.4	96.6	85.9	81.0	75.4	81.0

※ 人口は、万の位を四捨五入し、十万人を単位としたものを使用。

当たり粗暴犯認知件数の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次 都道府県
48.4	52.8	52.2	51.8	50.4	全 国 総 数
33.8	39.8	42.2	44.2	40.2	北 海 道
34.1	40.2	40.3	37.3	36.3	東 北 管 区
38.2	43.0	35.0	32.8	32.4	青 森
22.8	23.5	23.2	21.3	20.3	岩 手
38.3	46.1	45.0	41.2	40.1	宮 城
21.6	25.3	24.0	27.2	30.3	秋 田
44.8	54.7	67.5	62.1	59.0	山 形
32.3	39.8	45.7	39.3	37.4	福 島
62.6	66.6	64.7	66.0	67.0	東 京
51.4	55.9	53.1	52.4	51.2	関 東 管 区
41.8	46.3	43.4	53.4	61.2	茨 城
65.3	65.6	54.7	52.5	42.3	栃 木
63.0	62.1	58.9	79.2	78.3	群 馬
47.5	62.3	61.6	61.0	54.1	埼 玉
47.3	58.4	54.8	50.6	50.6	千 葉
64.1	60.9	59.1	52.7	50.5	神 奈 川
54.5	61.0	51.0	49.7	49.0	新 潟
22.6	30.6	33.3	34.4	34.5	山 梨
30.9	32.6	31.8	27.9	26.7	長 野
44.4	43.2	41.4	44.0	50.7	静 岡
35.5	38.3	40.2	42.7	43.6	中 部 管 区
30.0	35.9	29.0	33.7	31.0	富 山
24.5	28.6	29.0	30.8	37.3	石 川
24.5	34.9	36.8	38.3	36.1	福 井
23.2	33.6	34.4	48.4	49.0	岐 阜
44.2	44.2	48.2	48.1	49.8	愛 知
29.9	28.9	30.2	27.4	24.8	三 重
59.4	64.0	65.6	62.7	60.2	近 畿 管 区
31.9	50.9	52.4	37.5	34.8	滋 賀
56.8	53.5	52.3	50.5	46.9	京 都
66.5	71.2	74.7	68.8	64.7	大 阪
66.1	69.4	69.5	71.8	72.4	兵 庫
28.8	34.8	41.4	39.4	35.6	奈 良
45.9	50.3	51.0	65.4	63.7	和 歌 山
44.5	51.7	51.0	46.5	42.8	中 国 管 区
26.2	29.7	26.7	20.2	20.3	鳥 取
22.9	25.6	25.3	21.4	17.3	島 根
52.1	65.4	66.7	58.5	57.5	岡 山
48.1	56.0	54.8	52.8	46.4	広 島
45.4	50.4	48.9	41.5	38.4	山 口
34.7	38.3	38.8	44.9	37.9	四 国 管 区
29.6	30.5	29.8	25.4	26.9	徳 島
35.1	52.6	52.9	66.5	43.8	香 川
37.0	28.4	33.2	45.6	43.0	愛 媛
35.4	40.9	40.0	35.1	31.9	高 知
45.1	47.7	46.9	46.5	45.4	九 州 管 区
52.8	55.2	54.3	55.5	56.6	福 岡
36.0	43.9	42.3	41.0	41.9	佐 賀
51.2	54.6	45.6	39.4	31.6	長 崎
49.4	47.3	44.7	49.4	48.5	熊 本
23.2	29.5	31.5	28.6	22.8	大 分
38.2	38.0	42.7	41.5	42.6	宮 崎
23.9	31.1	27.7	27.8	30.6	鹿 児 島
64.1	63.6	66.4	62.0	56.0	沖 縄

図表 3－8 都道府県別人口10万人

年次 都道府県	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
全 国 総 数	1,349.8	1,200.7	1,118.9	1,080.5	1,026.2	959.5
北 海 道	999.3	872.4	818.7	845.1	730.3	713.9
東 北 管 区	774.1	698.6	648.3	635.6	605.8	590.8
青 森	772.1	650.9	603.1	552.9	515.1	509.8
岩 手	587.6	525.0	468.9	475.9	473.4	425.2
宮 城	1,002.3	950.6	929.4	931.3	835.2	802.3
秋 田	547.8	480.8	442.5	399.8	395.4	362.2
山 形	594.0	520.3	497.6	462.7	479.3	439.9
福 島	860.6	774.0	684.0	665.1	713.4	728.1
東 京	1,442.3	1,373.7	1,282.3	1,194.2	1,167.2	1,099.9
関 東 管 区	1,356.3	1,175.9	1,078.6	1,046.1	982.9	930.0
茨 城	1,362.2	1,202.7	1,196.0	1,145.3	1,096.7	1,081.3
栃 木	1,230.6	1,233.4	1,118.0	1,070.6	971.9	863.2
群 馬	1,356.2	1,232.4	1,051.9	1,018.4	911.9	844.5
埼 玉	1,706.2	1,445.7	1,342.4	1,309.9	1,241.2	1,141.1
千 葉	1,711.5	1,459.0	1,323.9	1,282.5	1,249.9	1,179.7
神 奈 川	1,223.3	1,046.1	943.8	946.8	835.1	795.0
新 潟	859.2	789.7	752.8	689.1	657.8	639.7
山 梨	911.7	816.4	707.8	664.9	705.9	699.4
長 野	934.7	764.5	697.9	699.9	693.8	638.5
静 岡	1,129.5	1,004.1	893.8	846.1	810.2	785.7
中 部 管 区	1,670.5	1,298.4	1,193.6	1,182.9	1,191.8	1,064.1
富 山	896.7	756.5	700.4	665.0	588.0	524.4
石 川	783.7	762.0	674.2	622.1	606.7	591.7
福 井	797.5	705.6	680.1	646.0	603.6	565.8
岐 阜	1,432.2	1,180.2	1,137.1	1,075.6	1,015.4	903.6
愛 知	2,146.0	1,619.8	1,460.3	1,487.4	1,514.6	1,336.0
三 重	1,395.2	1,096.3	984.6	995.9	1,033.5	946.9
近 畿 管 区	1,790.6	1,664.4	1,565.3	1,510.6	1,392.3	1,296.4
滋 賀	996.1	956.3	892.0	834.1	830.5	860.0
京 都	1,617.0	1,554.1	1,507.9	1,439.9	1,290.1	1,244.0
大 阪	2,264.5	2,111.3	1,951.1	1,909.4	1,760.5	1,636.5
兵 庫	1,625.1	1,477.5	1,406.8	1,289.5	1,195.8	1,079.8
奈 良	1,158.2	1,005.1	995.2	1,026.6	864.4	818.7
和 歌 山	1,175.2	1,145.7	1,104.9	1,048.6	1,044.5	899.6
中 国 管 区	936.4	888.1	826.2	781.1	750.9	723.8
鳥 取	831.0	768.3	716.5	726.7	732.2	648.7
島 根	782.6	720.0	639.9	625.9	551.9	558.1
岡 山	1,184.6	1,166.2	1,070.5	1,077.0	1,030.3	977.7
広 島	897.2	835.8	767.9	712.7	698.4	695.0
山 口	795.3	745.1	689.2	632.9	598.9	565.1
四 国 管 区	1,139.8	1,000.9	988.1	930.8	881.6	850.9
徳 島	872.3	811.8	760.4	762.0	683.0	650.0
香 川	1,289.3	1,108.0	1,000.8	890.5	852.6	845.6
愛 媛	1,166.8	1,003.5	982.7	1,004.5	975.6	970.6
高 知	1,169.9	1,051.1	1,086.6	1,021.0	951.9	848.6
九 州 管 区	1,108.9	1,017.2	985.9	935.9	888.3	804.5
福 岡	1,662.6	1,535.6	1,451.3	1,388.8	1,335.9	1,191.6
佐 賀	971.8	852.6	878.9	786.0	751.8	733.4
長 崎	570.7	489.9	469.1	491.8	446.4	449.0
熊 本	945.2	866.0	851.4	754.9	742.9	654.7
大 分	816.8	712.5	723.3	624.8	606.5	556.0
宮 崎	814.5	824.0	823.5	788.8	697.1	630.9
鹿 児 島	666.4	631.5	644.5	658.8	614.0	546.9
沖 縄	999.3	875.4	782.7	777.6	699.7	650.3

※ 人口は、万の位を四捨五入し、十万人を単位としたものを使用。

当たり窃盗犯認知件数の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次 都道府県
901.8	830.7	770.8	705.9	635.4	全 国 総 数
667.7	594.0	523.3	512.0	440.4	北 海 道
504.6	451.9	434.3	409.5	382.1	東 北 管 区
422.5	364.4	343.8	297.2	277.6	青 森
368.9	372.2	315.8	276.1	263.2	岩 手
682.2	611.3	616.1	587.5	552.8	宮 城
296.8	282.7	263.4	251.9	219.0	秋 田
379.2	342.6	358.4	318.9	311.6	山 形
610.3	517.6	522.9	519.1	475.0	福 島
1,054.8	953.4	887.0	875.0	807.4	東 京
866.9	795.9	753.0	657.6	609.3	関 東 管 区
1,017.2	1,005.0	952.5	807.7	767.2	茨 城
867.0	744.4	697.4	592.3	539.7	栃 木
794.5	755.9	695.3	636.8	575.3	群 馬
1,087.3	988.5	878.8	790.5	775.7	埼 玉
1,048.1	1,009.4	983.8	837.6	749.6	千 葉
720.0	643.6	642.2	562.0	514.1	神 奈 川
614.8	549.1	523.4	491.3	452.2	新 潟
662.0	722.4	755.3	646.5	646.9	山 梨
649.1	547.3	520.9	453.8	386.1	長 野
726.8	657.4	593.3	500.4	449.1	静 岡
1,001.9	903.1	816.4	725.2	643.8	中 部 管 区
451.4	450.2	427.8	400.6	379.2	富 山
568.0	501.6	487.5	489.6	490.0	石 川
541.5	518.4	490.8	451.1	343.3	福 井
932.6	908.6	788.9	727.8	656.9	岐 阜
1,231.7	1,071.4	965.9	824.0	729.1	愛 知
968.6	920.7	835.8	747.4	636.0	三 重
1,223.9	1,161.5	1,064.9	1,005.2	886.2	近 畿 管 区
763.1	807.8	814.2	649.7	586.0	滋 賀
1,109.1	945.7	936.7	824.5	681.7	京 都
1,577.9	1,490.1	1,341.3	1,333.6	1,183.2	大 阪
1,019.8	1,002.3	926.8	853.1	767.0	兵 庫
761.1	678.3	664.8	582.5	497.1	奈 良
808.1	744.4	649.4	611.9	514.1	和 歌 山
693.7	624.6	580.5	534.3	448.3	中 国 管 区
633.2	548.7	535.8	523.5	438.5	鳥 取
462.7	460.9	460.4	524.9	348.6	島 根
968.9	867.7	776.3	666.2	556.0	岡 山
640.7	593.0	547.5	510.2	449.1	広 島
571.6	517.0	501.7	412.9	354.3	山 口
785.9	721.7	669.3	577.7	539.3	四 国 管 区
595.9	558.9	528.1	409.8	389.4	徳 島
749.1	689.7	626.1	589.5	501.7	香 川
933.9	814.4	764.6	655.5	610.4	愛 媛
763.0	671.9	701.7	597.1	622.1	高 知
772.7	726.0	673.3	607.8	528.5	九 州 管 区
1,130.7	1,104.3	1,001.6	951.0	793.5	福 岡
824.6	726.1	725.0	593.9	492.3	佐 賀
417.7	399.1	350.3	279.0	236.1	長 崎
607.2	560.8	557.4	449.0	415.9	熊 本
526.9	433.7	382.8	330.0	298.5	大 分
693.0	594.5	554.0	504.3	457.5	宮 崎
512.2	499.1	429.1	366.2	345.8	鹿 児 島
651.9	568.0	559.6	511.4	495.4	沖 縄

図表 3－9 都道府県別人口10万人

年次 都道府県	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
全 国 総 数	76.3	65.9	59.5	57.5	41.7	34.8
北 海 道	42.6	39.6	31.9	37.2	24.3	20.5
東 北 管 区	69.8	59.2	46.9	48.3	33.1	32.2
青 森	61.2	54.7	44.4	44.4	26.7	27.3
岩 手	70.4	53.1	41.4	44.1	30.2	27.2
宮 城	84.8	82.5	62.9	64.6	48.8	50.1
秋 田	82.3	68.7	49.7	50.5	26.4	28.7
山 形	65.3	49.2	43.3	37.0	27.3	21.5
福 島	54.1	40.2	35.4	38.7	30.1	26.8
東 京	112.0	101.2	99.6	90.1	69.0	62.0
関 東 管 区	67.3	57.6	54.2	53.7	35.6	30.9
茨 城	71.1	65.4	53.2	54.5	39.0	33.2
栃 木	102.1	93.9	94.7	82.1	65.8	61.7
群 馬	80.1	72.7	62.8	59.5	51.1	42.0
埼 玉	58.0	51.0	52.7	49.7	28.5	27.0
千 葉	64.3	57.0	53.2	58.2	34.1	29.0
神 奈 川	66.6	50.7	48.6	54.4	31.6	28.2
新 潟	62.9	56.0	46.1	45.3	30.8	26.4
山 梨	62.1	46.2	38.9	32.7	29.4	25.4
長 野	64.9	60.2	60.2	49.7	33.0	24.0
静 岡	67.2	55.8	50.9	46.5	39.6	31.7
中 部 管 区	72.8	59.3	55.9	50.6	40.8	31.2
富 山	64.7	51.7	51.0	44.2	25.7	24.2
石 川	61.3	55.8	41.9	35.0	20.7	20.8
福 井	44.8	44.4	28.9	26.5	27.9	21.0
岐 阜	61.2	63.6	63.1	54.5	38.4	33.6
愛 知	75.2	56.5	53.1	53.2	46.3	30.5
三 重	96.2	78.3	78.9	59.7	46.7	44.5
近 畿 管 区	89.8	77.3	66.4	69.3	53.7	41.3
滋 賀	63.9	57.4	43.9	43.6	27.1	24.1
京 都	80.8	63.9	51.3	53.5	43.0	30.4
大 阪	107.4	91.3	80.2	87.5	68.2	53.6
兵 庫	78.1	68.3	61.3	57.2	46.7	35.7
奈 良	74.6	73.3	56.8	65.6	45.6	31.7
和 歌 山	90.1	80.3	65.8	59.2	41.4	30.4
中 国 管 区	86.0	76.1	63.0	52.9	37.2	28.7
鳥 取	102.2	93.0	58.0	52.8	37.8	24.0
島 根	80.0	52.6	48.1	42.4	34.1	33.3
岡 山	78.7	76.7	62.6	54.7	38.4	29.3
広 島	84.3	74.3	64.8	53.2	35.6	26.9
山 口	95.3	82.9	65.0	54.8	39.7	31.4
四 国 管 区	82.5	59.1	51.2	55.0	41.7	29.2
徳 島	75.6	52.9	54.5	60.5	36.4	29.5
香 川	83.2	57.4	47.1	47.8	41.6	24.5
愛 媛	84.1	61.9	52.1	55.0	42.6	31.5
高 知	85.6	62.3	45.0	58.5	45.5	30.9
九 州 管 区	64.0	57.7	51.1	46.2	32.2	26.1
福 岡	74.6	64.0	54.7	50.3	33.5	25.9
佐 賀	48.7	40.8	50.2	37.1	31.3	28.4
長 崎	74.3	66.7	57.6	58.9	38.3	29.2
熊 本	66.9	48.6	46.4	41.8	27.1	21.2
大 分	41.4	47.9	45.1	37.2	26.6	21.8
宮 崎	56.9	73.7	52.5	57.9	32.9	29.5
鹿 児 島	37.7	37.5	28.7	27.5	23.2	18.4
沖 縄	75.7	67.6	65.1	51.2	43.4	39.2

※ 人口は、万の位を四捨五入し、十万人を単位としたものを使用。

当たり知能犯認知件数の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次 都道府県
32.0	31.6	33.9	36.2	34.3	全 国 総 数
21.5	19.2	22.1	22.2	20.9	北 海 道
22.0	22.7	27.8	27.8	27.2	東 北 管 区
19.4	19.1	29.1	24.4	23.3	青 森
16.4	18.5	20.6	22.3	18.8	岩 手
26.0	33.6	34.9	37.7	43.0	宮 城
24.2	21.2	23.1	26.0	22.0	秋 田
23.2	18.5	28.5	19.3	21.2	山 形
19.8	17.5	26.8	29.3	24.3	福 島
54.7	54.7	57.7	59.8	52.4	東 京
30.3	28.5	30.6	32.8	30.0	関 東 管 区
32.3	34.4	30.9	32.8	31.8	茨 城
47.8	47.9	48.2	44.7	37.9	栃 木
37.5	35.1	33.5	37.7	32.7	群 馬
24.5	21.4	25.4	31.8	31.0	埼 玉
32.9	32.5	32.0	34.9	32.5	千 葉
28.5	25.8	32.4	32.0	27.3	神 奈 川
28.8	31.8	29.9	32.6	30.1	新 潟
17.7	17.0	21.6	19.3	21.0	山 梨
24.3	25.2	30.3	35.4	33.4	長 野
33.4	27.0	26.3	26.4	23.8	静 岡
25.4	25.5	28.2	34.6	36.4	中 部 管 区
18.2	19.2	22.7	31.1	35.4	富 山
17.7	19.8	23.3	27.1	29.3	石 川
19.4	18.1	15.1	17.1	18.0	福 井
24.9	26.5	32.8	45.1	38.4	岐 阜
27.7	24.9	27.5	35.0	39.4	愛 知
28.4	37.9	38.0	34.4	33.3	三 重
39.4	37.5	41.6	41.8	41.6	近 畿 管 区
27.3	34.9	45.7	48.3	41.4	滋 賀
29.3	27.0	29.3	31.7	29.9	京 都
50.7	45.8	52.6	49.7	49.7	大 阪
32.6	33.1	33.4	37.7	36.7	兵 庫
32.7	26.9	29.6	34.0	48.7	奈 良
28.5	29.1	33.0	26.8	21.9	和 歌 山
28.6	32.3	31.7	34.5	31.9	中 国 管 区
26.2	29.3	27.8	23.0	18.3	鳥 取
31.3	35.1	33.0	25.3	25.1	島 根
28.6	28.0	29.6	35.6	31.5	岡 山
28.1	35.6	35.8	39.4	36.7	広 島
29.4	33.8	29.8	32.9	31.9	山 口
33.8	32.7	32.0	37.6	29.9	四 国 管 区
41.1	32.5	26.4	26.4	30.4	徳 島
26.0	38.5	40.4	49.7	36.6	香 川
34.1	28.1	28.9	35.3	27.4	愛 媛
35.6	29.6	32.9	37.7	24.9	高 知
23.4	25.5	25.2	28.0	28.6	九 州 管 区
23.4	26.5	29.8	36.8	37.5	福 岡
26.3	28.9	23.0	32.4	33.5	佐 賀
27.5	34.6	28.8	32.6	24.8	長 崎
22.3	23.1	20.1	19.3	21.5	熊 本
18.2	17.8	16.6	19.2	19.8	大 分
27.8	32.2	28.8	23.4	22.3	宮 崎
13.1	12.2	13.5	11.9	13.3	鹿 児 島
34.2	33.5	31.0	31.0	36.9	沖 縄

図表 3-10 都道府県別人口10万人

年次 都道府県	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
全 国 総 数	9.5	9.3	8.8	8.3	8.0	8.5
北 海 道	8.7	9.0	7.3	7.2	8.8	9.7
東 北 管 区	6.6	6.4	6.8	6.9	6.1	7.0
青 森	9.6	6.4	9.4	9.8	7.9	9.4
岩 手	4.9	4.3	5.6	4.8	5.1	4.6
宮 城	7.3	9.1	10.0	10.0	8.5	9.0
秋 田	5.7	2.8	4.2	4.5	3.6	4.6
山 形	5.5	4.8	4.3	3.2	2.7	4.0
福 島	6.1	7.8	5.3	6.2	6.3	7.5
東 京	13.0	14.0	13.6	13.0	11.5	10.8
関 東 管 区	8.9	8.5	7.6	7.1	6.5	6.9
茨 城	10.2	8.1	7.2	6.0	6.2	6.7
栃 木	12.1	9.7	8.7	7.2	6.2	8.2
群 馬	9.9	6.9	6.1	4.2	5.0	6.9
埼 玉	9.9	9.3	8.3	8.4	7.7	8.6
千 葉	7.3	7.5	7.3	8.3	6.4	7.0
神 奈 川	8.5	8.4	7.1	6.6	5.8	5.7
新 潟	9.1	8.8	8.5	6.5	4.9	4.6
山 梨	8.3	9.8	7.6	6.1	6.3	3.9
長 野	5.7	6.5	6.0	7.0	6.0	6.9
静 岡	8.9	9.5	8.9	6.9	8.7	7.7
中 部 管 区	8.8	8.5	7.6	7.2	6.6	6.5
富 山	9.5	7.5	5.4	5.6	3.9	3.5
石 川	10.2	7.5	6.3	4.8	3.8	3.8
福 井	5.9	3.9	5.9	6.9	6.8	4.1
岐 阜	8.4	7.7	7.5	5.4	6.2	7.3
愛 知	8.4	9.0	8.2	8.2	7.3	7.5
三 重	10.7	10.7	8.3	7.8	6.9	5.8
近 畿 管 区	11.4	11.5	11.3	10.6	10.9	11.9
滋 賀	10.2	7.4	6.5	5.0	7.5	8.2
京 都	13.8	12.1	14.7	11.9	10.7	11.5
大 阪	13.8	14.0	13.1	12.9	13.6	16.4
兵 庫	8.1	10.6	9.5	9.7	9.2	8.0
奈 良	8.9	6.9	7.7	6.2	5.1	5.5
和 歌 山	8.6	6.6	8.3	6.1	9.6	9.0
中 国 管 区	8.6	9.2	9.2	7.4	7.4	7.2
鳥 取	10.2	8.0	11.2	6.8	7.3	5.8
島 根	6.1	5.4	3.3	5.6	5.9	6.9
岡 山	7.6	9.4	10.5	7.4	6.6	6.1
広 島	10.3	11.7	10.8	9.1	10.0	9.5
山 口	7.3	6.3	5.9	5.1	4.3	4.7
四 国 管 区	7.6	6.2	5.4	6.3	7.5	7.6
徳 島	6.1	6.6	4.3	5.6	6.6	6.6
香 川	6.7	5.9	5.9	6.1	9.0	9.3
愛 媛	7.3	5.7	4.5	6.0	8.4	7.4
高 知	10.8	7.3	6.6	7.5	5.1	6.6
九 州 管 区	8.9	8.1	7.5	7.5	7.6	9.6
福 岡	10.0	11.0	10.0	9.8	9.4	12.5
佐 賀	10.4	5.4	6.2	5.4	5.6	7.0
長 崎	14.1	11.4	10.3	7.9	8.4	10.3
熊 本	7.1	6.2	6.1	6.6	7.3	14.6
大 分	5.8	4.4	2.6	3.5	3.5	3.5
宮 崎	9.2	6.6	8.2	8.9	10.7	8.3
鹿 児 島	5.1	5.1	4.1	4.1	4.4	2.9
沖 縄	7.2	6.6	5.6	7.4	6.6	7.8

※ 人口は、万の位を四捨五入し、十万人を単位としたものを使用。

当たり風俗犯認知件数の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次 都道府県
8.6	9.4	9.5	9.4	8.7	全 国 総 数
10.5	12.8	16.5	16.5	17.7	北 海 道
6.4	6.2	6.3	7.1	6.5	東 北 管 区
9.8	6.4	5.8	9.6	6.9	青 森
5.5	4.5	7.5	6.9	6.2	岩 手
7.8	9.7	8.3	9.5	10.0	宮 城
3.9	2.9	2.8	3.6	3.5	秋 田
3.8	4.5	6.8	6.5	4.0	山 形
5.6	5.6	5.6	4.9	5.4	福 島
10.2	11.0	10.4	10.4	8.5	東 京
6.6	7.7	7.4	7.6	7.2	関 東 管 区
6.0	7.6	6.8	6.9	5.7	茨 城
7.6	6.0	4.2	5.1	3.7	栃 木
6.0	5.8	6.5	5.1	3.9	群 馬
7.8	8.7	10.4	9.8	8.3	埼 玉
6.4	9.5	6.8	7.5	7.4	千 葉
6.3	7.3	7.8	9.5	9.0	神 奈 川
4.8	6.6	5.3	5.0	6.3	新 潟
5.1	4.7	5.3	5.5	5.6	山 梨
7.3	7.7	6.2	5.3	7.9	長 野
6.9	7.1	6.6	6.2	6.2	静 岡
6.3	7.3	7.6	7.5	6.6	中 部 管 区
3.7	3.5	4.4	4.5	2.9	富 山
5.8	7.3	8.3	8.8	6.8	石 川
3.3	7.0	4.9	5.1	5.0	福 井
5.7	8.3	8.5	9.0	7.4	岐 阜
7.5	7.7	8.5	7.8	7.3	愛 知
5.3	7.3	5.9	6.4	5.3	三 重
13.9	14.8	14.3	13.0	12.4	近 畿 管 区
12.1	14.6	13.8	8.2	8.1	滋 賀
11.8	14.8	12.0	10.6	9.1	京 都
19.3	19.9	19.6	17.4	16.4	大 阪
9.7	10.4	9.7	9.7	10.0	兵 庫
4.8	5.0	7.2	10.5	9.5	奈 良
9.0	7.1	9.9	9.0	8.8	和 歌 山
7.1	7.6	7.2	7.0	6.3	中 国 管 区
4.2	6.5	7.0	5.3	5.7	鳥 取
6.7	10.0	6.4	5.9	6.9	島 根
6.7	8.0	7.8	7.0	5.5	岡 山
9.1	8.5	8.6	8.7	7.6	広 島
4.9	5.1	4.4	4.9	4.6	山 口
7.0	6.6	8.4	11.3	6.8	四 国 管 区
6.8	5.3	3.4	5.6	8.1	徳 島
6.9	5.8	8.2	13.4	8.9	香 川
6.9	8.0	11.4	16.1	6.1	愛 媛
7.6	5.6	8.1	5.0	3.7	高 知
8.9	9.2	9.8	9.2	9.2	九 州 管 区
14.0	15.5	17.2	15.2	15.9	福 岡
7.1	8.3	7.5	8.1	5.5	佐 賀
9.3	8.7	5.7	6.9	4.4	長 崎
6.6	4.8	6.4	6.2	6.1	熊 本
3.7	3.1	3.3	2.7	3.6	大 分
7.5	5.6	6.3	9.3	7.7	宮 崎
2.3	4.2	3.8	3.2	4.6	鹿 児 島
7.6	7.7	8.4	6.9	7.6	沖 縄

図表 3-11 都道府県別人口10万人当たり

年次 都道府県	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
全 国 総 数	273.5	261.1	242.4	223.2	211.4	193.6
北 海 道	208.3	199.0	184.7	153.6	145.4	148.8
東 北 管 区	180.1	171.6	156.0	145.3	138.3	126.0
青 森	157.9	163.4	139.1	132.7	117.5	118.4
岩 手	119.4	110.1	109.4	102.6	99.6	87.5
宮 城	253.0	232.8	218.8	192.7	185.6	163.5
秋 田	112.6	108.1	84.4	81.3	73.5	75.4
山 形	155.7	142.8	135.0	109.3	111.8	84.6
福 島	201.4	197.8	179.0	177.6	182.0	166.1
東 京	354.6	338.7	301.6	274.7	268.2	241.4
関 東 管 区	263.8	249.1	226.7	213.3	198.8	180.6
茨 城	241.6	237.4	222.8	202.8	222.2	202.7
栃 木	250.8	249.6	226.1	202.5	191.3	174.1
群 馬	276.0	243.8	220.2	210.2	191.0	154.8
埼 玉	361.7	346.4	310.7	285.2	262.5	241.5
千 葉	295.6	305.6	273.8	243.4	230.0	214.8
神 奈 川	238.6	203.2	180.1	186.8	160.9	139.6
新 潟	202.3	185.8	179.9	178.3	173.0	157.5
山 梨	157.6	139.4	143.0	138.8	129.6	119.6
長 野	186.1	178.0	162.8	156.5	145.1	126.7
静 岡	208.2	201.7	191.0	180.7	171.8	162.0
中 部 管 区	331.7	310.1	286.2	270.5	266.4	235.7
富 山	192.2	178.0	175.0	164.8	141.2	113.4
石 川	166.2	163.6	127.0	107.1	73.3	44.7
福 井	170.4	147.5	158.5	137.5	136.0	139.0
岐 阜	296.0	267.0	242.0	247.4	237.0	217.0
愛 知	420.8	399.8	359.5	343.2	346.5	305.8
三 重	264.9	250.3	253.1	233.1	222.1	203.5
近 畿 管 区	343.2	331.1	318.3	290.4	267.9	243.9
滋 賀	220.1	218.1	205.9	186.9	186.0	176.1
京 都	410.5	394.8	386.0	351.3	299.6	272.7
大 阪	345.5	328.7	325.1	297.9	277.0	265.2
兵 庫	377.7	373.0	347.6	303.1	290.1	244.2
奈 良	232.3	216.3	203.8	202.3	157.9	140.3
和 歌 山	317.6	304.5	268.2	263.8	249.4	218.9
中 国 管 区	225.5	221.3	220.2	199.6	188.8	177.6
鳥 取	239.3	226.3	218.0	181.0	164.2	151.8
島 根	179.1	153.6	132.4	127.7	123.7	108.6
岡 山	265.6	266.4	256.2	234.2	226.7	200.4
広 島	215.1	217.7	219.7	204.5	189.9	186.7
山 口	208.1	197.6	200.3	187.5	178.6	173.9
四 国 管 区	215.6	197.0	191.5	167.6	149.5	142.9
徳 島	214.4	215.6	193.3	180.8	158.0	161.6
香 川	279.8	247.8	200.4	155.1	138.4	118.2
愛 媛	176.5	153.5	160.7	162.9	134.1	137.4
高 知	210.1	196.6	212.1	178.4	181.8	164.6
九 州 管 区	202.2	195.1	185.0	166.4	158.6	153.5
福 岡	314.5	310.3	275.5	250.0	242.5	249.1
佐 賀	166.3	145.1	151.8	107.2	99.6	98.3
長 崎	128.5	113.7	121.9	122.2	112.4	98.2
熊 本	166.9	147.2	144.2	123.2	124.1	108.8
大 分	183.7	178.9	160.5	127.3	128.1	115.9
宮 崎	87.3	82.4	115.4	117.8	93.7	86.2
鹿 児 島	90.2	86.6	88.5	82.7	82.9	71.1
沖 縄	192.9	191.2	176.1	172.5	150.4	138.0

※ 人口は、万の位を四捨五入し、十万人を単位としたものを使用。

その他の刑法犯認知件数の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次 都道府県
179.7	170.5	160.6	145.3	131.5	全 国 総 数
157.8	156.5	151.9	148.6	133.9	北 海 道
107.7	109.6	108.2	102.7	90.6	東 北 管 区
102.9	95.0	84.9	76.2	79.1	青 森
72.2	76.6	72.0	65.1	65.5	岩 手
137.7	145.4	134.5	131.6	122.2	宮 城
53.7	48.5	46.5	50.2	38.2	秋 田
83.3	76.8	97.6	78.6	58.3	山 形
138.3	147.6	164.4	158.7	128.7	福 島
222.9	213.3	196.1	177.0	164.9	東 京
163.8	151.6	142.5	126.0	113.7	関 東 管 区
179.1	173.3	170.1	146.6	132.1	茨 城
161.7	149.6	137.8	118.9	104.9	栃 木
143.9	152.4	142.9	126.3	120.0	群 馬
218.6	205.6	186.6	166.9	145.8	埼 玉
196.8	187.1	173.1	159.9	149.9	千 葉
116.8	97.2	99.0	78.8	73.0	神 奈 川
151.0	153.1	139.4	131.6	110.6	新 潟
107.6	102.6	112.3	106.1	88.8	山 梨
128.4	120.6	112.8	103.3	91.0	長 野
154.7	136.9	122.2	110.4	101.0	静 岡
223.0	206.7	200.3	174.4	157.9	中 部 管 区
101.8	96.7	93.0	94.2	106.1	富 山
55.2	68.9	72.3	65.8	65.7	石 川
117.5	97.6	109.9	94.8	79.3	福 井
210.4	189.2	196.1	175.9	152.7	岐 阜
289.3	264.9	252.3	213.6	191.9	愛 知
197.7	195.2	182.4	156.1	141.2	三 重
234.1	223.8	203.9	187.8	170.1	近 畿 管 区
145.8	169.3	173.6	141.3	133.9	滋 賀
242.5	217.3	192.5	180.5	154.2	京 都
268.0	248.1	221.0	204.4	181.6	大 阪
232.5	228.9	214.2	202.2	188.3	兵 庫
121.1	119.6	134.9	125.3	123.4	奈 良
200.9	195.7	163.2	152.6	142.5	和 歌 山
164.1	153.3	143.5	129.2	114.7	中 国 管 区
131.2	101.7	112.8	104.8	78.0	鳥 取
112.3	108.9	98.0	101.4	77.9	島 根
196.0	184.4	159.4	134.8	120.1	岡 山
163.1	155.2	154.4	139.3	126.6	広 島
162.8	162.4	146.2	125.9	117.9	山 口
130.8	119.4	126.0	138.8	121.4	四 国 管 区
135.1	126.0	136.8	110.1	110.1	徳 島
98.1	93.1	102.1	156.5	125.8	香 川
137.6	116.9	127.5	143.9	124.1	愛 媛
155.3	135.3	145.0	136.1	122.7	高 知
137.0	135.1	129.1	112.8	101.8	九 州 管 区
211.9	208.9	200.3	175.8	162.4	福 岡
119.8	132.5	136.5	106.1	100.6	佐 賀
99.1	104.6	89.6	69.8	56.4	長 崎
90.9	89.2	81.3	77.8	75.8	熊 本
108.7	97.6	88.2	65.5	57.3	大 分
92.5	92.5	93.7	83.5	71.4	宮 崎
68.7	68.5	68.9	70.6	59.5	鹿 児 島
122.7	113.0	102.6	89.9	74.6	沖 縄

図表 3-12 窃盗犯の

年次 区分		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
窃盗	認知件数(件)	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,379,752	1,308,378	1,229,059
	検挙件数(件)	429,038	416,281	395,243	379,839	361,969	327,786
	検挙人員(人)	194,119	187,654	180,446	174,738	175,823	175,214
	侵入窃盗	認知件数	244,776	205,463	175,728	148,771	136,749
		検挙件数	104,454	100,824	96,266	81,545	70,307
		検挙人員	12,564	12,434	12,037	10,852	10,766
	乗り物盗	認知件数	556,987	517,815	510,162	504,020	474,314
		検挙件数	58,841	56,659	51,911	49,552	40,996
		検挙人員	37,768	36,254	33,193	29,162	26,842
	非侵入窃盗	認知件数	923,309	811,250	744,066	658,738	617,996
		検挙件数	265,743	258,798	247,066	234,683	216,483
		検挙人員	143,787	138,966	135,216	134,497	137,606

図表 3-13 侵入窃盗の

年次 区分		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
侵入窃盗	認知件数(件)	244,776	205,463	175,728	155,270	148,771	136,749
	検挙件数(件)	104,454	100,824	96,266	87,047	81,545	70,307
	検挙人員(人)	12,564	12,434	12,037	11,079	10,852	10,766
	うち 住宅対象	認知件数	142,945	120,023	103,490	91,195	74,652
		検挙件数	60,486	58,717	54,491	49,600	39,880
		検挙人員	4,875	4,830	4,462	4,182	4,072
	空き巣	認知件数	111,700	91,461	76,894	67,526	54,536
		検挙件数	45,611	43,106	40,893	37,432	28,364
		検挙人員	3,477	3,403	3,120	2,900	2,927
	忍込み	認知件数	24,159	22,442	21,154	18,827	16,184
		検挙件数	12,362	13,143	11,344	10,098	9,732
		検挙人員	741	810	784	726	615
	居空き	認知件数	7,086	6,120	5,442	4,842	3,932
		検挙件数	2,513	2,468	2,254	2,070	1,784
		検挙人員	657	617	558	556	530
	うち 金庫破り	認知件数	6,472	4,921	3,881	3,055	2,918
		検挙件数	3,300	2,696	2,787	2,169	1,572
		検挙人員	544	437	407	343	320
	うち 学校荒し	認知件数	3,923	3,133	2,525	2,314	2,170
		検挙件数	2,009	1,980	1,408	1,185	1,010
		検挙人員	894	738	655	504	465
	うち 事務所荒し	認知件数	30,465	25,181	20,347	17,459	14,829
		検挙件数	11,988	11,884	11,236	10,862	9,686
		検挙人員	1,313	1,280	1,154	1,053	963
	うち 出店荒し	認知件数	34,573	27,718	22,821	20,299	20,494
		検挙件数	16,106	14,756	14,558	12,204	11,331
		検挙人員	1,837	1,807	1,651	1,567	1,498
	うち 倉庫荒し	認知件数	7,143	7,573	7,158	6,811	6,522
		検挙件数	2,834	3,315	3,589	3,260	3,052
		検挙人員	1,187	1,301	1,462	1,386	1,325

手口別認知・検挙状況の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次	区分
1,152,492	1,059,131	981,233	897,259	807,560	認知件数(件)	窃盗
305,922	286,636	254,822	235,519	226,001	検挙件数(件)	
168,514	153,864	138,947	131,490	123,847	検挙人員(人)	
126,382	115,328	107,313	93,566	86,373	認知件数	侵入窃盗
65,270	62,298	53,914	50,500	46,786	検挙件数	
10,586	9,719	9,063	8,231	7,820	検挙人員	
443,305	397,787	376,244	352,045	309,837	認知件数	乗り物盗
37,716	33,481	30,035	27,161	24,852	検挙件数	
23,667	20,788	17,852	15,911	13,520	検挙人員	
582,805	546,016	497,676	451,648	411,350	認知件数	非侵入窃盗
202,936	190,857	170,873	157,858	154,363	検挙件数	
134,261	123,357	112,032	107,348	102,507	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次	区分
126,382	115,328	107,313	93,566	86,373	認知件数(件)	侵入窃盗
65,270	62,298	53,914	50,500	46,786	検挙件数(件)	
10,586	9,719	9,063	8,231	7,820	検挙人員(人)	
67,008	61,012	57,821	48,120	46,091	認知件数	うち 住宅対象
35,546	32,491	27,880	24,857	25,346	検挙件数	
3,930	3,671	3,381	3,118	2,956	検挙人員	
46,899	43,661	40,716	34,171	31,430	認知件数	空き巣
25,282	22,459	19,504	17,271	16,638	検挙件数	
2,740	2,552	2,383	2,246	2,089	検挙人員	
16,409	13,649	13,790	11,188	12,251	認知件数	忍込み
8,773	8,320	7,083	6,340	7,538	検挙件数	
678	673	600	554	499	検挙人員	
3,700	3,702	3,315	2,761	2,410	認知件数	居空き
1,491	1,712	1,293	1,246	1,170	検挙件数	
512	446	398	318	368	検挙人員	
2,611	2,595	2,257	2,186	1,916	認知件数	うち 金庫破り
1,417	1,325	1,129	1,026	994	検挙件数	
288	296	262	273	283	検挙人員	
1,710	1,331	1,297	1,176	1,010	認知件数	うち 学校荒し
987	840	778	682	590	検挙件数	
431	303	268	236	237	検挙人員	
13,363	12,383	10,804	9,146	8,279	認知件数	うち 事務所荒し
6,371	7,594	5,575	5,089	4,132	検挙件数	
897	858	807	782	732	検挙人員	
19,078	16,459	15,163	13,844	11,319	認知件数	うち 出店荒し
9,889	8,861	7,991	8,445	6,694	検挙件数	
1,522	1,373	1,235	1,248	1,057	検挙人員	
7,930	7,308	6,346	6,617	5,997	認知件数	うち 倉庫荒し
3,798	3,531	3,140	3,296	2,680	検挙件数	
1,414	1,299	1,142	954	863	検挙人員	

図表 3-14 乗り物盗の

区分 \ 年次		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
乗り物盗	認知件数(件)	556,987	517,815	510,162	504,020	500,869	474,314
	検挙件数(件)	58,841	56,659	51,911	49,552	45,741	40,996
	検挙人員(人)	37,768	36,254	33,193	29,162	28,617	26,842
	自動車盗	認知件数	46,728	36,058	31,790	27,668	23,970
		検挙件数	14,898	13,288	13,507	12,569	8,433
		検挙人員	3,366	3,056	2,380	2,228	1,837
	オートバイ盗	認知件数	104,155	93,294	83,028	80,857	82,811
		検挙件数	11,621	12,426	10,161	8,930	9,437
		検挙人員	8,665	7,766	7,131	6,062	5,954
	自転車盗	認知件数	406,104	388,463	395,344	395,495	392,098
		検挙件数	32,322	30,945	28,243	28,053	26,747
		検挙人員	25,737	25,432	23,682	20,872	20,378

図表 3-15 非侵入窃盗の

区分 \ 年次		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
非侵入窃盗	認知件数(件)	923,309	811,250	744,066	720,462	658,738	617,996
	検挙件数(件)	265,743	258,798	247,066	243,240	234,683	216,483
	検挙人員(人)	143,787	138,966	135,216	134,497	136,354	137,606
	うち ひったくり	認知件数	32,017	26,828	23,687	19,165	19,053
		検挙件数	10,406	10,090	11,321	11,229	9,051
		検挙人員	1,851	1,652	1,524	1,251	1,438
	うち すり	認知件数	15,446	13,698	10,220	8,427	7,253
		検挙件数	3,632	3,699	3,064	1,762	1,533
		検挙人員	938	956	916	897	824
	うち 車上ねらい	認知件数	256,594	205,744	168,129	155,671	145,137
		検挙件数	53,465	49,592	41,116	40,146	38,706
		検挙人員	2,634	2,766	2,344	2,258	2,186
	うち 部品ねらい	認知件数	103,772	88,739	78,016	76,109	76,342
		検挙件数	11,786	9,840	10,382	10,591	9,359
		検挙人員	1,973	1,931	1,758	1,621	1,523
	うち 自動販売機 ねらい	認知件数	88,180	55,981	50,846	38,555	26,765
		検挙件数	23,409	22,607	18,585	15,197	16,535
		検挙人員	2,027	1,370	1,064	819	746
	うち 万引き	認知件数	153,972	147,113	141,915	145,551	150,059
		検挙件数	115,636	110,723	105,774	105,986	108,802
		検挙人員	113,953	107,123	102,504	101,504	105,228
	うち 置引き	認知件数	67,328	65,377	58,727	54,322	50,496
		検挙件数	7,158	7,236	8,113	8,007	7,596
		検挙人員	3,120	3,779	4,288	4,519	4,914

手口別認知・検挙状況の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次 区分	
443,305	397,787	376,244	352,045	309,837	認知件数(件)	乗り物盗
37,716	33,481	30,035	27,161	24,852	検挙件数(件)	
23,667	20,788	17,852	15,911	13,520	検挙人員(人)	
25,238	21,319	21,529	16,104	13,821	認知件数	自動車盗
8,377	7,556	7,857	6,689	6,755	検挙件数	
1,856	1,708	1,484	1,375	1,224	検挙人員	
68,852	60,405	51,442	43,720	35,486	認知件数	オートバイ盗
8,037	6,674	5,618	5,152	3,994	検挙件数	
5,270	4,554	4,057	3,463	2,743	検挙人員	
349,215	316,063	303,273	292,221	260,530	認知件数	自転車盗
21,302	19,251	16,560	15,320	14,103	検挙件数	
16,541	14,526	12,311	11,073	9,553	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次 区分	
582,805	546,016	497,676	451,648	411,350	認知件数(件)	非侵入窃盗
202,936	190,857	170,873	157,858	154,363	検挙件数(件)	
134,261	123,357	112,032	107,348	102,507	検挙人員(人)	
12,493	10,097	7,909	6,201	4,142	認知件数	うち ひったくり
6,327	4,647	4,186	3,684	2,405	検挙件数	
1,098	861	740	680	559	検挙人員	
5,540	5,475	5,508	4,617	4,222	認知件数	うち すり
1,390	1,378	1,564	1,126	1,162	検挙件数	
846	838	765	672	725	検挙人員	
113,101	104,037	87,976	75,289	65,023	認知件数	うち 車上ねらい
23,658	24,504	19,868	15,604	13,185	検挙件数	
2,128	1,979	1,775	1,674	1,554	検挙人員	
57,981	51,828	45,981	37,797	32,600	認知件数	うち 部品ねらい
10,022	6,959	6,306	4,760	4,528	検挙件数	
1,244	999	893	842	811	検挙人員	
20,393	18,989	16,508	16,404	13,242	認知件数	うち 自動販売機 ねらい
6,747	7,427	5,962	3,537	6,678	検挙件数	
633	698	818	1,091	1,059	検挙人員	
141,931	135,224	126,386	121,143	117,333	認知件数	うち 万引き
104,516	97,841	89,910	86,784	82,557	検挙件数	
101,340	93,079	85,464	80,096	75,114	検挙人員	
43,601	44,167	42,986	39,745	36,632	認知件数	うち 置き引き
7,309	7,733	7,968	7,946	7,995	検挙件数	
5,169	5,515	5,782	5,961	6,079	検挙人員	

図表 3 - 16 知能犯の罪種別

年次 区分		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
知能犯	認知件数(件)	97,500	84,271	75,999	73,451	53,222	44,544
	検挙件数(件)	38,151	37,296	33,878	36,979	34,147	29,688
	検挙人員(人)	15,053	15,760	15,264	15,145	15,433	14,138
	詐欺	認知件数	85,596	74,632	67,787	64,558	45,318
		検挙件数	29,384	30,127	27,963	30,277	24,897
		検挙人員	11,648	12,406	12,113	12,036	11,306
	横領	認知件数	2,347	2,408	2,157	2,220	1,987
		検挙件数	1,453	1,545	1,358	1,485	1,324
		検挙人員	1,111	1,252	1,104	1,140	1,091
	偽造	認知件数	9,410	7,010	5,941	6,544	5,830
		検挙件数	7,175	5,433	4,442	5,097	3,992
		検挙人員	2,033	1,847	1,898	1,810	1,617
	汚職	認知件数	112	158	69	88	58
		検挙件数	111	152	67	89	55
		検挙人員	230	194	113	129	83
	あっせん 利得処罰法	認知件数	1	2	0	0	0
		検挙件数	1	2	0	0	0
		検挙人員	0	7	0	0	0
	背任	認知件数	34	61	45	41	29
		検挙件数	27	37	48	31	23
		検挙人員	31	54	36	30	25

図表 3 - 17 風俗犯の罪種別

年次 区分		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
風俗犯	認知件数(件)	12,085	11,932	11,184	10,590	10,219	10,938
	検挙件数(件)	6,422	6,752	6,462	6,376	6,478	6,742
	検挙人員(人)	6,373	6,261	6,279	6,048	5,951	6,033
	賭博	認知件数	221	209	424	272	340
		検挙件数	213	204	415	252	337
		検挙人員	1,771	1,379	1,529	1,359	1,312
	わいせつ	認知件数	11,864	11,723	10,760	10,318	9,879
		検挙件数	6,209	6,548	6,047	6,124	6,141
		検挙人員	4,602	4,882	4,750	4,689	4,575
	うち 強制わいせつ	認知件数	8,751	8,326	7,664	7,137	6,723
		検挙件数	3,797	3,779	3,542	3,555	3,563
		検挙人員	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129
	うち 公然わいせつ	認知件数	2,420	2,602	2,286	2,365	2,359
		検挙件数	1,741	1,999	1,718	1,782	1,810
		検挙人員	1,502	1,715	1,618	1,613	1,626

認知・検挙状況の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次 区分	
40,894	40,235	43,141	46,027	43,622	認知件数(件)	知能犯
26,433	24,105	22,060	20,355	20,742	検挙件数(件)	
13,262	13,665	13,523	13,125	13,016	検挙人員(人)	
34,720	34,762	38,302	41,523	39,432	認知件数	詐欺
22,169	20,264	18,534	17,165	17,613	検挙件数	
10,569	10,997	10,827	10,489	10,502	検挙人員	
1,699	1,754	1,714	1,723	1,536	認知件数	横領
1,252	1,256	1,242	1,245	1,165	検挙件数	
1,060	1,078	1,032	1,132	1,045	検挙人員	
4,372	3,596	3,020	2,665	2,550	認知件数	偽造
2,915	2,497	2,189	1,853	1,866	検挙件数	
1,491	1,466	1,562	1,397	1,350	検挙人員	
74	65	63	63	70	認知件数	汚職
67	55	58	56	65	検挙件数	
108	84	59	64	74	検挙人員	
1	1	1	0	0	認知件数	あっせん 利得処罰法
1	1	1	0	0	検挙件数	
2	1	2	0	0	検挙人員	
28	57	41	53	34	認知件数	背任
29	32	36	36	33	検挙件数	
32	39	41	43	45	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次 区分	
10,966	11,986	12,041	11,915	11,032	認知件数(件)	風俗犯
6,842	7,635	7,023	7,412	7,125	検挙件数(件)	
5,881	6,204	5,770	5,678	5,815	検挙人員(人)	
213	366	123	221	270	認知件数	賭博
208	355	125	209	225	検挙件数	
903	876	725	735	923	検挙人員	
10,753	11,620	11,918	11,694	10,762	認知件数	わいせつ
6,634	7,280	6,898	7,203	6,900	検挙件数	
4,978	5,328	5,045	4,943	4,892	検挙人員	
6,929	7,321	7,654	7,400	6,755	認知件数	うち 強制わいせつ
3,550	3,946	3,967	4,300	4,129	検挙件数	
2,217	2,451	2,487	2,602	2,644	検挙人員	
2,638	2,979	3,175	3,143	2,912	認知件数	うち 公然わいせつ
1,926	2,064	1,921	1,870	1,773	検挙件数	
1,700	1,745	1,662	1,554	1,491	検挙人員	

図表 3-18 その他の刑法犯の

年次		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
区分							
その他の刑法犯	認知件数(件)	349,504	333,692	309,738	284,964	269,481	248,041
	検挙件数(件)	124,437	123,794	113,658	96,197	90,313	81,705
	検挙人員(人)	115,207	113,611	103,502	86,263	80,802	72,689
うち 占有離脱物横領	認知件数	95,520	93,436	83,449	68,189	63,238	55,867
	検挙件数	90,897	89,012	79,891	64,435	60,433	52,960
	検挙人員	91,306	89,444	80,192	64,256	59,919	52,598
うち 公務執行妨害	認知件数	3,327	3,576	3,569	3,242	3,072	2,973
	検挙件数	3,188	3,402	3,459	3,071	2,952	2,881
	検挙人員	2,868	3,118	3,181	2,945	2,698	2,547
うち 住居侵入	認知件数	34,518	31,030	27,383	24,905	23,975	22,234
	検挙件数	8,961	9,211	9,041	8,682	8,234	8,028
	検挙人員	6,107	6,209	5,901	5,881	5,547	5,601
うち 逮捕監禁	認知件数	576	522	418	409	362	356
	検挙件数	428	418	330	328	325	307
	検挙人員	642	629	526	511	535	413
うち 略取誘拐・ 人身売買	認知件数	277	199	207	155	156	186
	検挙件数	204	180	178	141	140	151
	検挙人員	176	167	152	129	101	107
うち 盗品等	認知件数	5,403	5,134	4,582	3,867	3,610	3,291
	検挙件数	5,198	4,866	4,424	3,621	3,397	3,084
	検挙人員	4,889	4,495	4,230	3,404	3,172	2,989
うち 器物損壊等	認知件数	205,312	194,824	185,472	179,134	170,336	158,501
	検挙件数	12,884	13,816	13,617	13,129	12,062	11,554
	検挙人員	6,362	6,551	6,575	6,480	6,160	5,864

罪種別認知・検挙状況の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次	
					区分	
229,640	217,389	204,474	184,695	167,088	認知件数(件)	その他の刑法犯
72,956	64,646	56,601	52,191	48,871	検挙件数(件)	
64,606	55,932	48,325	43,624	39,727	検挙人員(人)	
48,743	39,753	33,114	29,534	26,500	認知件数	うち 占有離脱物横領
45,681	36,873	30,325	26,422	23,482	検挙件数	
45,227	36,467	29,556	25,719	22,689	検挙人員	
3,031	3,123	2,968	2,834	2,691	認知件数	うち 公務執行妨害
2,863	2,932	2,870	2,763	2,559	検挙件数	
2,476	2,501	2,540	2,367	2,152	検挙人員	
20,500	20,502	19,722	17,897	17,112	認知件数	うち 住居侵入
7,690	7,983	7,572	7,464	7,279	検挙件数	
5,433	5,581	5,157	4,986	4,405	検挙人員	
315	309	304	304	341	認知件数	うち 逮捕監禁
282	264	269	267	301	検挙件数	
444	424	345	367	400	検挙人員	
153	190	185	198	192	認知件数	うち 略取誘拐・ 人身売買
132	173	160	178	176	検挙件数	
118	137	154	144	160	検挙人員	
2,925	2,559	2,045	1,716	1,590	認知件数	うち 盗品等
2,677	2,334	1,887	1,586	1,479	検挙件数	
2,532	2,199	1,745	1,453	1,364	検挙人員	
149,524	145,711	140,809	126,818	112,931	認知件数	うち 器物損壊等
10,948	11,204	10,711	10,509	10,387	検挙件数	
5,839	5,975	6,042	5,775	5,588	検挙人員	

図表 3-19 来日外国人の

区分		年次	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
総数	検挙件数(件)		33,037	27,453	25,730	23,202	20,561	14,025
	検挙人員(人)		8,505	8,148	7,528	7,148	7,190	6,710
凶悪犯	検挙件数		315	270	234	177	195	168
	検挙人員		396	297	259	213	239	191
うち殺人	検挙件数		51	37	41	47	41	31
	検挙人員		52	42	41	50	45	32
うち強盗	検挙件数		236	188	139	108	134	111
	検挙人員		319	216	182	142	175	133
侵入強盗	検挙件数		125	88	48	32	45	43
	検挙人員		170	98	70	45	73	47
非侵入強盗	検挙件数		111	100	91	76	89	68
	検挙人員		149	118	112	97	102	86
粗暴犯	検挙件数		679	785	848	855	822	846
	検挙人員		774	894	961	950	938	938
うち傷害	検挙件数		408	423	415	392	383	413
	検挙人員		471	503	498	470	464	459
窃盗犯	検挙件数		28,525	23,137	21,327	19,266	16,450	10,474
	検挙人員		4,344	4,205	3,755	3,674	3,736	3,457
侵入窃盗	検挙件数		9,160	8,692	7,874	8,554	7,235	3,552
	検挙人員		524	441	408	342	329	271
うち住宅対象	検挙件数		8,149	7,945	7,248	8,150	6,883	3,333
	検挙人員		340	308	250	229	239	174
乗り物盗	検挙件数		1,737	2,148	2,502	2,098	1,595	1,251
	検挙人員		548	623	513	471	438	410
うち自動車盗	検挙件数		1,178	1,661	2,114	1,323	1,116	691
	検挙人員		133	166	119	82	94	56
非侵入窃盗	検挙件数		17,628	12,297	10,951	8,614	7,620	5,671
	検挙人員		3,272	3,141	2,834	2,861	2,969	2,776
うち部品ねらい	検挙件数		953	934	1,681	1,104	975	1,330
	検挙人員		51	77	48	32	58	41
うち車上ねらい	検挙件数		5,042	2,394	4,104	3,089	2,372	636
	検挙人員		111	111	80	43	40	49
うちひったくり	検挙件数		78	60	131	65	62	30
	検挙人員		32	30	42	23	23	13
うちすり	検挙件数		1,161	654	377	51	328	40
	検挙人員		64	68	52	23	20	21
うち自動販売機ねらい	検挙件数		6,751	4,611	856	187	176	29
	検挙人員		22	17	11	5	4	3
うち万引き	検挙件数		2,743	2,680	2,419	3,231	2,875	2,667
	検挙人員		2,476	2,308	2,045	2,118	2,293	2,136
知能犯	検挙件数		721	690	870	735	965	747
	検挙人員		525	538	536	506	542	522
うち偽造	検挙件数		481	471	478	389	534	327
	検挙人員		348	345	303	306	310	302
風俗犯	検挙件数		99	103	88	80	77	96
	検挙人員		133	96	104	91	76	103
うち強制わいせつ	検挙件数		66	77	63	51	52	76
	検挙人員		50	59	54	39	38	61
その他	検挙件数		2,698	2,468	2,363	2,089	2,052	1,694
	検挙人員		2,333	2,118	1,913	1,714	1,659	1,499
うち占有離脱物横領	検挙件数		1,781	1,652	1,452	1,255	1,269	1,150
	検挙人員		1,801	1,653	1,462	1,262	1,245	1,125
うち住居侵入	検挙件数		364	314	359	323	354	178
	検挙人員		114	106	114	97	87	70
うち略取誘拐・人身売買	検挙件数		10	8	7	4	5	2
	検挙人員		19	15	6	4	3	7

※ 「住宅対象」とは、侵入窃盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

罪種・手口別刑法犯検挙状況の推移

H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	年次		区分
12,582	11,142	10,674	9,664	9,417	検挙件数(件)	総数	
5,889	5,423	5,620	5,787	6,187	検挙人員(人)		
138	130	128	133	142	検挙件数	凶悪犯	
147	133	120	131	167	検挙人員		
30	25	17	29	33	検挙件数	うち殺人	
30	27	17	28	42	検挙人員		
80	83	87	72	70	検挙件数	うち強盗	
85	84	86	71	86	検挙人員		
27	29	17	15	12	検挙件数	侵入強盗	
31	27	20	16	11	検挙人員		
53	54	70	57	58	検挙件数	非侵入強盗	
54	57	66	55	75	検挙人員		
829	884	920	990	1,094	検挙件数	粗暴犯	
960	978	1,033	1,082	1,238	検挙人員		
373	408	429	434	458	検挙件数	うち傷害	
467	461	504	516	541	検挙人員		
9,210	7,969	7,744	6,716	6,303	検挙件数	窃盗犯	
3,060	2,721	2,812	3,012	3,168	検挙人員		
3,628	2,170	2,240	1,273	902	検挙件数	侵入窃盗	
194	171	158	155	128	検挙人員		
3,306	1,830	1,881	1,071	687	検挙件数	うち住宅対象	
109	88	76	82	74	検挙人員		
999	1,372	1,352	914	1,168	検挙件数	乗り物盗	
328	321	288	252	244	検挙人員		
625	1,041	1,110	675	971	検挙件数	うち自動車盗	
58	83	61	51	71	検挙人員		
4,583	4,427	4,152	4,529	4,233	検挙件数	非侵入窃盗	
2,538	2,229	2,366	2,605	2,796	検挙人員		
407	133	88	98	188	検挙件数	うち部品ねらい	
19	20	19	20	16	検挙人員		
491	979	687	721	90	検挙件数	うち車上ねらい	
36	46	18	21	15	検挙人員		
23	13	10	12	4	検挙件数	うちひったくり	
12	5	9	6	3	検挙人員		
47	41	61	38	27	検挙件数	うちすり	
11	18	26	20	25	検挙人員		
0	0	256	3	7	検挙件数	うち自動販売機ねらい	
1	2	9	5	8	検挙人員		
2,850	2,561	2,189	2,775	3,211	検挙件数	うち万引き	
1,976	1,759	1,913	2,108	2,272	検挙人員		
771	819	595	566	565	検挙件数	知能犯	
432	470	539	454	429	検挙人員		
383	251	243	208	238	検挙件数	うち偽造	
273	260	272	209	194	検挙人員		
88	103	97	137	121	検挙件数	風俗犯	
84	83	81	122	120	検挙人員		
59	75	72	115	90	検挙件数	うち強制わいせつ	
53	57	61	97	79	検挙人員		
1,546	1,237	1,190	1,122	1,192	検挙件数	その他	
1,206	1,038	1,035	986	1,065	検挙人員		
869	693	662	601	633	検挙件数	うち占有離脱物横領	
863	687	657	608	633	検挙人員		
330	194	187	162	179	検挙件数	うち住居侵入	
74	86	94	97	132	検挙人員		
3	5	7	2	4	検挙件数	うち略取誘拐・人身売買	
6	5	15	9	9	検挙人員		

図 表 索 引

第1章 刑法犯の認知・検挙状況についての分析

第1 総括

1-1-1-1	刑法犯認知・検挙件数 S21-H27 の推移	1
1-1-1-2	人口千人当たりの刑法犯認知件数 S21-H27 の推移	2
1-1-1-3	検挙率 S21-H27 の推移	2
1-1-1-4	刑法犯検挙人員 S21-H27 の推移	3
1-1-1-5	刑法犯認知・検挙状況 S21-H27 の推移	3
1-1-1-6	年齢層別人口 10 万人当たりの検挙人員 H 元、H17-H27 の推移	4
1-1-2-1	包括罪種別認知・検挙状況 H14-H27 の推移	5
1-1-3-1	死傷者数、人口 10 万人当たり死傷者数 H17-H27 の推移	6
1-1-3-2	男女別死傷者数 H17-H27 の推移	6
1-1-3-3	性・死傷理由罪種別死傷者数 (H26、H27)	7
1-1-4-1	主な罪種別財産犯被害額 H17-H27 の推移	8

第2 罪種・手口ごとの分析

1-2-1-0-1	重要犯罪認知・検挙状況 H17-H27 の推移	9
1-2-1-1-1	殺人認知・検挙状況、被害者数 H17-H27 の推移	10
1-2-1-1-2	年齢層別殺人検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり殺人検挙人員 H17-H27 の推移	10
1-2-1-1-3	被疑者の年齢層・被害者との関係別殺人検挙件数 H17-H27 の推移	11
1-2-1-1-ア-1	捜査本部設置・解決状況 H17-H27 の推移	12
1-2-1-1-イ-1	通り魔殺人事件の認知・検挙事件数 H17-H27 の推移	12
1-2-1-1-ウ-1	保険金目的殺人事件の検挙事件数 H17-H27 の推移	12
1-2-1-2-1	強盗認知・検挙状況 H17-H27 の推移	13
1-2-1-2-2	強盗に伴う身体犯の認知件数 H17-H27 の推移	14
1-2-1-2-3	年齢層別強盗検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり強盗検挙人員 H17-H27 の推移	15
1-2-1-2-ア-1	金融機関等対象強盗事件認知・検挙事件数 H17-H27 の推移	15
1-2-1-2-ア-2	発生場所別金融機関等対象強盗事件認知事件数 H17-H27 の推移	16
1-2-1-2-ア-3	銀行・郵便局における金融機関等対象強盗事件認知事件数 3 年移動平均 H19-H27 の推移	16
1-2-1-2-ア-4	発生時間帯別金融機関等対象強盗事件認知事件数 H26、H27	16
1-2-1-2-イ-1	深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件認知・検挙事件数 H17-H27 の推移	17
1-2-1-2-イ-2	発生時間帯別深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件認知事件数 H26、H27	17
1-2-1-2-ウ-1	ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件認知・検挙状況 H17-H27 の推移	18
1-2-1-2-ウ-2	発生時間帯別ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件認知件数 H17-H27 の推移	18
1-2-1-2-エ-1	ぱちんこ景品買取所対象強盗事件認知・検挙事件数 H17-H27 の推移	19
1-2-1-2-エ-2	ぱちんこ景品買取所対象強盗事件認知事件数 3 年移動平均 H19-H27 の推移	19
1-2-1-2-エ-3	発生時間帯別ぱちんこ景品買取所対象強盗事件認知事件数 H26、H27	19
1-2-1-2-オ-1	タクシー対象強盗事件認知・検挙事件数 H17-H27 の推移	20
1-2-1-2-オ-2	発生時間帯別タクシー対象強盗事件認知事件数 H26、H27	20
1-2-1-3-1	放火認知・検挙状況 H17-H27 の推移	21
1-2-1-3-2	年齢層別放火検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり放火検挙人員 H17-H27 の推移	21
1-2-1-4-1	強姦認知・検挙状況 H17-H27 の推移	22
1-2-1-4-2	被疑者と被害者の関係別強姦検挙件数 H17-H27 の推移	22
1-2-1-4-3	年齢層別強姦検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり強姦検挙人員 H17-H27 の推移	

		23
1-2-1-5-1	強制わいせつ認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	23
1-2-1-5-2	被疑者と被害者の関係別強制わいせつ検挙件数 H17-H27 の推移.....	24
1-2-1-5-3	年齢層別強制わいせつ検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり強制わいせつ検挙人員 H17-H27 の推移.....	24
1-2-1-6-1	略取誘拐・人身売買認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	25
1-2-1-6-2	身の代金目的略取誘拐認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	25
1-2-1-6-3	略取誘拐・人身売買認知・検挙件数 3 年移動平均 H19-H27 の推移.....	25
1-2-1-6-4	被害者の年齢層別略取誘拐・人身売買認知件数 H17-H27 の推移.....	26
1-2-2-0-1	重要窃盗犯認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	27
1-2-2-1-1	住宅で発生した侵入窃盗認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	28
1-2-2-1-2	住宅で発生した侵入窃盗の手口・住宅形態別認知件数 H17-H27 の推移.....	28
1-2-2-1-3	発生場所・侵入口・侵入方法別侵入窃盗認知件数 H26	29
1-2-2-1-4	発生場所・侵入口・侵入方法別侵入窃盗認知件数 H27	30
1-2-2-1-5	年齢層別侵入窃盗検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり侵入窃盗検挙人員 H17-H27 の推移.....	31
1-2-2-2-1	鍵の状態別自動車盗認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	32
1-2-2-2-2	鍵の状態・発生場所別自動車盗認知件数 H17-H27 の推移.....	33
1-2-2-2-3	被害額別自動車盗認知件数 H17-H27 の推移.....	33
1-2-2-2-4	鍵の状態別自動車盗被害車両還付状況 H17-H27 の推移.....	33
1-2-2-2-5	年齢層別自動車盗検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり自動車盗検挙人員 H17-H27 の推移.....	34
1-2-2-2-6	自動車盗検挙人員の年齢層別「キーあり」率 H17-H27 の推移.....	34
1-2-2-3-1	ひったくり認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	35
1-2-2-3-2	被害者の性別ひったくり認知件数 H17-H27 の推移.....	35
1-2-2-3-3	被害者の年齢層別ひったくり認知件数、年齢層別人口 10 万人当たりひったくり認知 件数 H17-H27 の推移.....	36
1-2-2-3-4	被害者の年齢層・発生時間帯別ひったくり認知件数 H26、H27	36
1-2-2-3-5	年齢層別ひったくり検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たりひったくり検挙人員 H17- H27 の推移.....	37
1-2-2-4-1	すり認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	37
1-2-2-4-2	被害者の性・年齢層別すり認知件数 H17-H27 の推移.....	38
1-2-2-4-3	年齢層別すり検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たりすり検挙人員 H17-H27 の推移	38
1-2-3-1-1	粗暴犯認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	39
1-2-3-1-1-ア-1	暴行認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	39
1-2-3-1-1-ア-2	被疑者と被害者の関係別暴行検挙件数 H17-H27 の推移.....	40
1-2-3-1-1-ア-3	年齢層別暴行検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり暴行検挙人員 H17-H27 の推 移.....	41
1-2-3-1-1-イ-1	傷害認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	41
1-2-3-1-1-イ-2	被疑者と被害者の関係別傷害検挙件数 H17-H27 の推移.....	42
1-2-3-1-1-イ-3	年齢層別傷害検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり傷害検挙人員 H17-H27 の推 移.....	42
1-2-3-2-1-ア-1	車上ねらい認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	43
1-2-3-2-1-ア-2	施錠状態別車上ねらい主な被害品数 H17-H27 の推移.....	44
1-2-3-2-1-ア-3	年齢層別車上ねらい検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり車上ねらい検挙人員 H17-H27 の推移.....	44
1-2-3-2-1-イ-1	部品ねらい認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	45
1-2-3-2-1-イ-2	部品ねらい被害品数 H17-H27 の推移.....	45
1-2-3-2-1-イ-3	年齢層別部品ねらい検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり部品ねらい検挙人員 H17-H27 の推移.....	46
1-2-3-2-1-ウ-1	万引き認知・検挙状況 H17-H27 の推移.....	46

1-2-3-2-ウ-2	万引き被害品数 H17-H27 の推移	47
1-2-3-2-ウ-3	検挙事件に係る被疑者の年齢層別万引き被害品数 H17-H27 の推移	47
1-2-3-2-ウ-4	年齢層別万引き検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり万引き検挙人員 H17-H27 の推移	48
1-2-3-2-ウ-5	性・前歴の有無別 20 歳以上万引き検挙人員 H17-27 の推移	48
1-2-3-2-エ-1	オートバイ盗認知・検挙状況 H17-H27 の推移	49
1-2-3-2-エ-2	鍵の状態別オートバイ盗被害車両還付状況 H17-H27 の推移	49
1-2-3-2-エ-3	年齢層別オートバイ盗検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たりオートバイ盗検挙人員 H17-H27 の推移	50
1-2-3-2-オ-1	施錠状態別自転車盗認知・検挙状況 H17-H27 の推移	50
1-2-3-2-オ-2	施錠状態別自転車盗被害車両還付状況 H17-H27 の推移	51
1-2-3-2-オ-3	施錠状態・年齢層別自転車盗検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり自転車盗検挙人員 H17-H27 の推移	51
1-2-3-2-オ-4	14-19 歳年齢別自転車盗検挙人員、年齢別人口 10 万人当たり自転車盗検挙人員 H17-H27 の推移	52
1-2-3-2-カ-1	組織窃盗事件数 H17-H27 の推移	52
1-2-3-3-1	知能犯認知・検挙状況 H17-H27 の推移	53
1-2-3-3-ア-1	詐欺認知・検挙状況 H17-H27 の推移	54
1-2-3-3-ア-2	手口別特殊詐欺認知件数 H23-H27 の推移	55
1-2-3-3-ア-3	手口別特殊詐欺被害額 H23-H27 の推移	56
1-2-3-3-ア-4	手口別特殊詐欺被害者の年齢・性別割合（H26、H27）	57
1-2-3-3-ア-5	手口別特殊詐欺検挙状況 H23-H27 の推移	58
1-2-3-3-ア-6	助長詐欺検挙状況 H23-H27 の推移	59
1-2-3-3-ア-7	年齢層別無銭検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり無銭検挙人員 H17-H27 の推移	60
1-2-3-3-ア-8	年齢層別売付検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり売付検挙人員 H17-H27 の推移	61
1-2-3-3-イ-1	政治・行政をめぐる不正事案検挙事件数 H17-H27 の推移	62
1-2-3-3-イ-2	衆議院議員総選挙における検挙状況（第 46、47 回）	62
1-2-3-3-イ-3	統一地方選挙における検挙状況（第 17、18 回）	63
1-2-3-3-イ-4	金融・不良債権関連事犯検挙事件数 H17-H27 の推移	63
1-2-3-3-ウ-1	偽造認知・検挙状況 H17-H27 の推移	64
1-2-3-3-ウ-2	偽造日本銀行券の発見枚数 H22-H27 の推移	64
1-2-3-4-ア-1	公然わいせつ認知・検挙状況 H17-H27 の推移	65
1-2-3-4-ア-2	年齢層別公然わいせつ検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たり公然わいせつ検挙人員 H17-H27 の推移	65
1-2-3-4-イ-1	わいせつ物頒布等認知・検挙状況 H17-H27 の推移	66
1-2-3-4-イ-2	年齢層別わいせつ物頒布等検挙人員、年齢層別人口 10 万人当たりわいせつ物頒布等検挙人員 H17-H27 の推移	66
1-2-3-5-ア-1	公務執行妨害認知・検挙状況 H17-H27 の推移	67
1-2-3-5-イ-1	器物損壊等認知・検挙状況 H17-H27 の推移	67
1-2-3-5-イ-2	被害器物別器物損壊等認知件数 H17-H27 の推移	67
1-2-3-6-ア-1	人質立てこもり認知・検挙状況 H17-H27 の推移	68
1-2-3-6-イ-1	銃砲刀剣類等使用事件の認知件数 H17-H27 の推移	69
1-2-3-6-ウ-1	カードの種類・窃盗の手口別カードを被害品に含む窃盗認知件数 H26、H27	70
1-2-3-6-ウ-2	カード偽造犯罪の認知・検挙状況 H17-H27 の推移	71
1-2-3-6-ウ-3	カードを使用した払出盗のカード種類別認知件数、現金被害額 H17-H27 の推移	72
1-2-3-6-ウ-4	カードを使用した詐欺のカード種類別認知件数、被害額 H17-H27 の推移	72
第3 検挙人員の属性についての分析		
1-3-1-1	少年・成人別刑法犯検挙人員、人口千人当たり刑法犯検挙人員 H17-H27 の推移	73
1-3-1-2	主な罪種・手口における少年検挙人員 H17-H27 の推移	74

1-3-2-1	高齢者・非高齢者別刑法犯検挙人員、人口 10 万人当たり刑法犯検挙人員 H17-H27 の推移	75
1-3-2-2	主な罪種・手口における高齢者検挙人員 H17-H27 の推移	75
1-3-2-3	主な罪種・手口別高齢者検挙人員 H17-H27 の推移	76
1-3-2-4	主な罪種・手口・年齢層別高齢者検挙人員 H17-H27 の推移	76
1-3-2-5	主な罪種・手口・年齢層別人口 10 万人当たり高齢者検挙人員 H17-H27 の推移	77
1-3-3-1	外国人の刑法犯検挙状況 H17-H27 の推移	78
1-3-3-2	国籍等別刑法犯検挙状況 H17-27 の推移	79
1-3-4-1-1	暴力団構成員等 H3-H27 の推移	80
1-3-4-1-2	主要団体の暴力団構成員等 H18-H27 の推移	81
1-3-4-2-1	暴力団構成員等の刑法犯検挙人員 H17-H27 の推移	81
1-3-4-2-2	主な罪種における暴力団構成員等検挙人員 H17-H27 の推移	82
1-3-5-1	薬物常用者刑法犯検挙人員 H17-H27 の推移	83
1-3-5-2	薬物の種類別薬物常用者刑法犯検挙人員 H17-H27 の推移	83
1-3-5-3	主な罪種における薬物常用者検挙人員 H17-H27 の推移	83

第4 被害者の属性についての分析

1-4-1-1	被害者の性別刑法犯認知件数 H17-H27 の推移	84
1-4-1-2	主な罪種・手口における女性被害認知件数 H17-H27 の推移	85
1-4-1-3	女性被害の略取誘拐・人身売買等認知件数 3 年移動平均 H19-H27 の推移	86
1-4-1-4	主な罪種に係る被害女性年齢層別認知件数 H17-H27 の推移	86
1-4-1-5	被疑者と被害者の関係別女性被害殺人等検挙件数 H17-H27 の推移	88
1-4-2-1	被害者の年齢（少年・成人）別刑法犯認知件数、人口千人当たり刑法犯認知件数 H17-H27 の推移	89
1-4-2-2	主な罪種・手口の少年被害認知件数 H17-H27 の推移	90
1-4-2-3	主な罪種・手口における人口 10 万人当たり少年被害認知件数 H17-H27 の推移	91
1-4-2-4	主な罪種の 19 歳以下被害者の学職別認知件数 H17-H27 の推移	92
1-4-2-5	12 歳以下被害者の暴力的性犯罪罪種別認知件数 H17-H27 の推移	93
1-4-3-1	被害者の年齢（高齢者・非高齢者）別刑法犯認知件数、人口千人当たり刑法犯認知件数 H17-H27 の推移	94
1-4-3-2	主な罪種・手口の高齢者被害認知件数 H17-H27 の推移	95
1-4-3-3	主な罪種・手口の被害高齢者年齢層別人口 10 万人当たり認知件数 H17-H27 の推移	96
1-4-4-1	外国人被害の刑法犯認知件数 H17-H27 の推移	98
1-4-4-2	主な罪種・手口の外国人被害認知件数 H17-H27 の推移	98
1-4-4-3	外国人被害の主な罪種・手口別認知件数 H17-H27 の推移	99
1-4-4-4	外国人被害の検挙事件に係る被疑者の国籍別刑法犯・殺人検挙件数 H17-H27 の推移	99

第2章 トピックス ～戦後最少を記録した刑法犯認知件数～

第1 平成 14 年以降の刑法犯認知件数の減少理由に関する分析

2-1-0-1	平成 14 年の認知件数を 100 とした場合の各区分認知件数指数 H14-H27 の推移	100
2-1-0-2	主な街頭犯罪・侵入犯罪の罪種・手口別認知件数 H14、H23、H27 の比較	101
2-1-1-0-1	包括罪種別 H14 と H27 の比較	101
2-1-1-0-2	手口別窃盗犯認知件数 H14 と H27 の比較	102
2-1-1-1-1	施錠状態別自転車盗認知件数 H14-H27 の推移	103
2-1-1-1-2	施錠状態・発生場所別自転車盗認知件数 H14-H27 の推移	104
2-1-1-2-1	施錠状態別車上ねらい認知件数 H14-H27 の推移	105
2-1-1-2-2	施錠状態・発生場所別車上ねらい認知件数 H14-H27 の推移	106
2-1-1-3-1	鍵の状態別オートバイ盗認知件数 H12-H27 の推移	107
2-1-1-3-2	排気量別オートバイ千台当たりオートバイ盗被害品数 H16-H27 の推移	108
2-1-1-4-1	自動販売機ねらい認知件数 H11-H27 の推移	109
2-1-1-4-2	堅牢化自動販売機の普及台数割合（第 1 軸）と清涼飲料水・たばこ用自動販売機千台当たり自動販売機ねらい認知件数（第 2 軸）H12-H27 の推移	109
2-1-1-5-1	空き巣認知件数 H10-H27 の推移	110

2-1-1-5-2	発生場所別空き巣認知件数 H10-H27 の推移	110
2-1-1-5-3	住宅侵入手段別空き巣認知件数 H16-H27 の推移	111
2-1-1-5-4	機械警備業者の対象施設数 H14-H26 の推移	111
2-1-1-5-5	都市防犯研究センター調査結果	112
2-1-1-5-6	住宅用ドアホン生産実績金額 H2-H26 の推移	112
2-1-1-5-7	警察官条例定員 H14-H27 の推移	112
2-1-1-5-8	防犯ボランティア団体数・構成員数 H15-H27 の推移	112
2-1-1-6-1	部品ねらい発生場所別認知件数 H11-H27 の推移	113
2-1-1-6-2	部品ねらい被害品数 H16-H27 の推移	114
2-1-1-7-1	鍵の状態別自動車盗認知件数 H10-H27 の推移	114
2-1-1-7-2	鍵の状態・発生場所別自動車盗認知件数 H10-H27 の推移	115
2-1-1-7-3	鍵の状態・主たる被疑者の国籍別自動車盗検挙件数における共犯形態別割合 H 元-H27 の推移	116
2-1-1-7-4	鍵の状態・主たる被疑者の国籍・共犯形態別自動車盗検挙件数 H10-H27 の推移	117
2-1-1-8-1	ひったくり認知件数、年齢層別検挙件数 H9-H27 の推移	118
2-1-1-8-2	逃走時の交通手段別ひったくり検挙件数 H9-H27 の推移	119
2-1-2-1	年齢層別刑法犯検挙人員、年齢層別人口千人当たり刑法犯検挙人員 H14 と H27 の比較	120

第2 昭和48年との刑法犯認知・検挙状況の比較

2-2-1-1	刑法犯認知・検挙状況 S48 と H27 の比較	121
2-2-2-1	包括罪種別認知件数 S48 と H27 の比較	121
2-2-3-1	主な罪種・手口別認知件数 S48 と H27 の比較	122
2-2-3-2	窃盗の主な手口の被害率 S48 と H27 の比較	123
2-2-4-1-1	年齢層別刑法犯検挙人員、年齢層別人口千人当たり刑法犯検挙人員 S48 と H27 の比較	124
2-2-4-1-2	包括罪種別 60 歳以上検挙人員 S48 と H27 の比較	124
2-2-4-2-1	窃盗犯の主な手口別再犯者割合 S48 と H27 の比較	125
2-2-5-1	被害者の年齢層別刑法犯認知件数、年齢層別人口千人当たり刑法犯認知件数 S48 と H27 の比較	125
2-2-5-2	主な罪種に係る 19 歳以下被害者の年齢層別認知件数 S48 と H27 の比較	126

第3章 資料編

3-1	罪種別刑法犯認知件数・人口 10 万人当たり刑法犯認知件数の推移	127
3-2	都道府県別刑法犯認知件数の推移	129
3-3	都道府県別刑法犯検挙件数の推移	131
3-4	都道府県別刑法犯検挙人員の推移	133
3-5	都道府県別人口 10 万人当たり刑法犯認知件数の推移	135
3-6	都道府県別人口 10 万人当たり凶悪犯認知件数の推移	137
3-7	都道府県別人口 10 万人当たり粗暴犯認知件数の推移	139
3-8	都道府県別人口 10 万人当たり窃盗犯認知件数の推移	141
3-9	都道府県別人口 10 万人当たり知能犯認知件数の推移	143
3-10	都道府県別人口 10 万人当たり風俗犯認知件数の推移	145
3-11	都道府県別人口 10 万人当たりその他の刑法犯認知件数の推移	147
3-12	窃盗犯の手口別認知・検挙状況の推移	149
3-13	侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	149
3-14	乗り物盗の手口別認知・検挙状況の推移	151
3-15	非侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	151
3-16	知能犯の罪種別認知・検挙状況の推移	153
3-17	風俗犯の罪種別認知・検挙状況の推移	153
3-18	その他の刑法犯の罪種別認知・検挙状況の推移	155
3-19	来日外国人の罪種・手口別刑法犯検挙状況の推移	157